平成３０年度

市民意識調査報告書

平成３１年１月

寝　屋　川　市

【目　次】

Ⅰ.　調査の概要 1
Ⅱ.　調査結果 3
　回答者の属性 3
　１．寝屋川市の印象などについて 16
　２．『安全で安心できるまちづくり』について 53
　３．『健康でいきいき暮らせるまちづくり』について 66
　４．『夢を育む学びのまちづくり』について 93
　５．『快適でうるおいのあるまちづくり』について 122
　６．『環境を守り育てるまちづくり』について 142
　７．『活力あふれるにぎわいのまちづくり』について 152
　８．『市民が主役のまちづくり』について 172
　９．『将来を見据えた自治経営』について 182
　10.　『人口減少対策』について 198
　11.　『シティプロモーション』について 204
　12.　『寝屋川市のまちづくり』についての自由意見 216
Ⅲ.　調査結果の分析 217
　１．市民意識の指標の推移 217
　２．施策の重要度・満足度の相対分析 219

【報告書の見方】

- 各集計の構成比は百分率で表し、集計結果は、すべて小数点以下第２位を四捨五入しており、比率の合計が 100％とならないことがある。
- 複数の回答の設問では、比率の合計が 100％を超える場合がある。
- 個別に四捨五入しているグラフと合算で四捨五入しているグラフがあり、数値が一致しない場合がある。
- グラフ中のＮは、構成比を表示する際の母数を示す。
- 図表中、選択肢などを一部省略して表記している場合がある。
- Ｎが少ない場合、比率の変化が大きいため、傾向を見る程度にとどめ、本文中ではその内容に触れていない場合がある。
- 設問の終わりにある複数回答は、「○は２つまで」等、単一回答は「○は１つ」の質問形式であることを示す。
- M.A の表記は、複数回答の設問を示している。

Ⅰ. 調査の概要

（１） 調査の目的

本市では、平成 22 年度に第五次寝屋川市総合計画を策定し、目指すべきまちの姿やまちづくりの大綱を示す基本構想の下、具体的な施策の内容を明らかにした後期基本計画（平成 28 年度～）に基づき、施策・事業を着実に推進しているところである。

この調査は、市の現状や将来のまちづくりに対する市民の意識やニーズを把握することを目的に実施し、その結果を後年度の施策・事業に反映させることで、市民満足度の高いまちづくりを推進していくものである。

（２） 調査の項目

１	寝屋川市の印象などについて
２	『安全で安心できるまちづくり』について
３	『健康でいきいき暮らせるまちづくり』について
４	『夢を育む学びのまちづくり』について
５	『快適でうるおいのあるまちづくり』について
６	『環境を守り育てるまちづくり』について
７	『活力あふれるにぎわいのまちづくり』について
８	『市民が主役のまちづくり』について
９	『将来を見据えた自治経営』について
１０	『人口減少対策』について
１１	『シティプロモーション』について
１２	『寝屋川市のまちづくり』について（自由意見）
１３	あなた御自身のことについて

（３） 調査の設計

①調査対象地域	寝屋川市全域
②調査対象	市内に在住する18歳以上の市民 （平成30年７月１日現在）
③標本数	3,500人
④抽出方法	単純無作為抽出
⑤抽出台帳	住民基本台帳
⑥調査方法	郵送配布・郵送回収による郵送調査法
⑦調査時期	平成30年７月30日（月）～平成30年８月13日（月）
⑧礼状兼督促状	平成30年８月10日（金）発送

（４） 回収結果

有効配布数	3,493件
回収数	1,466件
有効回収数	1,462件
有効回収率	41.9%

（５） 標本誤差

この調査は、95%の信頼度の下で、標本誤差が 3.0%以内に収まるよう回収率30.3%を見込み、配布数を 3,500 件とした。

調査の結果、1,462 件を回収し、標本誤差は 2.6%となり、目標どおりの成果を得た。

$$\mathrm{b} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{(N-n)p(1-p)}{Nn}}$$

b＝標本誤差

N＝母集団数（18 歳以上の総人口）、199,699 人（平成 30 年 7 月 1 日現在）

n＝サンプル数（比率算出の基数）、1,462 件

p＝回答比率、50%とする。

II.　調査結果

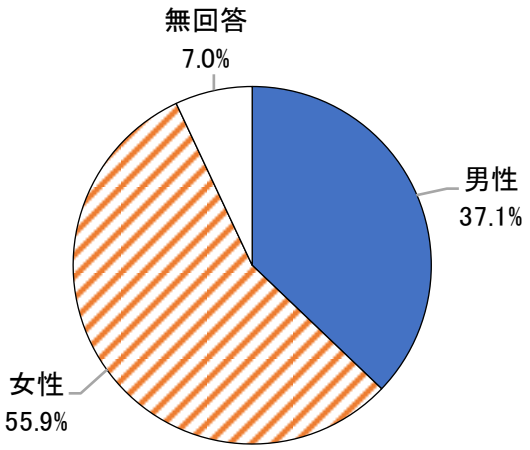
回答者の属性

（１） 性別・年齢

性別について見ると、男性が 37.1%、女性が 55.9%となっている。平成 30 年 7 月 1 日の住民基本台帳による 18 歳以上の人口は、男性 47.9%、女性 52.1%となっており、回答者の属性としては、女性の比率が高くなっている。

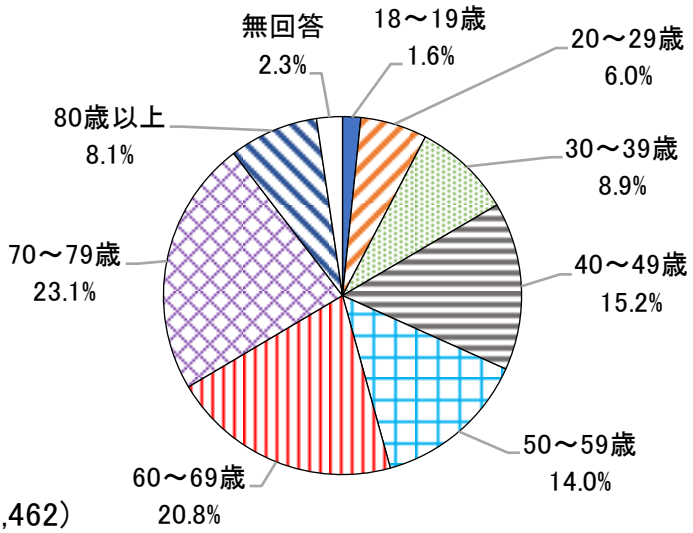
年齢別にみると、10 歳代が 1.6%、20 歳代が 6.0%、30 歳代が 8.9%、40 歳代が 15.2%、50 歳代が 14.0%、60 歳代が 20.8%、70 歳代が 23.1%、80 歳以上が 8.1%となっている。

①　男女の内訳



（N=1,462）

②　年齢の内訳



（N=1,462）

（２） 居住地区

居住地区別の回答者数は人口分布を反映しており、「第六中学校区」が 13.4%で最も高く、次いで「第一中学校区」が 10.3%、「第三中学校区」が 10.2%と続き、「第四中学校区」「第七中学校区」「中木田中学校区」が低くなっている。

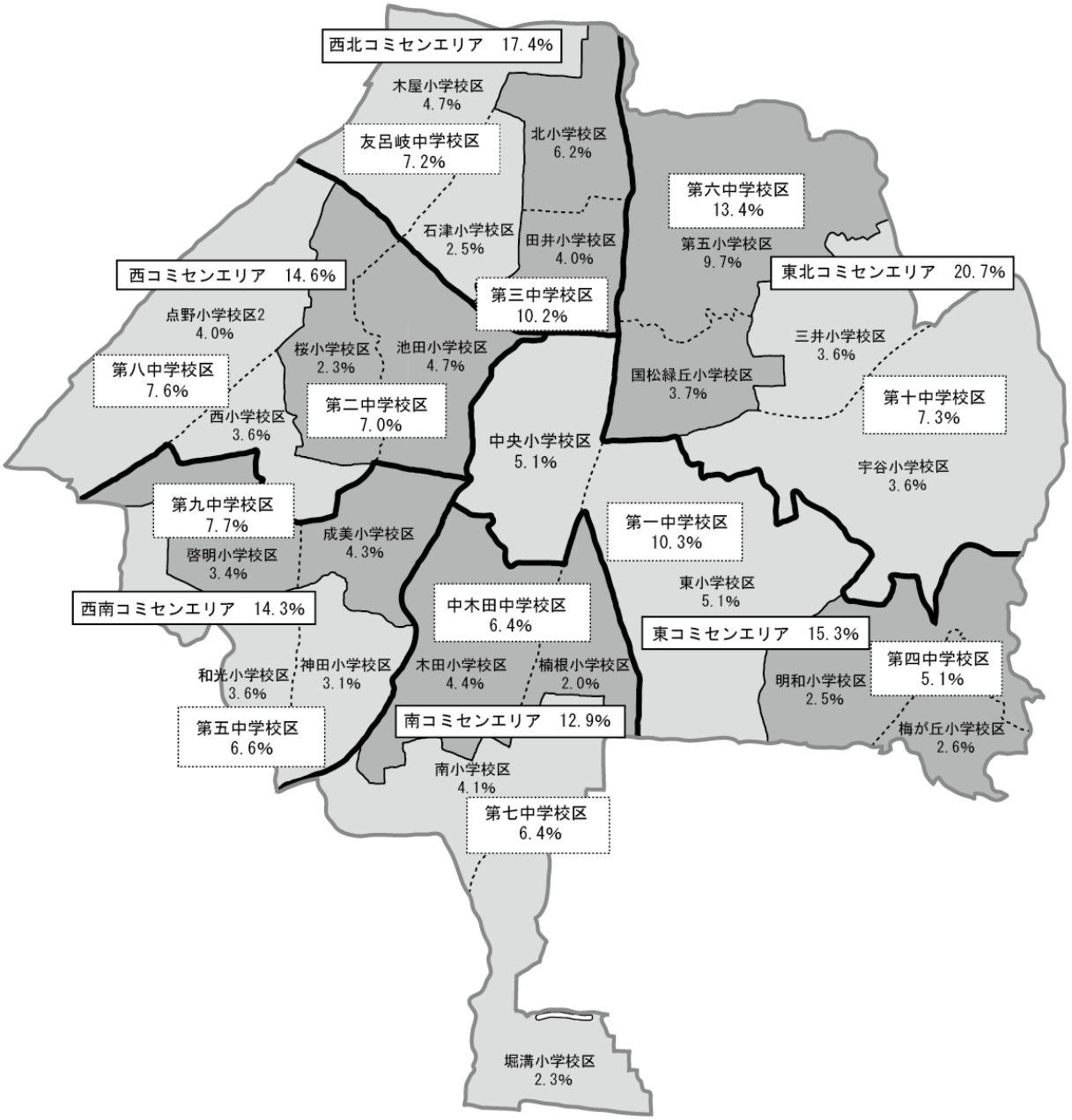
また、コミュニティセンターエリア（コミセンエリア）別に見ると、「東北コミセンエリア」が 20.7%と最も高く、次いで「西北コミセンエリア」が 17.4%、「東コミセンエリア」が 15.3%、「西コミセンエリア」が 14.6%、「西南コミセンエリア」が 14.3%、「南コミセンエリア」が 12.9%の順となっている。

① 居住地区の内訳

中学校区	構成比
第一	10.3%
第二	7.0%
第三	10.2%
第四	5.1%
第五	6.6%
第六	13.4%
第七	6.4%
第八	7.6%
第九	7.7%
第十	7.3%
友呂岐	7.2%
中木田	6.4%
不明・無回答	4.9%
合　計	100.0%

コミセンエリア	構成比
西北	17.4%
南	12.9%
東北	20.7%
西	14.6%
西南	14.3%
東	15.3%
不明・無回答	4.9%
合　計	100.0%

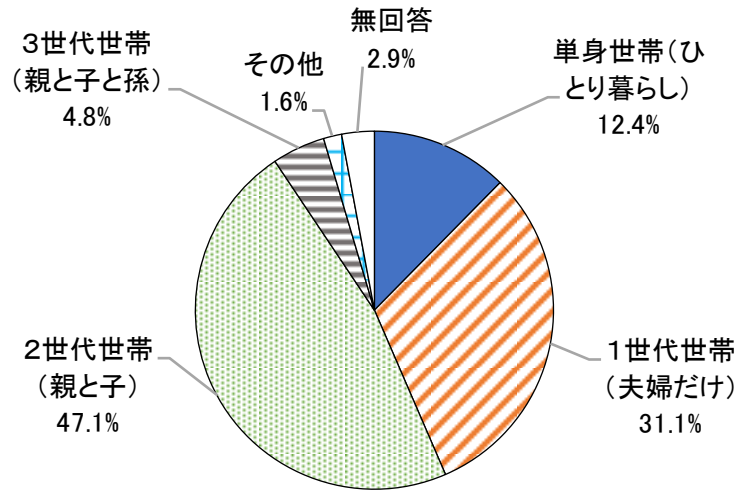
＜コミセンエリア別・中学校区別・小学校区別の回答者数の比率＞



（３） 家族構成

①　全体

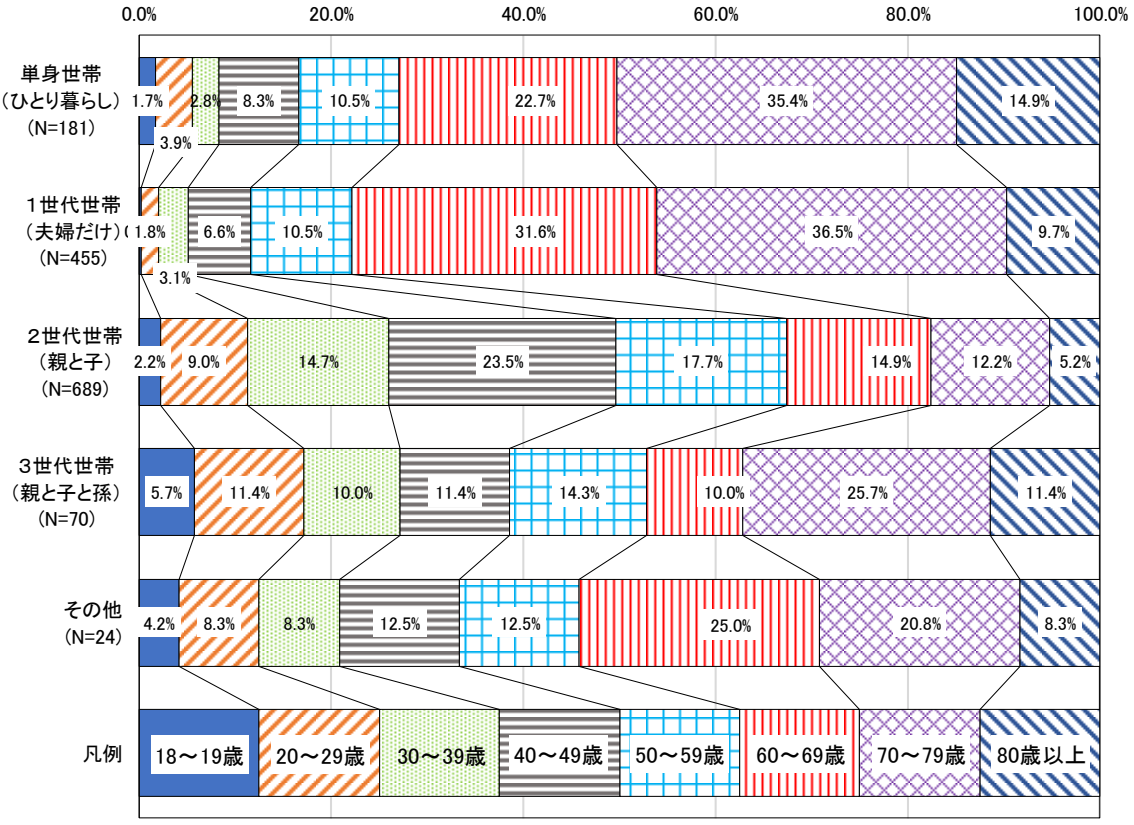
「２世代世帯（親と子)」が 47.1%と最も高く、次いで「１世代世帯（夫婦だけ)」が 31.1%、「単身世帯（ひとり暮らし)」が 12.4%、「３世代世帯（親と子と孫)」が 4.8%の順となっている。



（N=1,462）

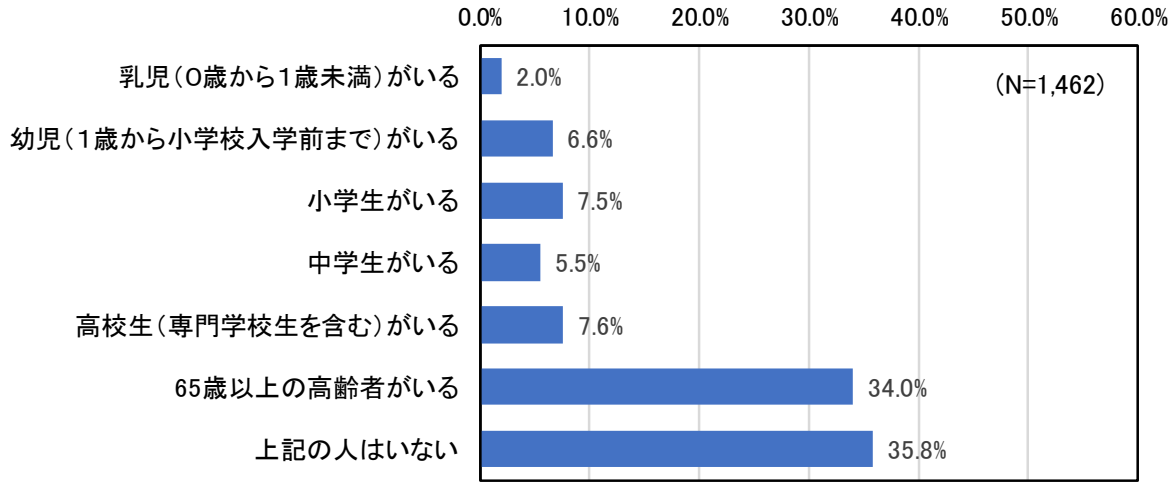
②　家族構成の年代別内訳

家族構成と年代を見ると、単身世帯、1 世代世帯の 60 歳以上の割合が高くなっている。



③　世帯における乳幼児・学生・高齢者等の内訳

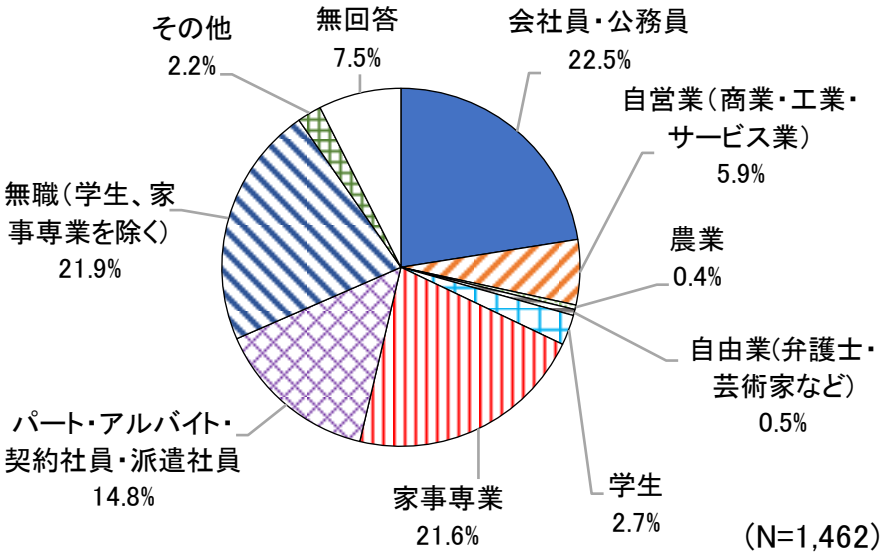
子どもや高齢者がいる世帯をみると、「65 歳以上の高齢者」がいる世帯は 34.0%と最も高く、子どもでは、「高校生（専門学校生を含む）」が 7.6%、「小学生」が 7.5%、「幼児（１歳から小学校入学前まで）」が 6.6%の順となっている。



（４）　職業構成

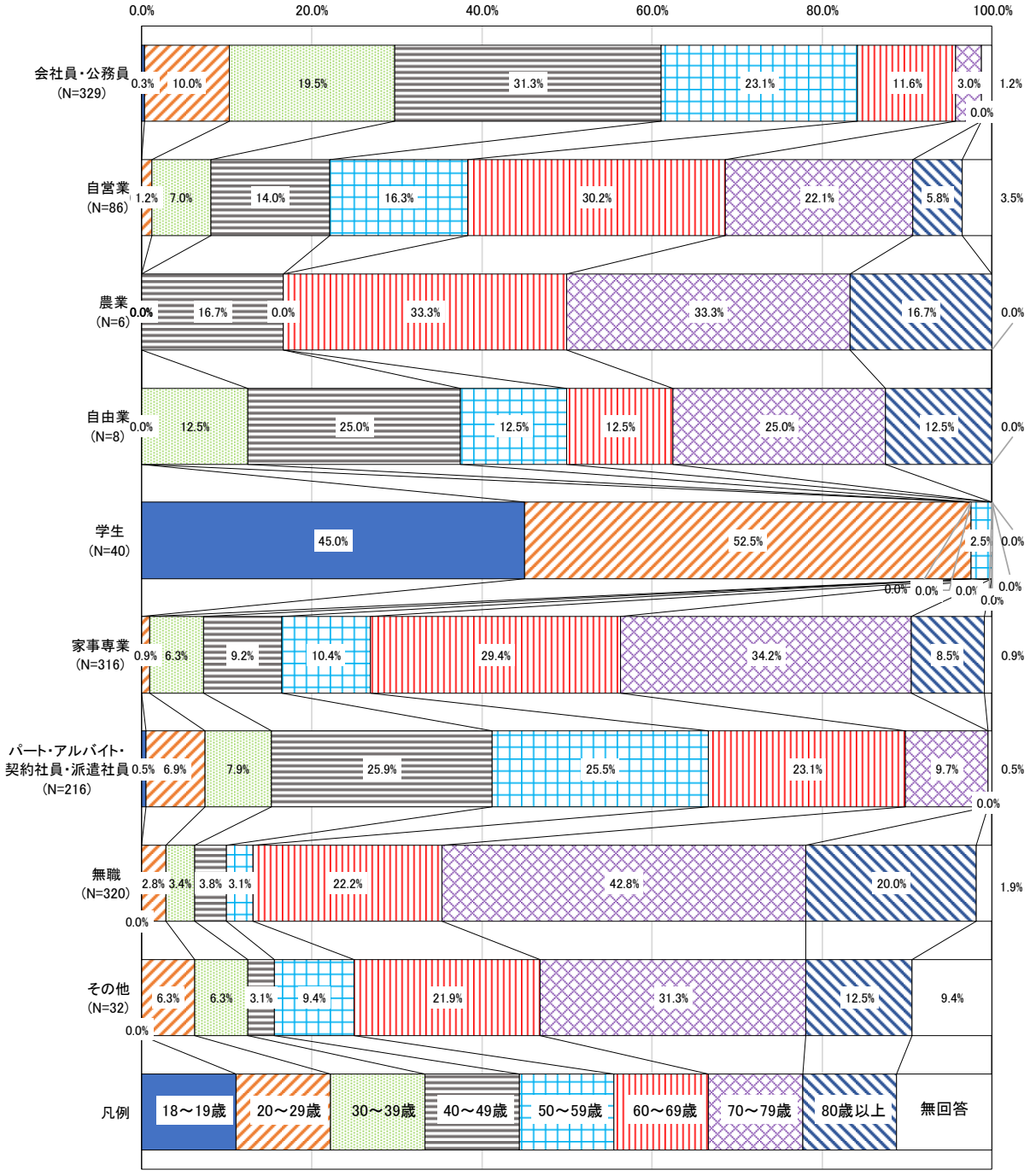
①　全体

職業構成について見ると、「会社員・公務員」が 22.5%と最も高く、次いで「無職（学生、家事専業を除く）」が 21.9%、「家事専業」が 21.6%、「パート・アルバイト・契約社員・派遣社員」が 14.8%、自営業（商業・工業・サービス業）が 5.9%、学生が 2.7%、自由業（弁護士・芸術家など）が 0.5%、農業が 0.4%の順となっている。



②　職業の年代別内訳

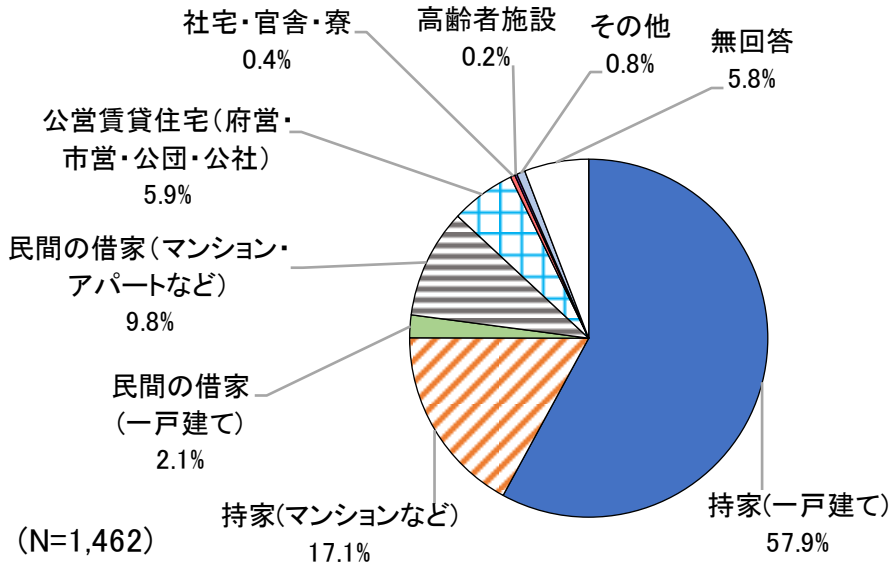
「会社員・公務員」「パート・アルバイト・契約社員・派遣社員」では 40 歳代、50 歳代、「自営業（商業・工業・サービス業)」「農業」「家事専業」「無職（学生、家事専業を除く)」では 60 歳代、70 歳代の割合が高くなっている。



（５） 住宅形態

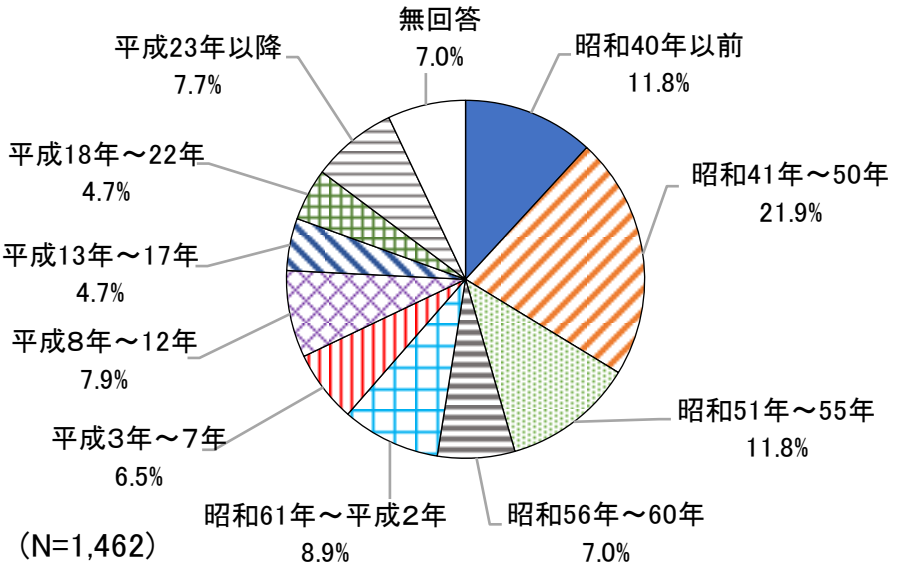
住宅形態について見ると、「持家（一戸建て）」が 57.9％と最も高く、「持家（マンションなど）」の 17.1％を合わせた持家居住者の合計は、75.0％となっている。

また、「持家（一戸建て）」と「民間の借家（一戸建て）」を合わせた一戸建て居住者は、60.0％となっている。



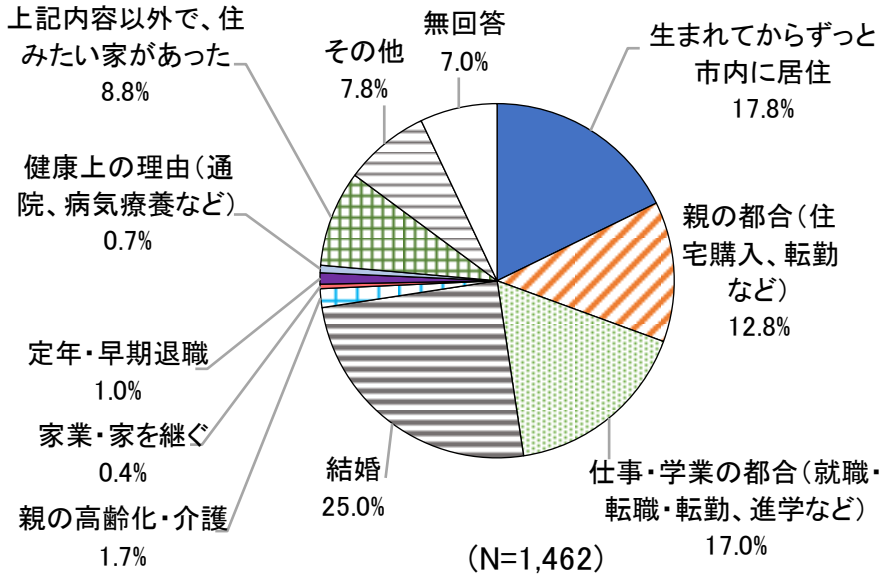
（６） 居住時期

居住時期について見ると、「昭和 41 年～50 年」が 21.9％と最も高く、次いで「昭和 40 年以前」と「昭和 51 年～55 年」が 11.8％、「昭和 61 年～平成２年」が 8.9％、「平成８年～12 年」が 7.9％、「平成 23 年以降」が 7.7％、「昭和 56 年～60 年」が 7.0％、「平成３年～７年」が 6.5％、「平成 13 年～17 年」と「平成 18 年～22 年」が 4.7％の順となっている。



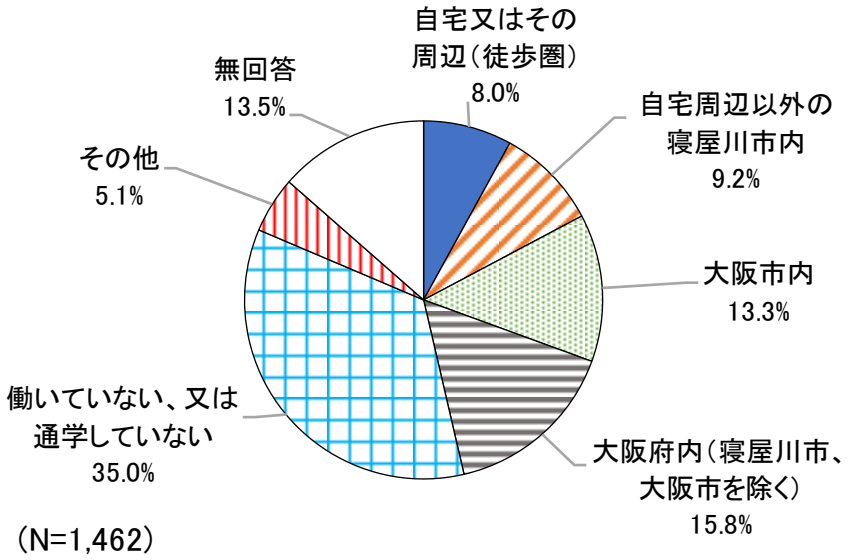
（７） 寝屋川市に住むことになったきっかけ

寝屋川市に住むことになったきっかけについて見ると、「結婚」が 25.0%と最も高く、次いで「生まれてからずっと市内に居住」が 17.8%、「仕事・学業の都合（就職・転職・転勤、進学など）」が 17.0%、「親の都合（住宅購入・転勤など）」が 12.8%の順となっている。



（８） 職場・通勤先

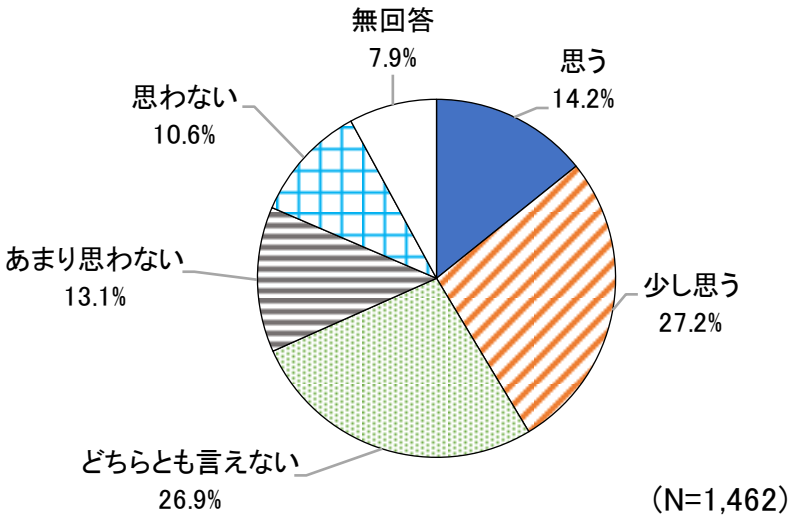
職場・通学先について見ると、「働いていない、又は通学していない」が 35.0%と最も高く、次いで「大阪府内（寝屋川市・大阪市を除く）」が 15.8%、「大阪市内」が 13.3%の順となっている。



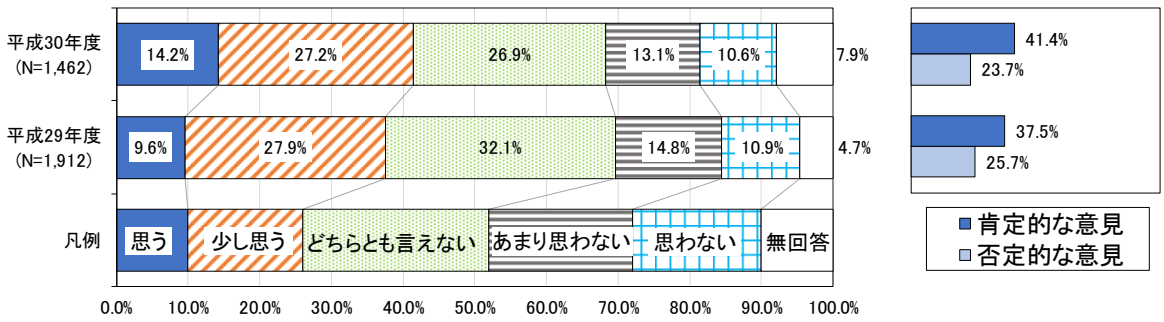
（９） 地域活動（自治会の活動、ボランティア活動など）への参加意向

地域をより良くするために、自身ができる活動（地域協働、自治会の活動、ボランティア活動など）の参加意向をみると、「少し思う」が 27.2%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 26.9%、「思う」が 14.2%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』が 41.4%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』が 23.7%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



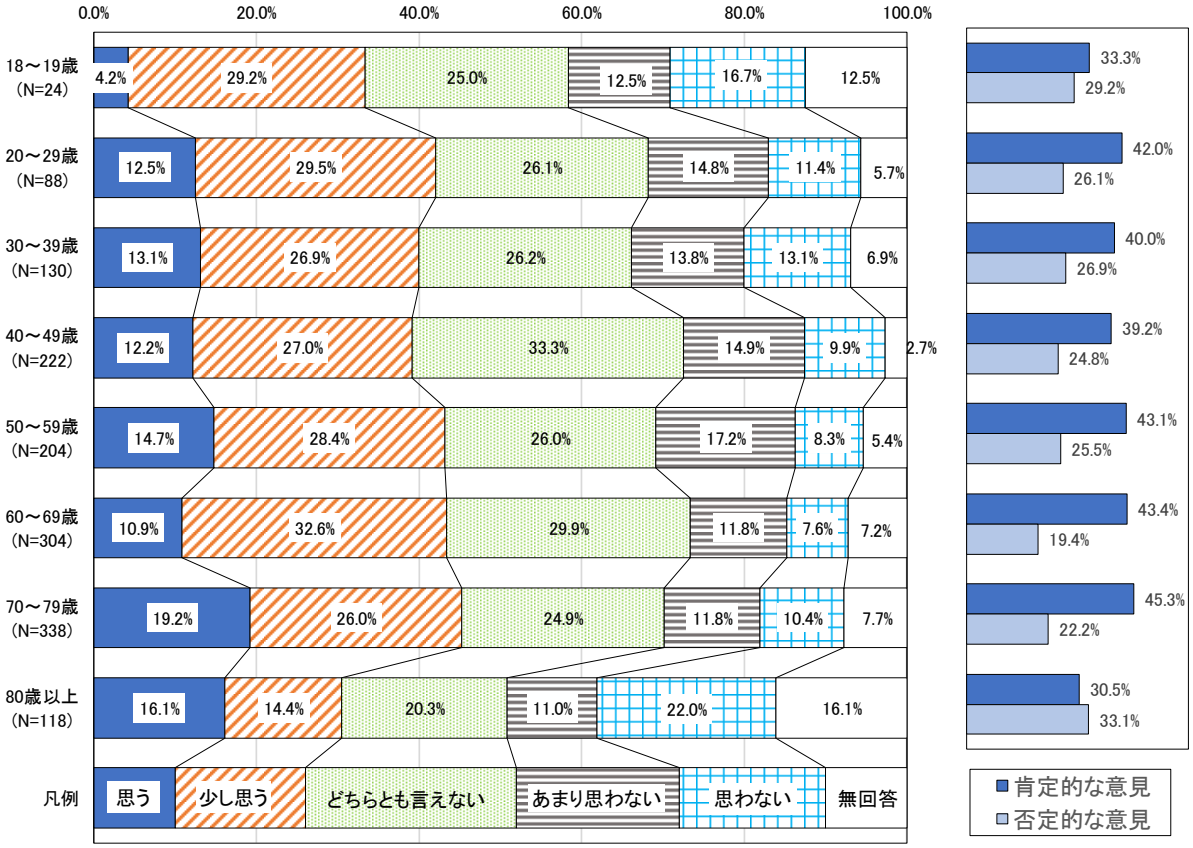
①　年度別



②　年代別

80 歳以上を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 70 歳代で、次いで 60 歳代、50 歳代の順となっている。

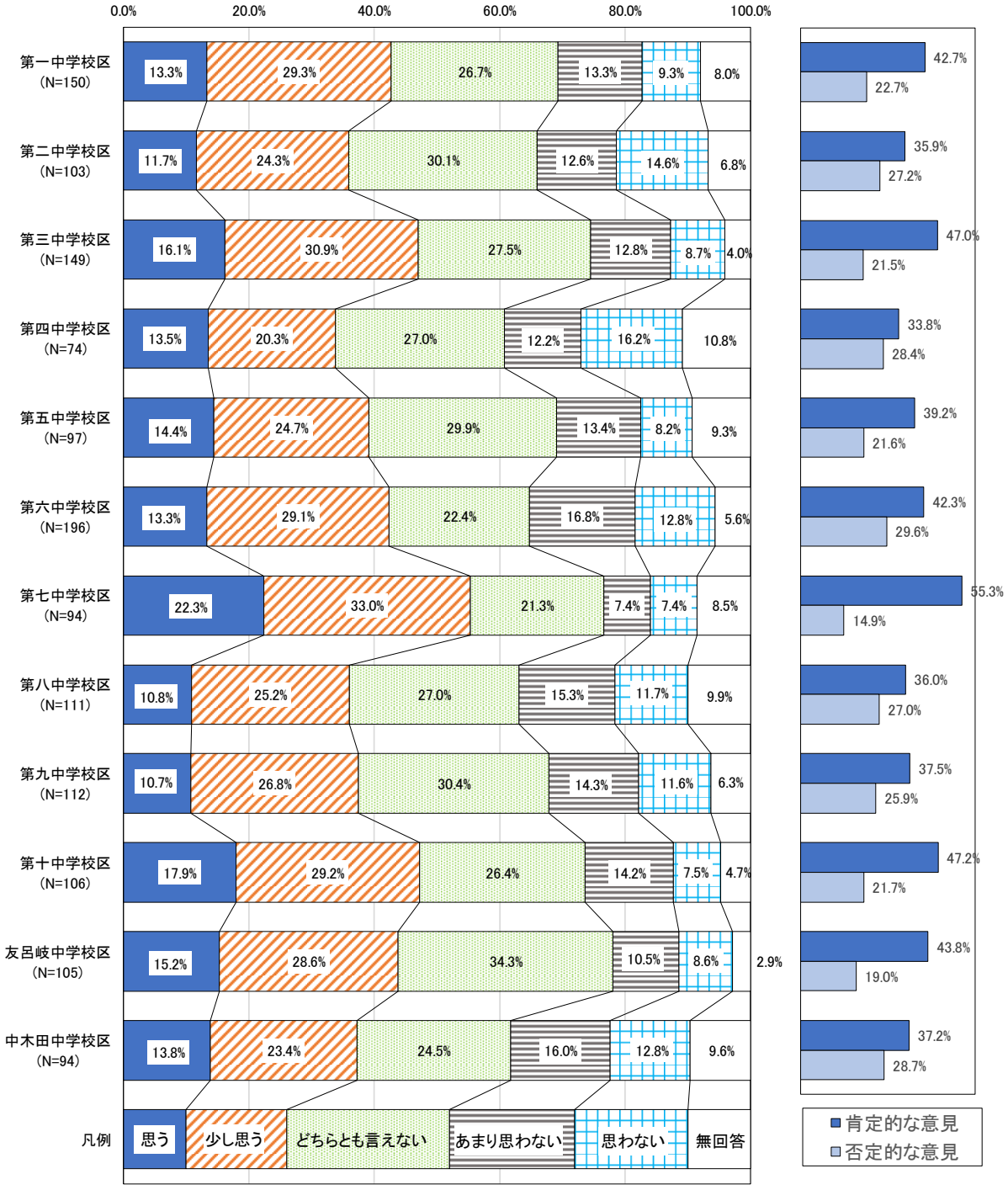
『否定的な意見』の割合は、80 歳以上、10 歳代、30 歳代の順で高くなっている。



③　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで第十、第三中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第六、中木田、第四中学校区の順で高くなっている。



（１０）回答者の傾向

このアンケート調査の対象者は、住民基本台帳から無作為に抽出したが、回収率が 100%ではないため、回答者の属性は市民（母集団）と若干のずれがある。

アンケート調査の回答者属性と住民基本台帳（平成 30 年 7 月 1 日現在）を比較すると、回答者の傾向は以下のとおりである。

- 男性の構成比が低く、女性が高くなっている。
- 60 歳代から 70 歳代までの構成比が高くなっている。
- 中学校区別の人口構成比は、おおむね母集団を反映している。

図表１　18 歳以上の男女別人口と回答者

	住民基本台帳		アンケート調査		差
	人口（人）	構成比（%）	回答者（人）	構成比（%）	
合計	199,699	100.0	1,462	100.0	－
男性	95,682	47.9	543	37.1	▲10.8%
女性	104,017	52.1	817	55.9	3.8%
無回答	－	－	102	7.0	－

図表２　18 歳以上の年代別人口と回答者

	住民基本台帳		アンケート調査		差
	人口（人）	構成比（%）	回答者（人）	構成比（%）	
合計	199,699	100.0	1,462	100.0	－
18～19 歳	4,854	2.4	24	1.6	▲0.8%
20～29 歳	22,228	11.1	88	6.0	▲5.1%
30～39 歳	24,739	12.4	130	8.9	▲3.5%
40～49 歳	38,109	19.1	222	15.2	▲3.9%
50～59 歳	29,288	14.7	204	14.0	▲0.7%
60～69 歳	30,397	15.2	304	20.8	5.6%
70～79 歳	32,874	16.5	338	23.1	6.6%
80 歳以上	17,210	8.6	118	8.1	▲0.5%
無回答	－	－	34	2.3	－

図表３　18 歳以上の小中学校区別人口と回答者

	住民基本台帳		アンケート調査		差
	人口（人）	構成比（%）	回答者（人）	構成比（%）	
合計	199,699	100.0	1,462	100.0	―
第一	20,107	10.1	150	10.3	0.2%
東	9,725	4.9	75	5.1	0.2%
中央	10,382	5.2	75	5.1	▲0.1%
第二	18,413	9.2	103	7.0	▲2.2%
池田	10,349	5.2	69	4.7	▲0.5%
桜	8,064	4.0	34	2.3	▲1.7%
第三	21,512	10.8	149	10.2	▲0.6%
北	13,146	6.6	90	6.2	▲0.4%
田井	8,366	4.2	59	4.0	▲0.2%
第四	10,863	5.4	74	5.1	▲0.3%
明和	5,999	3.0	36	2.5	▲0.5%
梅が丘	4,864	2.4	38	2.6	0.2%
第五	17,315	8.7	97	6.6	▲2.1%
神田	7,968	4.0	45	3.1	▲0.9%
和光	9,347	4.7	52	3.6	▲1.1%
第六	24,431	12.2	196	13.4	1.2%
第五	16,885	8.5	142	9.7	1.2%
国松緑丘	7,546	3.8	54	3.7	▲0.1%
第七	14,426	7.2	94	6.4	▲0.8%
南	8,795	4.4	60	4.1	▲0.3%
堀溝	5,631	2.8	34	2.3	▲0.5%
第八	15,253	7.6	111	7.6	0.0%
西	6,626	3.3	53	3.6	0.3%
点野	8,627	4.3	58	4.0	▲0.3%
第九	16,212	8.1	112	7.7	▲0.4%
成美	8,115	4.1	63	4.3	0.2%
啓明	8,097	4.1	49	3.4	▲0.7%
第十	14,824	7.4	106	7.3	▲0.1%
三井	8,234	4.1	53	3.6	▲0.5%
宇谷	6,590	3.3	53	3.6	0.3%
友呂岐	13,897	7.0	105	7.2	0.2%
木屋	8,788	4.4	68	4.7	0.3%
石津	5,109	2.6	37	2.5	▲0.1%
中木田	12,446	6.2	94	6.4	0.2%
木田	8,217	4.1	65	4.4	0.3%
楠根	4,229	2.1	29	2.0	▲0.1%
無回答	―	―	71	4.9	―

１．寝屋川市の印象などについて

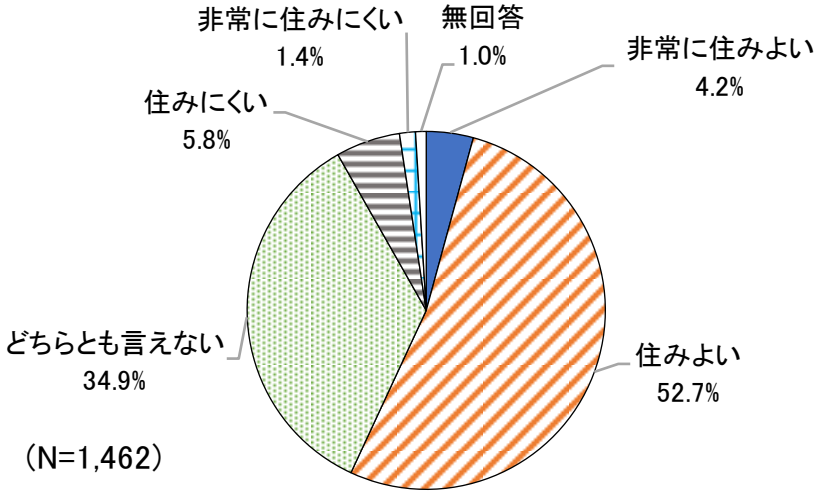
（１） 寝屋川市について

問１　あなたは、寝屋川市を住みよいまちだと思いますか。

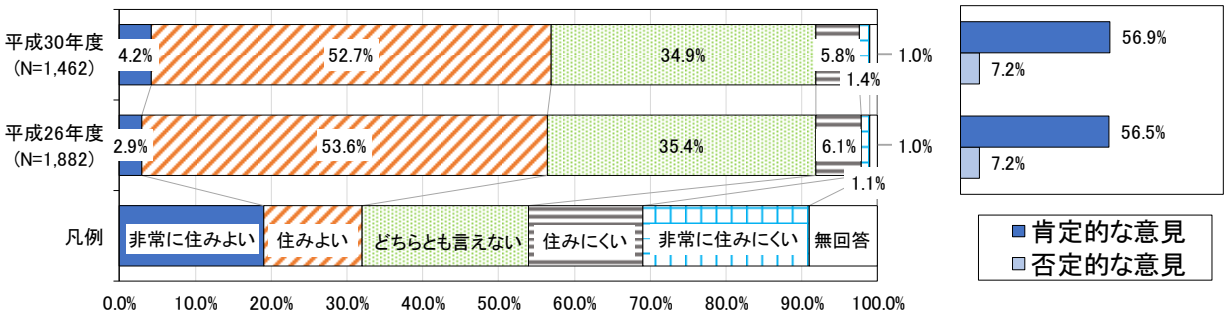
①　全体

「住みよい」が 52.7%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 34.9%、「住みにくい」が 5.8%の順となっている。

「非常に住みよい」「住みよい」を合わせた『肯定的な意見』は 56.9%、「住みにくい」と「非常に住みにくい」を合わせた『否定的な意見』は 7.2%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



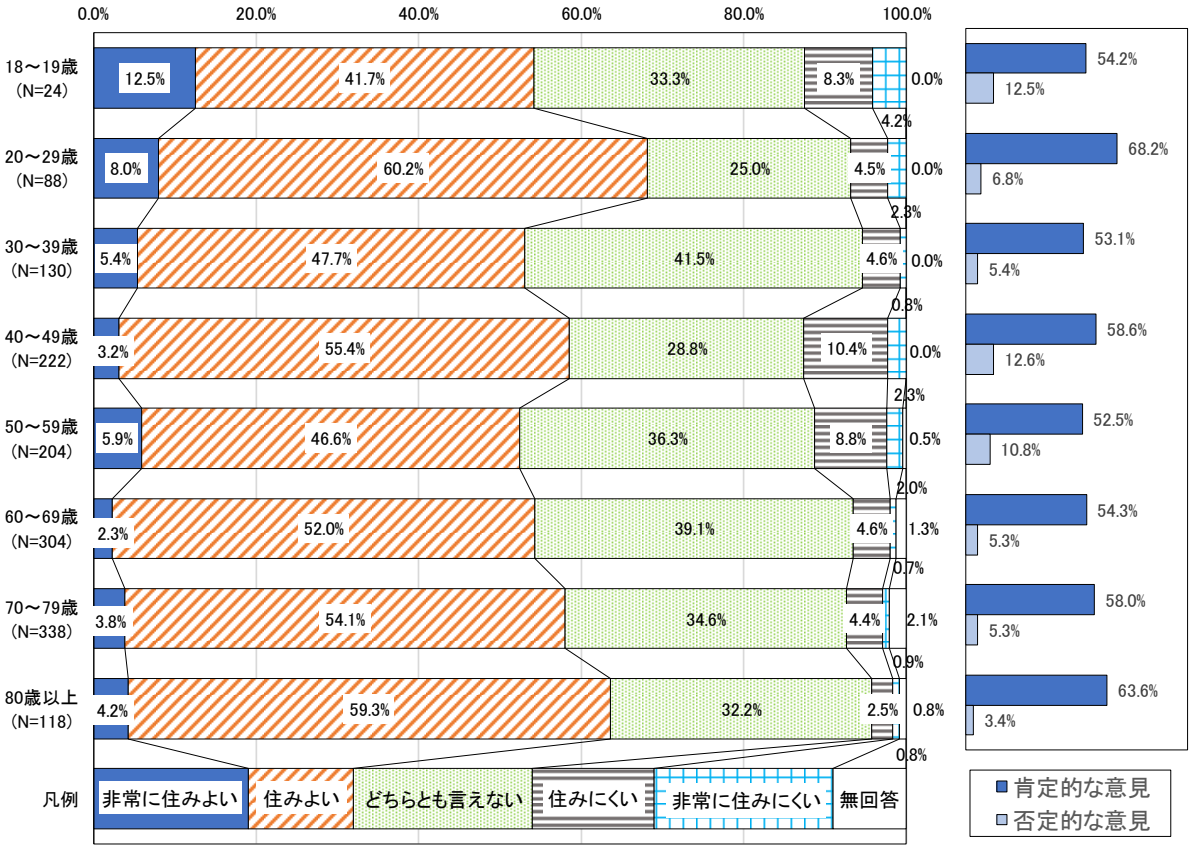
②　年度別



③　年代別

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 20 歳代で、次いで 80 歳以上、40 歳代の順となっている。

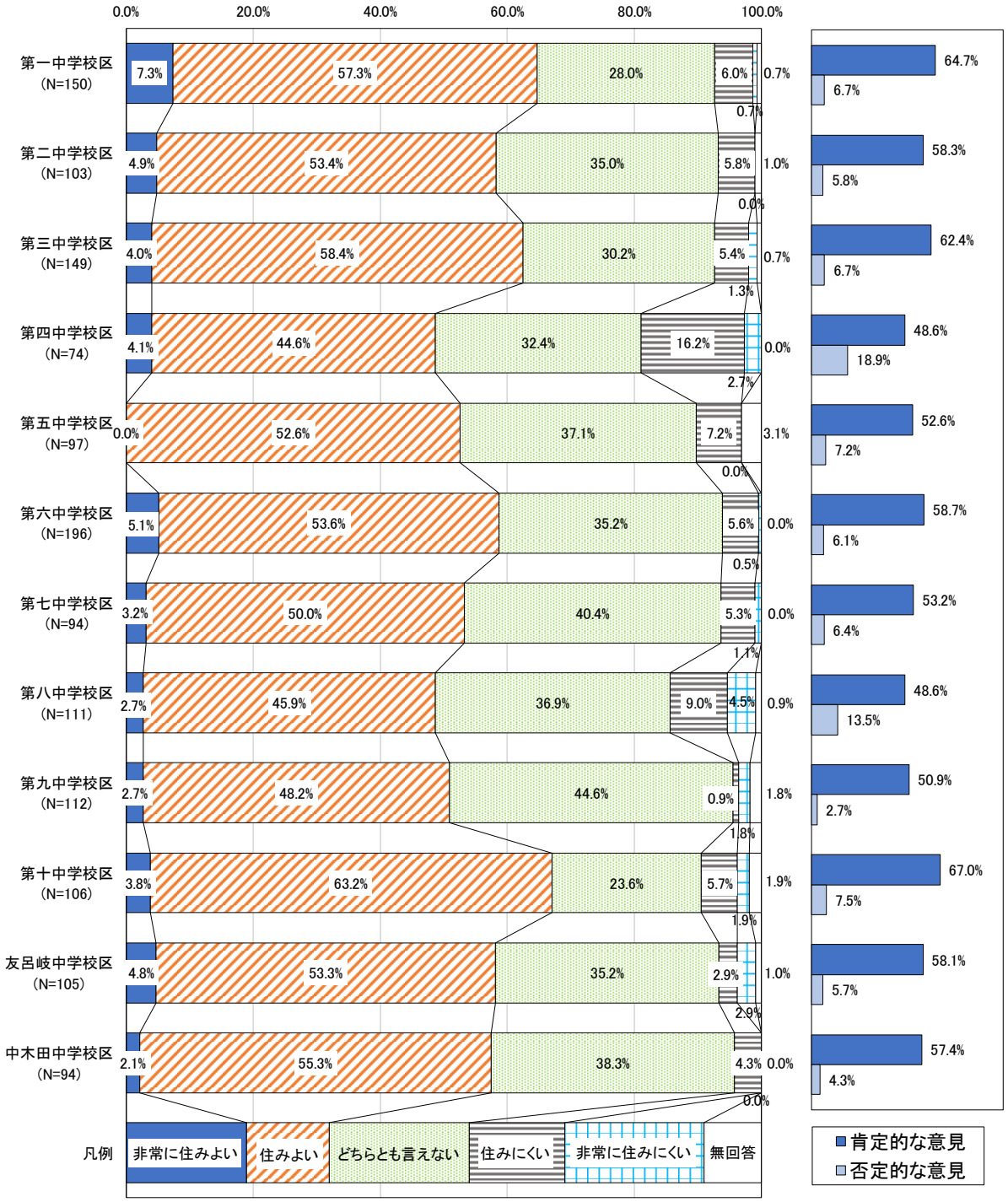
『否定的な意見』の割合は、40 歳代、10 歳代、50 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第十中学校区で、次いで第一、第三中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第四、第八、第十中学校区の順で高くなっている。

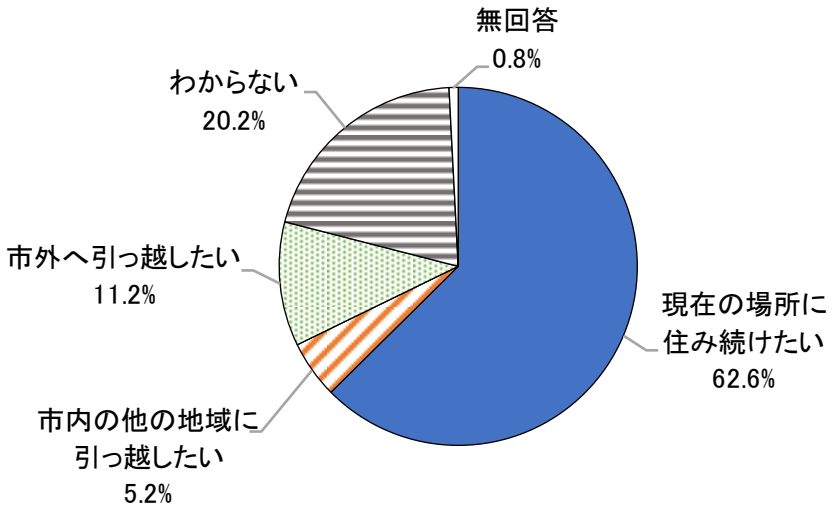


問２　あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思いますか。

①　全体

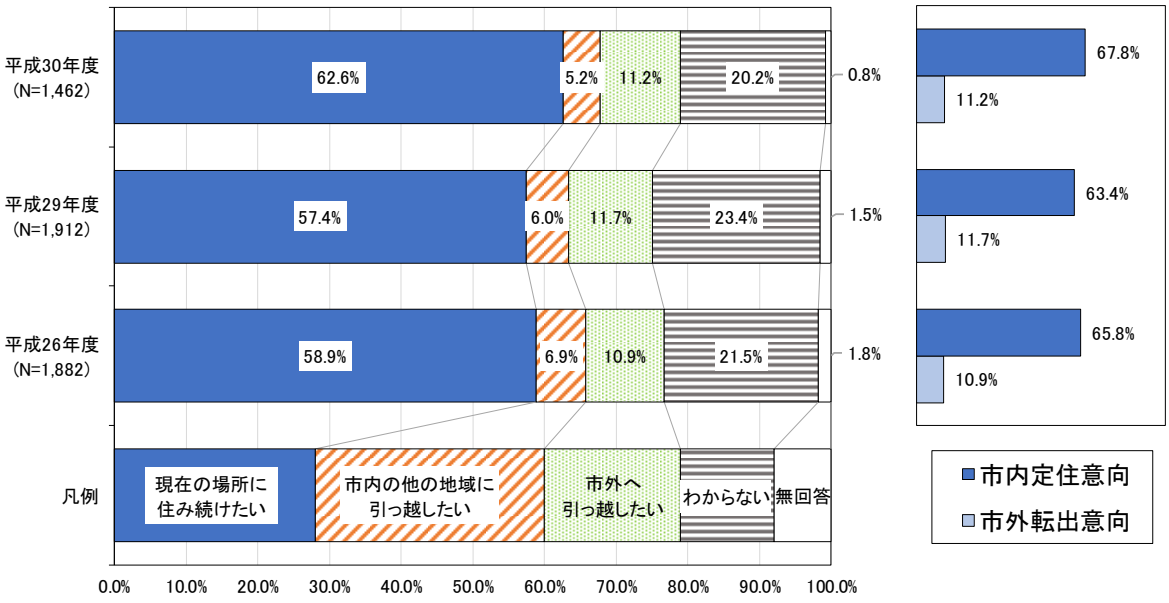
「現在の場所に住み続けたい」が 62.6%で最も高く、次いで「わからない」が 20.2%、「市外へ引っ越したい」が 11.2%の順となっている。

「現在の場所に住み続けたい」と「市内の他の地域に引っ越したい」を合わせた『市内定住意向』は 67.8%、「市外へ引っ越したい」の『市外定住意向』は 11.2%となっており、『市内定住意向』が『市外定住意向』を上回っている。



（N=1,462）

②　年度別

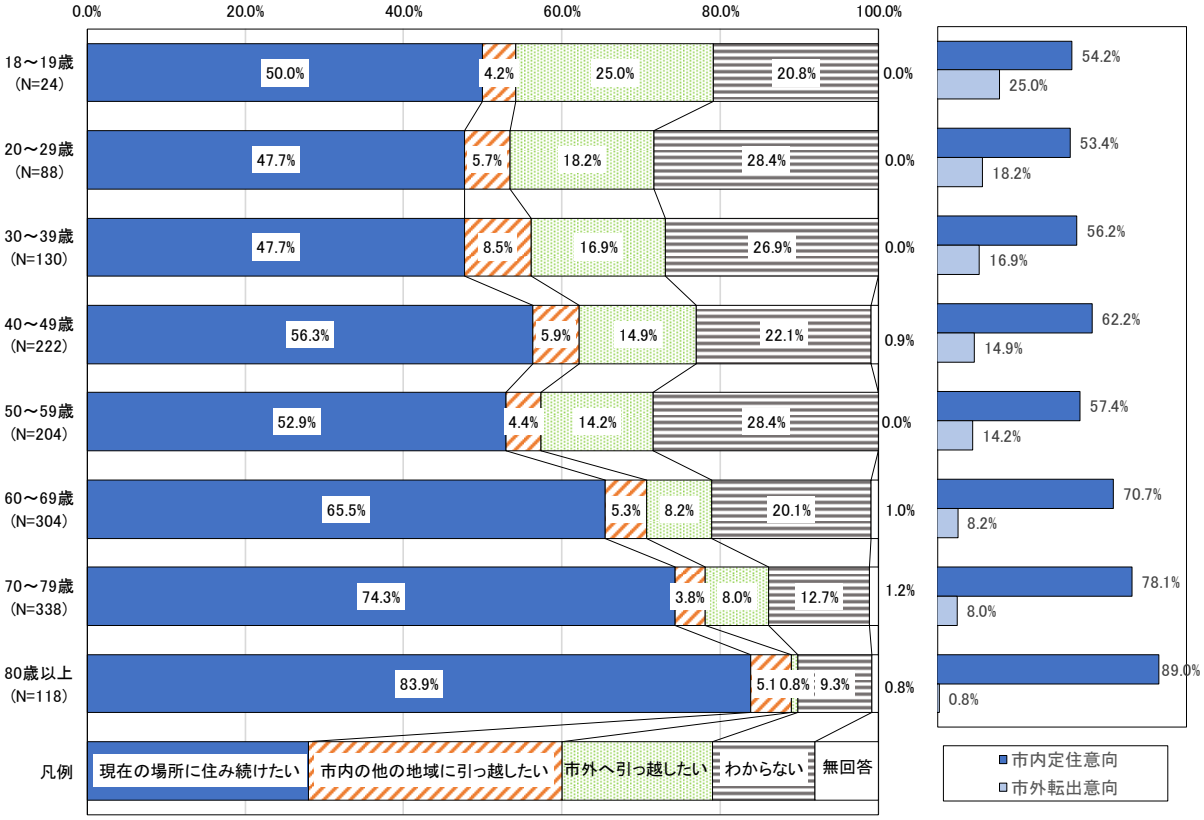


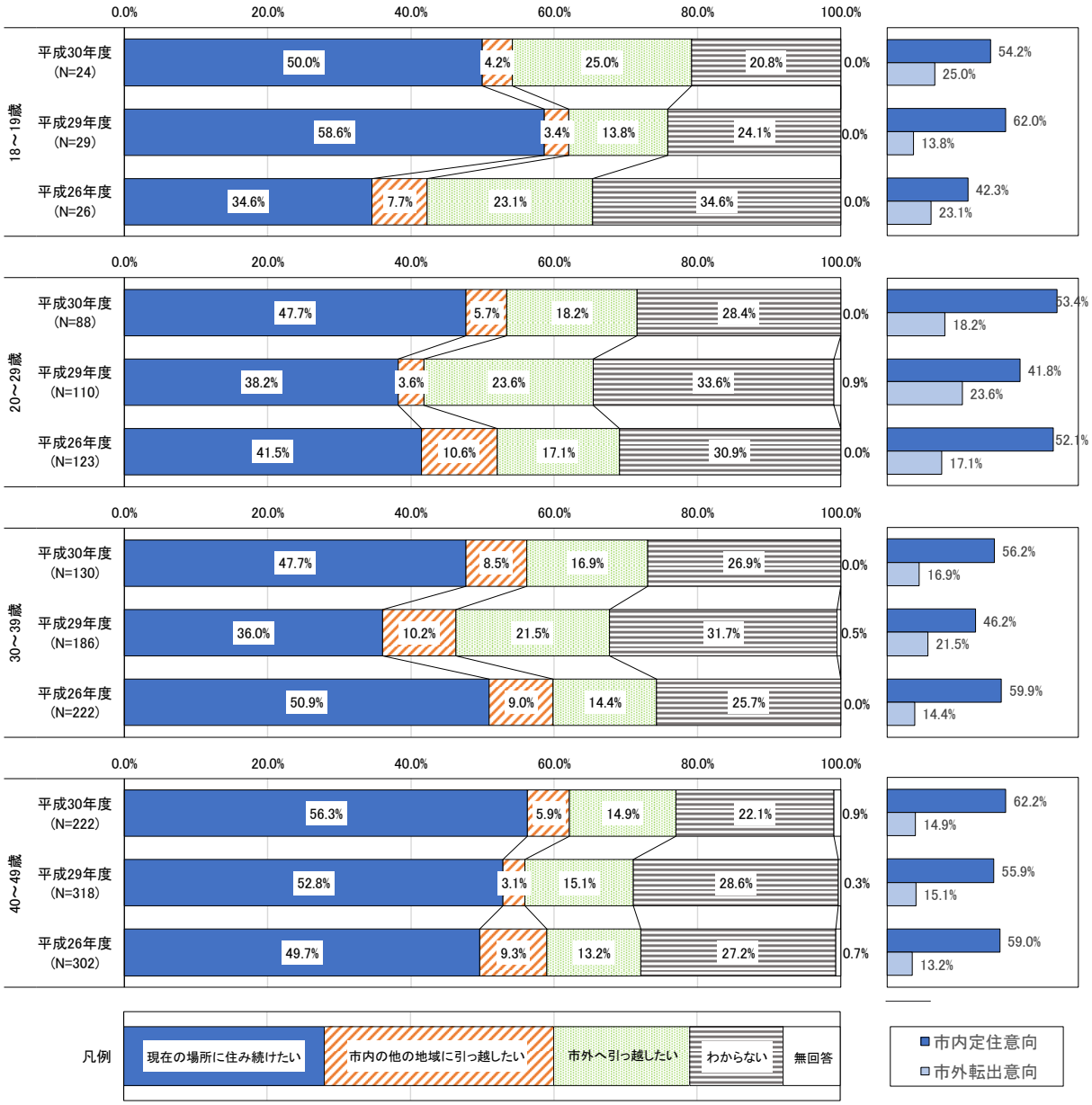
③　年代別

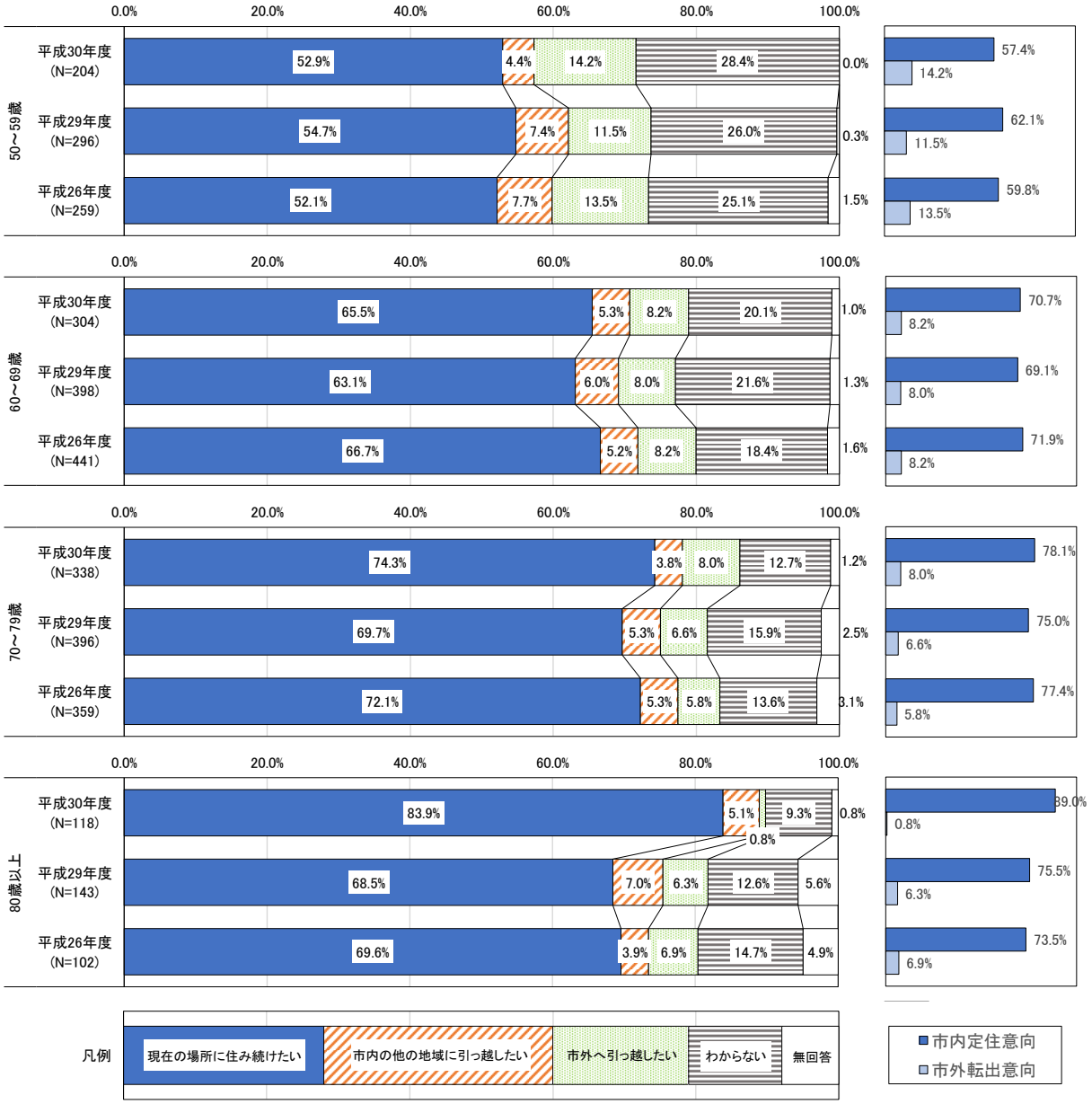
全ての年代において『市内定住意向』が『市外定住意向』を上回っており、『市内定住意向』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 70 歳代、60 歳代の順となっている。

『市外定住意向』の割合は、10 歳代、20 歳代、30 歳代の順で高くなっている。

平成 26 年度及び平成 29 年度の調査と比較すると、「現在の場所に住み続けたい」の割合は、40 歳代において年度が経過するにつれ高くなっている。




0.0%
20.0%
40.0%
60.0%
80.0%
100.0%
18～19歳
平成30年度 (N=24)
50.0%
4.2%
25.0%
20.8%
0.0%
54.2%
25.0%
平成29年度 (N=29)
58.6%
3.4%
13.8%
24.1%
0.0%
62.0%
13.8%
平成26年度 (N=26)
34.6%
7.7%
23.1%
34.6%
0.0%
42.3%
23.1%
20～29歳
平成30年度 (N=88)
47.7%
5.7%
18.2%
28.4%
0.0%
53.4%
18.2%
平成29年度 (N=110)
38.2%
3.6%
23.6%
33.6%
0.9%
41.8%
23.6%
平成26年度 (N=123)
41.5%
10.6%
17.1%
30.9%
0.0%
52.1%
17.1%
30～39歳
平成30年度 (N=130)
47.7%
8.5%
16.9%
26.9%
0.0%
56.2%
16.9%
平成29年度 (N=186)
36.0%
10.2%
21.5%
31.7%
0.5%
46.2%
21.5%
平成26年度 (N=222)
50.9%
9.0%
14.4%
25.7%
0.0%
59.9%
14.4%
40～49歳
平成30年度 (N=222)
56.3%
5.9%
14.9%
22.1%
0.9%
62.2%
14.9%
平成29年度 (N=318)
52.8%
3.1%
15.1%
28.6%
0.3%
55.9%
15.1%
平成26年度 (N=302)
49.7%
9.3%
13.2%
27.2%
0.7%
59.0%
13.2%
凡例
現在の場所に住み続けたい
市内の他の地域に引っ越したい
市外へ引っ越したい
わからない
無回答
市内定住意向
市外転出意向

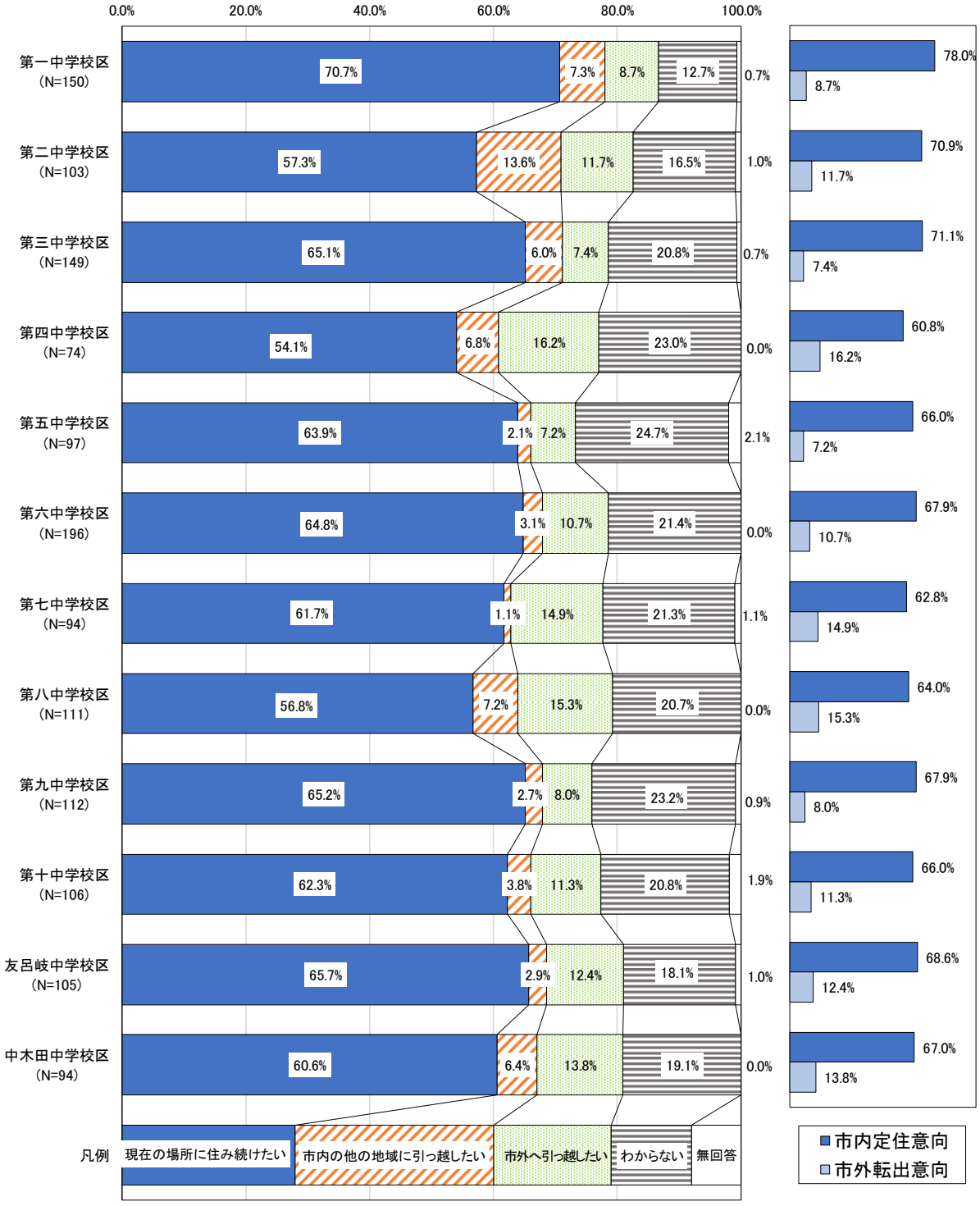

0.0%
20.0%
40.0%
60.0%
80.0%
100.0%
50～59歳
平成30年度 (N=204)
52.9%
4.4%
14.2%
28.4%
0.0%
57.4%
14.2%
平成29年度 (N=296)
54.7%
7.4%
11.5%
26.0%
0.3%
62.1%
11.5%
平成26年度 (N=259)
52.1%
7.7%
13.5%
25.1%
1.5%
59.8%
13.5%
60～69歳
平成30年度 (N=304)
65.5%
5.3%
8.2%
20.1%
1.0%
70.7%
8.2%
平成29年度 (N=398)
63.1%
6.0%
8.0%
21.6%
1.3%
69.1%
8.0%
平成26年度 (N=441)
66.7%
5.2%
8.2%
18.4%
1.6%
71.9%
8.2%
70～79歳
平成30年度 (N=338)
74.3%
3.8%
8.0%
12.7%
1.2%
78.1%
8.0%
平成29年度 (N=396)
69.7%
5.3%
6.6%
15.9%
2.5%
75.0%
6.6%
平成26年度 (N=359)
72.1%
5.3%
5.8%
13.6%
3.1%
77.4%
5.8%
80歳以上
平成30年度 (N=118)
83.9%
5.1%
9.3%
0.8%
0.8%
89.0%
0.8%
平成29年度 (N=143)
68.5%
7.0%
6.3%
12.6%
5.6%
75.5%
6.3%
平成26年度 (N=102)
69.6%
3.9%
6.9%
14.7%
4.9%
73.5%
6.9%
凡例
現在の場所に住み続けたい
市内の他の地域に引っ越したい
市外へ引っ越したい
わからない
無回答
市内定住意向
市外転出意向

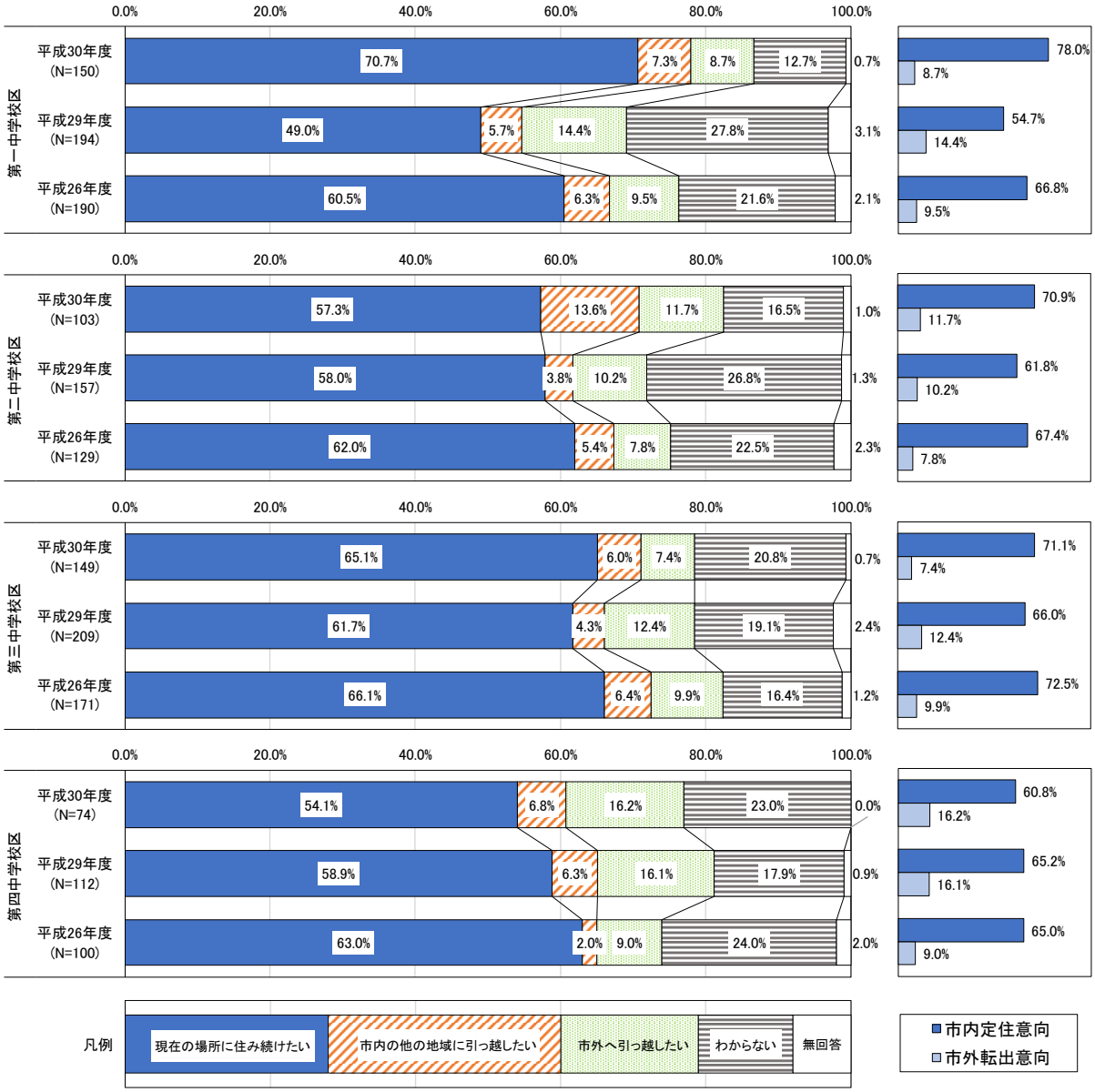
④　中学校区別

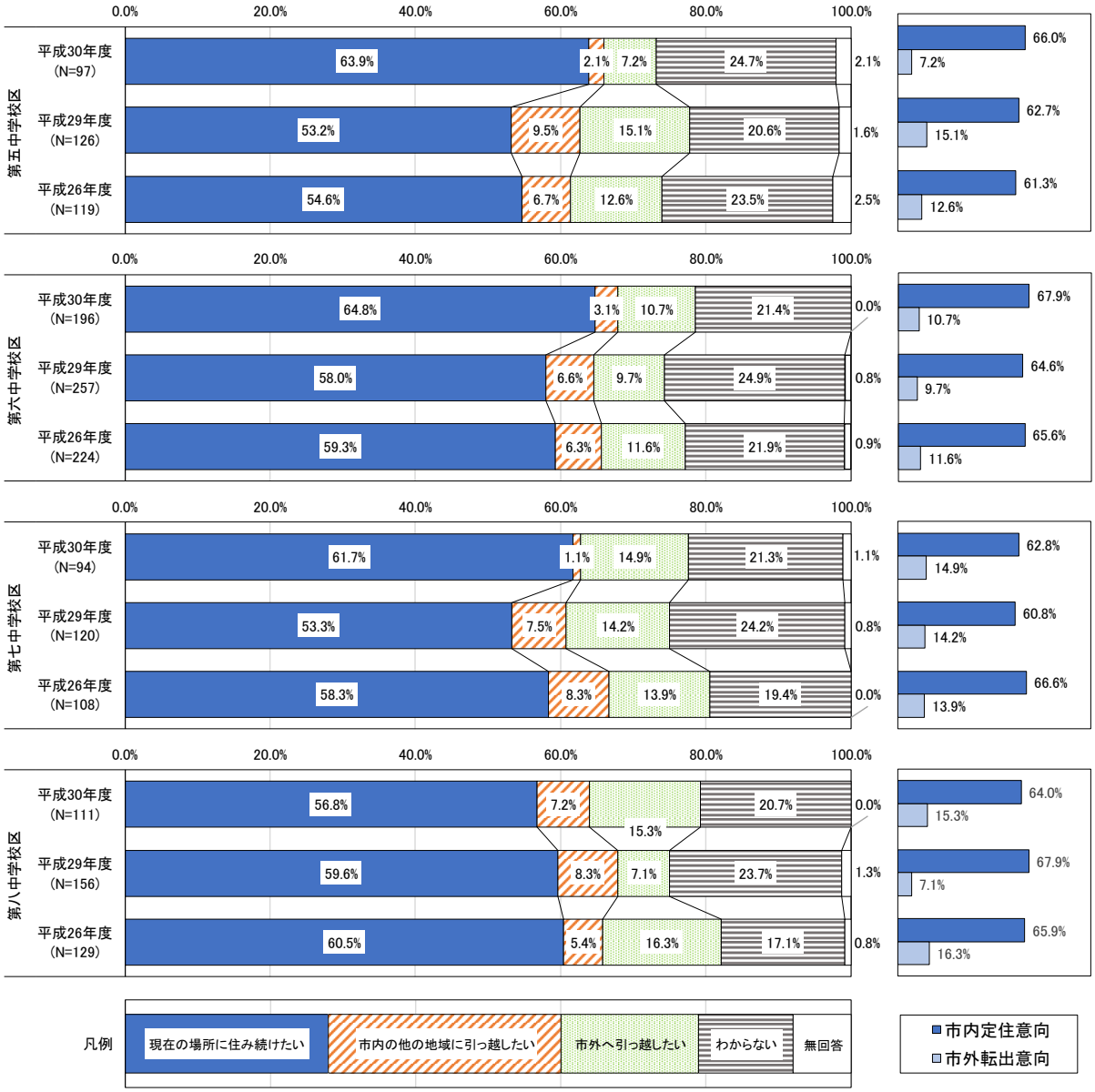
全ての中学校区において『市内定住意向』が『市外定住意向』を上回っており、『市内定住意向』の割合が最も高いのは第一中学校区で、次いで第三、第二中学校区の順となっている。

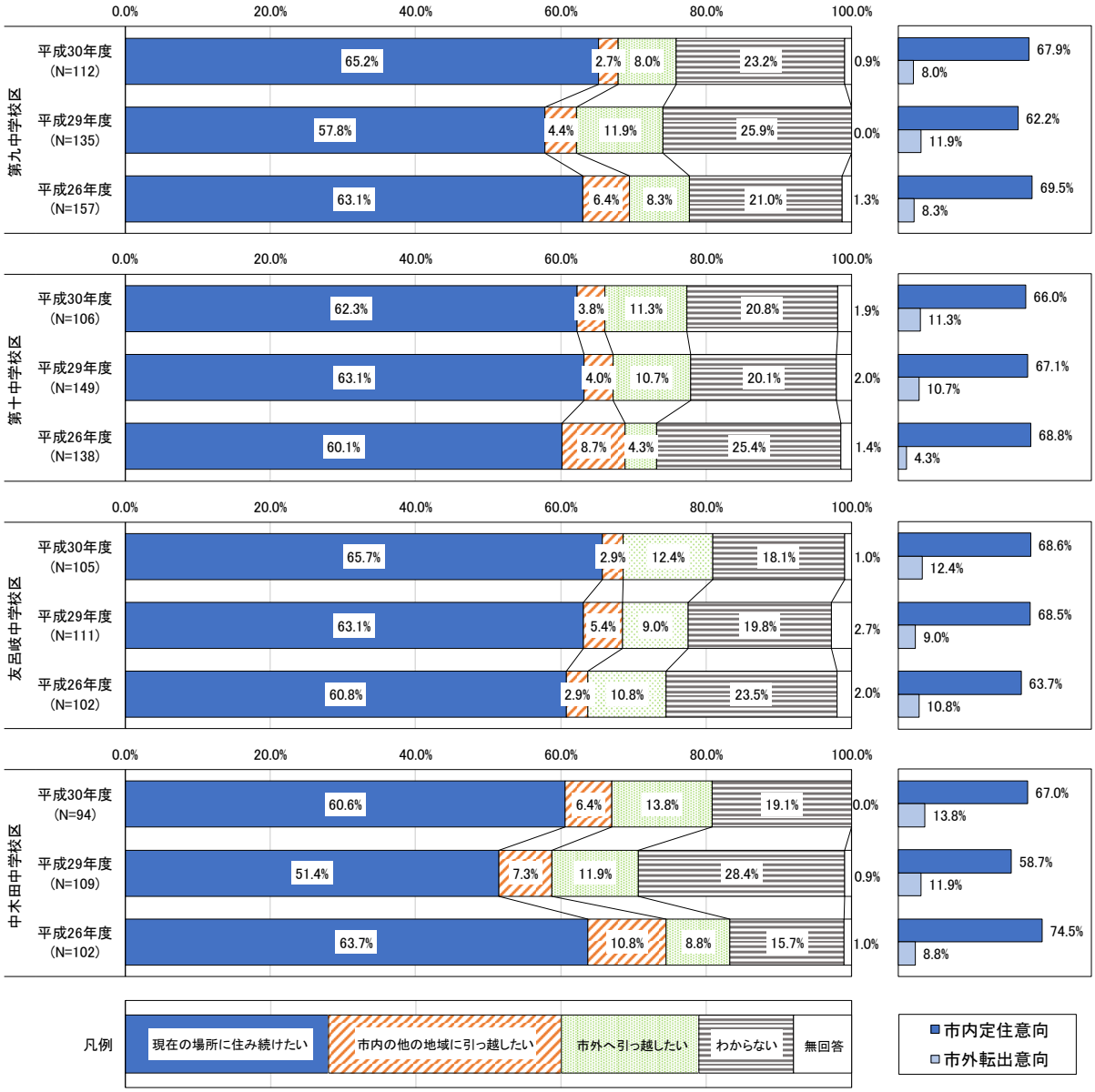
『市外定住意向』の割合は、第四、第八、第七中学校区の順で高くなっている。

平成26年度及び平成29年度の調査と比較すると、「現在の場所に住み続けたい」の割合は、友呂岐中学校区において年度が経過するにつれ高くなっており、第二、第四中学校区において年度が経過するにつれ低くなっている。




0.0%
20.0%
40.0%
60.0%
80.0%
100.0%
第一中学校区
平成30年度 (N=150)
70.7%
7.3%
8.7%
12.7%
0.7%
78.0%
8.7%
平成29年度 (N=194)
49.0%
5.7%
14.4%
27.8%
3.1%
54.7%
14.4%
平成26年度 (N=190)
60.5%
6.3%
9.5%
21.6%
2.1%
66.8%
9.5%
第二中学校区
平成30年度 (N=103)
57.3%
13.6%
11.7%
16.5%
1.0%
70.9%
11.7%
平成29年度 (N=157)
58.0%
3.8%
10.2%
26.8%
1.3%
61.8%
10.2%
平成26年度 (N=129)
62.0%
5.4%
7.8%
22.5%
2.3%
67.4%
7.8%
第三中学校区
平成30年度 (N=149)
65.1%
6.0%
7.4%
20.8%
0.7%
71.1%
7.4%
平成29年度 (N=209)
61.7%
4.3%
12.4%
19.1%
2.4%
66.0%
12.4%
平成26年度 (N=171)
66.1%
6.4%
9.9%
16.4%
1.2%
72.5%
9.9%
第四中学校区
平成30年度 (N=74)
54.1%
6.8%
16.2%
23.0%
0.0%
60.8%
16.2%
平成29年度 (N=112)
58.9%
6.3%
16.1%
17.9%
0.9%
65.2%
16.1%
平成26年度 (N=100)
63.0%
2.0%
9.0%
24.0%
2.0%
65.0%
9.0%
凡例
現在の場所に住み続けたい
市内の他の地域に引っ越したい
市外へ引っ越したい
わからない
無回答
市内定住意向
市外転出意向

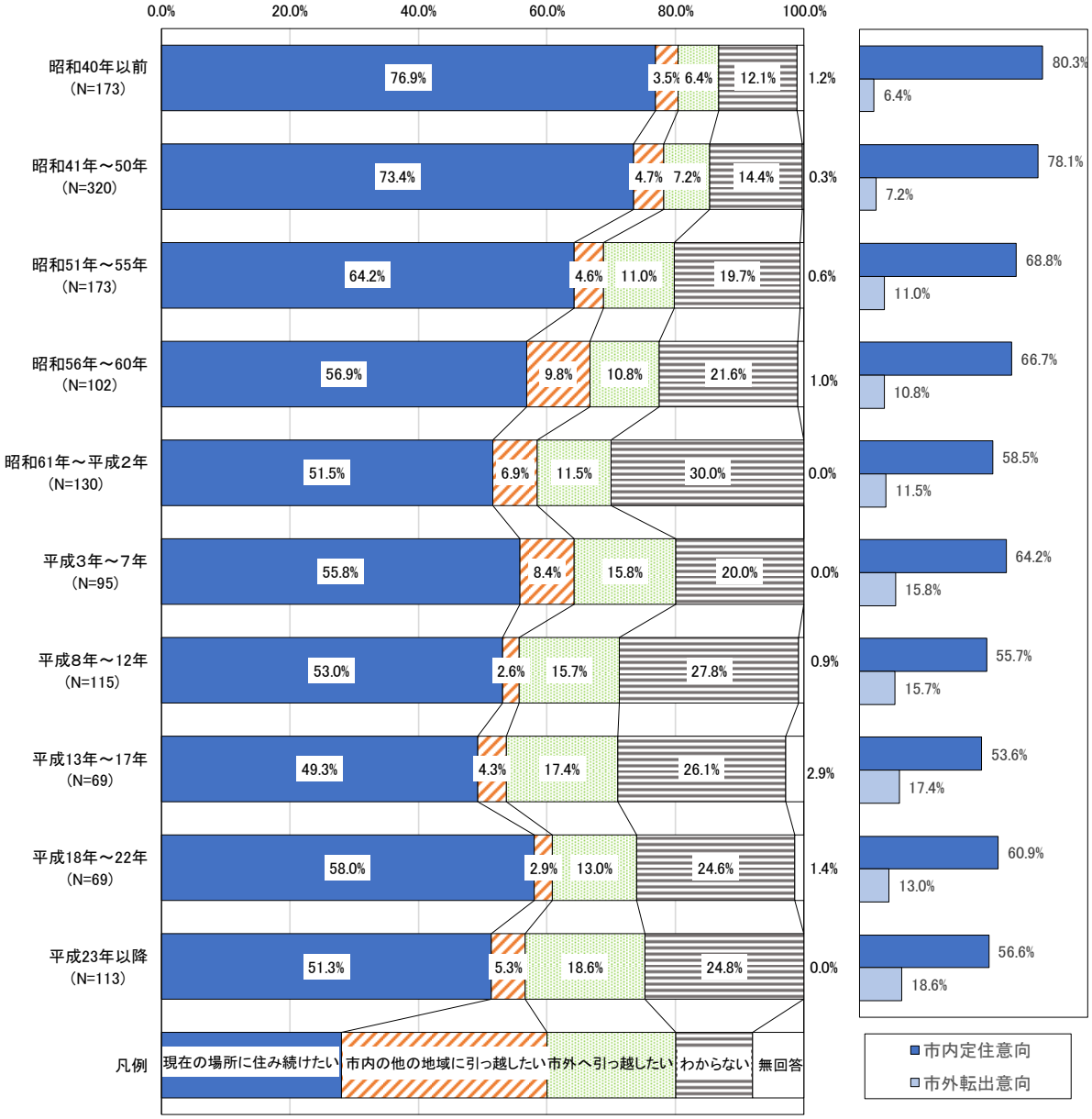

0.0%
20.0%
40.0%
60.0%
80.0%
100.0%
第五中学校区
平成30年度 (N=97)
63.9%
2.1%
7.2%
24.7%
2.1%
66.0%
7.2%
平成29年度 (N=126)
53.2%
9.5%
15.1%
20.6%
1.6%
62.7%
15.1%
平成26年度 (N=119)
54.6%
6.7%
12.6%
23.5%
2.5%
61.3%
12.6%
第六中学校区
平成30年度 (N=196)
64.8%
3.1%
10.7%
21.4%
0.0%
67.9%
10.7%
平成29年度 (N=257)
58.0%
6.6%
9.7%
24.9%
0.8%
64.6%
9.7%
平成26年度 (N=224)
59.3%
6.3%
11.6%
21.9%
0.9%
65.6%
11.6%
第七中学校区
平成30年度 (N=94)
61.7%
1.1%
14.9%
21.3%
1.1%
62.8%
14.9%
平成29年度 (N=120)
53.3%
7.5%
14.2%
24.2%
0.8%
60.8%
14.2%
平成26年度 (N=108)
58.3%
8.3%
13.9%
19.4%
0.0%
66.6%
13.9%
第八中学校区
平成30年度 (N=111)
56.8%
7.2%
15.3%
20.7%
0.0%
64.0%
15.3%
平成29年度 (N=156)
59.6%
8.3%
7.1%
23.7%
1.3%
67.9%
7.1%
平成26年度 (N=129)
60.5%
5.4%
16.3%
17.1%
0.8%
65.9%
16.3%
凡例
現在の場所に住み続けたい
市内の他の地域に引っ越したい
市外へ引っ越したい
わからない
無回答
市内定住意向
市外転出意向


0.0%
20.0%
40.0%
60.0%
80.0%
100.0%
第九中学校区
平成30年度 (N=112)
65.2%
2.7%
8.0%
23.2%
0.9%
67.9%
8.0%
平成29年度 (N=135)
57.8%
4.4%
11.9%
25.9%
0.0%
62.2%
11.9%
平成26年度 (N=157)
63.1%
6.4%
8.3%
21.0%
1.3%
69.5%
8.3%
第十中学校区
平成30年度 (N=106)
62.3%
3.8%
11.3%
20.8%
1.9%
66.0%
11.3%
平成29年度 (N=149)
63.1%
4.0%
10.7%
20.1%
2.0%
67.1%
10.7%
平成26年度 (N=138)
60.1%
8.7%
4.3%
25.4%
1.4%
68.8%
4.3%
友呂岐中学校区
平成30年度 (N=105)
65.7%
2.9%
12.4%
18.1%
1.0%
68.6%
12.4%
平成29年度 (N=111)
63.1%
5.4%
9.0%
19.8%
2.7%
68.5%
9.0%
平成26年度 (N=102)
60.8%
2.9%
10.8%
23.5%
2.0%
63.7%
10.8%
中木田中学校区
平成30年度 (N=94)
60.6%
6.4%
13.8%
19.1%
0.0%
67.0%
13.8%
平成29年度 (N=109)
51.4%
7.3%
11.9%
28.4%
0.9%
58.7%
11.9%
平成26年度 (N=102)
63.7%
10.8%
8.8%
15.7%
1.0%
74.5%
8.8%
凡例
現在の場所に住み続けたい
市内の他の地域に引っ越したい
市外へ引っ越したい
わからない
無回答
市内定住意向
市外転出意向

⑤　居住時期別

全ての居住時期において『市内定住意向』が『市外定住意向』を上回っており、『市内定住意向』の割合が最も高いのは「昭和 40 年以前」で、次いで「昭和 41 年～50 年」、「昭和 51 年～55 年」の順となっている。

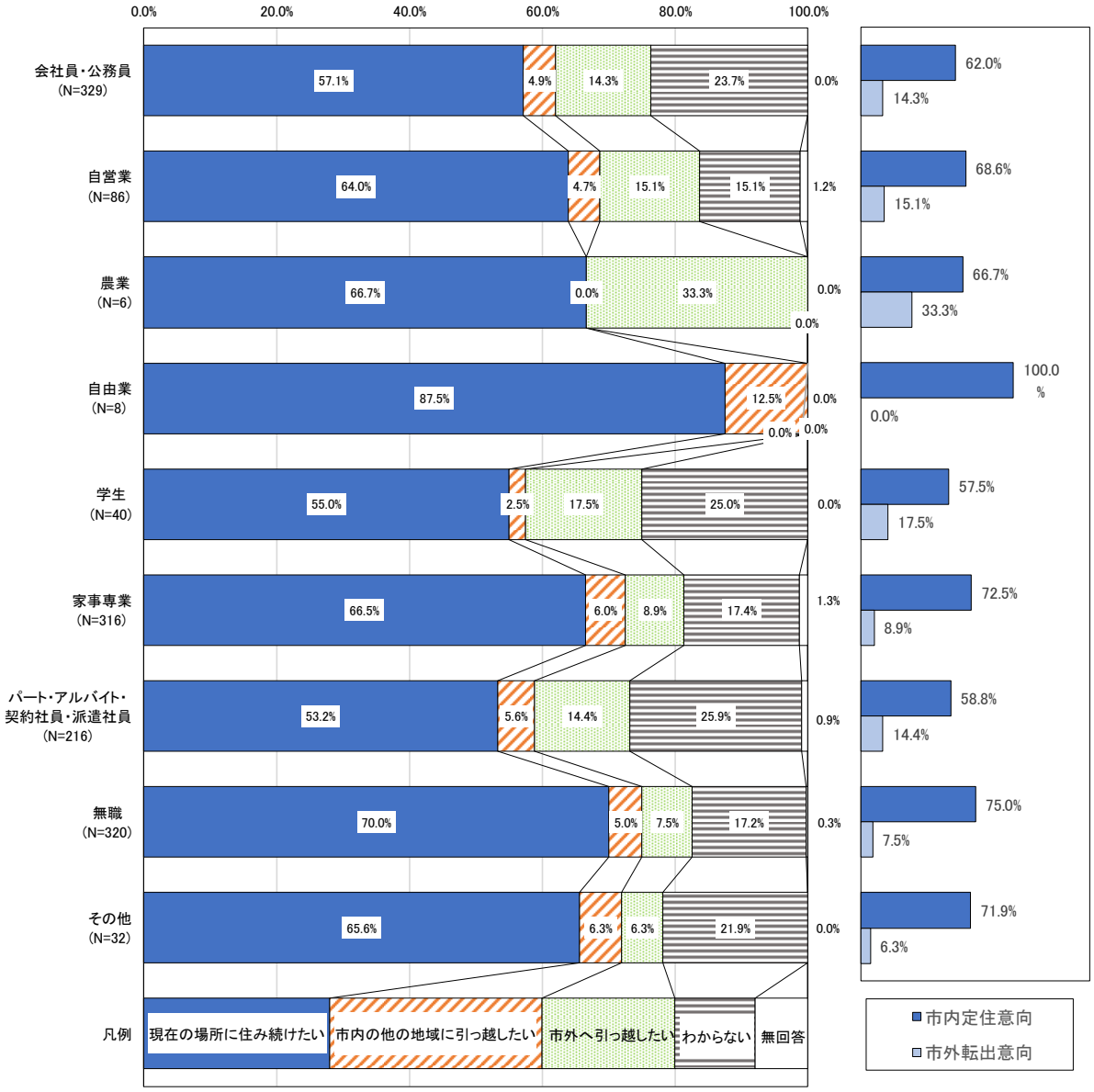
『市外定住意向』の割合は、「平成 23 年以降」、「平成 13 年～17 年」、「平成 3 年～ 7 年」の順で高くなっている。



⑥　職業別

全ての職業において『市内定住意向』が『市外定住意向』を上回っており、『市内定住意向』の割合が最も高いのは「自由業（弁護士・芸術家など）」で、次いで「無職（学生・家事専業を除く）」、「家事専業」の順となっている。

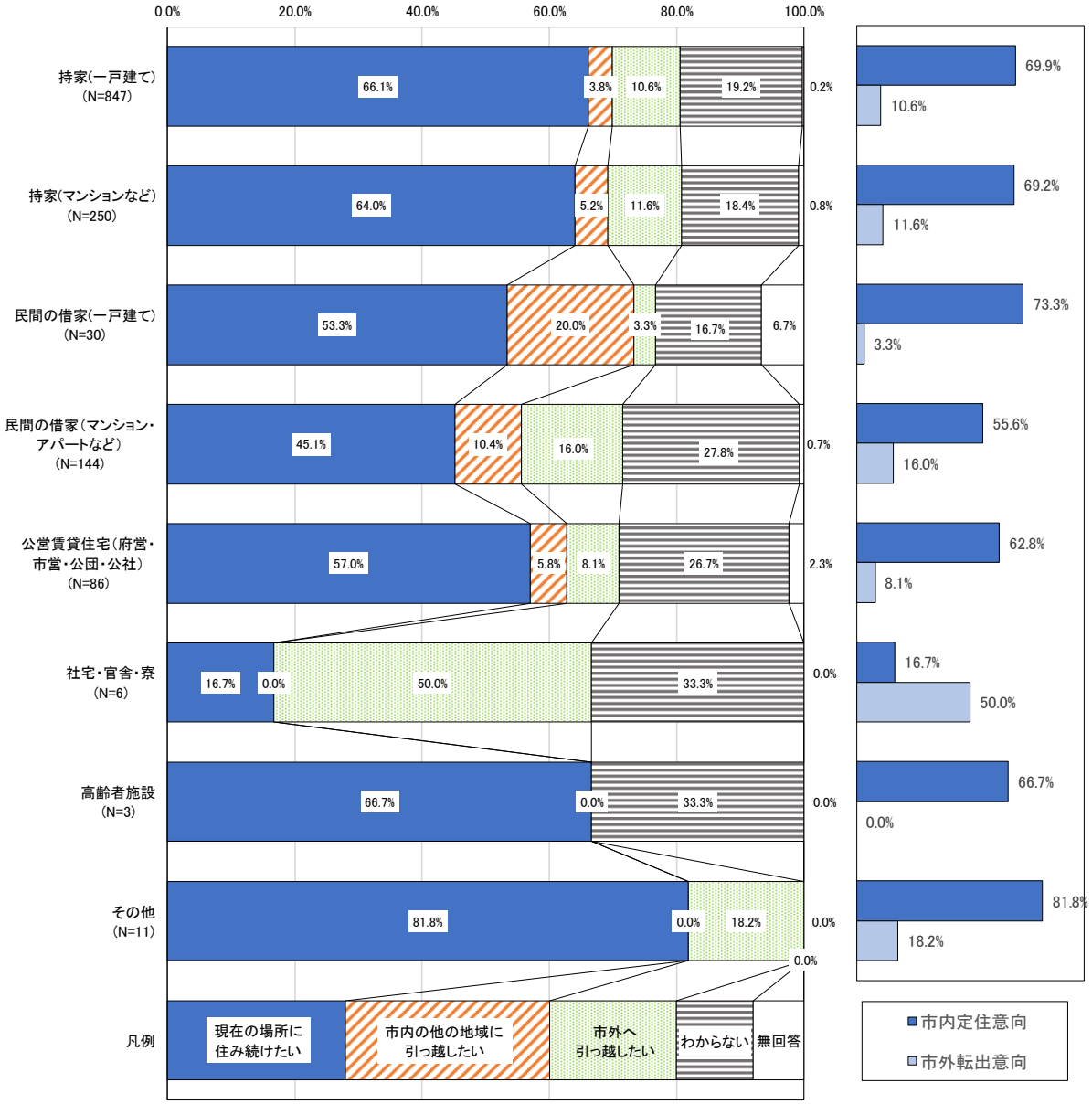
『市外定住意向』の割合は、「農業」、「学生」、「自営業（商業・工業・サービス業）」の順で高くなっている。



⑦　住宅形態別

「社宅・官舎・寮」を除く住居形態において『市内定住意向』が『市外定住意向』を上回っており、『市内定住意向』の割合が最も高いのは「民間の借家（一戸建て）」で、次いで「持家（一戸建て）」、「持家（マンションなど）」の順となっている。

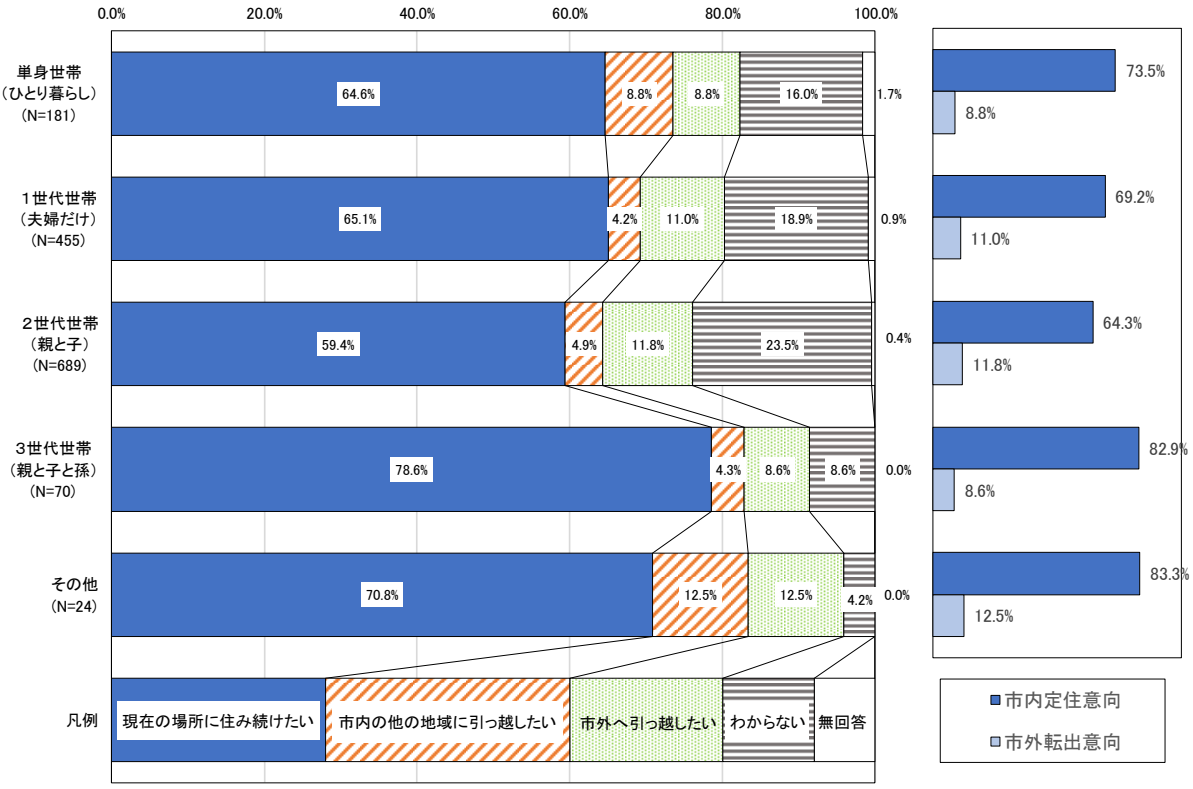
『市外定住意向』の割合は、「社宅・官舎・寮」、「民間の借家（マンション・アパートなど）」、「持家（マンションなど）」の順で高くなっている。



⑧　家族構成別

全ての家族構成において『市内定住意向』が『市外定住意向』を上回っており、『市内定住意向』の割合が最も高いのは「３世代世帯（親と子と孫）」で、次いで「単身世帯（ひとり暮らし）」、「１世代世帯（夫婦だけ）」の順となっている。

『市外定住意向』の割合は、「２世代世帯（親と子）」、「１世代世帯（夫婦だけ）」、「単身世帯（ひとり暮らし）」の順で高くなっている。

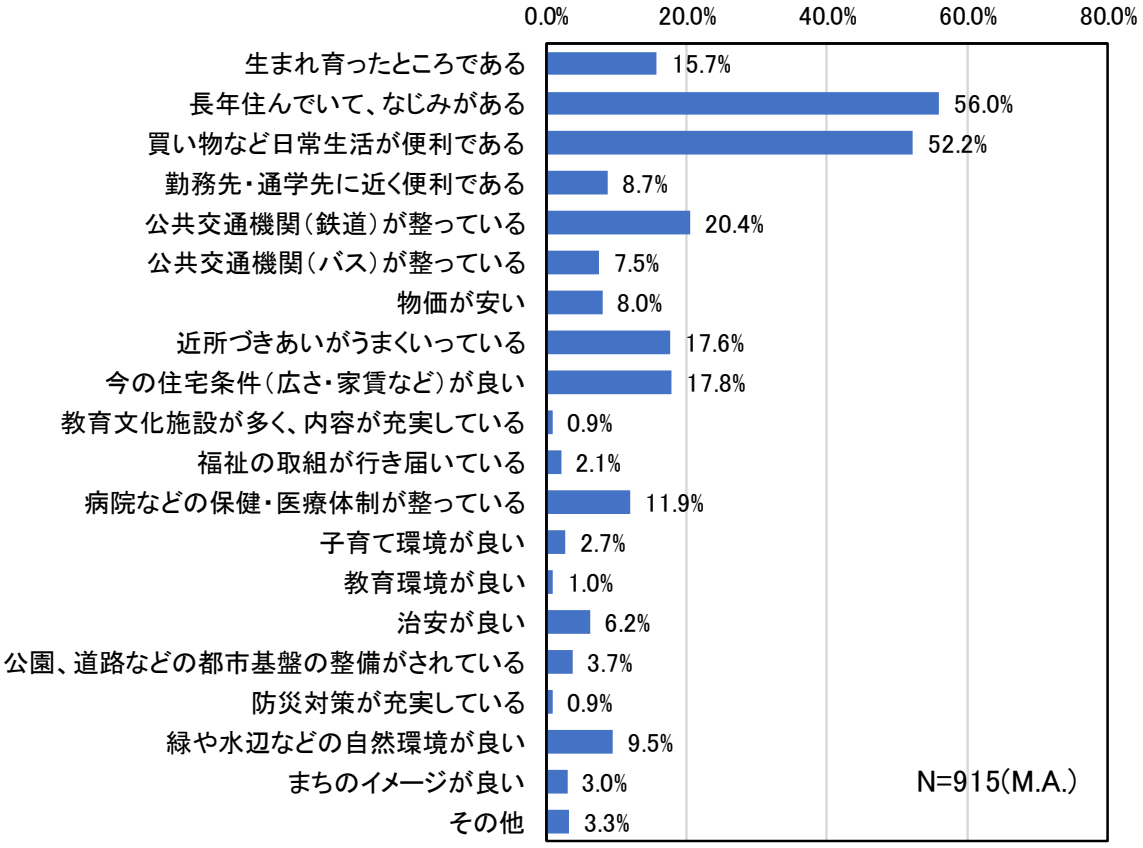


問３　問２で「現在の場所に住み続けたい」と答えた方にお聞きします。それはどのような理由からですか。（○は３つまで）

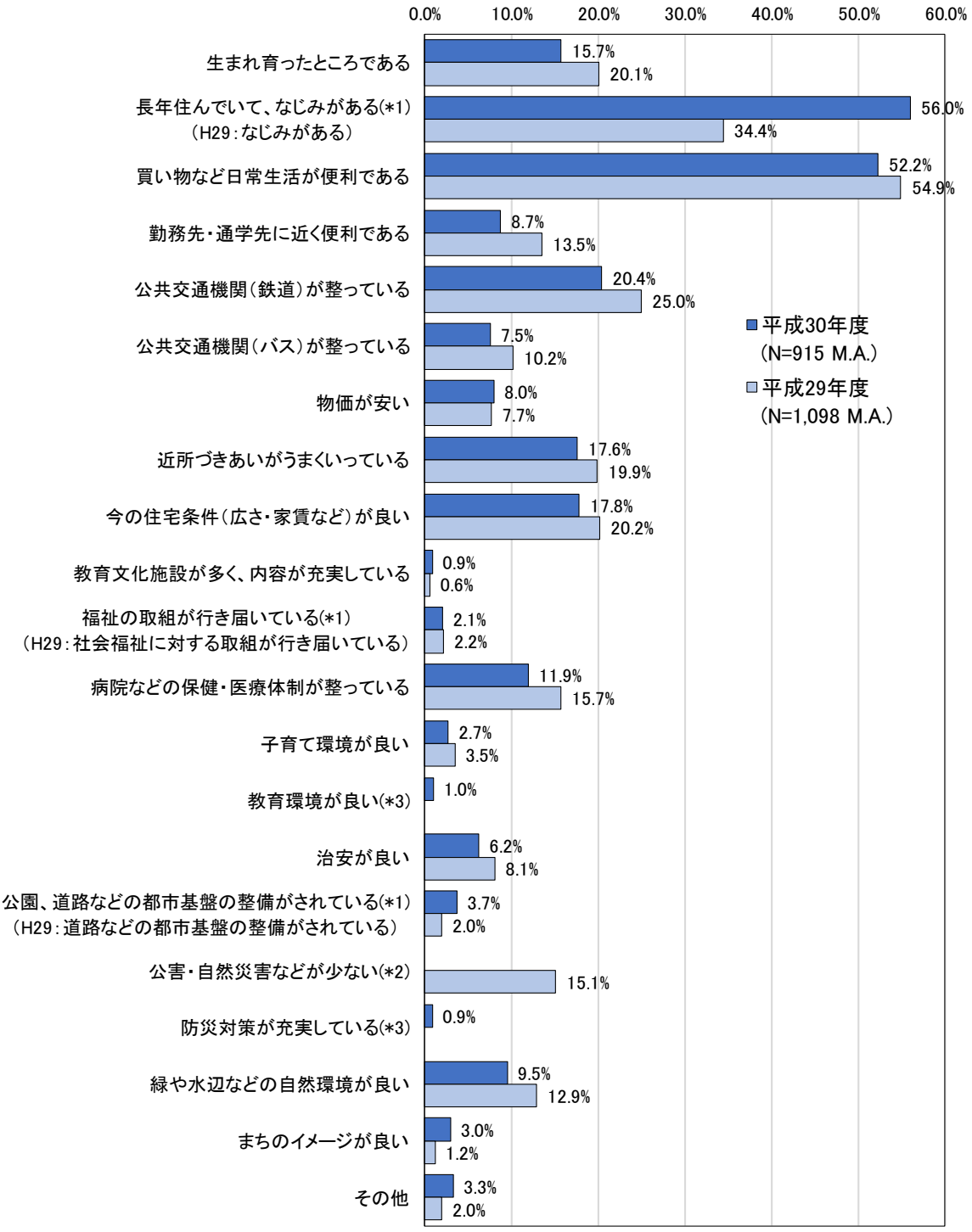
①　全体

「長年住んでいて、なじみがある」が 56.0％と最も高く、次いで「買い物など日常生活が便利である」が 52.2％、「公共交通機関（鉄道）が整っている」が 20.4％の順となっている。

平成 29 年度の調査と比較すると、「長年住んでいて、なじみがある」、「物価が安い」、「公園、道路などの都市基盤の整備がされている」、「まちのイメージが良い」で割合が増加している。



②　年度別



注：(*1) 平成 29 年度と平成 30 年度では、選択肢の内容が異なっている。
注：(*2) 平成 30 年度にはないが、平成 29 年度にはある選択肢。
注：(*3) 平成 30 年度にはあり、平成 29 年度にはない選択肢。

③　年代別

10 歳代、50 歳代以上の年代において「長年住んでいて、なじみがある」が、30 歳代、40 歳代の年代において「買い物など日常生活が便利である」が最も高くなっている。

平成 29 年度の調査と比較すると、20 歳代を除く年代において「長年住んでいて、なじみがある」の割合が増加しており、10 歳代、20 歳代、40 歳代において「買い物など日常生活が便利である」の割合が増加している。

	18～19歳 (N=12)	20～29歳 (N=42)	30～39歳 (N=62)	40～49歳 (N=125)	50～59歳 (N=108)	60～69歳 (N=199)	70～79歳 (N=251)	80歳以上 (N=99)
生まれ育ったところである	41.7%	52.4%	30.6%	30.4%	12.0%	8.5%	9.6%	4.0%
長年住んでいて、なじみがある	66.7%	38.1%	41.9%	43.2%	54.6%	58.3%	62.5%	67.7%
買い物など日常生活が便利である	41.7%	52.4%	50.0%	56.0%	49.1%	52.3%	57.0%	42.4%
勤務先・通学先に近く便利である	0.0%	16.7%	27.4%	9.6%	13.9%	9.0%	2.4%	3.0%
公共交通機関（鉄道）が整っている	25.0%	26.2%	17.7%	21.6%	21.3%	19.6%	18.7%	21.2%
公共交通機関（バス）が整っている	8.3%	0.0%	3.2%	3.2%	7.4%	9.5%	10.4%	8.1%
物価が安い	0.0%	2.4%	3.2%	1.6%	9.3%	11.1%	10.4%	8.1%
近所づきあいがうまくいっている	0.0%	2.4%	9.7%	18.4%	13.0%	20.6%	20.3%	20.2%
今の住宅条件（広さ・家賃など）が良い	25.0%	21.4%	9.7%	24.8%	20.4%	17.6%	16.3%	12.1%
教育文化施設が多く、内容が充実している	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.9%	1.5%	0.4%	2.0%
福祉の取組が行き届いている	0.0%	0.0%	1.6%	0.8%	1.9%	1.0%	2.8%	4.0%
病院などの保健・医療体制が整っている	8.3%	7.1%	11.3%	6.4%	11.1%	12.6%	15.1%	15.2%
子育て環境が良い	0.0%	0.0%	14.5%	6.4%	0.9%	1.0%	2.0%	0.0%
教育環境が良い	8.3%	0.0%	1.6%	0.8%	0.9%	1.0%	1.2%	0.0%
治安が良い	0.0%	0.0%	3.2%	7.2%	6.5%	9.0%	4.4%	9.1%
公園、道路などの都市基盤の整備がされている	0.0%	0.0%	6.5%	4.0%	0.9%	3.5%	4.0%	7.1%
防災対策が充実している	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.5%	1.2%	1.0%
緑や水辺などの自然環境が良い	0.0%	0.0%	6.5%	8.0%	11.1%	11.6%	11.6%	8.1%
まちのイメージが良い	0.0%	4.8%	4.8%	2.4%	4.6%	2.0%	2.4%	4.0%
その他	0.0%	4.8%	8.1%	2.4%	2.8%	3.0%	2.4%	5.1%

	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
上段：平成30年度	(N=12)	(N=42)	(N=62)	(N=125)	(N=108)	(N=199)	(N=251)	(N=99)
下段：平成29年度	(N=17)	(N=42)	(N=67)	(N=168)	(N=162)	(N=251)	(N=276)	(N=8)
生まれ育ったところである	41.7%	52.4%	30.6%	30.4%	12.0%	8.5%	9.6%	4.0%
	70.6%	61.9%	40.3%	35.1%	26.5%	10.8%	8.0%	5.1%
長年住んでいて、なじみがある(*1) （H29：なじみがある）	66.7%	38.1%	41.9%	43.2%	54.6%	58.3%	62.5%	67.7%
	52.9%	45.2%	22.4%	36.3%	40.1%	35.1%	30.4%	33.7%
買い物など日常生活が便利である	41.7%	52.4%	50.0%	56.0%	49.1%	52.3%	57.0%	42.4%
	41.2%	35.7%	52.2%	51.8%	52.5%	58.2%	60.1%	53.1%
勤務先・通学先に近く便利である	0.0%	16.7%	27.4%	9.6%	13.9%	9.0%	2.4%	3.0%
	5.9%	14.3%	19.4%	25.0%	24.7%	11.2%	4.0%	6.1%
公共交通機関（鉄道）が整っている	25.0%	26.2%	17.7%	21.6%	21.3%	19.6%	18.7%	21.2%
	17.6%	23.8%	29.9%	23.8%	20.4%	25.9%	26.1%	25.5%
公共交通機関（バス）が整っている	8.3%	0.0%	3.2%	3.2%	7.4%	9.5%	10.4%	8.1%
	5.9%	7.1%	7.5%	6.5%	6.8%	11.6%	12.0%	17.3%
物価が安い	0.0%	2.4%	3.2%	1.6%	9.3%	11.1%	10.4%	8.1%
	0.0%	4.8%	4.5%	4.8%	6.8%	10.4%	9.1%	9.2%
近所づきあいがうまくいっている	0.0%	2.4%	9.7%	18.4%	13.0%	20.6%	20.3%	20.2%
	5.9%	9.5%	16.4%	13.1%	12.3%	21.5%	24.3%	34.7%
今の住宅条件（広さ・家賃など）が良い	25.0%	21.4%	9.7%	24.8%	20.4%	17.6%	16.3%	12.1%
	17.6%	19.0%	22.4%	24.4%	18.5%	24.3%	18.1%	11.2%
教育文化施設が多く、内容が充実している	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.9%	1.5%	0.4%	2.0%
	0.0%	0.0%	1.5%	0.6%	0.0%	0.8%	0.7%	1.0%
福祉の取組が行き届いている(*1) （H29：社会福祉に対する取組が行き届いてい	0.0%	0.0%	1.6%	0.8%	1.9%	1.0%	2.8%	4.0%
	0.0%	2.4%	1.5%	1.2%	1.9%	2.0%	2.2%	4.1%
病院などの保健・医療体制が整っている	8.3%	7.1%	11.3%	6.4%	11.1%	12.6%	15.1%	15.2%
	5.9%	7.1%	17.9%	10.1%	7.4%	13.5%	26.8%	17.3%
子育て環境が良い	0.0%	0.0%	14.5%	6.4%	0.9%	1.0%	2.0%	0.0%
	5.9%	4.8%	20.9%	7.7%	1.2%	1.2%	0.4%	2.0%
教育環境が良い(*3)	8.3%	0.0%	1.6%	0.8%	0.9%	1.0%	1.2%	0.0%
	－	－	－	－	－	－	－	－
治安が良い	0.0%	0.0%	3.2%	7.2%	6.5%	9.0%	4.4%	9.1%
	5.9%	4.8%	4.5%	4.2%	9.3%	8.8%	11.6%	7.1%
公園、道路などの都市基盤の整備がされている(*1) （H29：道路などの都市	0.0%	0.0%	6.5%	4.0%	0.9%	3.5%	4.0%	7.1%
	0.0%	0.0%	1.5%	0.6%	0.0%	1.6%	2.9%	6.1%
公害・自然災害などが少ない(*2)	－	－	－	－	－	－	－	－
	0.0%	11.9%	4.5%	8.9%	9.3%	18.7%	21.7%	20.4%
防災対策が充実している(*3)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.5%	1.2%	1.0%
	－	－	－	－	－	－	－	－
緑や水辺などの自然環境が良い	0.0%	0.0%	6.5%	8.0%	11.1%	11.6%	11.6%	8.1%
	11.8%	9.5%	9.0%	5.4%	14.2%	15.5%	16.3%	13.3%
まちのイメージが良い	0.0%	4.8%	4.8%	2.4%	4.6%	2.0%	2.4%	4.0%
	0.0%	0.0%	1.5%	1.8%	0.6%	1.6%	1.1%	1.0%
その他	0.0%	4.8%	8.1%	2.4%	2.8%	3.0%	2.4%	5.1%
	0.0%	0.0%	1.5%	4.8%	3.1%	1.2%	0.7%	3.1%

④　中学校区別

第一、第五、第六、第七、第八、第十中学校区において「長年住んでいて、なじみがある」が、第二、第三、第九、友呂岐中学校区において「買い物など日常生活が便利である」が最も高くなっている。

平成 29 年度の調査と比較すると、「長年住んでいて、なじみがある」の割合は、全ての中学校区で増加しており、「買い物など日常生活が便利である」の割合は、第一、第二、第三、第七、第九、第十中学校区を除く中学校区で減少している。

	第一中学校区 (N=106)	第二中学校区 (N=59)	第三中学校区 (N=97)	第四中学校区 (N=40)	第五中学校区 (N=62)	第六中学校区 (N=127)
生まれ育ったところである	25.5%	15.3%	7.2%	15.0%	17.7%	17.3%
長年住んでいて、なじみがある	52.8%	52.5%	46.4%	40.0%	61.3%	55.9%
買い物など日常生活が便利である	48.1%	67.8%	77.3%	37.5%	45.2%	21.3%
勤務先・通学先に近く便利である	13.2%	13.6%	12.4%	12.5%	3.2%	8.7%
公共交通機関（鉄道）が整っている	21.7%	20.3%	34.0%	42.5%	21.0%	13.4%
公共交通機関（バス）が整っている	5.7%	8.5%	7.2%	0.0%	6.5%	11.8%
物価が安い	4.7%	13.6%	11.3%	0.0%	16.1%	2.4%
近所づきあいがうまくいっている	14.2%	23.7%	4.1%	12.5%	21.0%	15.7%
今の住宅条件（広さ・家賃など）が良い	17.0%	15.3%	13.4%	15.0%	16.1%	24.4%
教育文化施設が多く、内容が充実している	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	1.6%
福祉の取組が行き届いている	4.7%	0.0%	2.1%	2.5%	0.0%	1.6%
病院などの保健・医療体制が整っている	17.0%	16.9%	18.6%	10.0%	8.1%	14.2%
子育て環境が良い	2.8%	3.4%	1.0%	10.0%	3.2%	4.7%
教育環境が良い	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	6.3%
治安が良い	3.8%	8.5%	1.0%	7.5%	3.2%	15.7%
公園、道路などの都市基盤の整備がされている	6.6%	1.7%	2.1%	10.0%	1.6%	4.7%
防災対策が充実している	0.9%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	1.6%
緑や水辺などの自然環境が良い	11.3%	0.0%	2.1%	40.0%	8.1%	8.7%
まちのイメージが良い	1.9%	0.0%	3.1%	2.5%	1.6%	10.2%
その他	2.8%	1.7%	1.0%	5.0%	9.7%	4.7%

	第七中学校区 (N=58)	第八中学校区 (N=63)	第九中学校区 (N=73)	第十中学校区 (N=66)	友呂岐中学校区 (N=69)	中木田中学校区 (N=57)
生まれ育ったところである	17.2%	15.9%	12.3%	6.1%	20.3%	15.8%
長年住んでいて、なじみがある	65.5%	69.8%	61.6%	57.6%	53.6%	57.9%
買い物など日常生活が便利である	53.4%	39.7%	65.8%	53.0%	73.9%	57.9%
勤務先・通学先に近く便利である	5.2%	6.3%	5.5%	7.6%	4.3%	7.0%
公共交通機関（鉄道）が整っている	32.8%	6.3%	12.3%	12.1%	17.4%	19.3%
公共交通機関（バス）が整っている	1.7%	9.5%	6.8%	16.7%	7.2%	1.8%
物価が安い	8.6%	7.9%	9.6%	1.5%	14.5%	10.5%
近所づきあいがうまくいっている	19.0%	28.6%	20.5%	10.6%	23.2%	26.3%
今の住宅条件（広さ・家賃など）が良い	20.7%	22.2%	16.4%	16.7%	14.5%	19.3%
教育文化施設が多く、内容が充実している	0.0%	1.6%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%
福祉の取組が行き届いている	1.7%	6.3%	0.0%	0.0%	1.4%	1.8%
病院などの保健・医療体制が整っている	1.7%	6.3%	13.7%	9.1%	14.5%	5.3%
子育て環境が良い	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	4.3%	0.0%
教育環境が良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
治安が良い	3.4%	3.2%	2.7%	10.6%	5.8%	3.5%
公園、道路などの都市基盤の整備がされている	3.4%	0.0%	2.7%	7.6%	4.3%	1.8%
防災対策が充実している	1.7%	1.6%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%
緑や水辺などの自然環境が良い	1.7%	15.9%	5.5%	33.3%	2.9%	1.8%
まちのイメージが良い	0.0%	1.6%	0.0%	1.5%	2.9%	3.5%
その他	3.4%	0.0%	2.7%	4.5%	2.9%	3.5%

	第一中学校区	第二中学校区	第三中学校区	第四中学校区	第五中学校区	第六中学校区
上段：平成30年度	(N=106)	(N=59)	(N=97)	(N=40)	(N=62)	(N=127)
下段：平成29年度	(N=95)	(N=91)	(N=129)	(N=66)	(N=67)	(N=149)
生まれ育ったところである	25.5%	15.3%	7.2%	15.0%	17.7%	17.3%
	23.2%	23.1%	20.9%	13.6%	19.4%	18.1%
長年住んでいて、なじみがある(*1) （H29：なじみがある）	52.8%	52.5%	46.4%	40.0%	61.3%	55.9%
	46.3%	41.8%	22.5%	28.8%	37.3%	35.6%
買い物など日常生活が便利である	48.1%	67.8%	77.3%	37.5%	45.2%	21.3%
	45.3%	65.9%	65.9%	40.9%	61.2%	43.6%
勤務先・通学先に近く便利である	13.2%	13.6%	12.4%	12.5%	3.2%	8.7%
	12.6%	14.3%	16.3%	24.2%	11.9%	11.4%
公共交通機関（鉄道）が整っている	21.7%	20.3%	34.0%	42.5%	21.0%	13.4%
	26.3%	18.7%	28.7%	39.4%	25.4%	26.2%
公共交通機関（バス）が整っている	5.7%	8.5%	7.2%	0.0%	6.5%	11.8%
	7.4%	9.9%	10.1%	3.0%	10.4%	14.1%
物価が安い	4.7%	13.6%	11.3%	0.0%	16.1%	2.4%
	6.3%	11.0%	6.2%	3.0%	10.4%	6.7%
近所づきあいがうまくいっている	14.2%	23.7%	4.1%	12.5%	21.0%	15.7%
	18.9%	24.2%	20.2%	16.7%	22.4%	14.8%
今の住宅条件（広さ・家賃など）が良い	17.0%	15.3%	13.4%	15.0%	16.1%	24.4%
	21.1%	19.8%	12.4%	24.2%	19.4%	30.9%
教育文化施設が多く、内容が充実している	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	1.6%
	1.1%	0.0%	0.8%	1.5%	0.0%	0.7%
福祉の取組が行き届いている(*1) （H29：社会福祉に対する取組が行き届いている）	4.7%	0.0%	2.1%	2.5%	0.0%	1.6%
	3.2%	2.2%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%
病院などの保健・医療体制が整っている	17.0%	16.9%	18.6%	10.0%	8.1%	14.2%
	21.1%	14.3%	29.5%	1.5%	10.4%	17.4%
子育て環境が良い	2.8%	3.4%	1.0%	10.0%	3.2%	4.7%
	2.1%	0.0%	5.4%	3.0%	1.5%	6.7%
教育環境が良い(*3)	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	6.3%
	－	－	－	－	－	－
治安が良い	3.8%	8.5%	1.0%	7.5%	3.2%	15.7%
	11.6%	5.5%	3.9%	9.1%	7.5%	10.7%
公園、道路などの都市基盤の整備がされている(*1) （H29：道路などの都市基盤の整備がされている）	6.6%	1.7%	2.1%	10.0%	1.6%	4.7%
	3.2%	1.1%	1.6%	0.0%	1.5%	1.3%
公害・自然災害などが少ない(*2)	－	－	－	－	－	－
	18.9%	13.2%	14.7%	18.2%	11.9%	17.4%
防災対策が充実している(*3)	0.9%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	1.6%
	－	－	－	－	－	－
緑や水辺などの自然環境が良い	11.3%	0.0%	2.1%	40.0%	8.1%	8.7%
	8.4%	12.1%	8.5%	33.3%	6.0%	13.4%
まちのイメージが良い	1.9%	0.0%	3.1%	2.5%	1.6%	10.2%
	2.1%	0.0%	0.0%	1.5%	1.5%	3.4%
その他	2.8%	1.7%	1.0%	5.0%	9.7%	4.7%
	1.1%	1.1%	1.6%	3.0%	4.5%	1.3%

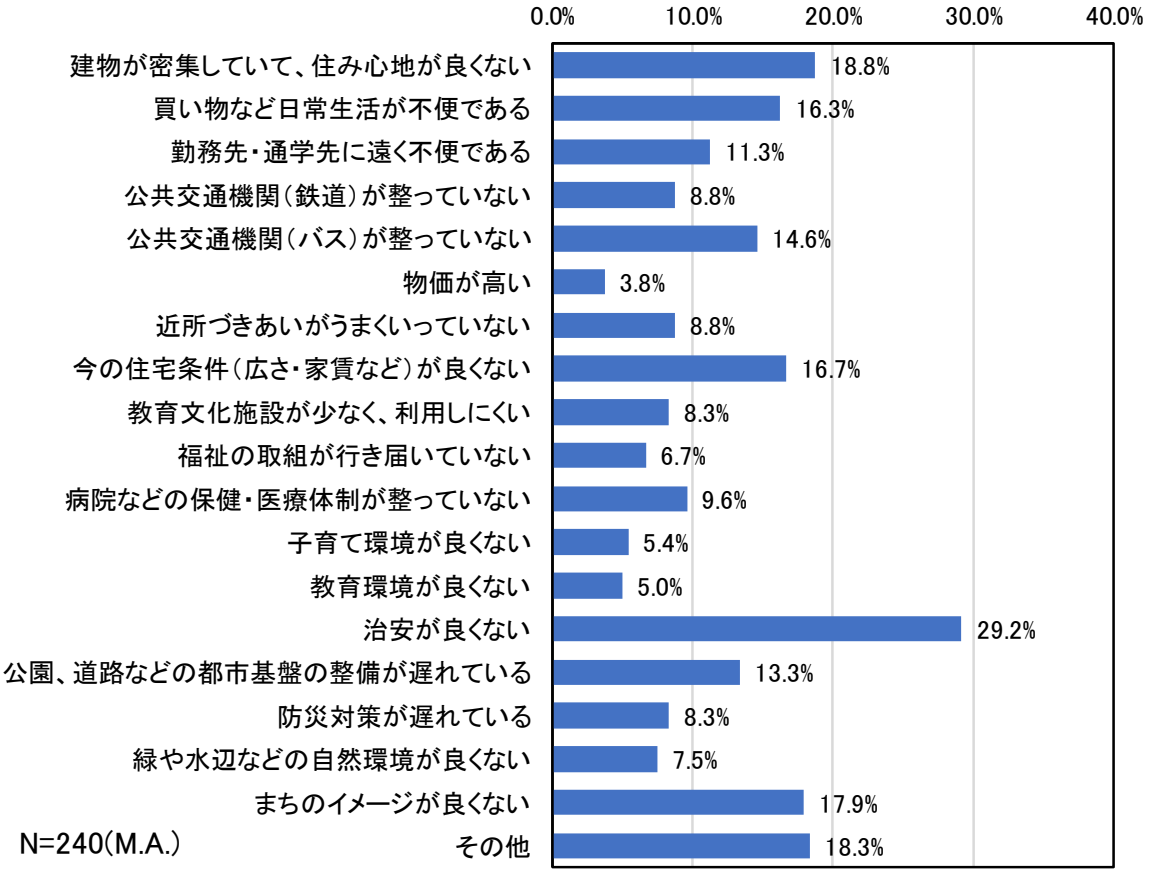
	第七中学校区	第八中学校区	第九中学校区	第十中学校区	友呂岐中学校区	中木田中学校区
上段：平成30年度	(N=58)	(N=63)	(N=73)	(N=66)	(N=69)	(N=57)
下段：平成29年度	(N=64)	(N=93)	(N=78)	(N=94)	(N=70)	(N=56)
生まれ育ったところである	17.2%	15.9%	12.3%	6.1%	20.3%	15.8%
	17.2%	22.6%	20.5%	22.3%	14.3%	25.0%
長年住んでいて、なじみがある(*1) （H29：なじみがある）	65.5%	69.8%	61.6%	57.6%	53.6%	57.9%
	37.5%	38.7%	38.5%	28.7%	35.7%	32.1%
買い物など日常生活が便利である	53.4%	39.7%	65.8%	53.0%	73.9%	57.9%
	46.9%	52.7%	61.5%	47.9%	74.3%	66.1%
勤務先・通学先に近く便利である	5.2%	6.3%	5.5%	7.6%	4.3%	7.0%
	7.8%	15.1%	9.0%	8.5%	14.3%	16.1%
公共交通機関（鉄道）が整っている	32.8%	6.3%	12.3%	12.1%	17.4%	19.3%
	20.3%	19.4%	20.5%	21.3%	28.6%	25.0%
公共交通機関（バス）が整っている	1.7%	9.5%	6.8%	16.7%	7.2%	1.8%
	1.6%	15.1%	10.3%	18.1%	5.7%	5.4%
物価が安い	8.6%	7.9%	9.6%	1.5%	14.5%	10.5%
	10.9%	5.4%	10.3%	4.3%	11.4%	10.7%
近所づきあいがうまくいっている	19.0%	28.6%	20.5%	10.6%	23.2%	26.3%
	34.2%	26.9%	25.6%	11.7%	14.3%	26.8%
今の住宅条件（広さ・家賃など）が良い	20.7%	22.2%	16.4%	16.7%	14.5%	19.3%
	21.9%	17.2%	16.7%	25.5%	20.0%	5.4%
教育文化施設が多く、内容が充実している	0.0%	1.6%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	0.0%	0.0%	1.3%	2.1%	0.0%	0.0%
福祉の取組が行き届いている(*1) （H29：社会福祉に対する取組が行き届いている）	1.7%	6.3%	0.0%	0.0%	1.4%	1.8%
	6.3%	1.1%	3.8%	2.1%	4.3%	3.6%
病院などの保健・医療体制が整っている	1.7%	6.3%	13.7%	9.1%	14.5%	5.3%
	9.4%	12.9%	9.0%	7.4%	22.9%	14.3%
子育て環境が良い	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	4.3%	0.0%
	1.6%	4.3%	2.6%	3.2%	2.9%	1.8%
教育環境が良い(*3)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	－	－	－	－	－	－
治安が良い	3.4%	3.2%	2.7%	10.6%	5.8%	3.5%
	12.5%	6.5%	10.3%	9.6%	10.0%	1.8%
公園、道路などの都市基盤の整備がされている(*1) （H29：道路などの都市基盤の整備がされている）	3.4%	0.0%	2.7%	7.6%	4.3%	1.8%
	6.3%	3.2%	0.0%	2.1%	2.9%	0.0%
公害・自然災害などが少ない(*2)	－	－	－	－	－	－
	18.8%	9.7%	12.8%	24.5%	8.6%	7.1%
防災対策が充実している(*3)	1.7%	1.6%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	－	－	－	－	－	－
緑や水辺などの自然環境が良い	1.7%	15.9%	5.5%	33.3%	2.9%	1.8%
	21.9%	8.6%	10.3%	23.4%	7.1%	5.4%
まちのイメージが良い	0.0%	1.6%	0.0%	1.5%	2.9%	3.5%
	1.6%	1.1%	1.3%	0.0%	1.4%	0.0%
その他	3.4%	0.0%	2.7%	4.5%	2.9%	3.5%
	0.0%	2.2%	2.6%	3.2%	1.4%	3.6%

問４　問２で「市内の他の地域に引っ越したい」又は「市外へ引っ越したい」と答えた方にお聞きします。それはどのような理由からですか。（○は３つまで）

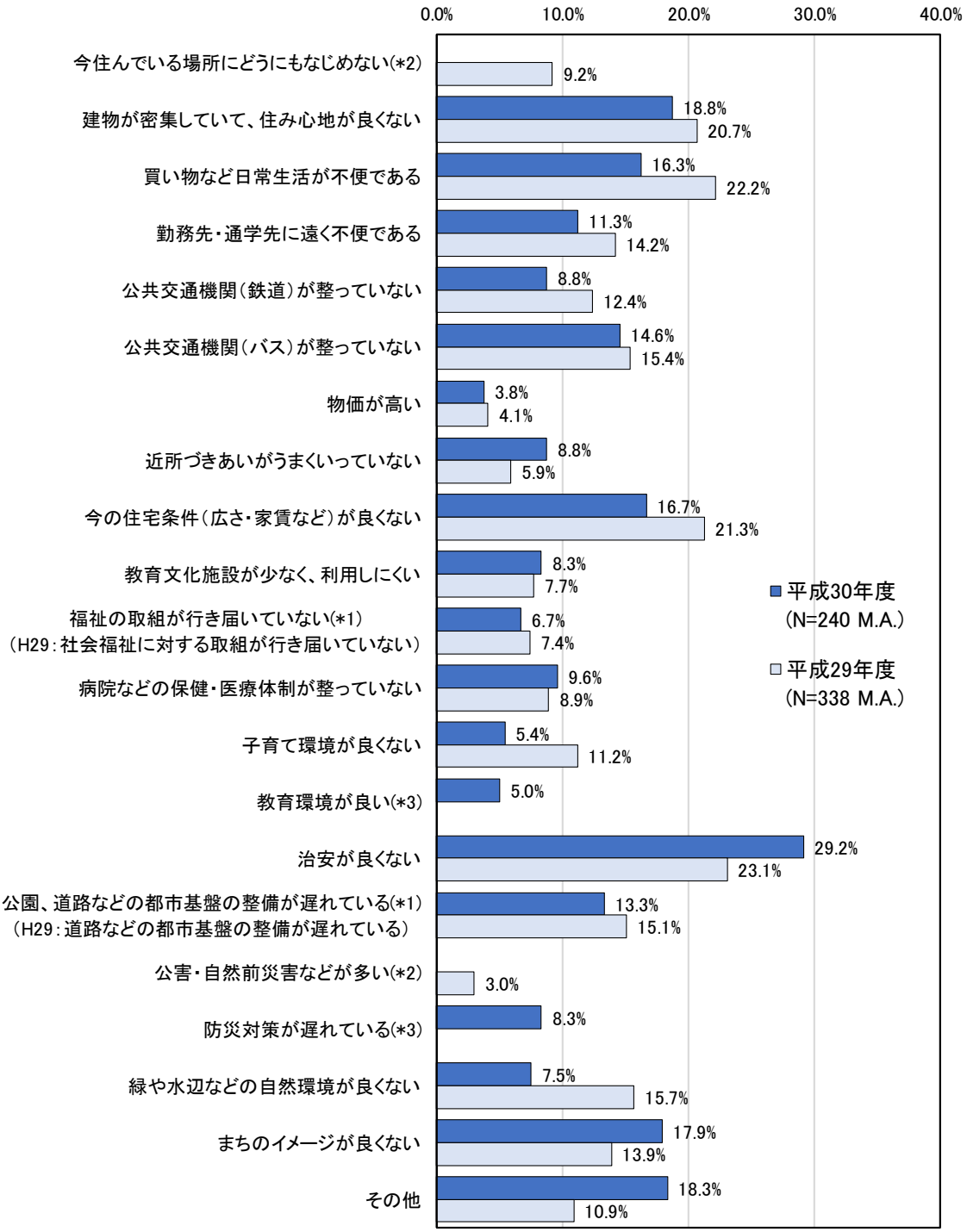
①　　全体

「治安が良くない」が 29.2％で最も高く、次いで「建物が密集していて、住み心地が良くない」が 18.8％、「まちのイメージが良くない」が 17.9％の順となっている。

平成 29 年度の調査と比較すると、「近所づきあいがうまくいっていない」、「まちのイメージが良くない」、「治安が良くない」などで割合が増加している。また、「緑や水辺などの自然環境が良くない」、「子育て環境が良くない」、「公共交通機関（鉄道）が整っていない」などで割合が減少している。



②　年度別



注：(*1) 平成 29 年度と平成 30 年度では、選択肢の内容が異なっている。
注：(*2) 平成 30 年度にはないが、平成 29 年度にはある選択肢。
注：(*3) 平成 30 年度にはあり、平成 29 年度にはない選択肢。

③　年代別

30 歳代から 60 歳代までの年代において「治安がよくない」が、70 歳以上の年代において「買い物など日常生活が不便である」が、20 歳代において「勤務先・通学先に遠く不便である」の割合が最も高くなっている。

	18～19歳 (N=7)	20～29歳 (N=21)	30～39歳 (N=33)	40～49歳 (N=46)	50～59歳 (N=38)	60～69歳 (N=41)	70～79歳 (N=40)	80歳以上 (N=7)
建物が密集していて、住み心地が良くない	14.3%	19.0%	15.2%	19.6%	15.8%	19.5%	20.0%	28.6%
買い物など日常生活が不便である	0.0%	9.5%	15.2%	13.0%	7.9%	17.1%	27.5%	57.1%
勤務先・通学先に遠く不便である	0.0%	33.3%	12.1%	15.2%	13.2%	4.9%	2.5%	0.0%
公共交通機関（鉄道）が整っていない	0.0%	9.5%	12.1%	10.9%	15.8%	7.3%	2.5%	0.0%
公共交通機関（バス）が整っていない	14.3%	9.5%	6.1%	8.7%	23.7%	17.1%	15.0%	42.9%
物価が高い	14.3%	0.0%	0.0%	6.5%	0.0%	2.4%	10.0%	0.0%
近所づきあいがうまくいっていない	14.3%	9.5%	3.0%	6.5%	13.2%	7.3%	12.5%	0.0%
今の住宅条件（広さ・家賃など）が良くない	14.3%	9.5%	24.2%	13.0%	13.2%	19.5%	17.5%	0.0%
教育文化施設が少なく、利用しにくい	14.3%	4.8%	12.1%	4.3%	5.3%	14.6%	10.0%	0.0%
福祉の取組が行き届いていない	0.0%	14.3%	3.0%	6.5%	5.3%	7.3%	10.0%	0.0%
病院などの保健・医療体制が整っていない	0.0%	9.5%	3.0%	8.7%	7.9%	12.2%	15.0%	14.3%
子育て環境が良くない	0.0%	0.0%	18.2%	8.7%	2.6%	4.9%	0.0%	0.0%
教育環境が良くない	0.0%	0.0%	12.1%	4.3%	0.0%	9.8%	5.0%	0.0%
治安が良くない	0.0%	28.6%	33.3%	39.1%	39.5%	29.3%	15.0%	0.0%
公園、道路などの都市基盤の整備が遅れている	14.3%	14.3%	12.1%	8.7%	15.8%	14.6%	17.5%	14.3%
防災対策が遅れている	14.3%	14.3%	6.1%	4.3%	10.5%	7.3%	12.5%	0.0%
緑や水辺などの自然環境が良くない	0.0%	4.8%	0.0%	4.3%	13.2%	4.9%	20.0%	0.0%
まちのイメージが良くない	0.0%	9.5%	15.2%	32.6%	10.5%	17.1%	17.5%	14.3%
その他	28.6%	19.0%	18.2%	21.7%	10.5%	17.1%	17.5%	42.9%

④　中学校区別

第一、第三、第五、第六、中木田中学校区において「治安が良くない」が、第二、第七中学校区において「建物が密集していて、住み心地が良くない」が最も高くなっている。

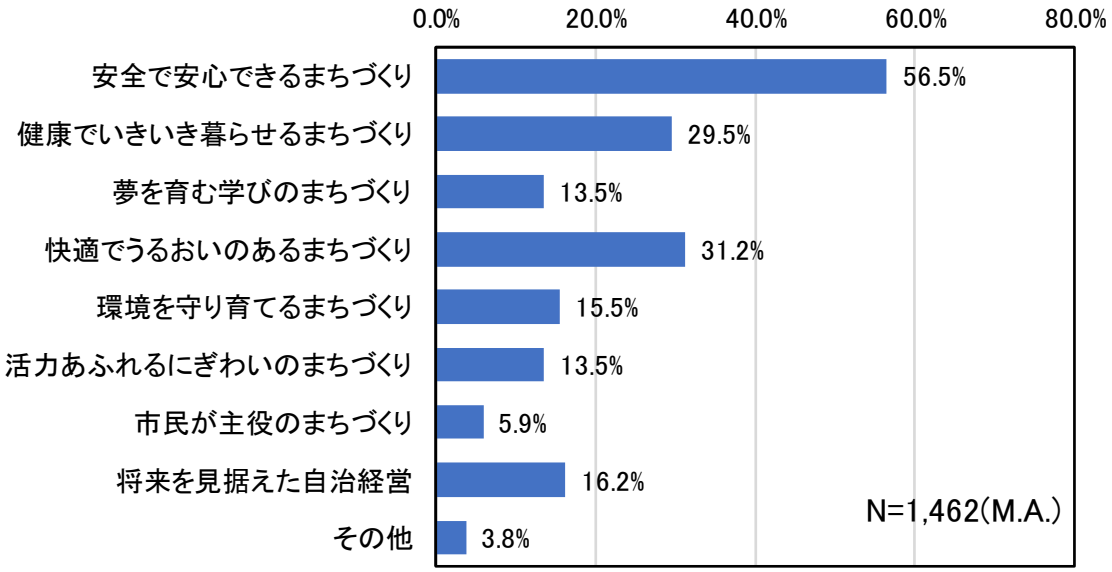
	第一中学校区 (N=24)	第二中学校区 (N=26)	第三中学校区 (N=20)	第四中学校区 (N=17)	第五中学校区 (N=9)	第六中学校区 (N=27)
建物が密集していて、住み心地が良くない	12.5%	34.6%	25.0%	5.9%	0.0%	18.5%
買い物など日常生活が不便である	33.3%	7.7%	20.0%	5.9%	22.2%	14.8%
勤務先・通学先に遠く不便である	8.3%	11.5%	5.0%	23.5%	22.2%	11.1%
公共交通機関（鉄道）が整っていない	8.3%	3.8%	5.0%	11.8%	0.0%	0.0%
公共交通機関（バス）が整っていない	12.5%	7.7%	10.0%	47.1%	11.1%	3.7%
物価が高い	4.2%	0.0%	10.0%	5.9%	0.0%	3.7%
近所づきあいがうまくいっていない	8.3%	19.2%	10.0%	5.9%	0.0%	11.1%
今の住宅条件（広さ・家賃など）が良くない	12.5%	15.4%	20.0%	17.6%	22.2%	3.7%
教育文化施設が少なく、利用しにくい	0.0%	0.0%	10.0%	17.6%	0.0%	11.1%
福祉の取組が行き届いていない	4.2%	3.8%	5.0%	17.6%	0.0%	3.7%
病院などの保健・医療体制が整っていない	0.0%	7.7%	0.0%	17.6%	22.2%	7.4%
子育て環境が良くない	8.3%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	3.7%
教育環境が良くない	16.7%	7.7%	5.0%	0.0%	0.0%	7.4%
治安が良くない	45.8%	26.9%	30.0%	17.6%	44.4%	44.4%
公園、道路などの都市基盤の整備が遅れている	4.2%	7.7%	5.0%	11.8%	11.1%	22.2%
防災対策が遅れている	12.5%	15.4%	5.0%	5.9%	0.0%	7.4%
緑や水辺などの自然環境が良くない	4.2%	3.8%	5.0%	0.0%	11.1%	7.4%
まちのイメージが良くない	25.0%	7.7%	20.0%	29.4%	44.4%	29.6%
その他	25.0%	26.9%	25.0%	5.9%	0.0%	25.9%

	第七中学校区 (N=15)	第八中学校区 (N=25)	第九中学校区 (N=12)	第十中学校区 (N=16)	友呂岐中学校区 (N=16)	中木田中学校区 (N=19)
建物が密集していて、住み心地が良くない	33.3%	28.0%	16.7%	6.3%	6.3%	21.1%
買い物など日常生活が不便である	6.7%	32.0%	16.7%	0.0%	18.8%	5.3%
勤務先・通学先に遠く不便である	13.3%	8.0%	8.3%	6.3%	25.0%	5.3%
公共交通機関（鉄道）が整っていない	20.0%	20.0%	0.0%	12.5%	18.8%	5.3%
公共交通機関（バス）が整っていない	20.0%	16.0%	0.0%	25.0%	6.3%	5.3%
物価が高い	0.0%	4.0%	8.3%	6.3%	0.0%	0.0%
近所づきあいがうまくいっていない	6.7%	8.0%	0.0%	6.3%	12.5%	0.0%
今の住宅条件（広さ・家賃など）が良くない	6.7%	16.0%	16.7%	25.0%	18.8%	26.3%
教育文化施設が少なく、利用しにくい	13.3%	0.0%	33.3%	12.5%	12.5%	5.3%
福祉の取組が行き届いていない	13.3%	4.0%	16.7%	0.0%	6.3%	10.5%
病院などの保健・医療体制が整っていない	0.0%	12.0%	25.0%	18.8%	6.3%	0.0%
子育て環境が良くない	6.7%	8.0%	8.3%	6.3%	6.3%	10.5%
教育環境が良くない	0.0%	4.0%	8.3%	6.3%	0.0%	0.0%
治安が良くない	20.0%	16.0%	25.0%	18.8%	6.3%	42.1%
公園、道路などの都市基盤の整備が遅れている	0.0%	36.0%	8.3%	18.8%	12.5%	15.8%
防災対策が遅れている	6.7%	4.0%	16.7%	12.5%	0.0%	10.5%
緑や水辺などの自然環境が良くない	13.3%	12.0%	0.0%	12.5%	6.3%	21.1%
まちのイメージが良くない	13.3%	4.0%	16.7%	6.3%	6.3%	26.3%
その他	20.0%	12.0%	16.7%	12.5%	25.0%	15.8%

問５　あなたは、寝屋川市をずっと住み続けたいと思うまちにするためには、今後どのような分野に力を入れるべきだと思いますか。（○は３つまで）

①　全体

「安全で安心できるまちづくり」が 56.5%と最も高く、次いで「快適でうるおいのあるまちづくり」が 31.2%、「健康でいきいき暮らせるまちづくり」が 29.5%の順となっている。



②　年代別

全ての年代において「安全で安心できるまちづくり」が最も高く、次いで 10 歳代、30 歳代を除く年代において、「快適でうるおいのあるまちづくり」の割合が高くなっている。

	18～19歳 (N=24)	20～29歳 (N=88)	30～39歳 (N=130)	40～49歳 (N=222)	50～59歳 (N=204)	60～69歳 (N=304)	70～79歳 (N=338)	80歳以上 (N=118)
安全で安心できるまちづくり（防災、防犯、治水対策など）	45.8%	54.5%	60.8%	55.0%	60.8%	48.7%	59.8%	64.4%
健康でいきいき暮らせるまちづくり（平和の希求、人権尊重、社会福祉、子育て支援など）	16.7%	28.4%	46.2%	28.4%	29.9%	20.4%	32.8%	32.2%
夢を育む学びのまちづくり（学校教育の充実、生涯学習支援、スポーツ・文化振興など）	16.7%	18.2%	28.5%	18.0%	16.2%	8.9%	9.2%	5.1%
快適でうるおいのあるまちづくり（公園整備、道路整備、住環境整備、上下水道整備、水辺空間の創出など）	16.7%	30.7%	32.3%	31.5%	30.4%	29.6%	33.7%	34.7%
環境を守り育てるまちづくり（自然環境の保全、ごみ減量・リサイクル推進など）	29.2%	12.5%	10.0%	11.7%	14.2%	18.4%	17.8%	13.6%
活力あふれるにぎわいのまちづくり（商業・工業・農業の振興など）	20.8%	27.3%	14.6%	13.5%	12.7%	11.8%	11.2%	11.0%
市民が主役のまちづくり（コミュニティづくり、情報発信など）	4.2%	3.4%	5.4%	1.8%	2.9%	6.9%	8.6%	11.9%
将来を見据えた自治経営（健全な財政運営、効率的な行政運営など）	4.2%	15.9%	13.1%	18.5%	16.2%	17.4%	17.8%	10.2%
その他	8.3%	3.4%	4.6%	4.5%	5.9%	3.0%	3.0%	0.8%

③　中学校区別

全ての中学校区において「安全で安心できるまちづくり」が最も高く、次いで中学校区により順位が異なるが「快適でうるおいのあるまちづくり」と「健康でいきいき暮らせるまちづくり」の割合が高くなっている。

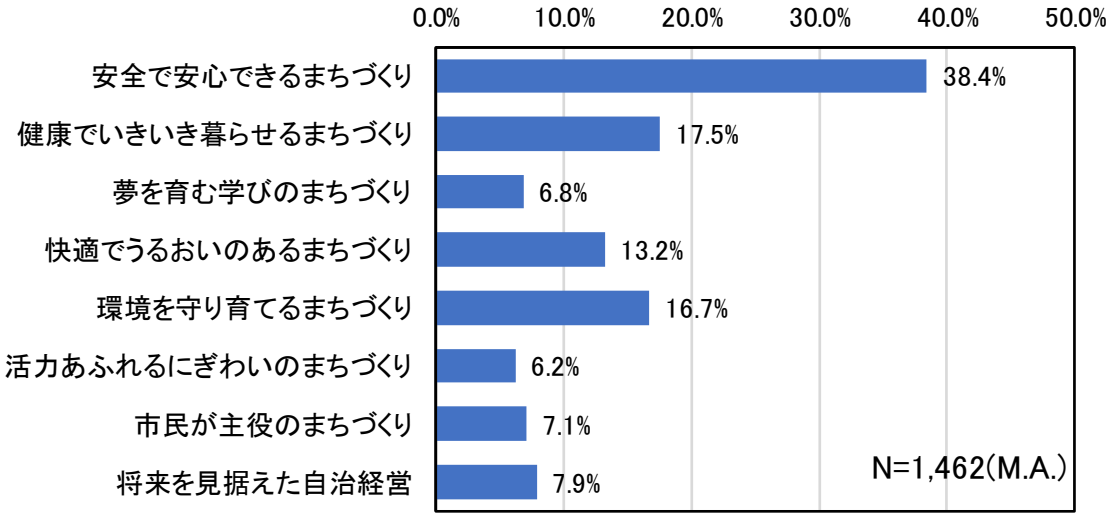
	第一中学校区 (N=150)	第二中学校区 (N=103)	第三中学校区 (N=149)	第四中学校区 (N=74)	第五中学校区 (N=97)	第六中学校区 (N=196)
安全で安心できるまちづくり	60.7%	56.3%	61.7%	56.8%	56.7%	54.6%
健康でいきいき暮らせるまちづくり	27.3%	28.2%	32.9%	23.0%	33.0%	31.6%
夢を育む学びのまちづくり	17.3%	15.5%	8.7%	17.6%	9.3%	15.8%
快適でうるおいのあるまちづくり	28.7%	39.8%	36.2%	29.7%	26.8%	27.6%
環境を守り育てるまちづくり	13.3%	18.4%	14.1%	13.5%	17.5%	15.3%
活力あふれるにぎわいのまちづくり	16.0%	12.6%	14.8%	16.2%	12.4%	13.3%
市民が主役のまちづくり	5.3%	5.8%	6.0%	12.2%	6.2%	5.6%
将来を見据えた自治経営	15.3%	10.7%	19.5%	18.9%	19.6%	16.8%
その他	3.3%	3.9%	5.4%	1.4%	3.1%	3.6%

	第七中学校区 (N=94)	第八中学校区 (N=111)	第九中学校区 (N=112)	第十中学校区 (N=106)	友呂岐中学校区 (N=105)	中木田中学校区 (N=94)
安全で安心できるまちづくり	56.4%	48.6%	66.1%	57.5%	48.6%	54.3%
健康でいきいき暮らせるまちづくり	33.0%	27.9%	26.8%	33.0%	31.4%	21.3%
夢を育む学びのまちづくり	10.6%	11.7%	12.5%	11.3%	16.2%	14.9%
快適でうるおいのあるまちづくり	27.7%	27.9%	41.1%	35.8%	29.5%	26.6%
環境を守り育てるまちづくり	10.6%	12.6%	21.4%	24.5%	13.3%	11.7%
活力あふれるにぎわいのまちづくり	12.8%	19.8%	13.4%	7.5%	14.3%	6.4%
市民が主役のまちづくり	7.4%	2.7%	1.8%	8.5%	4.8%	6.4%
将来を見据えた自治経営	13.8%	17.1%	9.8%	23.6%	13.3%	17.0%
その他	6.4%	5.4%	3.6%	0.0%	4.8%	3.2%

問６　寝屋川市では、下記の８つの項目を柱として、まちづくりを進めています。まちづくりを進める上で、市民としてすべきこと又は市民の役割は何だと思いますか。

①　全体

「安全で安心できるまちづくり」が 38.4%と最も高く、次いで「健康でいきいき暮らせるまちづくり」が 17.5%、「快適でうるおいのあるまちづくり」が 16.7%、の順となっている。



②　年代別

全ての年代において「安全で安心できるまちづくり」の割合が最も高く、次いで 30 歳代、50 歳代以上で「健康でいきいき暮らせるまちづくり」が高くなっている。

	18～19歳 (N=24)	20～29歳 (N=88)	30～39歳 (N=130)	40～49歳 (N=222)	50～59歳 (N=204)	60～69歳 (N=304)	70～79歳 (N=338)	80歳以上 (N=118)
安全で安心できるまちづくり（防災、防犯、治水対策など）	29.2%	29.5%	39.2%	38.7%	33.3%	31.9%	44.1%	53.4%
健康でいきいき暮らせるまちづくり（平和の希求、人権尊重、社会福祉、子育て支援など）	0.0%	8.0%	16.9%	14.4%	18.1%	16.4%	22.8%	23.7%
夢を育む学びのまちづくり（学校教育の充実、生涯学習支援、スポーツ・文化振興など）	8.3%	8.0%	13.1%	9.0%	5.4%	5.9%	5.9%	4.2%
快適でうるおいのあるまちづくり（公園整備、道路整備、住環境整備、上下水道整備、水辺空間の創出など）	8.3%	9.1%	3.1%	8.1%	10.8%	13.5%	20.1%	23.7%
環境を守り育てるまちづくり（自然環境の保全、ごみ減量・リサイクル推進など）	12.5%	13.6%	13.1%	18.9%	16.7%	16.4%	18.6%	16.9%
活力あふれるにぎわいのまちづくり（商業・工業・農業の振興など）	8.3%	6.8%	9.2%	7.2%	5.4%	3.0%	6.2%	10.2%
市民が主役のまちづくり（コミュニティづくり、情報発信など）	0.0%	6.8%	8.5%	8.6%	7.8%	6.6%	6.5%	6.8%
将来を見据えた自治経営（健全な財政運営、効率的な行政運営など）	0.0%	3.4%	3.1%	6.8%	6.9%	8.2%	12.4%	8.5%

③　中学校区別

全ての中学校区において「安全で安心できるまちづくり」が最も高く、次いで第三、第五、第七、第九、友呂岐、中木田中学校区において「健康でいきいき暮らせるまちづくり」が、第四、第六、第八、第十中学校区において「環境を守り育てるまちづくり」の割合が高くなっている。

	第一中学校区 (N=150)	第二中学校区 (N=103)	第三中学校区 (N=149)	第四中学校区 (N=74)	第五中学校区 (N=97)	第六中学校区 (N=196)
安全で安心できるまちづくり	46.0%	40.8%	36.9%	36.5%	35.1%	35.2%
健康でいきいき暮らせるまちづくり	14.7%	17.5%	20.1%	17.6%	17.5%	13.3%
夢を育む学びのまちづくり	6.7%	4.9%	6.0%	9.5%	5.2%	8.7%
快適でうるおいのあるまちづくり	18.0%	19.4%	12.8%	16.2%	11.3%	11.2%
環境を守り育てるまちづくり	14.0%	12.6%	14.1%	18.9%	14.4%	22.4%
活力あふれるにぎわいのまちづくり	10.7%	10.7%	4.7%	4.1%	9.3%	3.6%
市民が主役のまちづくり	8.0%	8.7%	9.4%	10.8%	6.2%	6.1%
将来を見据えた自治経営	5.3%	5.8%	10.1%	9.5%	6.2%	10.2%

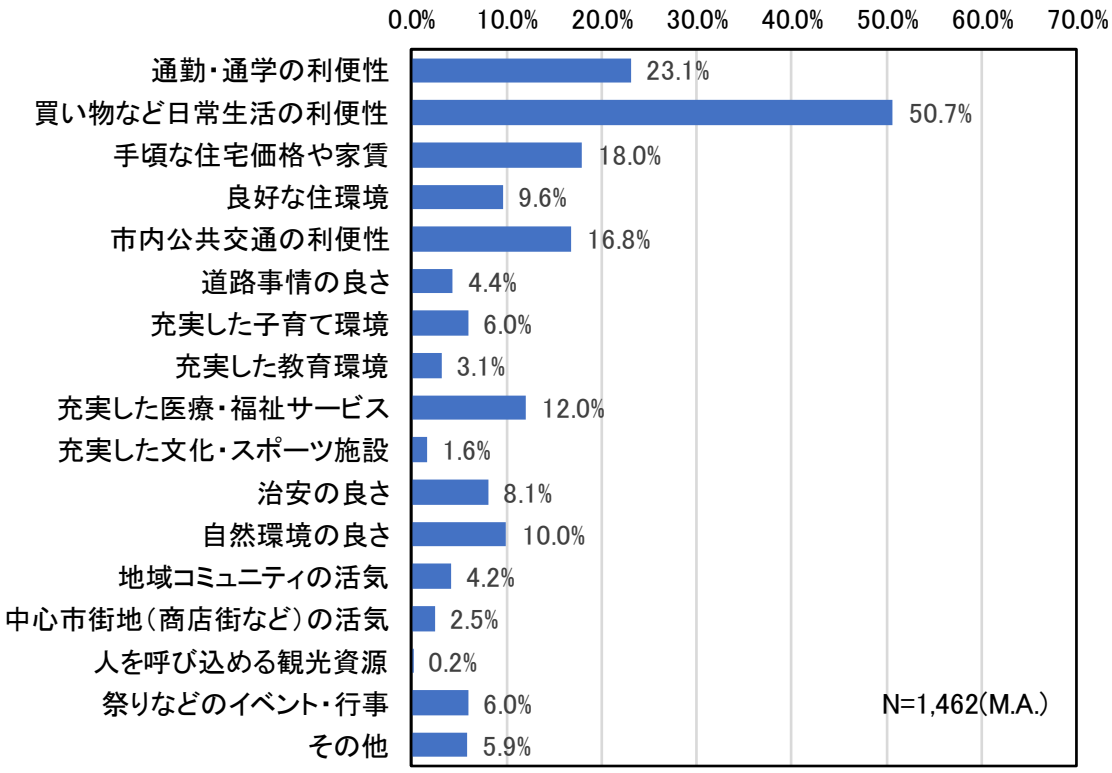
	第七中学校区 (N=94)	第八中学校区 (N=111)	第九中学校区 (N=112)	第十中学校区 (N=106)	友呂岐中学校区 (N=105)	中木田中学校区 (N=94)
安全で安心できるまちづくり	35.1%	36.0%	42.9%	40.6%	39.0%	33.0%
健康でいきいき暮らせるまちづくり	19.1%	16.2%	21.4%	15.1%	19.0%	24.5%
夢を育む学びのまちづくり	5.3%	5.4%	5.4%	4.7%	8.6%	9.6%
快適でうるおいのあるまちづくり	9.6%	12.6%	15.2%	10.4%	11.4%	12.8%
環境を守り育てるまちづくり	12.8%	18.9%	15.2%	25.5%	15.2%	14.9%
活力あふれるにぎわいのまちづくり	3.2%	9.0%	1.8%	5.7%	7.6%	2.1%
市民が主役のまちづくり	3.2%	5.4%	7.1%	10.4%	4.8%	5.3%
将来を見据えた自治経営	2.1%	12.6%	2.7%	11.3%	8.6%	10.6%

問７　あなたは、他の市と比較して、寝屋川市の大きな魅力は何だと思いますか。あてはまる番号に○をしてください。（○は３つまで）

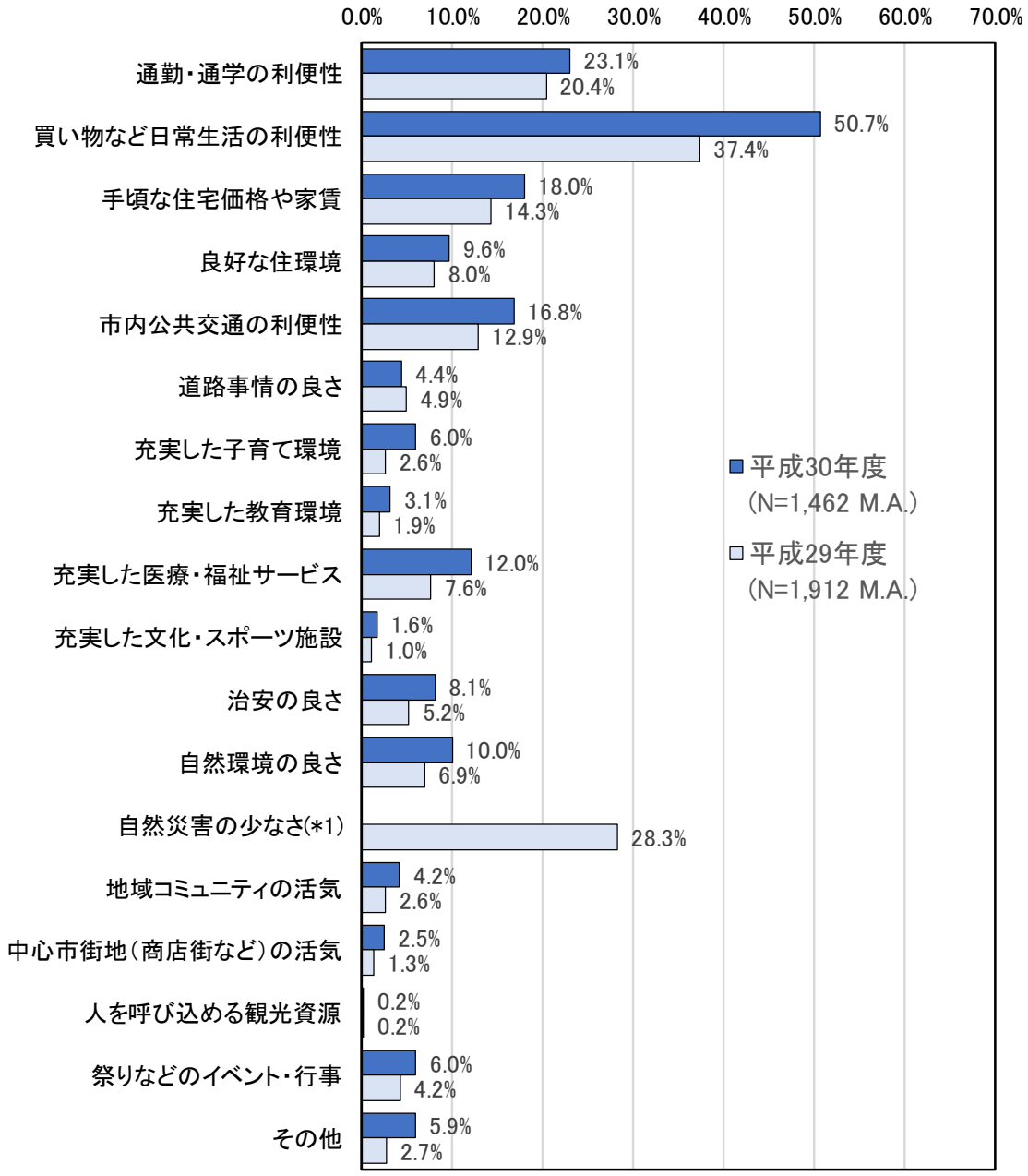
①　　全体

「買い物など日常生活の利便性」が 50.7％と最も高く、次いで「通期・通学の利便性」が 23.1％、「手頃な住宅価格や家賃」が 18.0％の順となっている。

平成 29 年度の調査と比較すると、「道路事情の良さ」、「人を呼び込める観光資源」を除いて割合が増加している。



② 年度別



注：(*1)平成 30 年度にはないが、平成 29 年度にはある選択肢。

③　年代別

20 歳代以上の年代において「買い物など日常生活の利便性」が最も高く、次いで 20 歳代から 60 歳代で「通勤・通学の利便性」の割合が高くなっている。

平成 29 年度の調査と比較すると、全ての年代において「買い物などの日常生活の利便性」、「充実した子育て環境（保育施設、保育への支援等）」、「充実した医療・福祉サービス」の割合が増加している。

	18～19歳 (N=24)	20～29歳 (N=88)	30～39歳 (N=130)	40～49歳 (N=222)	50～59歳 (N=204)	60～69歳 (N=304)	70～79歳 (N=338)	80歳以上 (N=118)
通勤・通学の利便性	41.7%	31.8%	31.5%	23.0%	30.4%	22.4%	15.4%	12.7%
買い物など日常生活の利便性	33.3%	44.3%	48.5%	44.1%	47.5%	55.9%	59.8%	41.5%
手頃な住宅価格や家賃	8.3%	21.6%	20.8%	20.3%	21.6%	18.1%	16.6%	10.2%
良好な住環境	0.0%	12.5%	5.4%	5.9%	9.3%	9.9%	11.5%	18.6%
市内公共交通の利便性	25.0%	19.3%	11.5%	15.3%	15.7%	19.1%	18.0%	16.9%
道路事情の良さ	0.0%	8.0%	5.4%	7.7%	2.9%	3.3%	4.1%	1.7%
充実した子育て環境（保育施設、保育への支援等）	4.2%	2.3%	17.7%	8.1%	4.9%	4.3%	5.0%	2.5%
充実した教育環境（学校施設、学力向上の取組等）	12.5%	3.4%	3.1%	3.6%	5.9%	0.3%	2.7%	5.1%
充実した医療・福祉サービス	8.3%	4.5%	10.8%	10.8%	5.4%	11.2%	16.3%	22.0%
充実した文化・スポーツ施設	0.0%	0.0%	0.8%	0.9%	1.0%	1.6%	3.0%	3.4%
治安の良さ	8.3%	4.5%	2.3%	3.2%	5.4%	7.6%	13.0%	16.9%
自然環境の良さ	4.2%	6.8%	6.9%	6.3%	8.3%	11.8%	11.8%	18.6%
地域コミュニティの活気	0.0%	0.0%	2.3%	5.0%	2.0%	5.9%	4.7%	7.6%
中心市街地（商店街など）の活気	0.0%	0.0%	3.8%	0.5%	3.9%	1.3%	3.8%	2.5%
人を呼び込める観光資源	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.3%	0.0%
祭りなどのイベント・行事	4.2%	12.5%	6.9%	6.8%	2.5%	5.6%	6.5%	5.9%
その他	4.2%	8.0%	7.7%	8.6%	7.4%	6.3%	3.0%	3.4%

	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
上段：平成30年度	(N=24)	(N=88)	(N=130)	(N=222)	(N=204)	(N=304)	(N=338)	(N=118)
下段：平成29年度	(N=29)	(N=110)	(N=186)	(N=318)	(N=296)	(N=398)	(N=396)	(N=143)
通勤・通学の利便性	41.7%	31.8%	31.5%	23.0%	30.4%	22.4%	15.4%	12.7%
	27.6%	22.7%	25.3%	23.0%	23.6%	20.6%	14.9%	14.7%
買い物など日常生活の利便性	33.3%	44.3%	48.5%	44.1%	47.5%	55.9%	59.8%	41.5%
	10.3%	30.9%	34.9%	29.6%	37.8%	45.2%	40.7%	40.6%
手頃な住宅価格や家賃	8.3%	21.6%	20.8%	20.3%	21.6%	18.1%	16.6%	10.2%
	6.9%	13.6%	21.5%	23.0%	13.5%	11.8%	10.1%	8.4%
良好な住環境	0.0%	12.5%	5.4%	5.9%	9.3%	9.9%	11.5%	18.6%
	17.2%	3.6%	7.0%	5.7%	4.7%	9.3%	10.1%	14.0%
市内公共交通の利便性	25.0%	19.3%	11.5%	15.3%	15.7%	19.1%	18.0%	16.9%
	3.4%	11.8%	11.8%	6.3%	14.5%	13.8%	17.2%	16.1%
道路事情の良さ	0.0%	8.0%	5.4%	7.7%	2.9%	3.3%	4.1%	1.7%
	3.4%	7.3%	5.9%	4.1%	7.1%	4.8%	3.8%	3.5%
充実した子育て環境（保育施設、保育への支援等）	4.2%	2.3%	17.7%	8.1%	4.9%	4.3%	5.0%	2.5%
	3.4%	1.8%	6.5%	5.0%	1.4%	2.5%	0.8%	0.7%
充実した教育環境（学校施設、学力向上の取組等）	12.5%	3.4%	3.1%	3.6%	5.9%	0.3%	2.7%	5.1%
	3.4%	1.8%	1.6%	2.5%	2.0%	2.3%	1.3%	1.4%
充実した医療・福祉サービス	8.3%	4.5%	10.8%	10.8%	5.4%	11.2%	16.3%	22.0%
	6.9%	3.6%	5.9%	7.9%	3.4%	5.3%	12.1%	14.7%
充実した文化・スポーツ施設	0.0%	0.0%	0.8%	0.9%	1.0%	1.6%	3.0%	3.4%
	3.4%	0.9%	1.6%	0.9%	0.3%	1.0%	0.8%	1.4%
治安の良さ	8.3%	4.5%	2.3%	3.2%	5.4%	7.6%	13.0%	16.9%
	0.0%	6.4%	2.2%	2.2%	3.4%	5.0%	7.3%	14.0%
自然環境の良さ	4.2%	6.8%	6.9%	6.3%	8.3%	11.8%	11.8%	18.6%
	17.2%	5.5%	5.4%	3.8%	6.8%	3.0%	8.8%	11.2%
自然災害の少なさ(*1)	－	－	－	－	－	－	－	－
	24.1%	27.3%	13.4%	15.7%	23.0%	33.4%	39.9%	42.7%
地域コミュニティの活気	0.0%	0.0%	2.3%	5.0%	2.0%	5.9%	4.7%	7.6%
	3.4%	2.7%	0.5%	1.3%	2.4%	3.3%	2.8%	6.3%
中心市街地（商店街など）の活気	0.0%	0.0%	3.8%	0.5%	3.9%	1.3%	3.8%	2.5%
	0.0%	0.0%	1.6%	2.5%	2.0%	1.0%	1.0%	0.0%
人を呼び込める観光資源	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.3%	0.0%
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.3%	0.0%
祭りなどのイベント・行事	4.2%	12.5%	6.9%	6.8%	2.5%	5.6%	6.5%	5.9%
	0.0%	5.5%	4.3%	5.0%	5.4%	3.5%	3.8%	2.8%
その他	4.2%	8.0%	7.7%	8.6%	7.4%	6.3%	3.0%	3.4%
	10.2%	2.7%	4.3%	1.6%	3.7%	2.8%	2.3%	0.7%

④　中学校区別

第四中学校区を除く中学校区において「買い物など日常生活の利便性」が最も高くなっている。

平成 29 年度の調査と比較すると、全ての中学校区において「買い物などの日常生活の利便性」の割合が増加している。

	第一中学校区 (N=150)	第二中学校区 (N=103)	第三中学校区 (N=149)	第四中学校区 (N=74)	第五中学校区 (N=97)	第六中学校区 (N=196)
通勤・通学の利便性	34.0%	24.3%	28.2%	14.9%	19.6%	21.9%
買い物など日常生活の利便性	48.0%	63.1%	68.5%	31.1%	47.4%	35.7%
手頃な住宅価格や家賃	17.3%	13.6%	24.2%	21.6%	14.4%	15.3%
良好な住環境	8.0%	2.9%	7.4%	10.8%	5.2%	23.5%
市内公共交通の利便性	18.0%	21.4%	21.5%	8.1%	15.5%	18.9%
道路事情の良さ	8.7%	1.9%	4.7%	2.7%	3.1%	3.1%
充実した子育て環境（保育施設、保育への支援等）	6.0%	4.9%	5.4%	9.5%	3.1%	11.2%
充実した教育環境（学校施設、学力向上の取組等）	1.3%	4.9%	1.3%	4.1%	5.2%	5.6%
充実した医療・福祉サービス	17.3%	13.6%	7.4%	12.2%	12.4%	11.7%
充実した文化・スポーツ施設	2.0%	1.9%	0.0%	4.1%	1.0%	1.5%
治安の良さ	6.7%	7.8%	4.0%	14.9%	8.2%	10.7%
自然環境の良さ	8.0%	3.9%	6.0%	35.1%	5.2%	8.7%
地域コミュニティの活気	1.3%	3.9%	4.0%	2.7%	6.2%	3.1%
中心市街地（商店街など）の活気	0.7%	5.8%	5.4%	0.0%	0.0%	2.6%
人を呼び込める観光資源	0.0%	0.0%	0.7%	1.4%	0.0%	0.0%
祭りなどのイベント・行事	7.3%	7.8%	4.0%	6.8%	7.2%	5.1%
その他	6.0%	6.8%	3.4%	4.1%	10.3%	7.1%

	第七中学校区 (N=94)	第八中学校区 (N=111)	第九中学校区 (N=112)	第十中学校区 (N=106)	友呂岐中学校区 (N=105)	中木田中学校区 (N=94)
通勤・通学の利便性	21.3%	13.5%	26.8%	16.0%	21.0%	21.3%
買い物など日常生活の利便性	48.9%	40.5%	58.9%	41.5%	68.6%	61.7%
手頃な住宅価格や家賃	17.0%	24.3%	18.8%	18.9%	18.1%	16.0%
良好な住環境	10.6%	8.1%	3.6%	10.4%	11.4%	5.3%
市内公共交通の利便性	16.0%	18.0%	11.6%	16.0%	16.2%	20.2%
道路事情の良さ	2.1%	5.4%	5.4%	3.8%	6.7%	5.3%
充実した子育て環境（保育施設、保育への支援等）	5.3%	6.3%	7.1%	3.8%	4.8%	3.2%
充実した教育環境（学校施設、学力向上の取組等）	3.2%	1.8%	3.6%	2.8%	3.8%	1.1%
充実した医療・福祉サービス	5.3%	18.0%	10.7%	9.4%	14.3%	9.6%
充実した文化・スポーツ施設	1.1%	3.6%	0.9%	3.8%	1.0%	1.1%
治安の良さ	8.5%	7.2%	8.0%	3.8%	13.3%	4.3%
自然環境の良さ	14.9%	10.8%	2.7%	26.4%	6.7%	5.3%
地域コミュニティの活気	12.8%	5.4%	5.4%	1.9%	1.0%	8.5%
中心市街地（商店街など）の活気	1.1%	1.8%	3.6%	0.0%	2.9%	3.2%
人を呼び込める観光資源	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%
祭りなどのイベント・行事	4.3%	9.0%	4.5%	10.4%	4.8%	5.3%
その他	10.6%	5.4%	2.7%	5.7%	2.9%	7.4%

	第一中学校区	第二中学校区	第三中学校区	第四中学校区	第五中学校区	第六中学校区
上段：平成30年度	(N=150)	(N=103)	(N=149)	(N=74)	(N=97)	(N=196)
下段：平成29年度	(N=194)	(N=157)	(N=209)	(N=112)	(N=126)	(N=257)
通勤・通学の利便性	34.0%	24.3%	28.2%	14.9%	19.6%	21.9%
	26.3%	21.0%	21.5%	17.9%	19.0%	23.0%
買い物など日常生活の利便性	48.0%	63.1%	68.5%	31.1%	47.4%	35.7%
	36.1%	43.3%	46.4%	27.7%	40.5%	31.9%
手頃な住宅価格や家賃	17.3%	13.6%	24.2%	21.6%	14.4%	15.3%
	16.0%	13.4%	13.4%	12.5%	15.1%	14.4%
良好な住環境	8.0%	2.9%	7.4%	10.8%	5.2%	23.5%
	6.2%	8.3%	5.7%	8.9%	4.0%	11.3%
市内公共交通の利便性	18.0%	21.4%	21.5%	8.1%	15.5%	18.9%
	13.9%	14.0%	20.6%	11.6%	10.3%	12.1%
道路事情の良さ	8.7%	1.9%	4.7%	2.7%	3.1%	3.1%
	10.3%	4.5%	3.3%	5.4%	3.2%	5.4%
充実した子育て環境（保育施設、保育への支援等）	6.0%	4.9%	5.4%	9.5%	3.1%	11.2%
	1.5%	0.6%	2.4%	5.4%	2.4%	2.7%
充実した教育環境（学校施設、学力向上の取組等）	1.3%	4.9%	1.3%	4.1%	5.2%	5.6%
	2.6%	1.9%	2.4%	0.9%	1.6%	4.3%
充実した医療・福祉サービス	17.3%	13.6%	7.4%	12.2%	12.4%	11.7%
	7.7%	7.6%	9.6%	7.1%	8.7%	8.6%
充実した文化・スポーツ施設	2.0%	1.9%	0.0%	4.1%	1.0%	1.5%
	0.5%	1.3%	1.0%	0.0%	0.0%	1.2%
治安の良さ	6.7%	7.8%	4.0%	14.9%	8.2%	10.7%
	6.2%	6.4%	3.8%	2.7%	7.9%	5.8%
自然環境の良さ	8.0%	3.9%	6.0%	35.1%	5.2%	8.7%
	2.6%	7.0%	6.7%	9.8%	3.2%	11.3%
自然災害の少なさ(*1)	-	-	-	-	-	-
	24.2%	29.9%	26.3%	34.8%	24.6%	24.5%
地域コミュニティの活気	1.3%	3.9%	4.0%	2.7%	6.2%	3.1%
	1.5%	2.5%	1.4%	3.6%	2.4%	1.9%
中心市街地（商店街など）の活気	0.7%	5.8%	5.4%	0.0%	0.0%	2.6%
	1.0%	2.5%	3.3%	3.6%	0.8%	0.4%
人を呼び込める観光資源	0.0%	0.0%	0.7%	1.4%	0.0%	0.0%
	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.4%
祭りなどのイベント・行事	7.3%	7.8%	4.0%	6.8%	7.2%	5.1%
	5.2%	7.6%	4.3%	3.6%	4.0%	1.6%
その他	6.0%	6.8%	3.4%	4.1%	10.3%	7.1%
	5.2%	1.9%	3.8%	2.7%	2.4%	2.7%

	第七中学校区	第八中学校区	第九中学校区	第十中学校区	友呂岐中学校区	中木田中学校区
上段：平成30年度	(N=94)	(N=111)	(N=112)	(N=106)	(N=105)	(N=94)
下段：平成29年度	(N=120)	(N=156)	(N=135)	(N=149)	(N=111)	(N=109)
通勤・通学の利便性	21.3%	13.5%	26.8%	16.0%	21.0%	21.3%
	14.2%	18.6%	18.5%	22.1%	18.0%	22.0%
買い物など日常生活の利便性	48.9%	40.5%	58.9%	41.5%	68.6%	61.7%
	25.8%	35.3%	39.3%	36.2%	45.9%	45.0%
手頃な住宅価格や家賃	17.0%	24.3%	18.8%	18.9%	18.1%	16.0%
	16.7%	8.3%	13.3%	16.8%	15.3%	16.5%
良好な住環境	10.6%	8.1%	3.6%	10.4%	11.4%	5.3%
	12.5%	7.7%	6.7%	6.7%	10.8%	5.5%
市内公共交通の利便性	16.0%	18.0%	11.6%	16.0%	16.2%	20.2%
	10.8%	12.8%	11.1%	13.4%	10.8%	10.1%
道路事情の良さ	2.1%	5.4%	5.4%	3.8%	6.7%	5.3%
	5.8%	0.6%	2.2%	6.7%	3.6%	6.4%
充実した子育て環境（保育施設、保育への支援等）	5.3%	6.3%	7.1%	3.8%	4.8%	3.2%
	3.3%	1.3%	1.5%	2.7%	3.6%	6.4%
充実した教育環境（学校施設、学力向上の取組等）	3.2%	1.8%	3.6%	2.8%	3.8%	1.1%
	1.7%	1.3%	0.7%	1.3%	0.0%	1.8%
充実した医療・福祉サービス	5.3%	18.0%	10.7%	9.4%	14.3%	9.6%
	7.5%	8.3%	3.7%	6.0%	9.0%	6.4%
充実した文化・スポーツ施設	1.1%	3.6%	0.9%	3.8%	1.0%	1.1%
	0.8%	1.3%	0.7%	1.3%	2.7%	0.0%
治安の良さ	8.5%	7.2%	8.0%	3.8%	13.3%	4.3%
	6.7%	3.2%	4.4%	4.0%	6.3%	5.5%
自然環境の良さ	14.9%	10.8%	2.7%	26.4%	6.7%	5.3%
	6.7%	5.8%	2.2%	14.8%	4.5%	3.7%
自然災害の少なさ(*1)	-	-	-	-	-	-
	37.5%	29.5%	29.6%	39.6%	29.7%	16.5%
地域コミュニティの活気	12.8%	5.4%	5.4%	1.9%	1.0%	8.5%
	7.5%	1.9%	5.2%	2.0%	4.5%	0.9%
中心市街地（商店街など）の活気	1.1%	1.8%	3.6%	0.0%	2.9%	3.2%
	0.8%	0.6%	1.5%	0.0%	1.8%	0.0%
人を呼び込める観光資源	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%
	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%
祭りなどのイベント・行事	4.3%	9.0%	4.5%	10.4%	4.8%	5.3%
	4.2%	4.5%	3.7%	4.7%	6.3%	2.8%
その他	10.6%	5.4%	2.7%	5.7%	2.9%	7.4%
	3.3%	1.9%	2.2%	2.0%	0.9%	1.8%

２．『安全で安心できるまちづくり』について

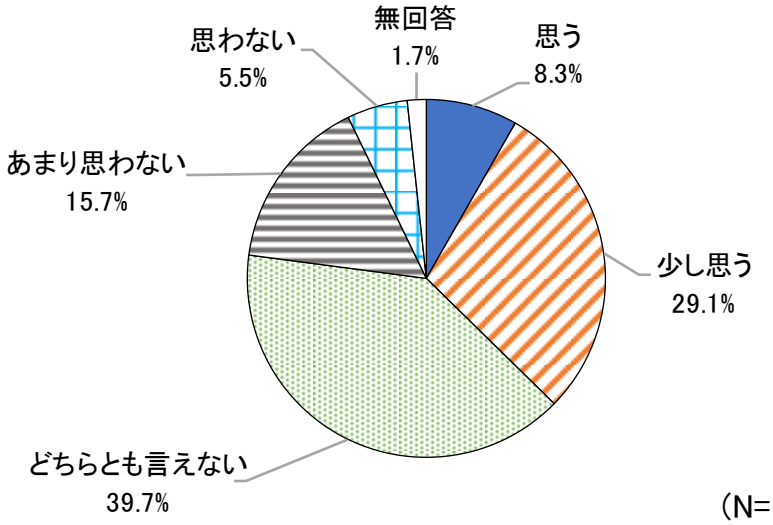
（１）　「防災・防犯・治水対策」について

問８　寝屋川市は、災害に備えるまちづくりが行われていると思いますか。

①　　全体

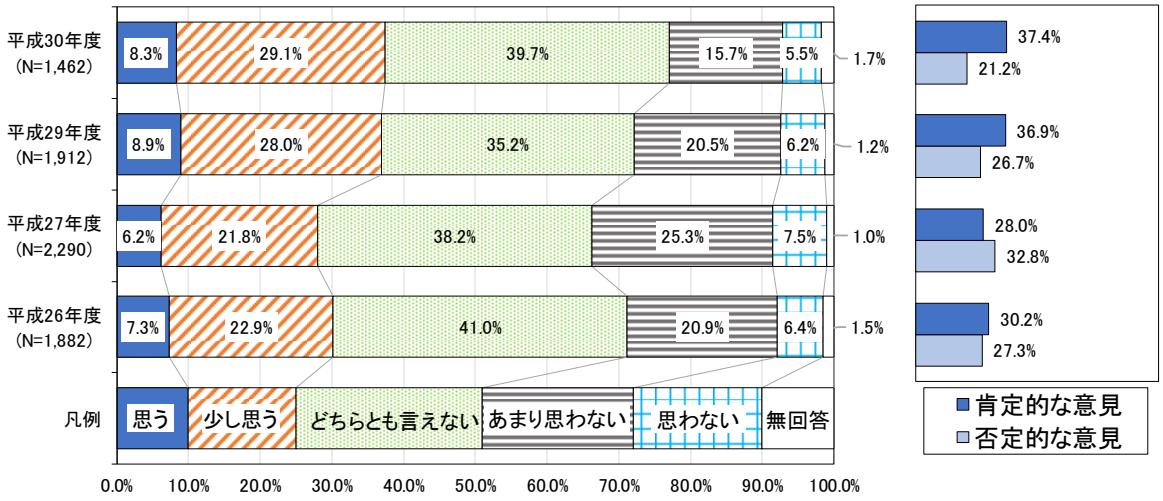
「どちらとも言えない」が 39.7%と最も高く、次いで「少し思う」が 29.1%、「あまり思わない」が 15.7%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 37.4%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 21.2%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



（N=1,462）

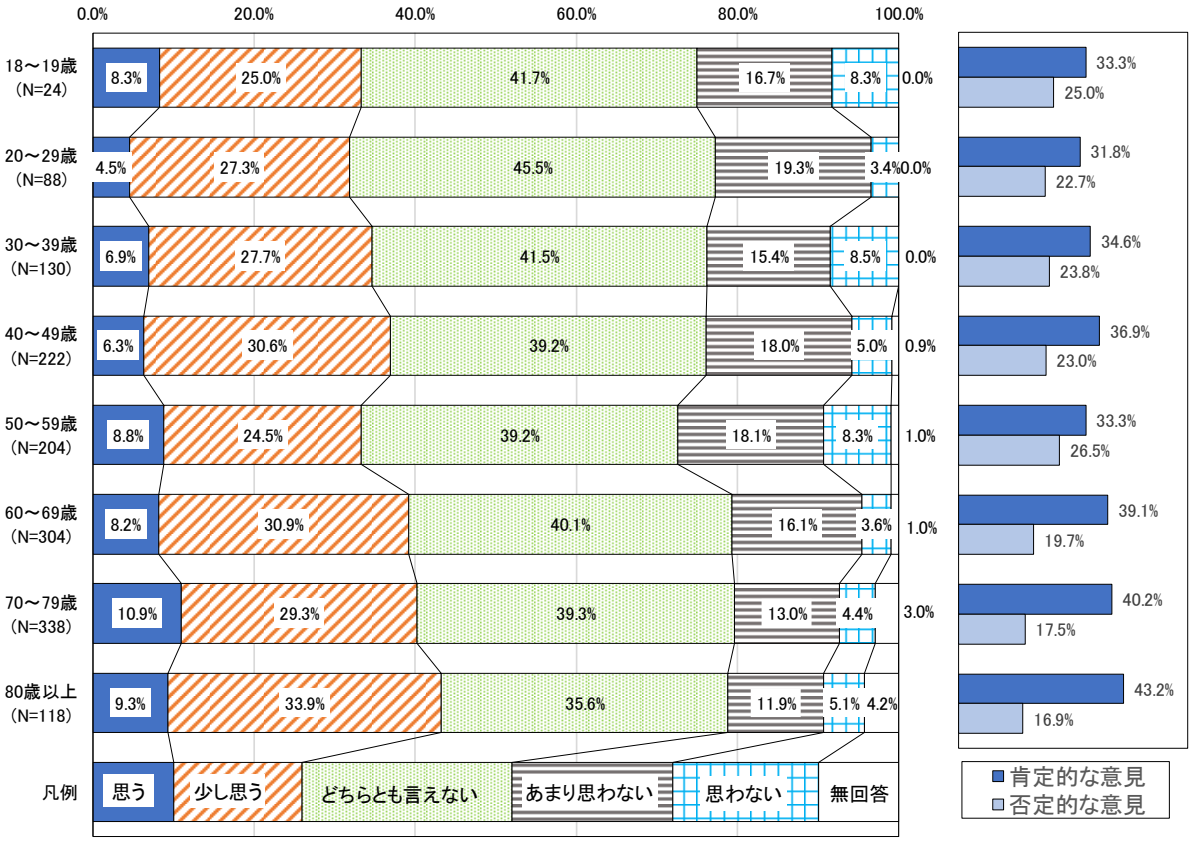
②　　年度別



③　年代別

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 70 歳代、60 歳代の順となっている。

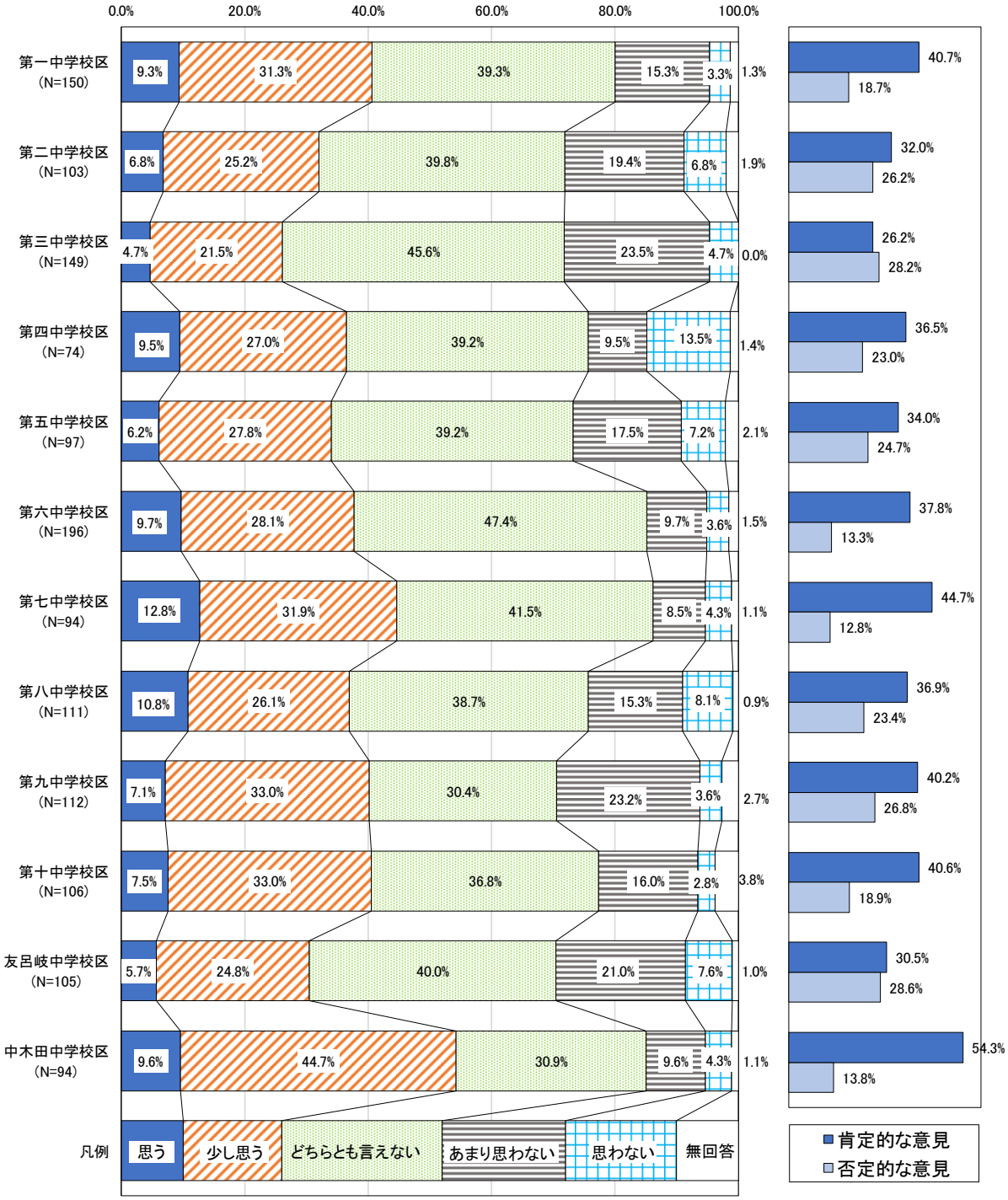
『否定的な意見』の割合は、50 歳代、10 歳代、30 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

第三中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは中木田中学校区で、次いで第七、第一中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、友呂岐、第三、第九中学校区の順で高くなっている。

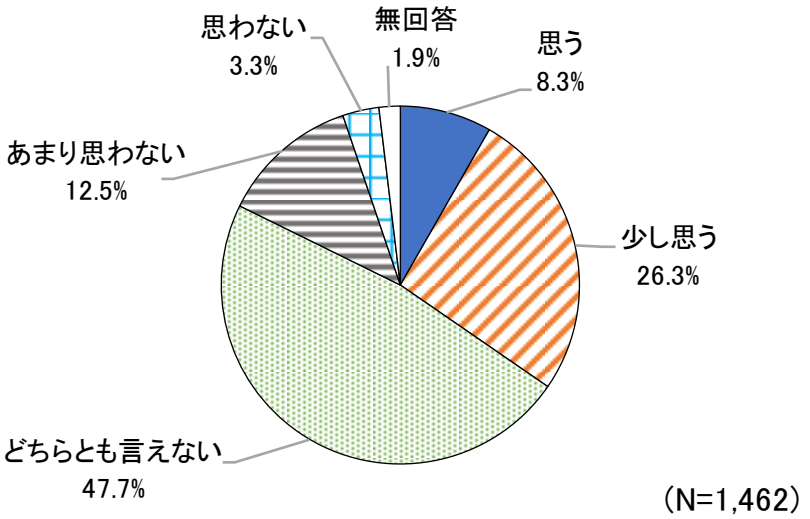


問９　地域の消防防災体制が充実していると思いますか。

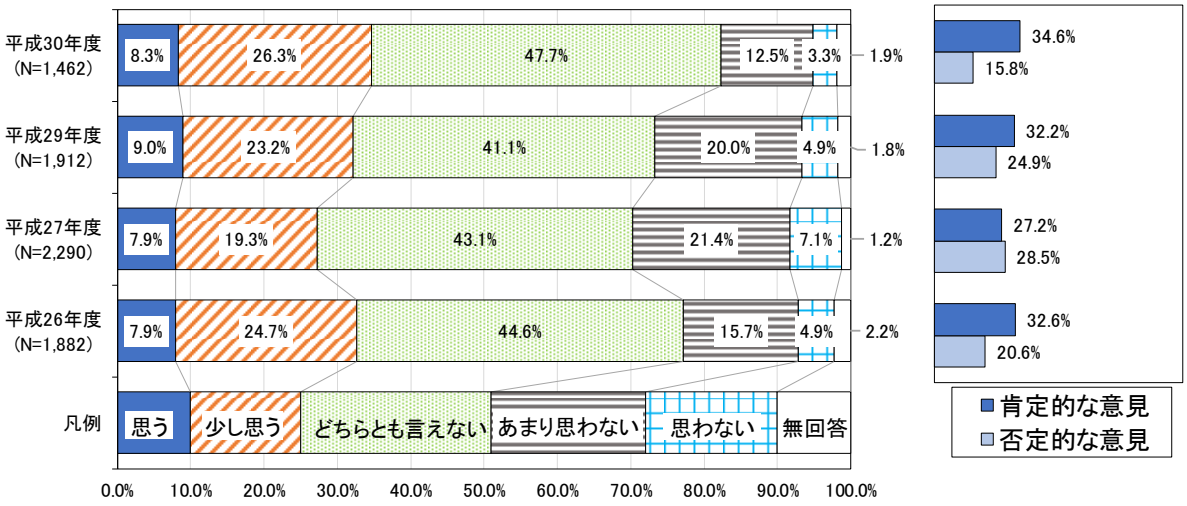
①　　全体

「どちらとも言えない」が 47.7％と最も高く、次いで「少し思う」が 26.3％、「あまり思わない」が 12.5％の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 34.6％、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 15.8％となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



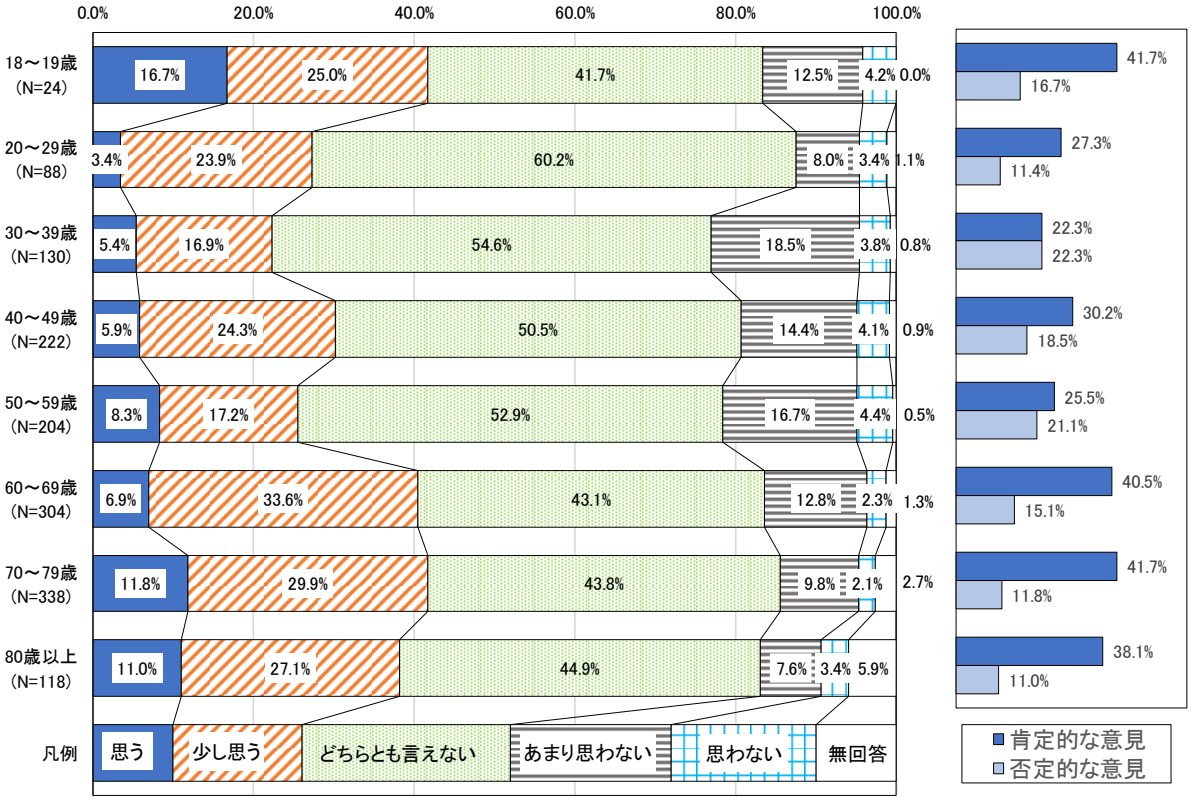
②　　年度別



③　年代別

30 歳代を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 10 歳代と 70 歳代で、次いで 60 歳代の順となっている。

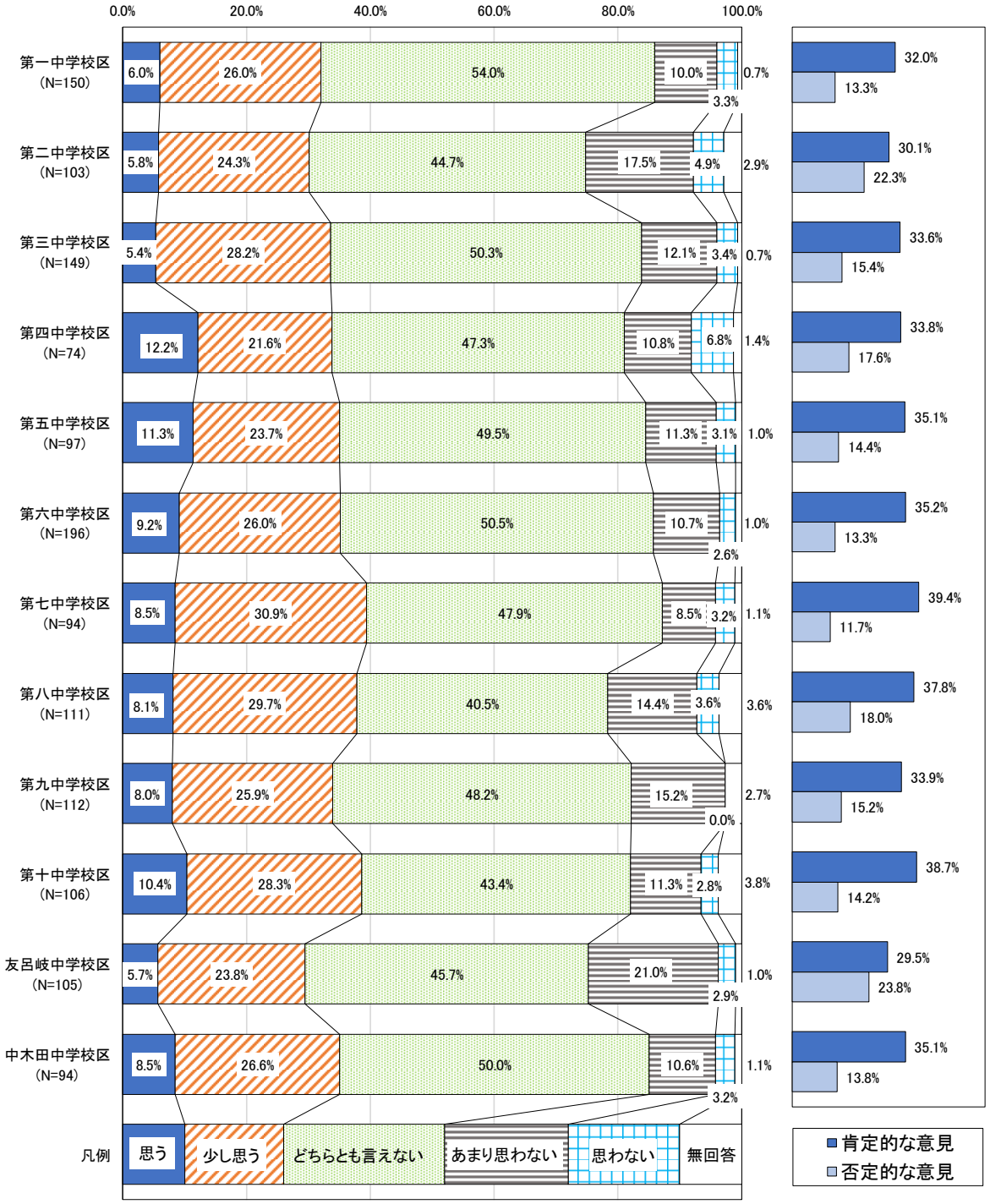
『否定的な意見』の割合は、30 歳代、50 歳代、40 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで第十、第八中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、友呂岐、第二、第八中学校区の順で高くなっている。

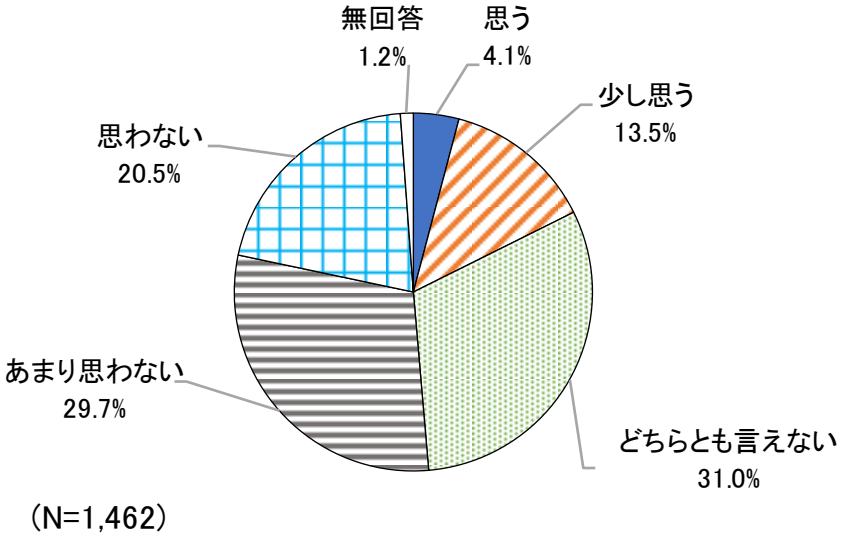


問 10　寝屋川市は、犯罪が少なく、安全なまちであると思いますか。

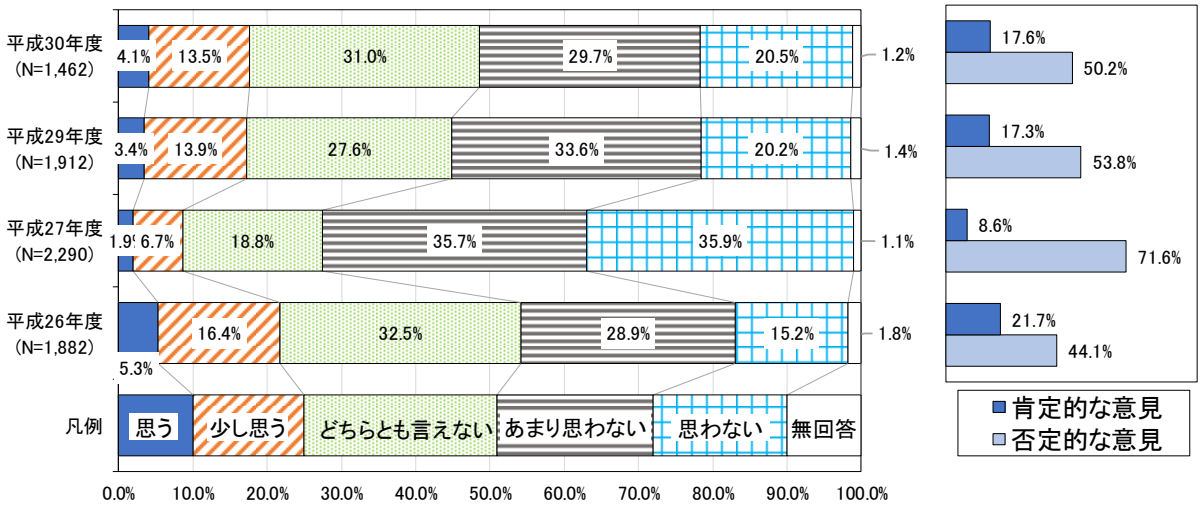
①　　全体

「どちらとも言えない」が 31.0％と最も高く、次いで「あまり思わない」が 29.7％、「思わない」が 20.5％の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 17.6％、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 50.2％となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



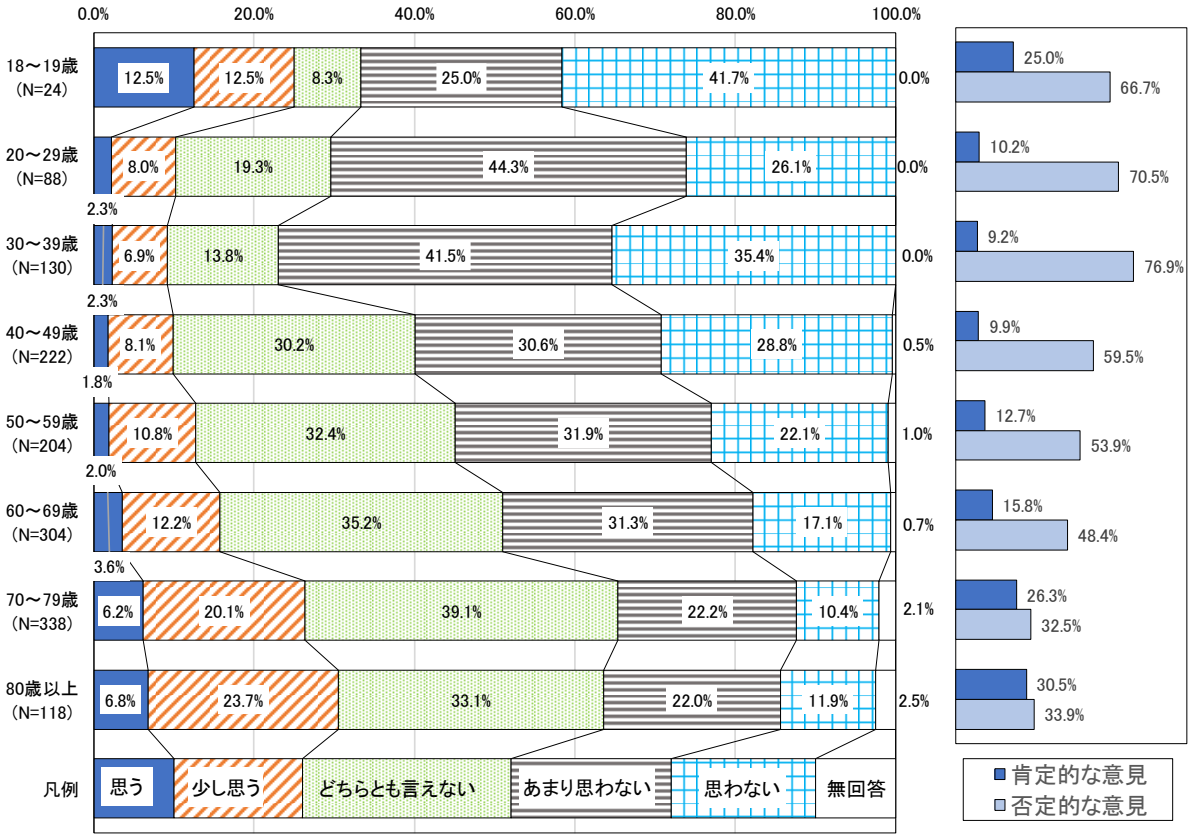
②　　年度別



③　年代別

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 70 歳代、10 歳代の順となっている。

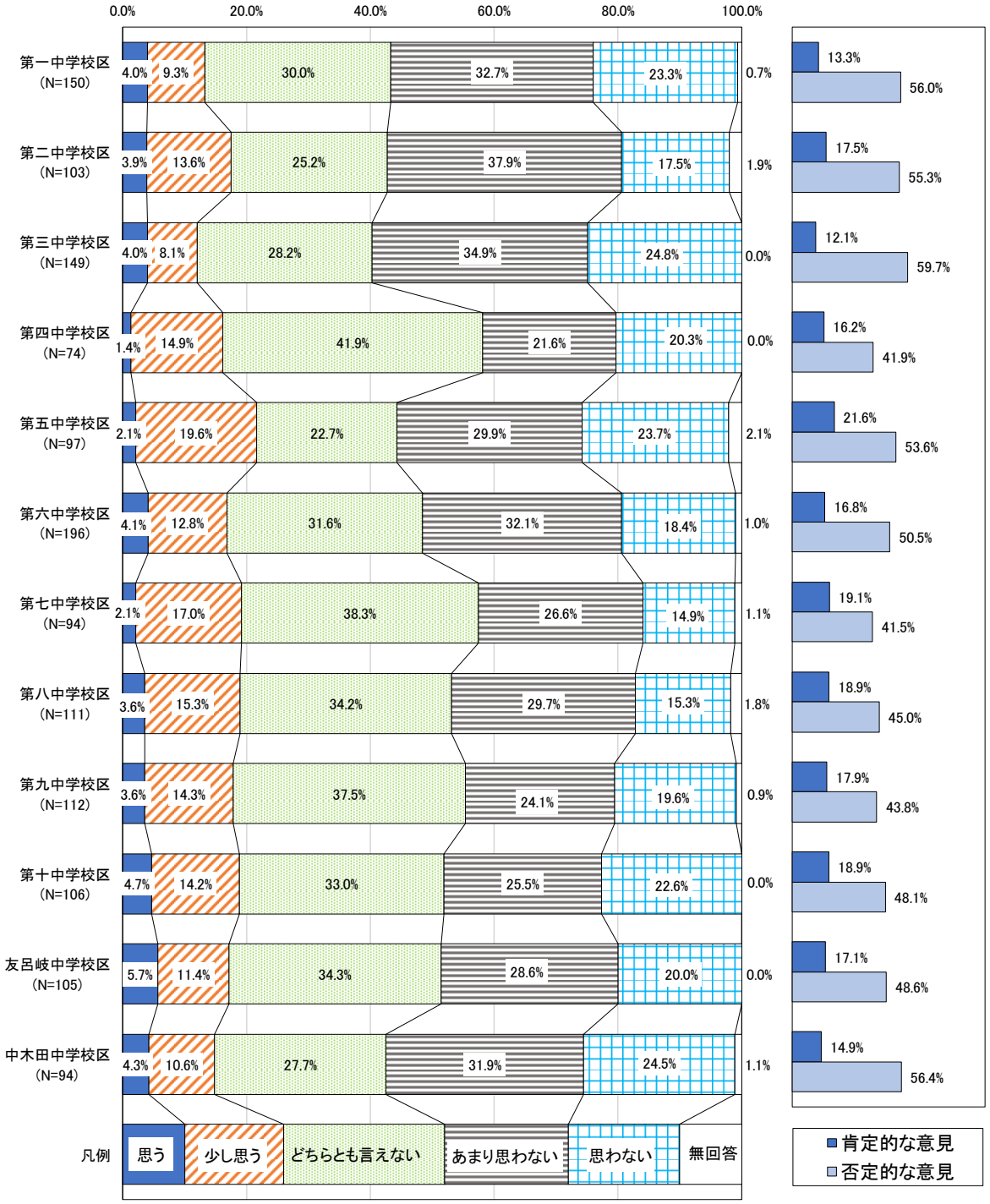
『否定的な意見』の割合は、30 歳代、20 歳代、10 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第五中学校区で、次いで第七、第八と第十中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第三、中木田、第一中学校区の順で高くなっている。

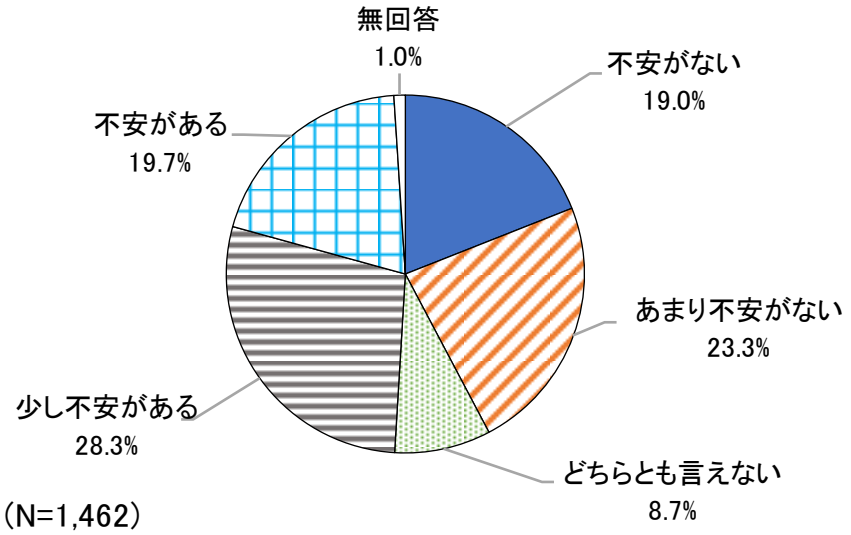


問 11　雨の時に浸水の不安がありますか。

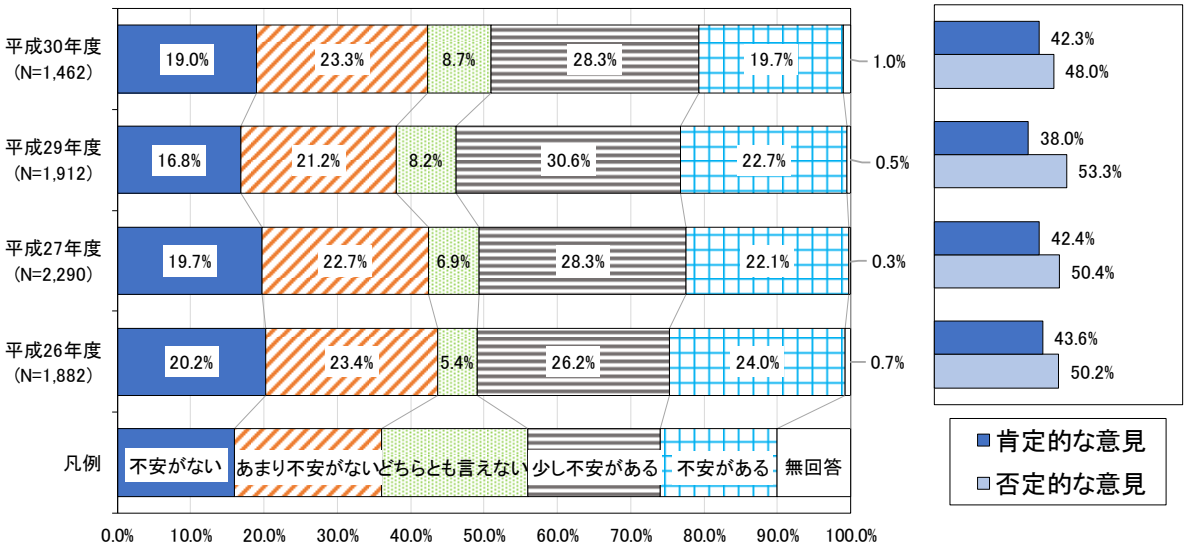
①　全体

「少し不安がある」が 28.3％と最も高く、次いで「あまり不安がない」が 23.3％、「不安がある」が 19.7％の順となっている。

「不安がない」と「あまり不安がない」を合わせた『肯定的な意見』は 42.3％、「少し不安がある」と「不安がある」を合わせた『否定的な意見』は 48.0％となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



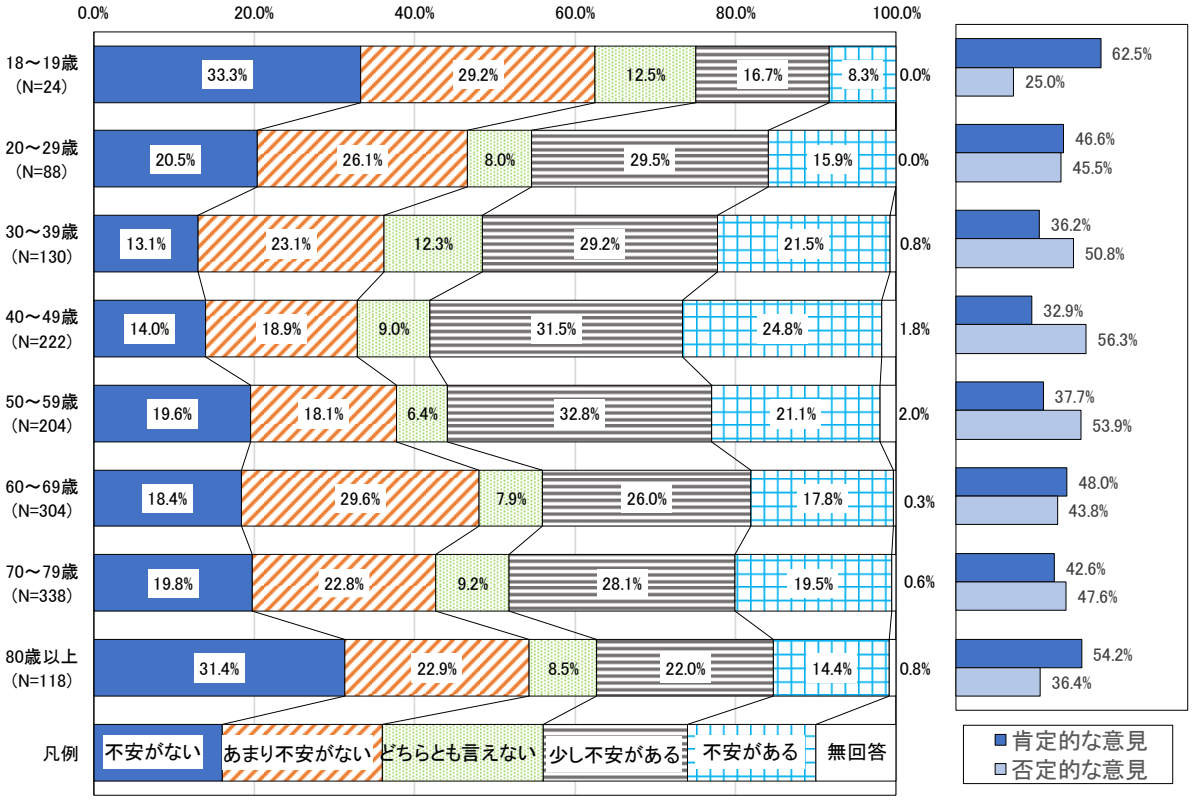
②　年度別



③　年代別

30 歳代から 50 歳代まで、70 歳代の年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 10 歳代で、次いで 80 歳以上、60 歳代の順となっている。

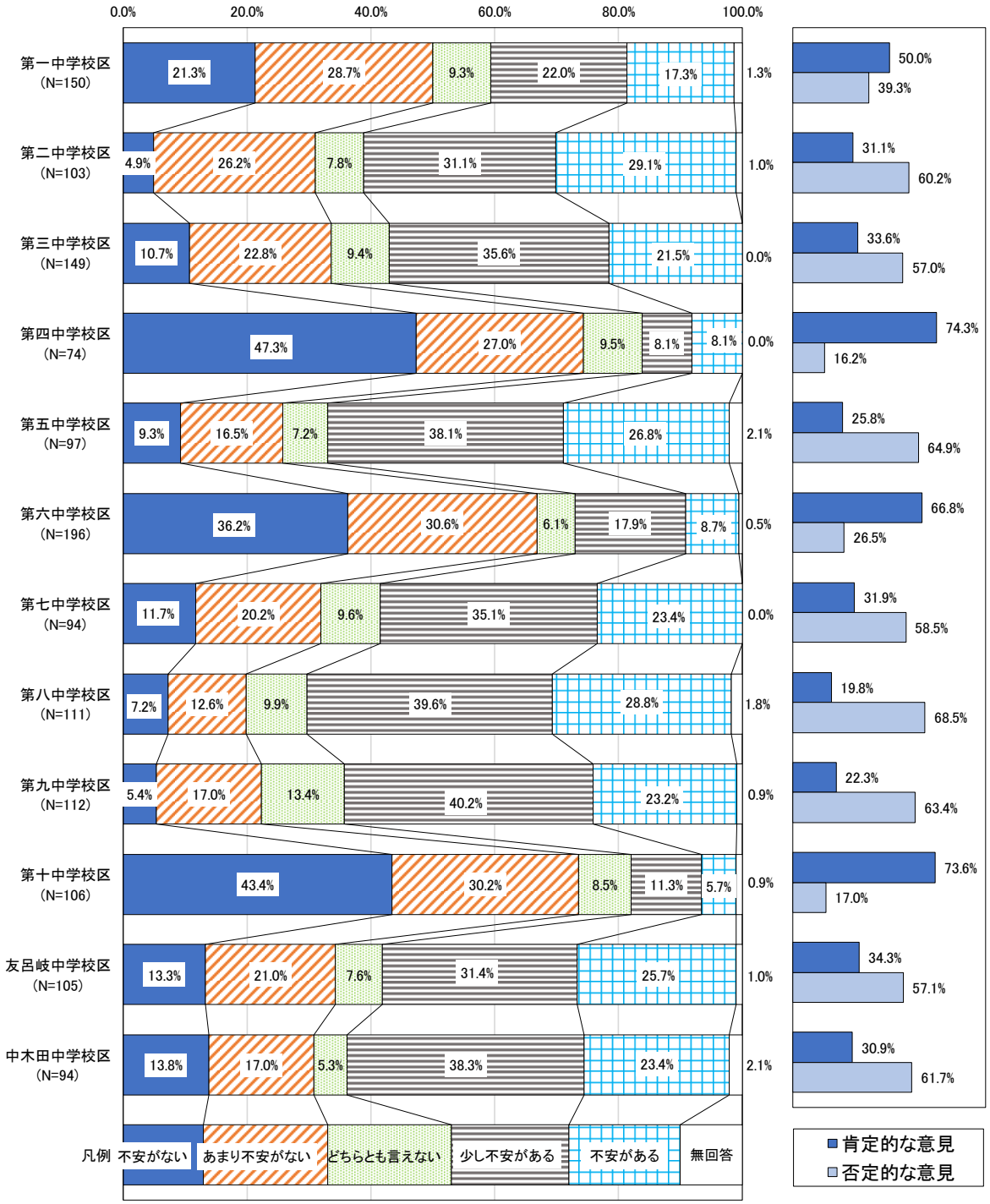
『否定的な意見』の割合は、40 歳代、50 歳代、30 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

第一、第四、第六、第十中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第四中学校区で、次いで第十、第六中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第八、第五、第九中学校区の順で高くなっている。

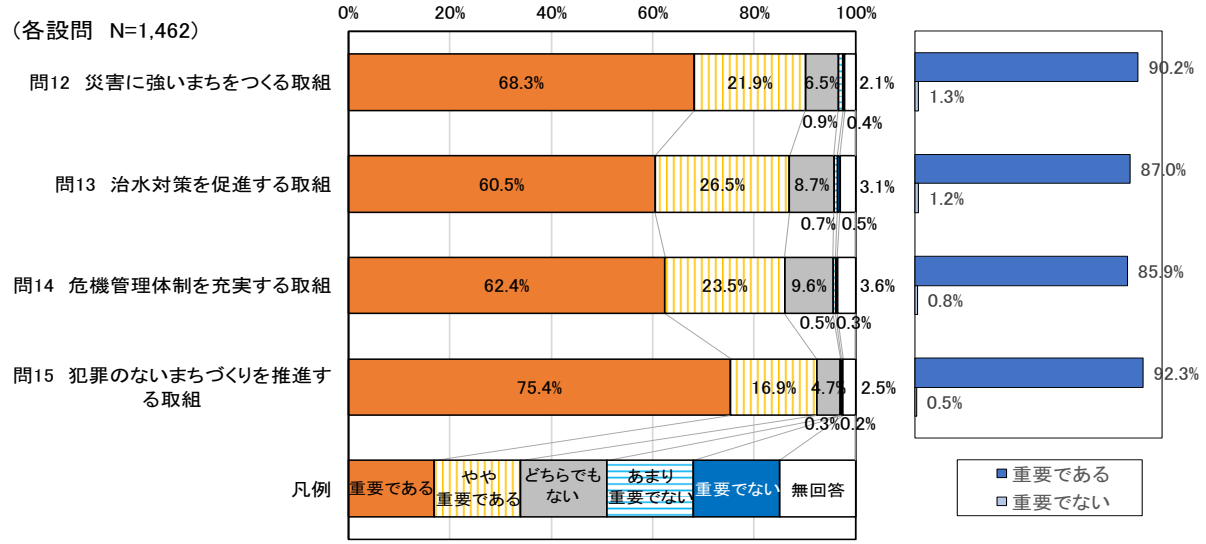


（２）　「防災・防犯・治水」の施策についての重要度と満足度

問 12～問 15　現在、寝屋川市が取り組んでいる「防災・防犯・治水」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

①　　重要度

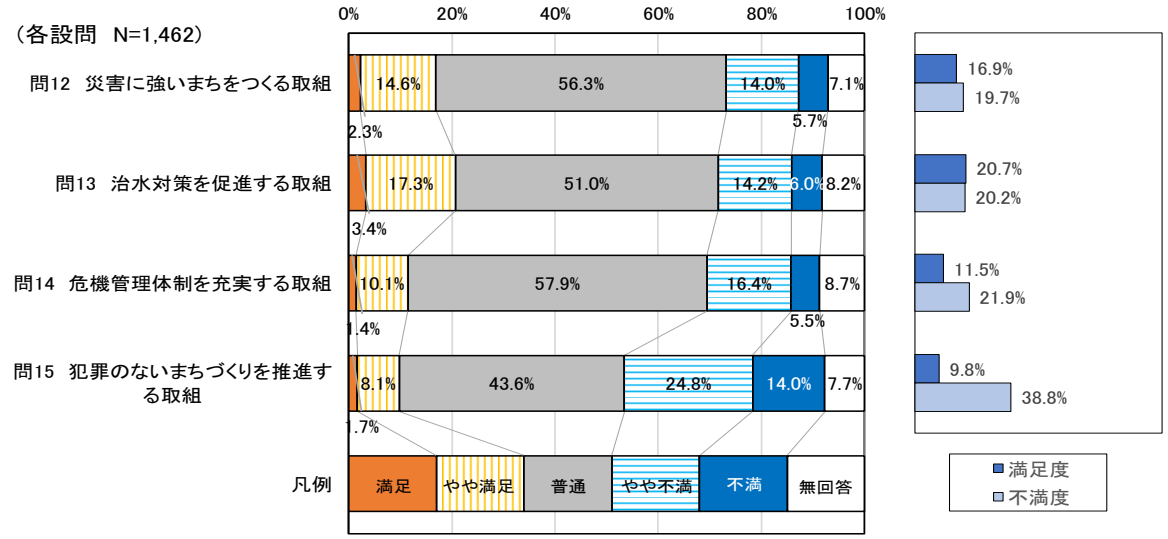
『防災・防犯・治水』の施策において、重要度（「重要である」と「やや重要である」を合わせた割合をいう。以下同じ。）が最も高いのは「犯罪のないまちづくりを推進する取組」で、次いで「災害に強いまちをつくる取組」が続いている。



②　　満足度

『防災・防犯・治水』の施策において、満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合をいう。以下同じ。）が最も高いのは「治水対策を促進する取組」で、次いで「災害に強いまちをつくる取組」、「危機管理体制を充実する取組」が続いている。

不満度（「不満」と「やや不満」を合わせた割合をいう。以下同じ。）が最も高いのは、「犯罪のないまちづくりを推進する取組」である。



３．『健康でいきいき暮らせるまちづくり』について

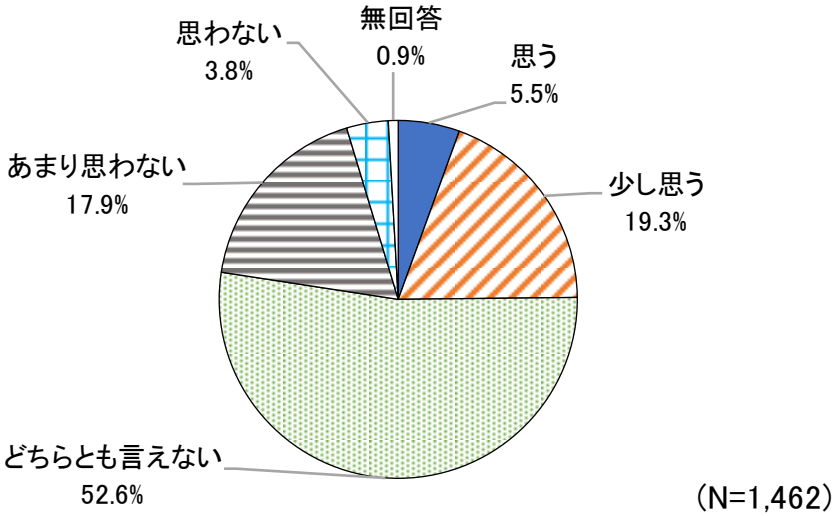
（１）　「人権」について

問 16　市民一人一人の人権意識は高くなってきたと思いますか。

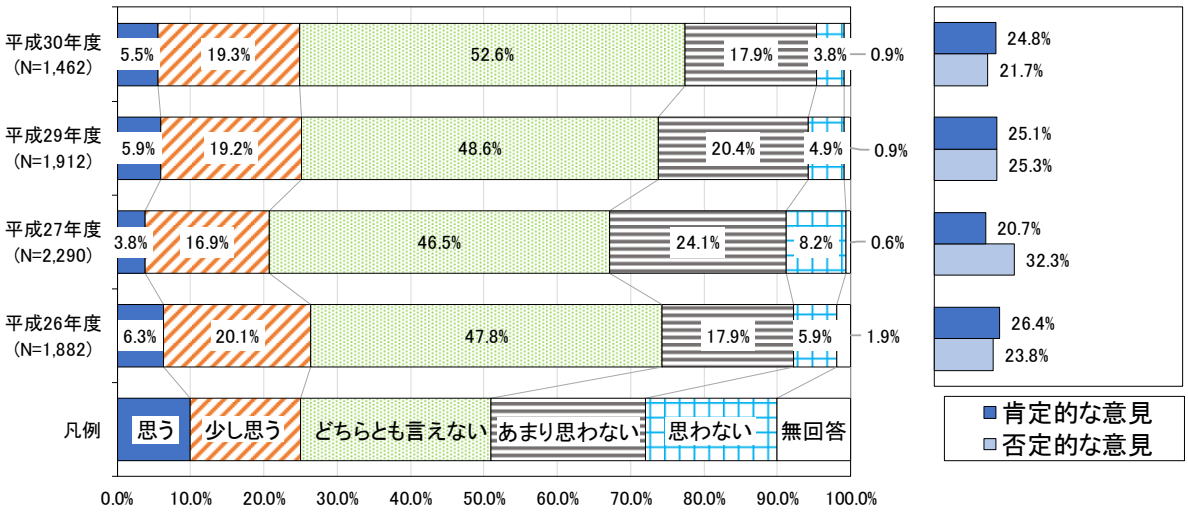
①　　全体

「どちらとも言えない」が 52.6%と最も高く、次いで「少し思う」が 19.3%、「あまり思わない」が 17.9%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 24.8%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 21.7%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



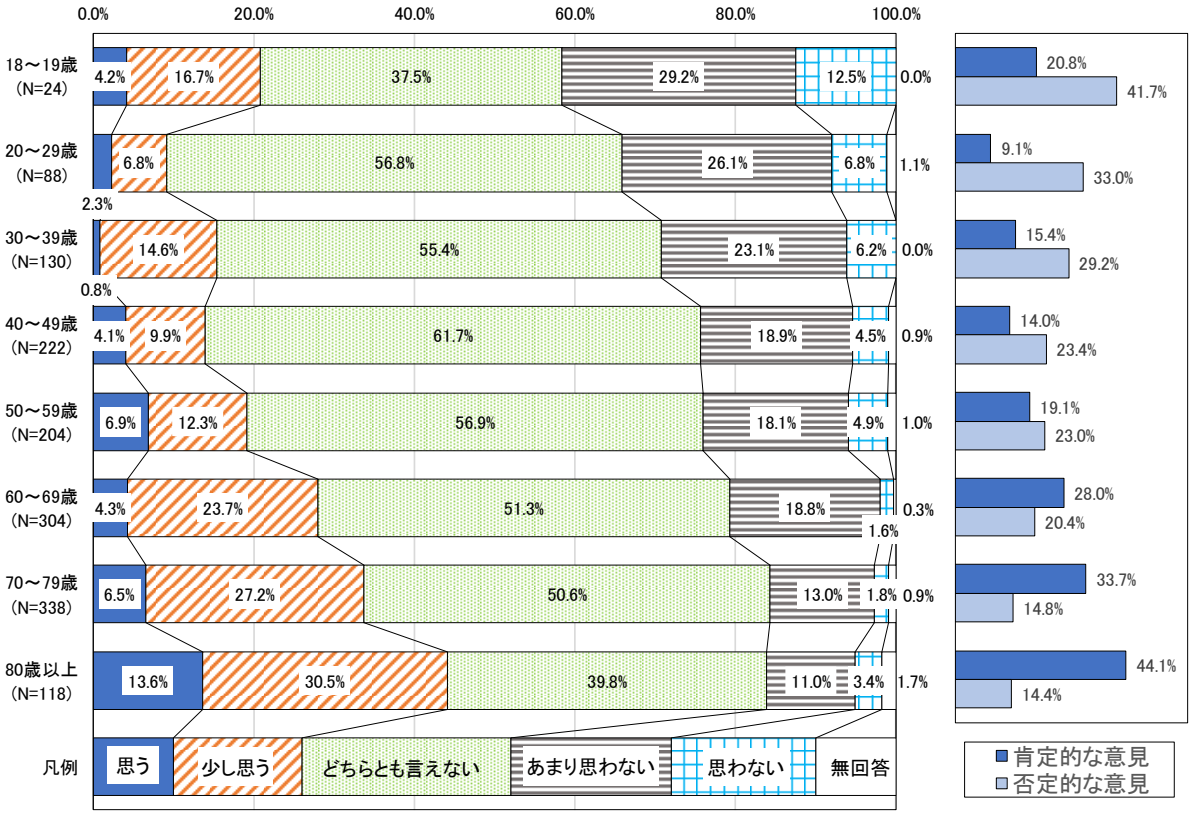
②　　年度別



③　年代別

60 歳代以上の年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 70 歳代、60 歳代の順となっている。

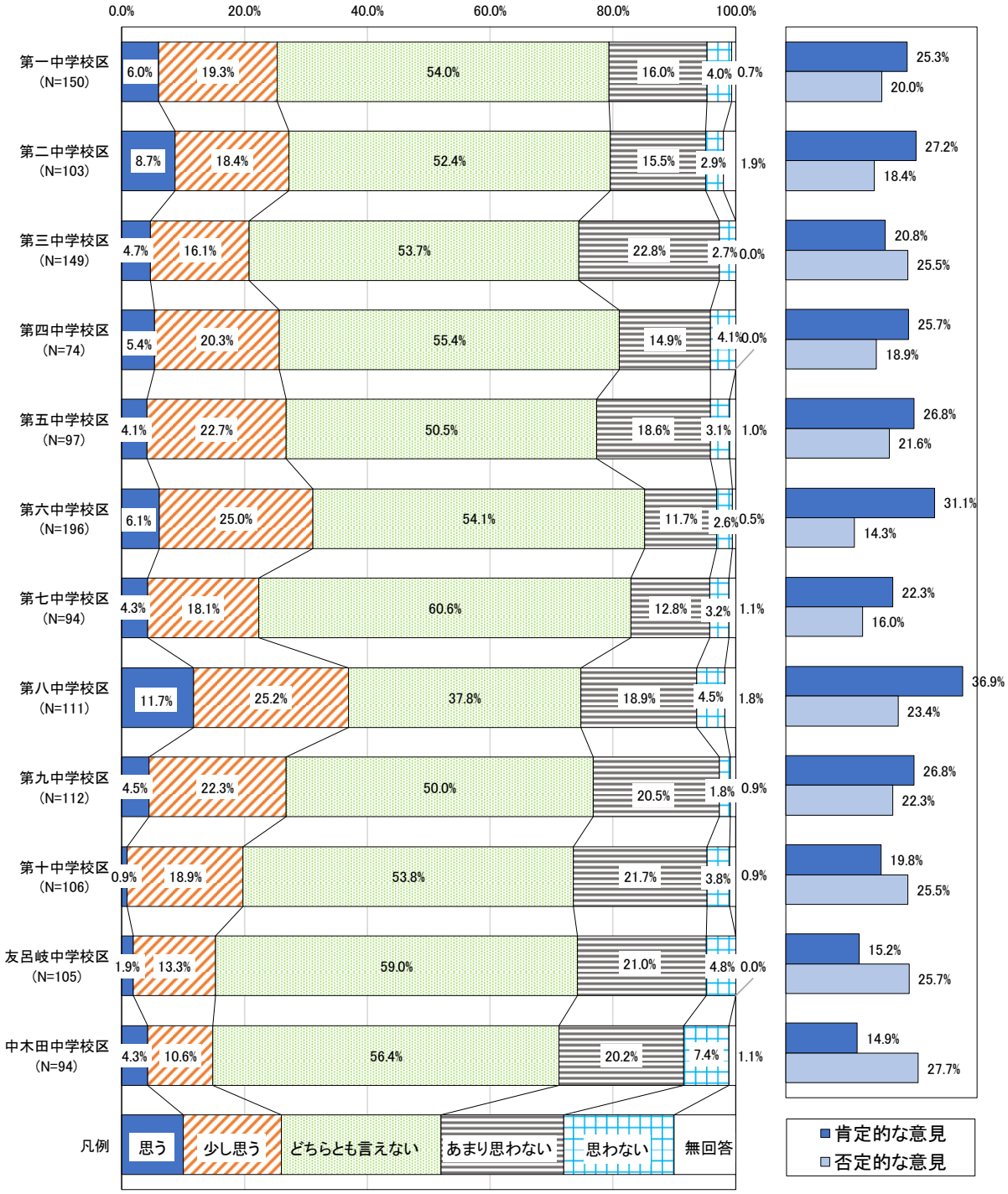
『否定的な意見』の割合は、10 歳代、20 歳代、30 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

第三、第十、友呂岐、中木田中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第八中学校区で、次いで第六、第二中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、中木田、友呂岐、第三と第十中学校区の順で高くなっている。

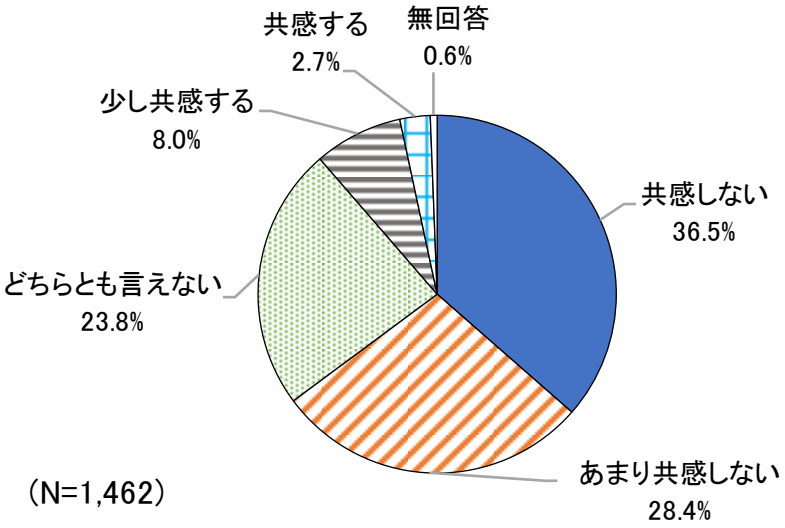


問 17　「男は仕事、女は家庭」というように性別によって役割を分担する考え方に共感しますか。

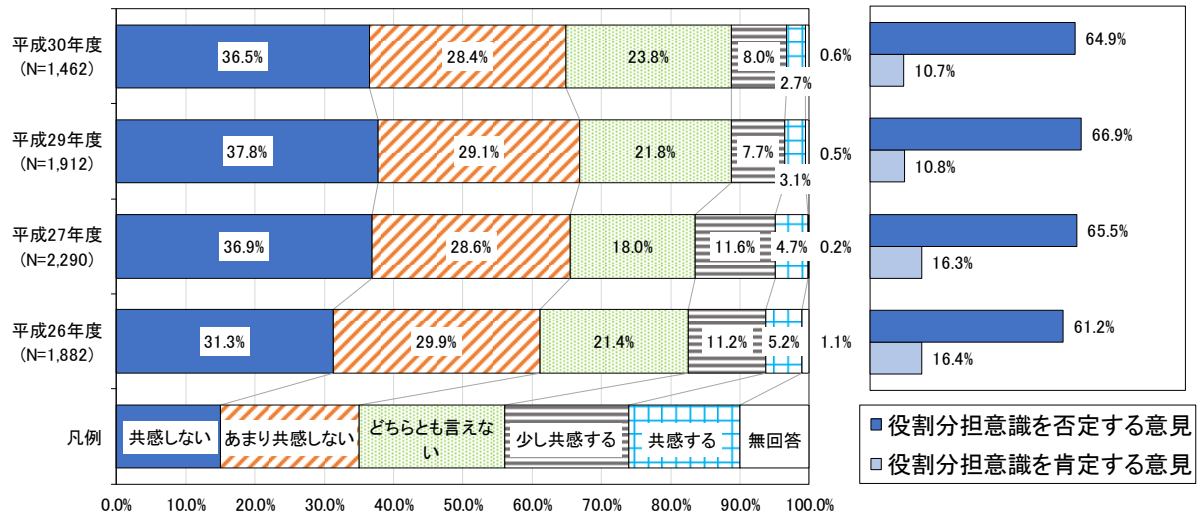
①　全体

「共感しない」が 36.5%と最も高く、次いで「あまり共感しない」が 28.4%、「どちらとも言えない」が 23.8%の順となっている。

「共感しない」と「あまり共感しない」を合わせた『役割分担意識を否定する意見』は 64.9%、「少し共感する」と「共感する」を合わせた『役割分担意識を肯定する意見』は 10.7%となっており、『役割分担意識を否定する意見』が『役割分担意識を肯定する意見』を上回っている。



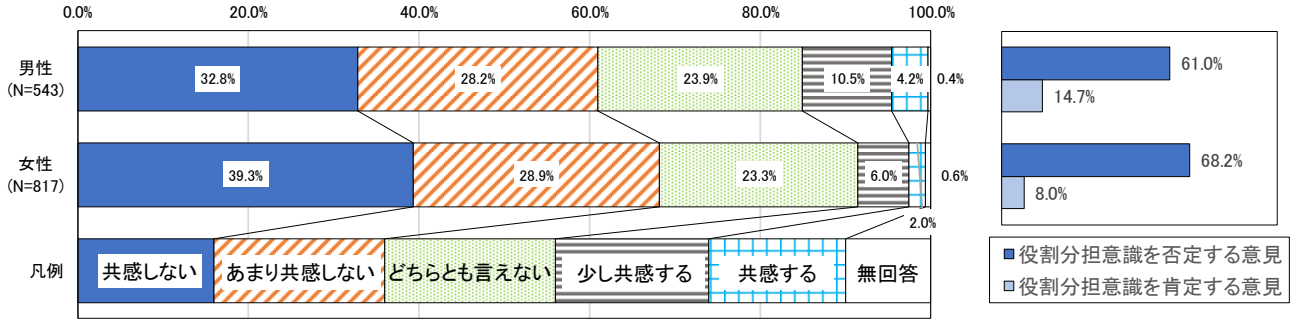
②　年度別



③　男女別

男女共に『役割分担意識を否定する意見』が『役割分担意識を肯定する意見』を上回っており、『役割分担意識を否定する意見』の割合は女性が男性を上回っている。

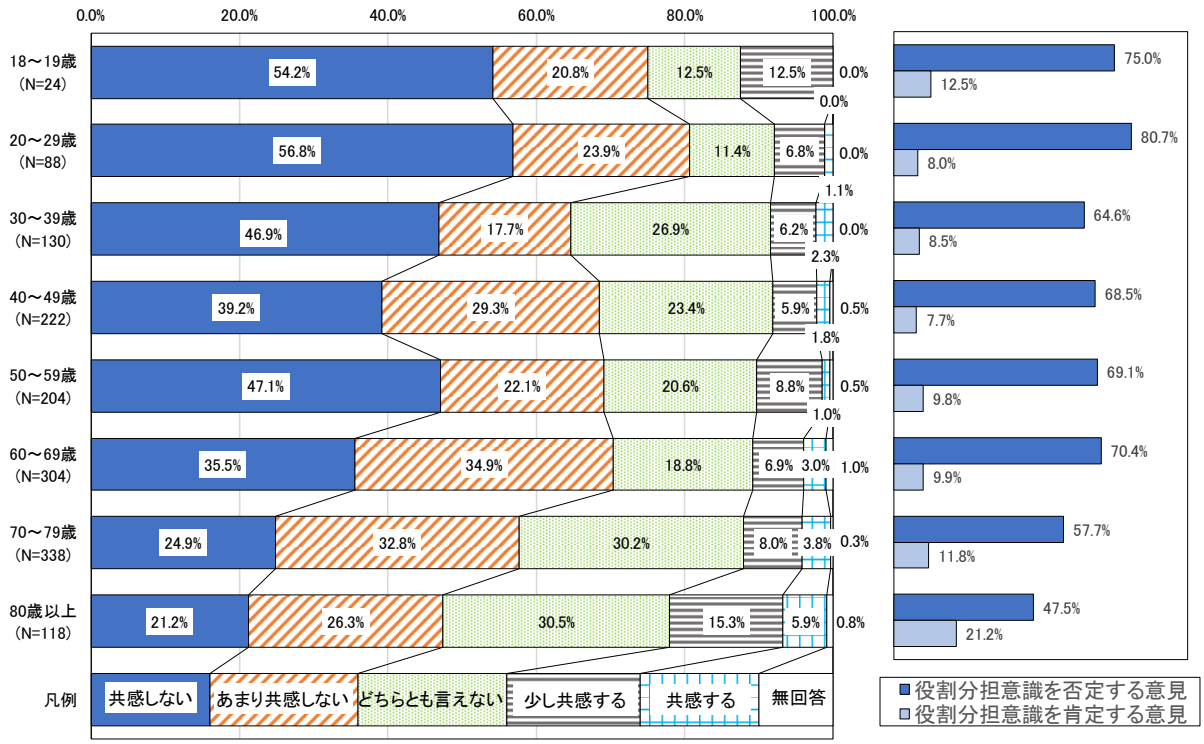
『役割分担意識を否定する意見』と『役割分担意識を肯定する意見』の割合の差は、女性の方が大きくなっている。



④　年代別

全ての年代において『役割分担意識を否定する意見』が『役割分担意識を肯定する意見』を上回っており、『役割分担意識を否定する意見』の割合が最も高いのは 20 歳代で、次いで 10 歳代、60 歳代の順となっている。

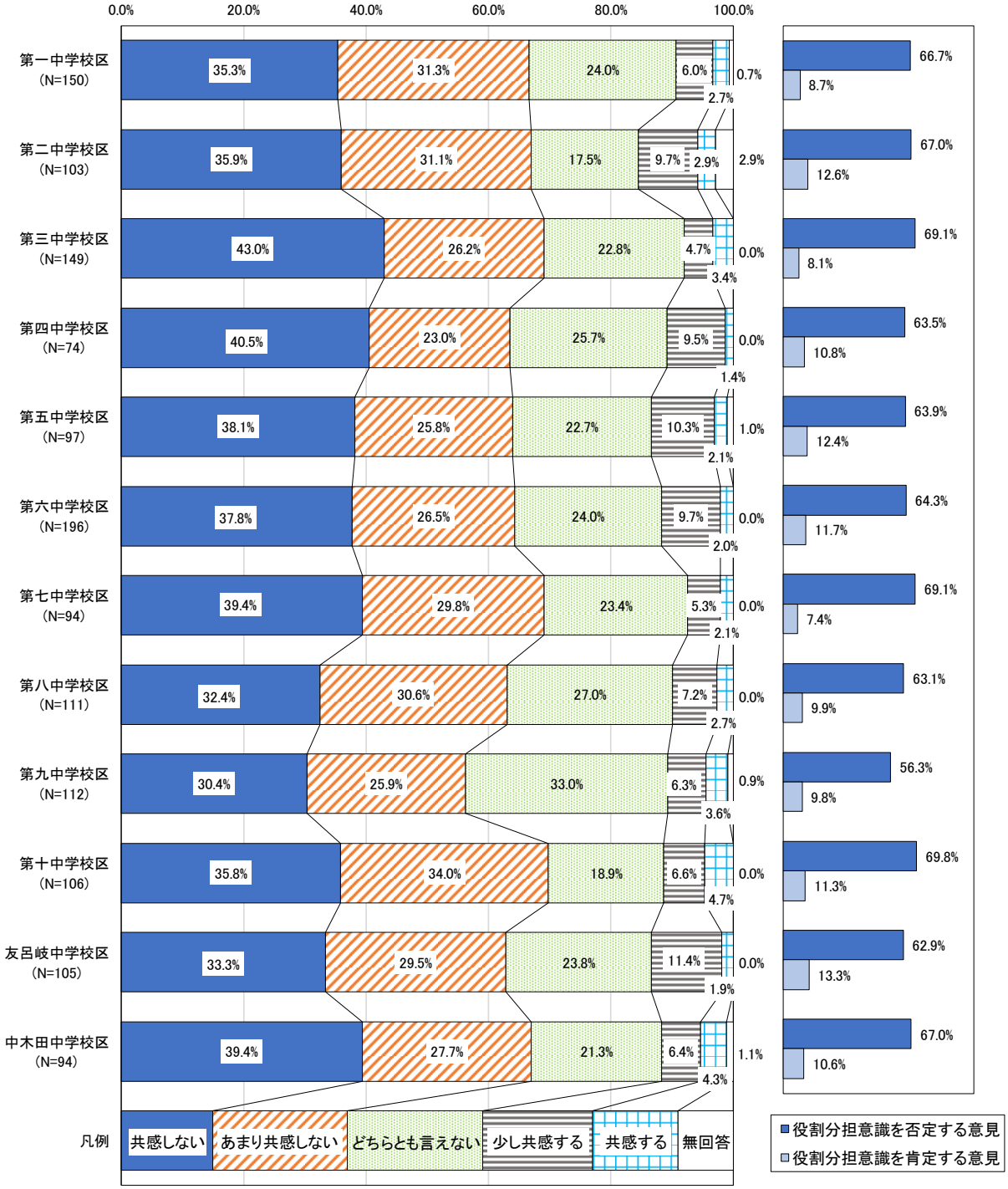
『役割分担意識を肯定する意見』の割合は、80 歳以上、10 歳代、70 歳代の順で高くなっている。



⑤　中学校区別

全ての中学校区において『役割分担意識を否定する意見』が『役割分担意識を肯定する意見』を上回っており、『役割分担意識を否定する意見』の割合が最も高いのは第十中学校区で、次いで第三と第七中学校区となっている。

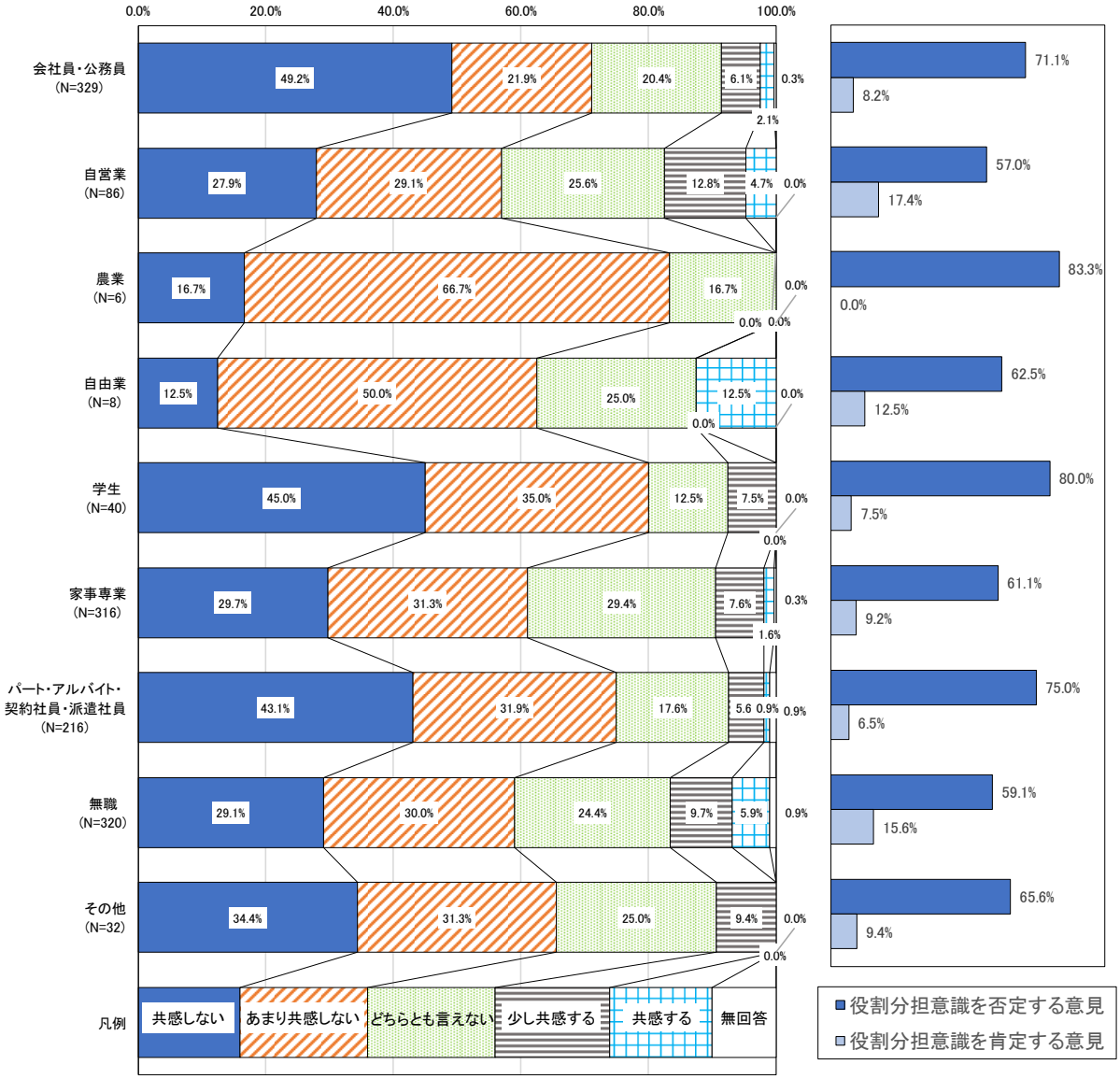
『役割分担意識を肯定する意見』の割合は、友呂岐、第二、第五中学校区の順で高くなっている。



⑥　職業別

全ての職業において『役割分担意識を否定する意見』が『役割分担意識を肯定する意見』を上回っており、『役割分担意識を否定する意見』の割合が最も高いのは「農業」で、次いで「学生」、「パート・アルバイト・契約社員・派遣社員」の順となっている。

『役割分担意識を肯定する意見』の割合は、「自営業（商業・工業・サービス業）」、「無職（学生、家事専業を除く）」、「自由業（弁護士・芸術家など）」の順で高くなっている。

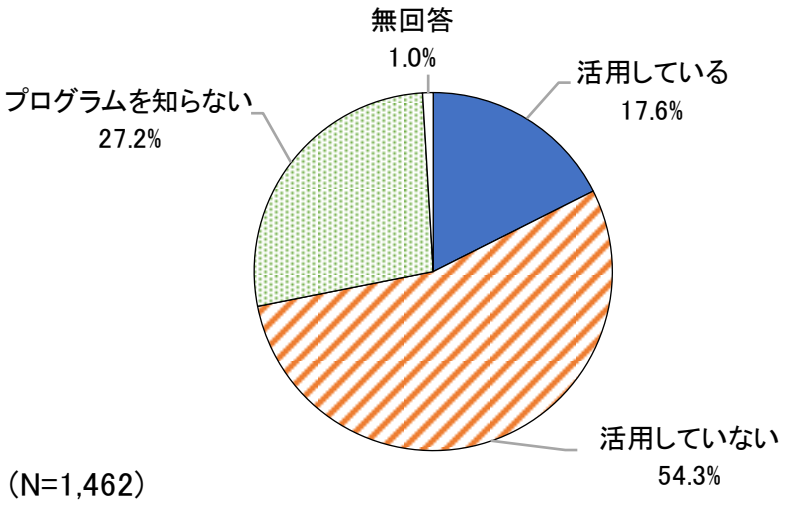


（２）　「保健福祉」について

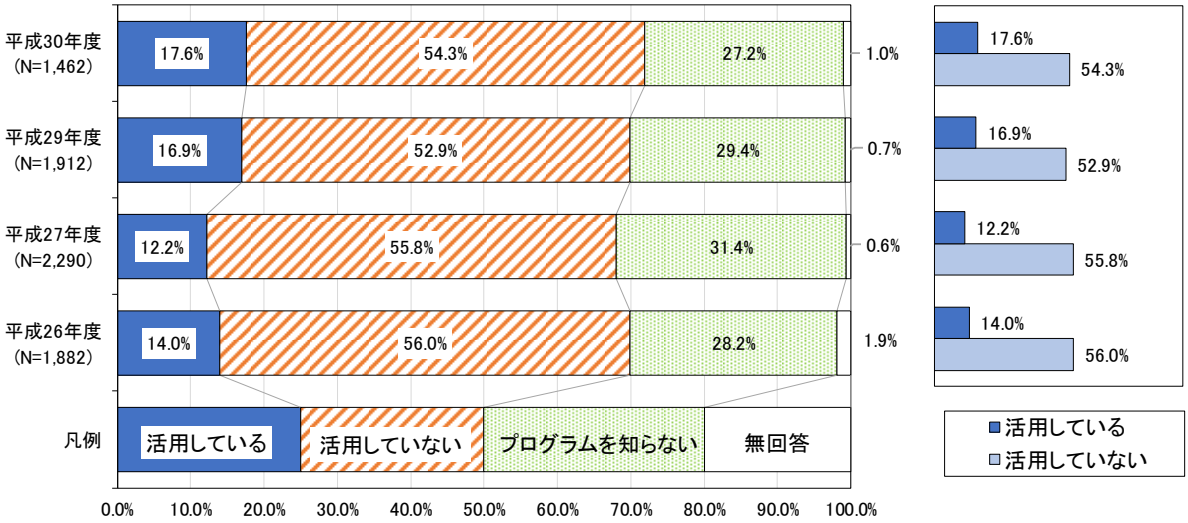
問 18　寝屋川市が配布している「健康づくりプログラム」を活用していますか。

①　　全体

「活用していない」が 54.3%と最も高く、次いで「プログラムを知らない」が 27.2%、「活用している」が 17.6%の順となっている。



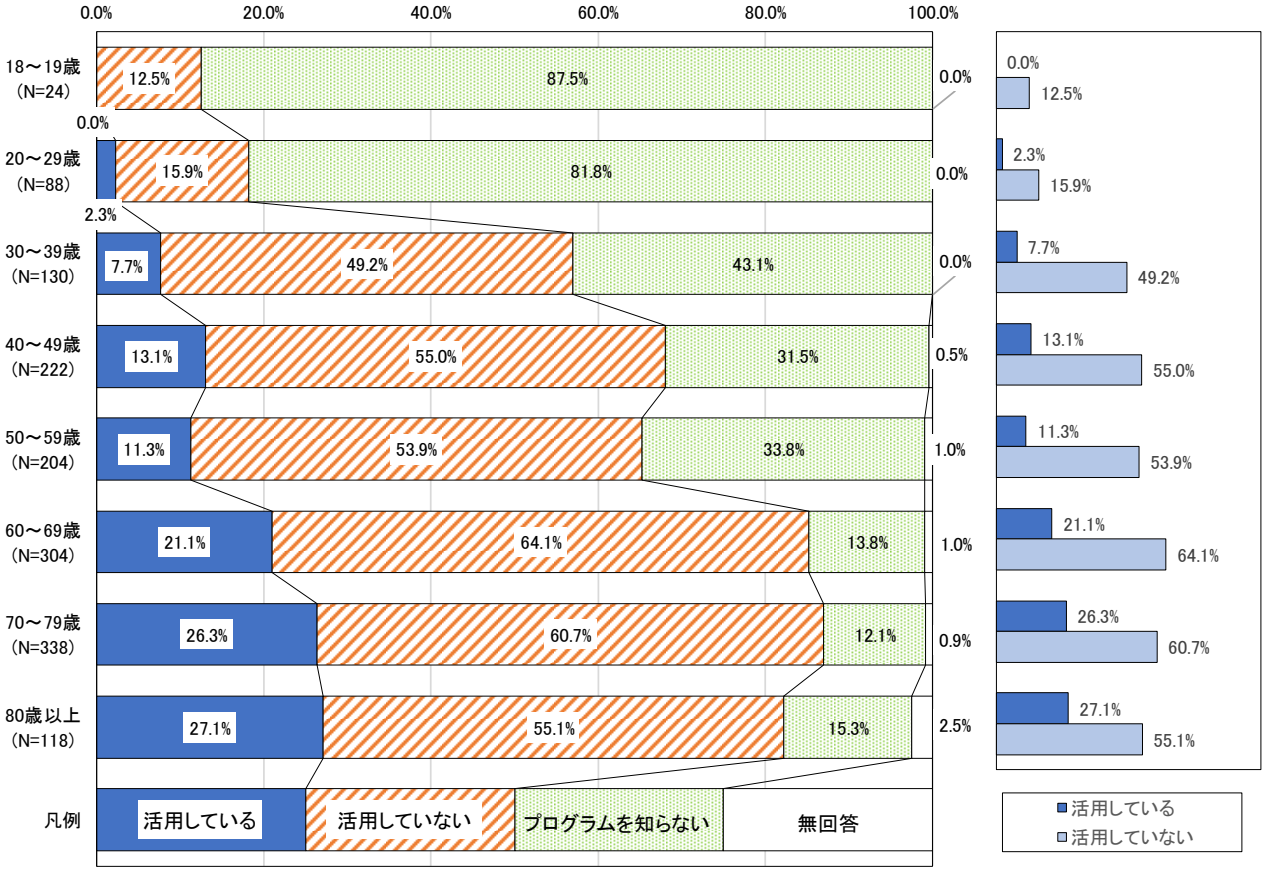
②　　年度別



③　年代別

全ての年代において「活用している」が「活用していない」を下回っており、「活用している」の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 70 歳代、60 歳代の順となっている。

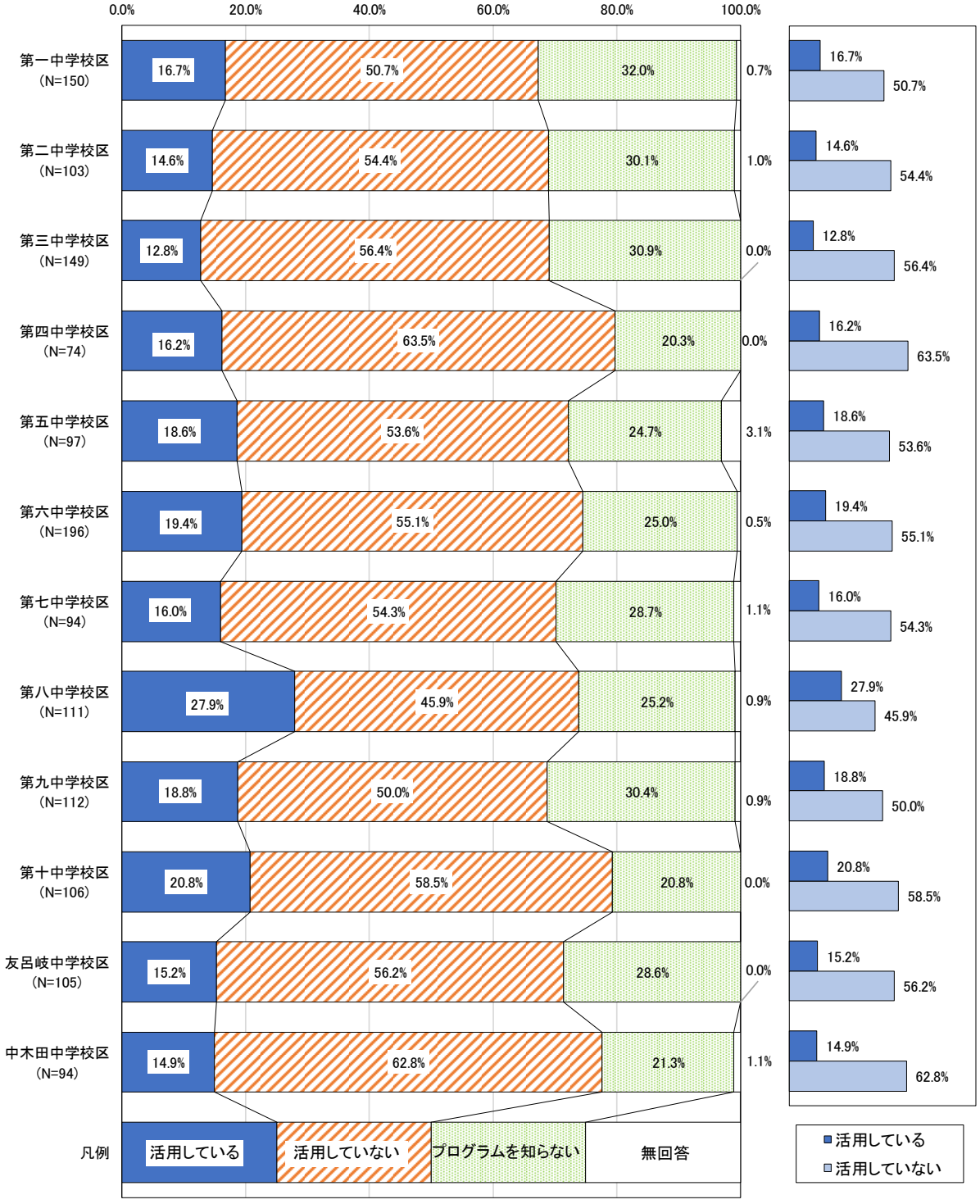
「活用していない」の割合は、60 歳代、70 歳代、80 歳以上の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において「活用している」が「活用していない」を下回っており、「活用している」の割合が最も高いのは第八中学校区で、次いで第十、第六中学校区の順となっている。

「活用していない」の割合は、第四、中木田、第十中学校区の順で高くなっている。

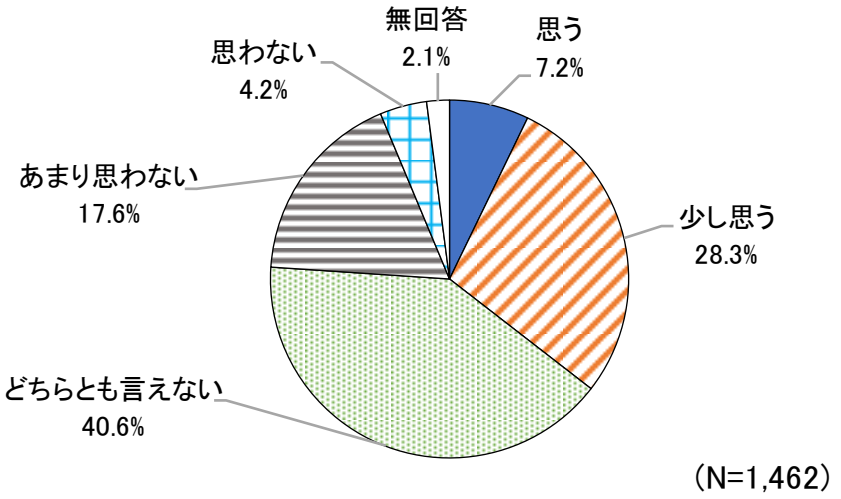


問 19　地域の福祉活動が活発に行われていると思いますか。

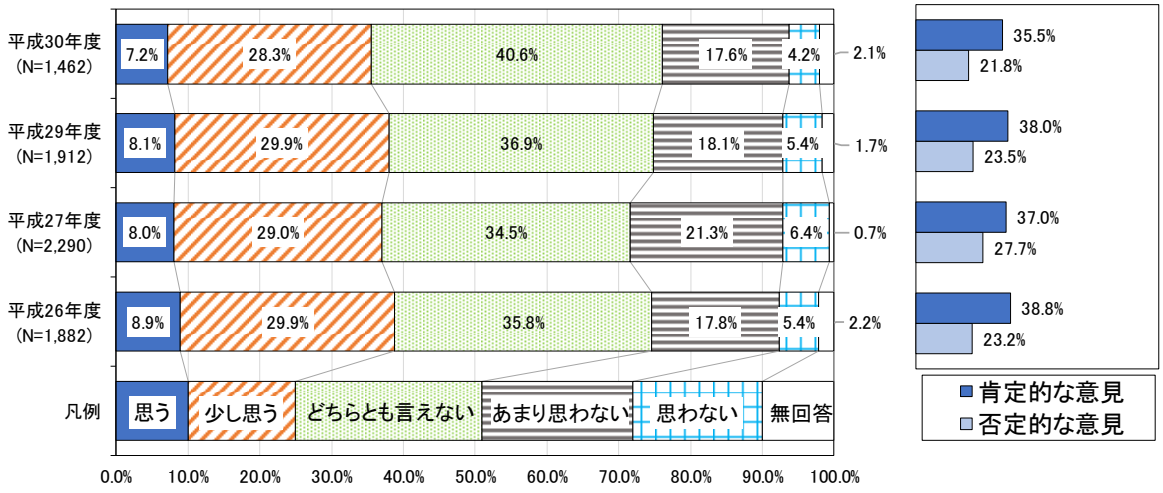
①　　全体

「どちらとも言えない」が 40.6%と最も高く、次いで「少し思う」が 28.3%、「あまり思わない」が 17.6%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 35.5%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 21.8%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



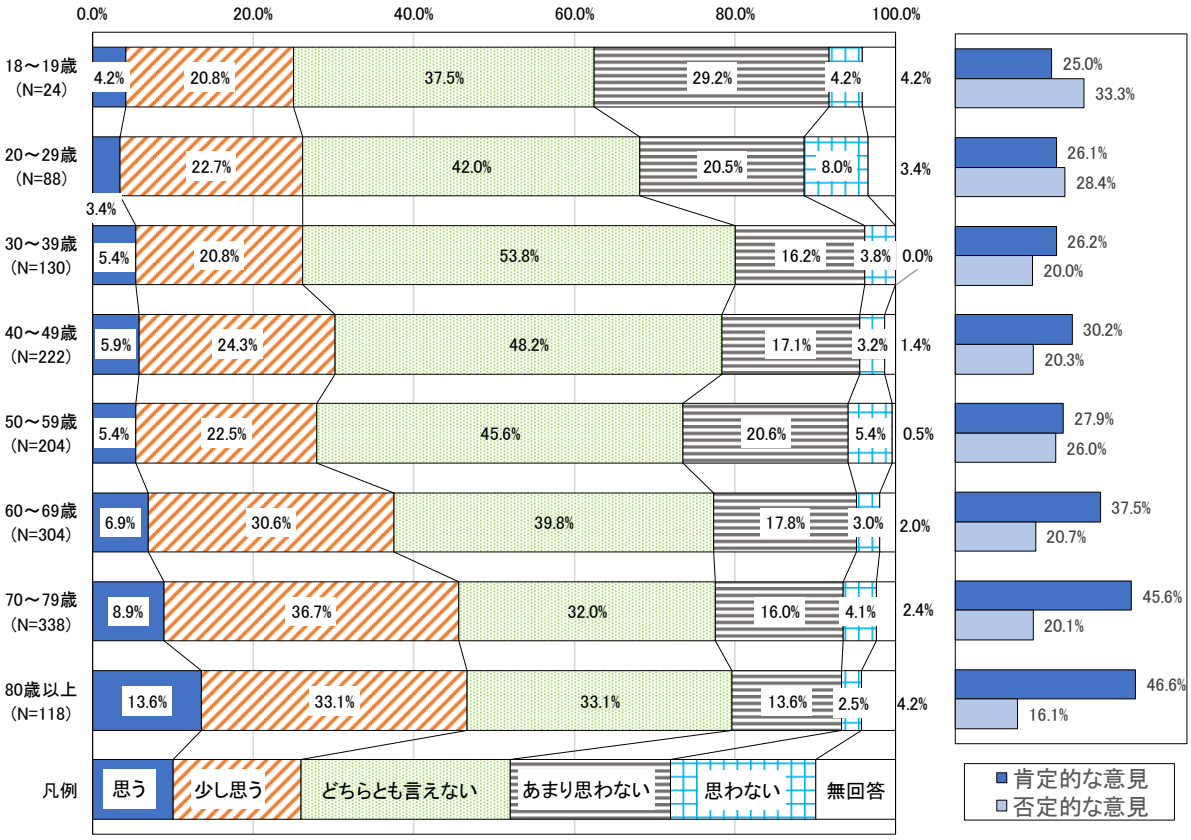
②　　年度別



③　年代別

10 歳代、20 歳代を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 70 歳代、60 歳代の順となっている。

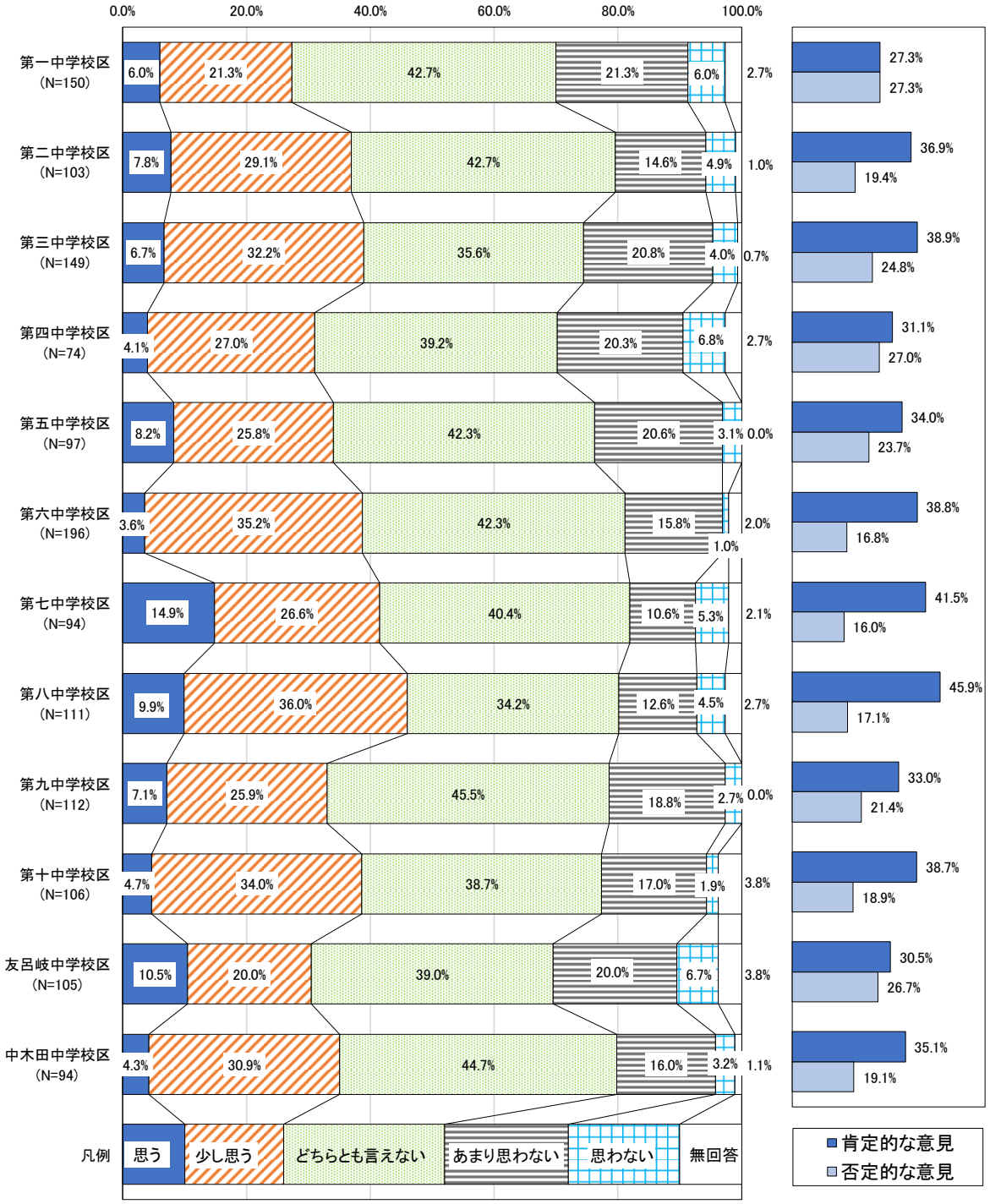
『否定的な意見』の割合は、10 歳代、20 歳代、50 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

第一中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第八中学校区で、次いで第七、第三中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第一、第四、友呂岐中学校区の順で高くなっている。

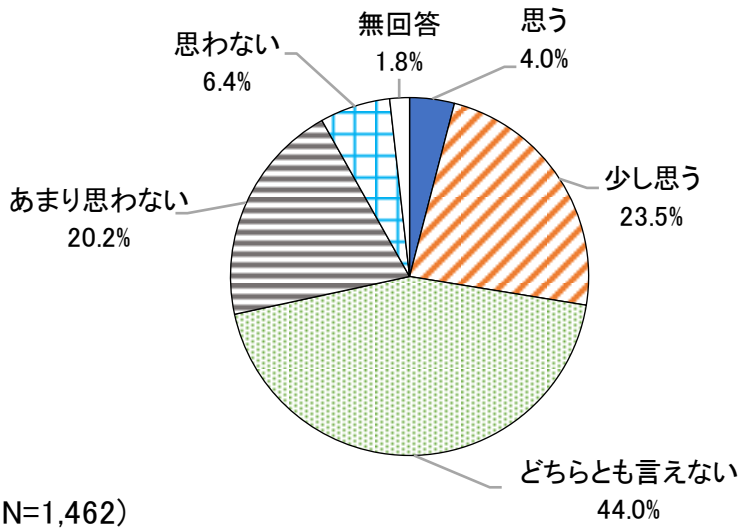


問 20　寝屋川市は、高齢者が生きがいを持ち、健康で心豊かに暮らせる環境づくりが進んでいると思いますか。

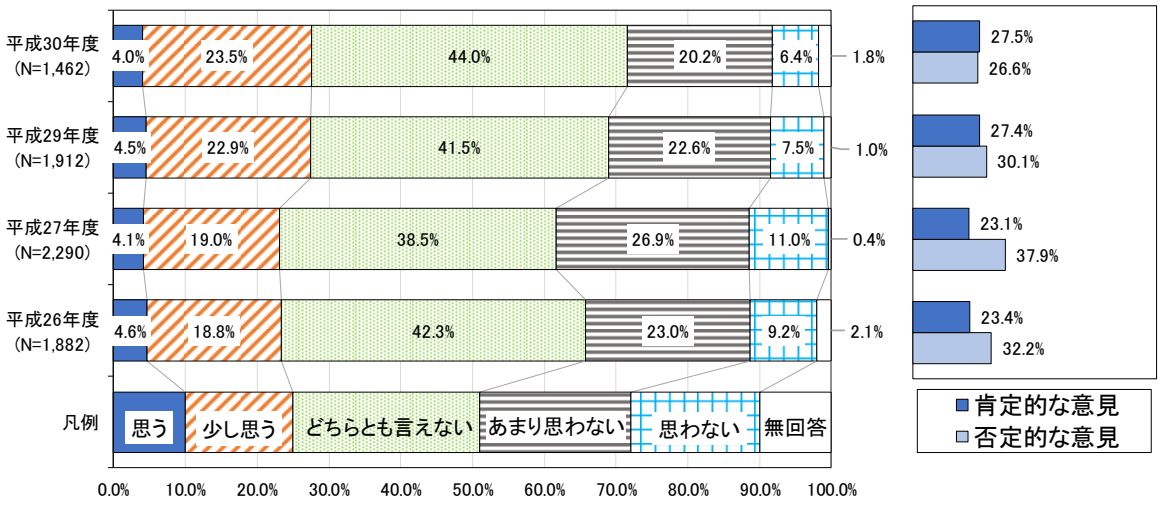
①　全体

「どちらとも言えない」が 44.0%と最も高く、次いで「少し思う」が 23.5%、「あまり思わない」が 20.2%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 27.5%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 26.6%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



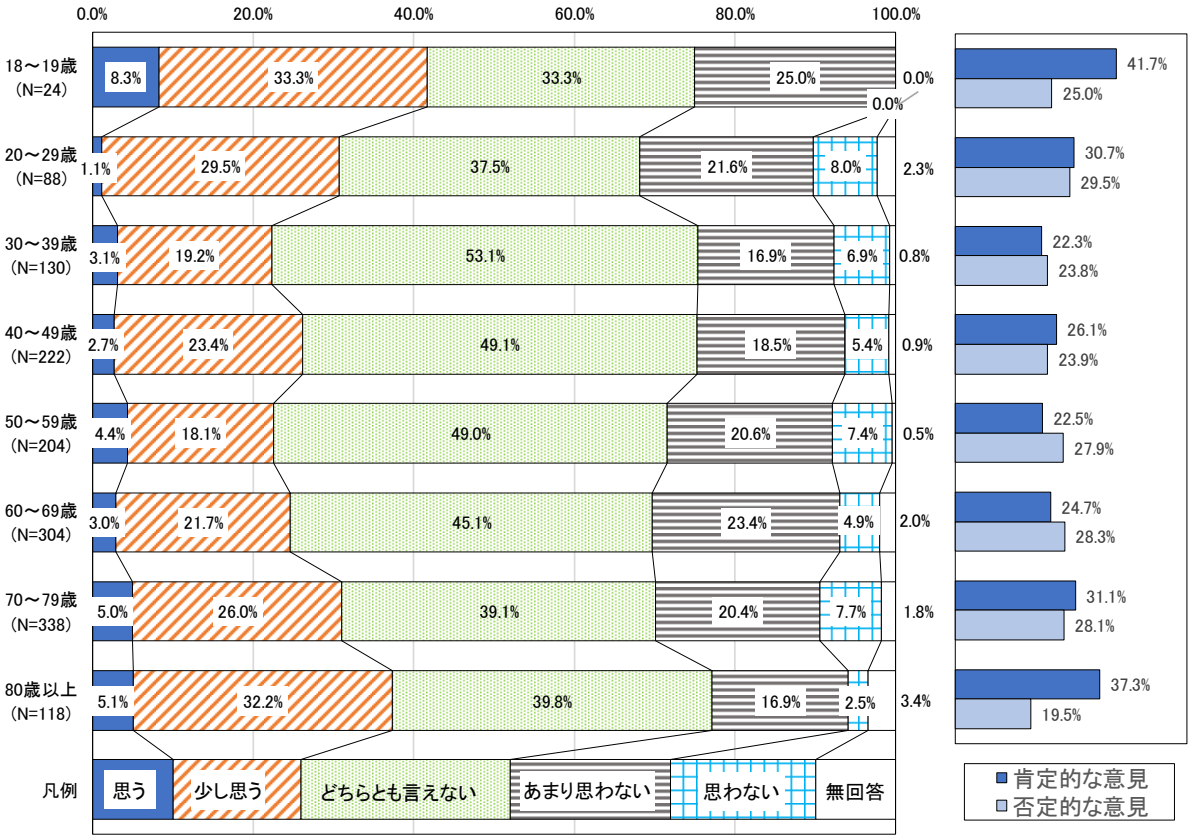
②　年度別



③　年代別

30 歳代、50 歳代、60 歳代を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 10 歳代で、次いで 80 歳以上、70 歳代の順となっている。

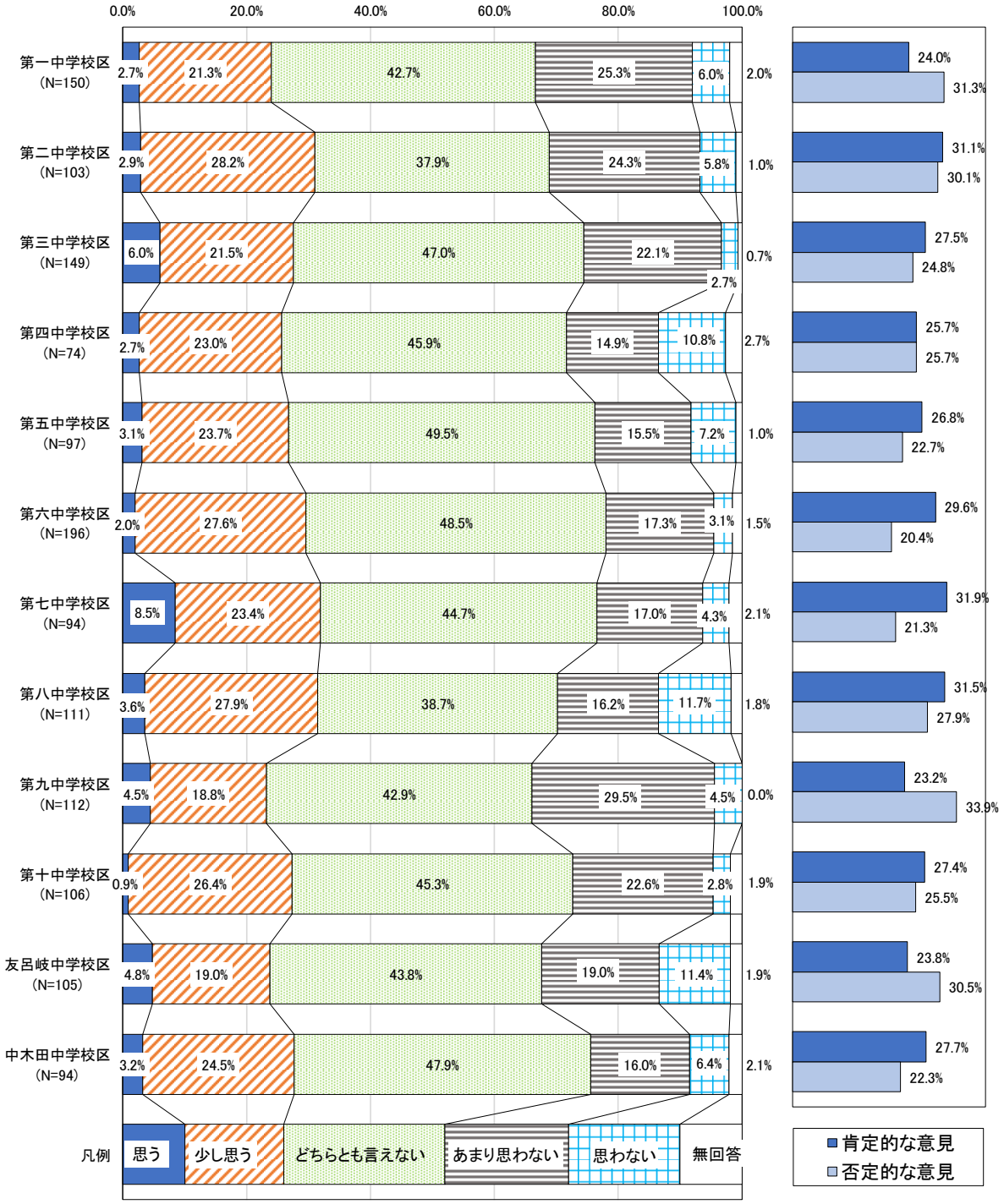
『否定的な意見』の割合は、20 歳代、60 歳代、70 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

第一、第四、第九、友呂岐中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで第八、第二中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第九、第一、友呂岐中学校区の順で高くなっている。

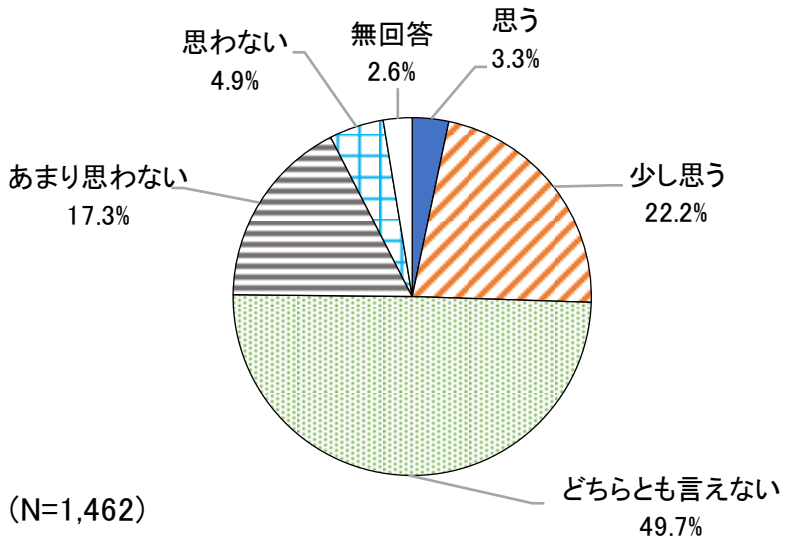


問 21　寝屋川市は、障害のある人に対するサービスや支援体制が整っていると思いますか。

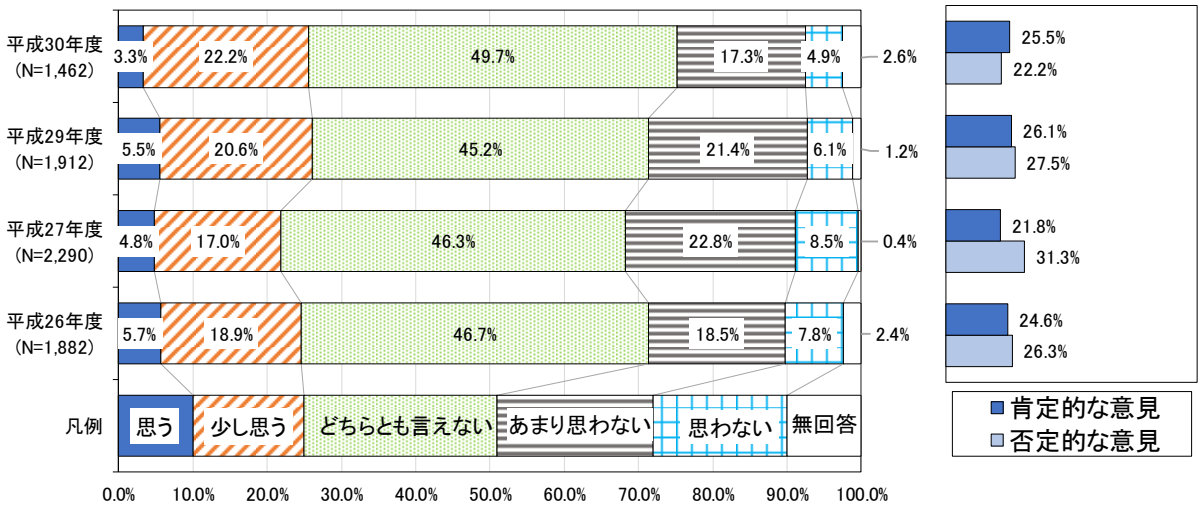
①　全体

「どちらとも言えない」が 49.7%と最も高く、次いで「少し思う」が 22.2%、「あまり思わない」が 17.3%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 25.5%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 22.2%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



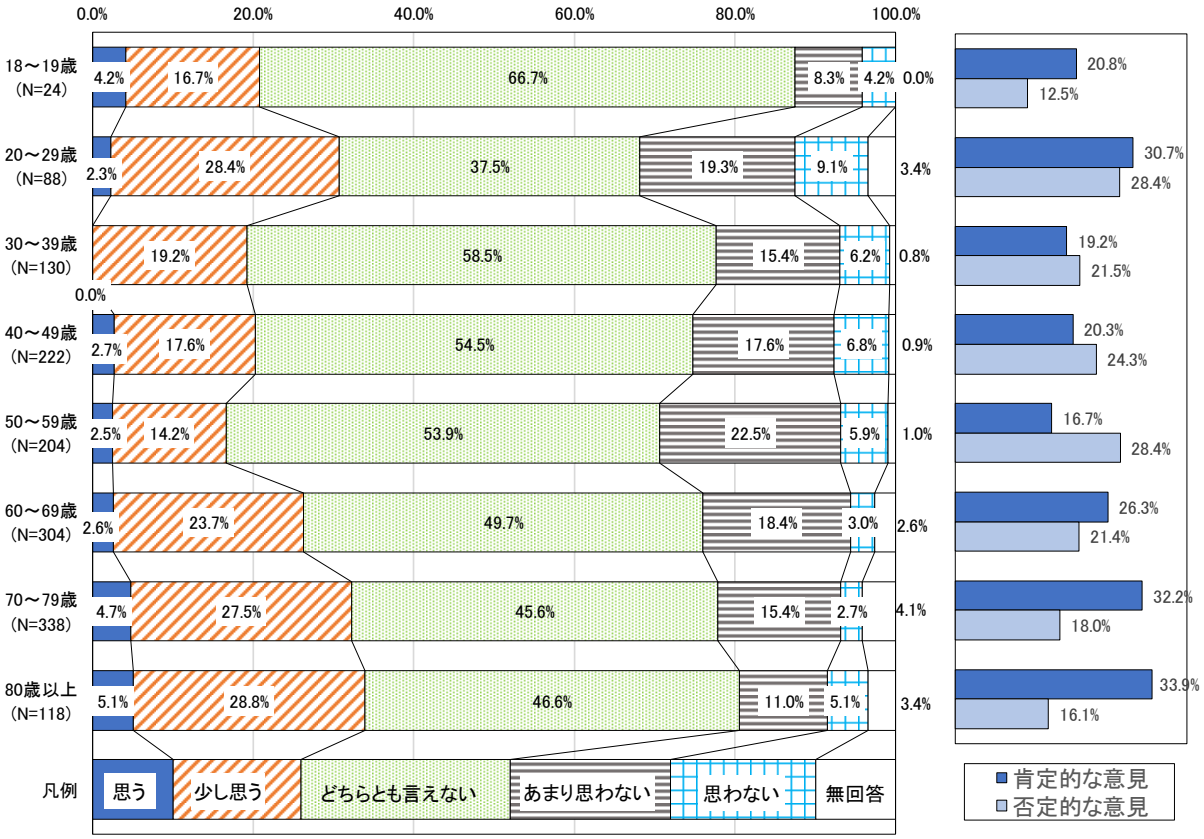
②　年度別



③　年代別

30 歳代から 50 歳代までを除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 70 歳代、20 歳代の順となっている。

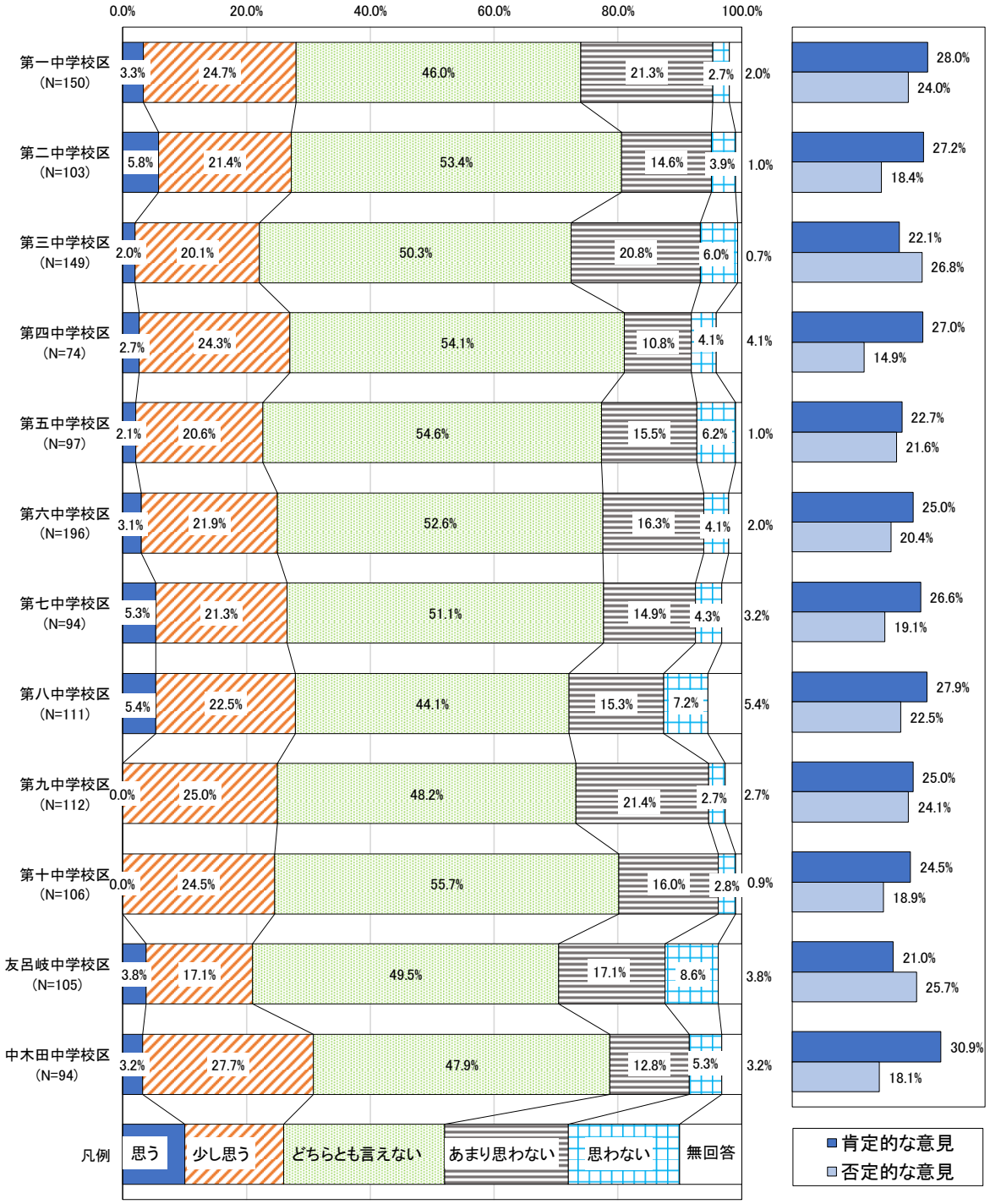
『否定的な意見』の割合は、20 歳代と 50 歳代、40 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

第三、友呂岐中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは中木田中学校区で、次いで第一、第八中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第三、友呂岐、第九中学校区の順で高くなっている。

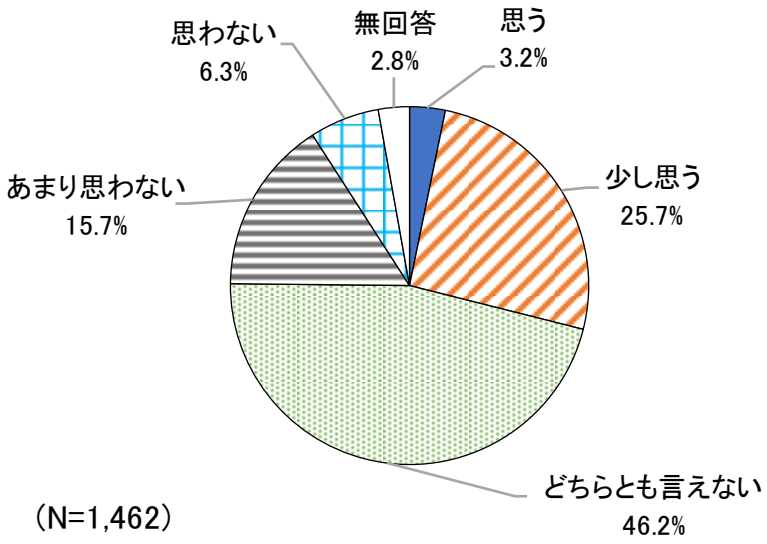


問 22　寝屋川市は、安心して子どもを産み育てることができるサービスや環境が整っていると思いますか。

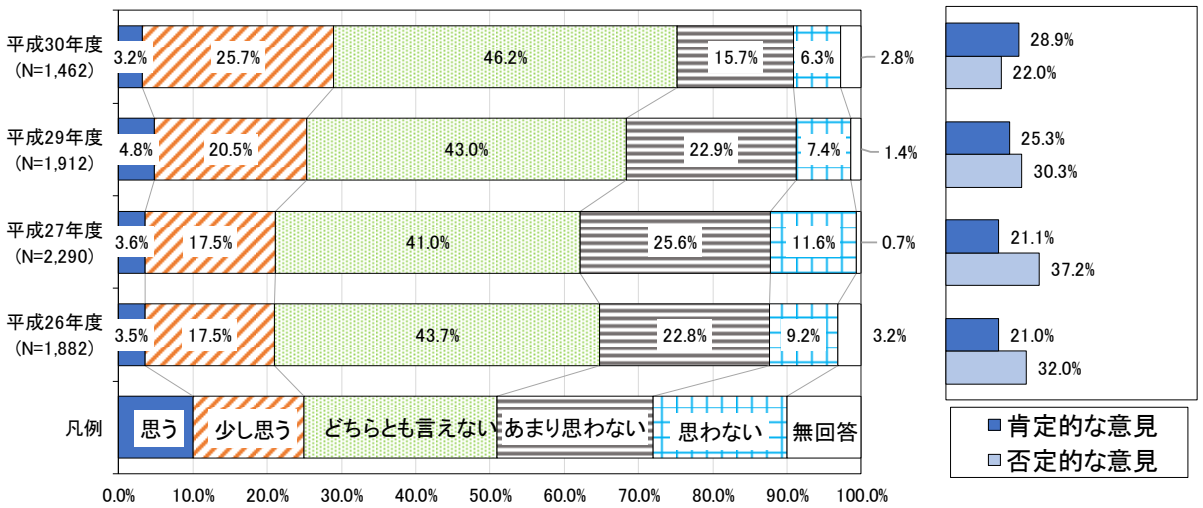
①　全体

「どちらとも言えない」が 46.2%と最も高く、次いで「少し思う」が 25.7%、「あまり思わない」が 15.7%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 28.9%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 22.0%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



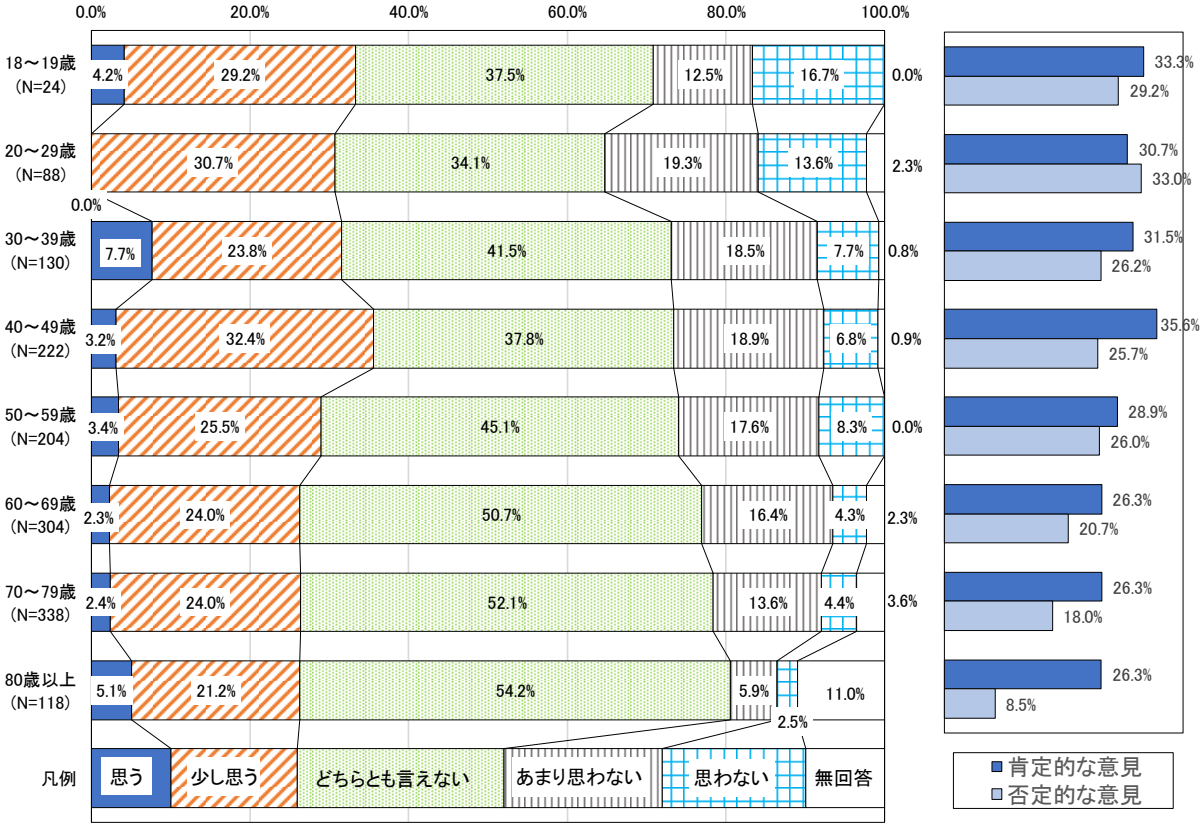
②　年度別



③　年代別

20 歳代を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 40 歳代で、次いで 10 歳代、30 歳代の順となっている。

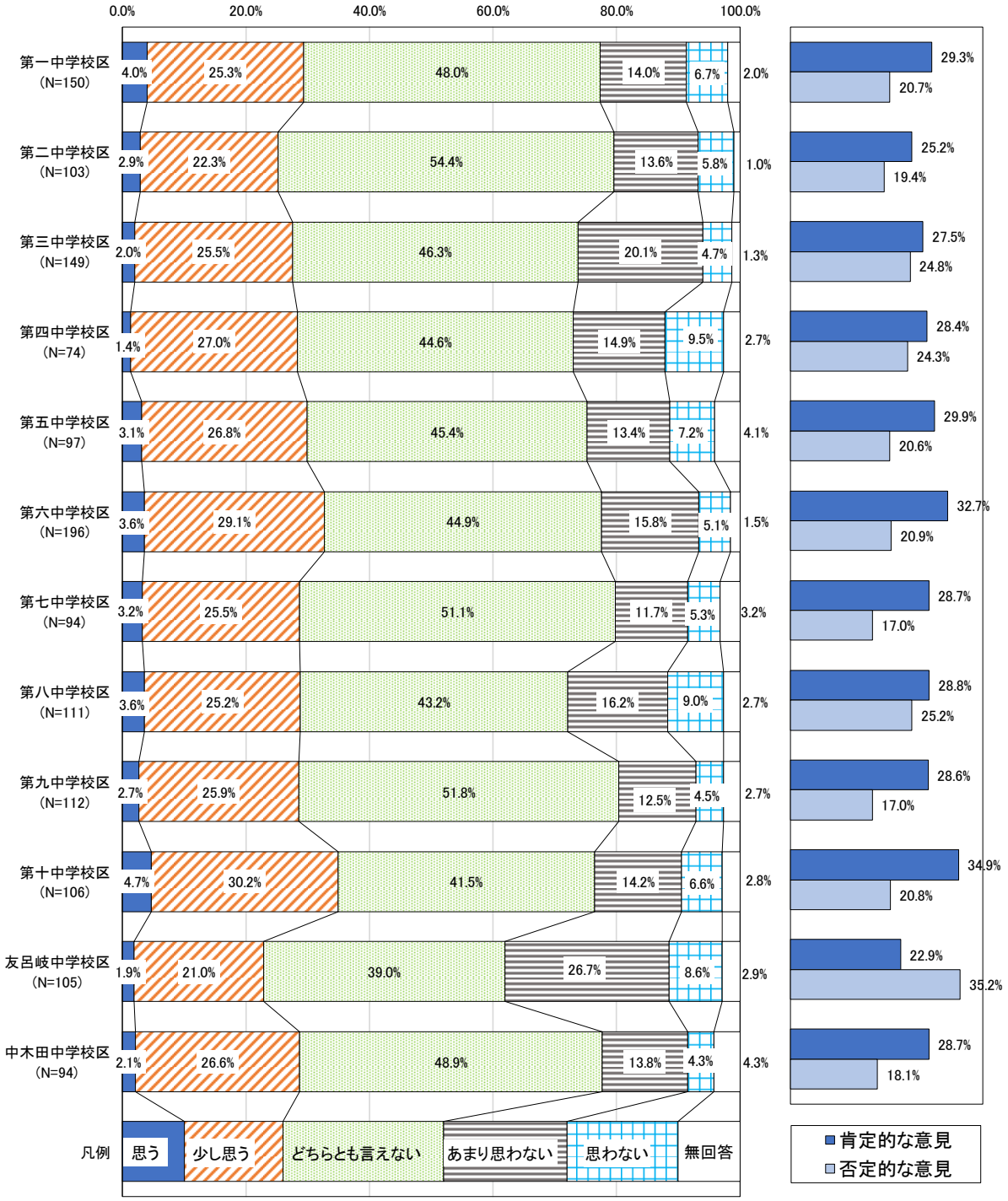
『否定的な意見』の割合は、20 歳代、10 歳代、30 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

友呂岐中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第十中学校区で、次いで第六、第五中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、友呂岐、第八、第三中学校区の順で高くなっている。

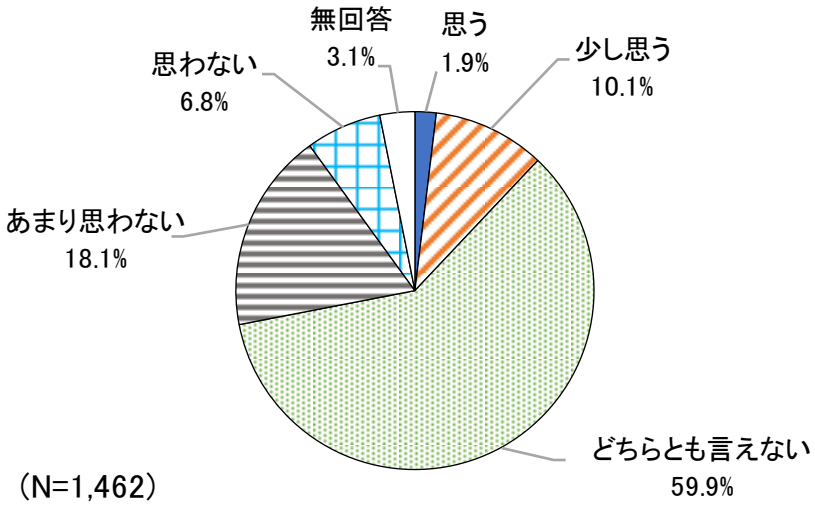


問 23　寝屋川市は、感染症対策が充実していると思いますか。

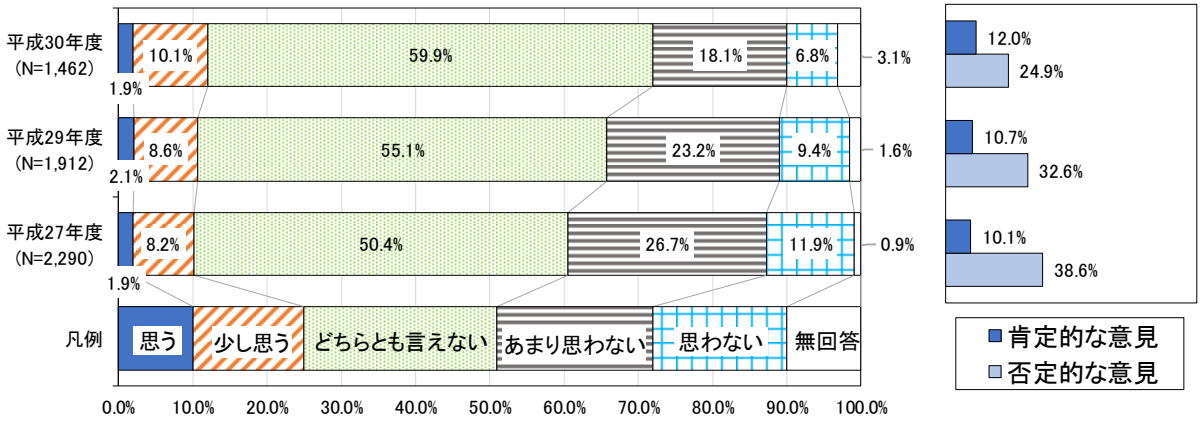
①　全体

「どちらとも言えない」が 59.9％と最も高く、次いで「あまり思わない」が 18.1％、「少し思う」が 10.1％の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 12.0％、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 24.9％となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



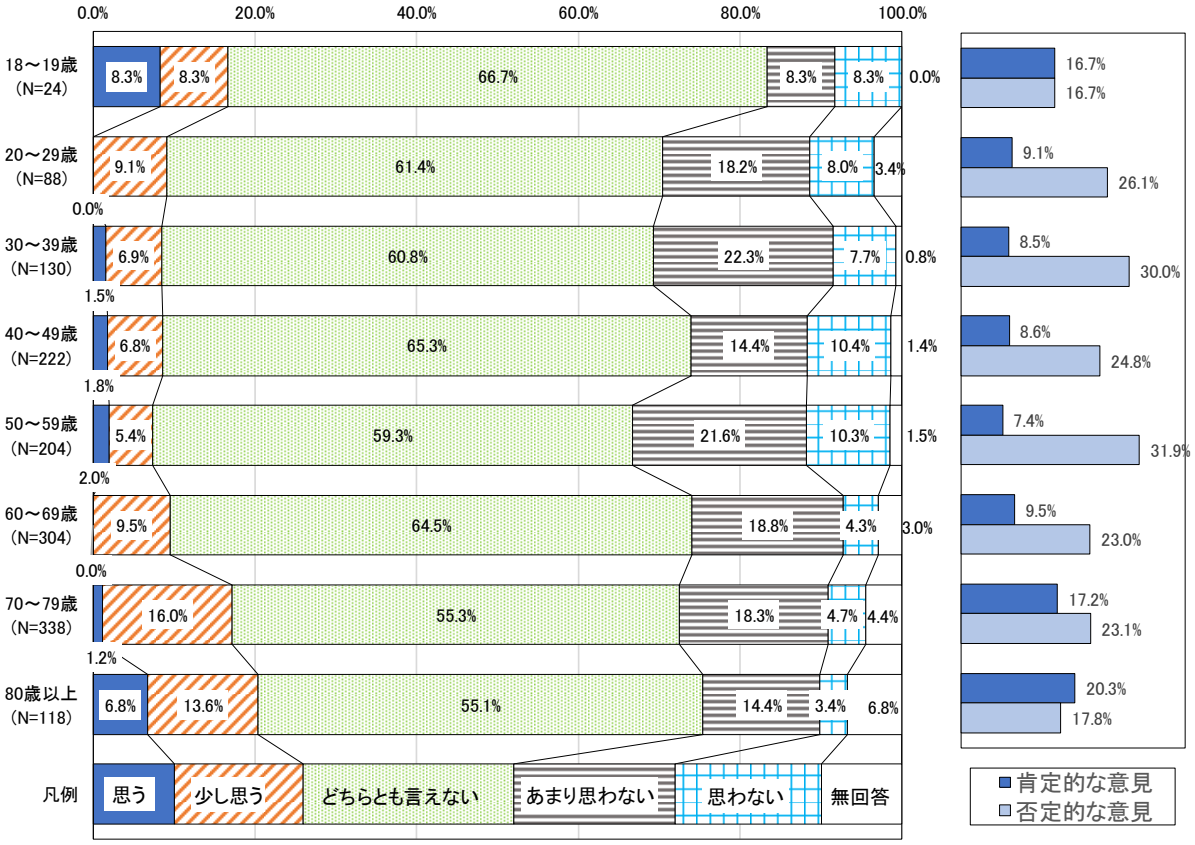
②　年度別



③　年代別

10 歳代、80 歳以上を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 70 歳代、10 歳代の順となっている。

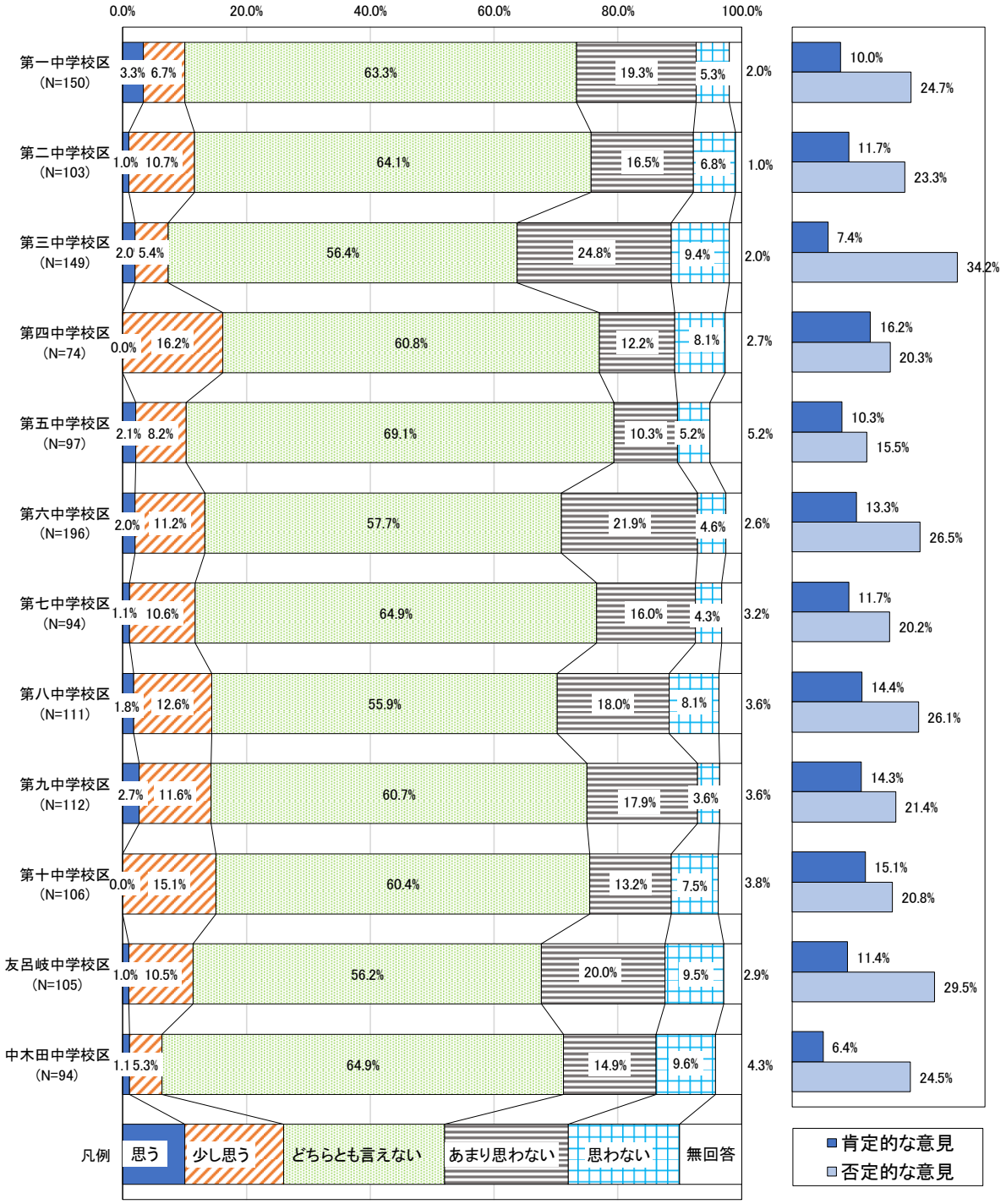
『否定的な意見』の割合は、50 歳代、30 歳代、20 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第四中学校区で、次いで第十、第八中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第三、友呂岐、第六中学校区の順で高くなっている。

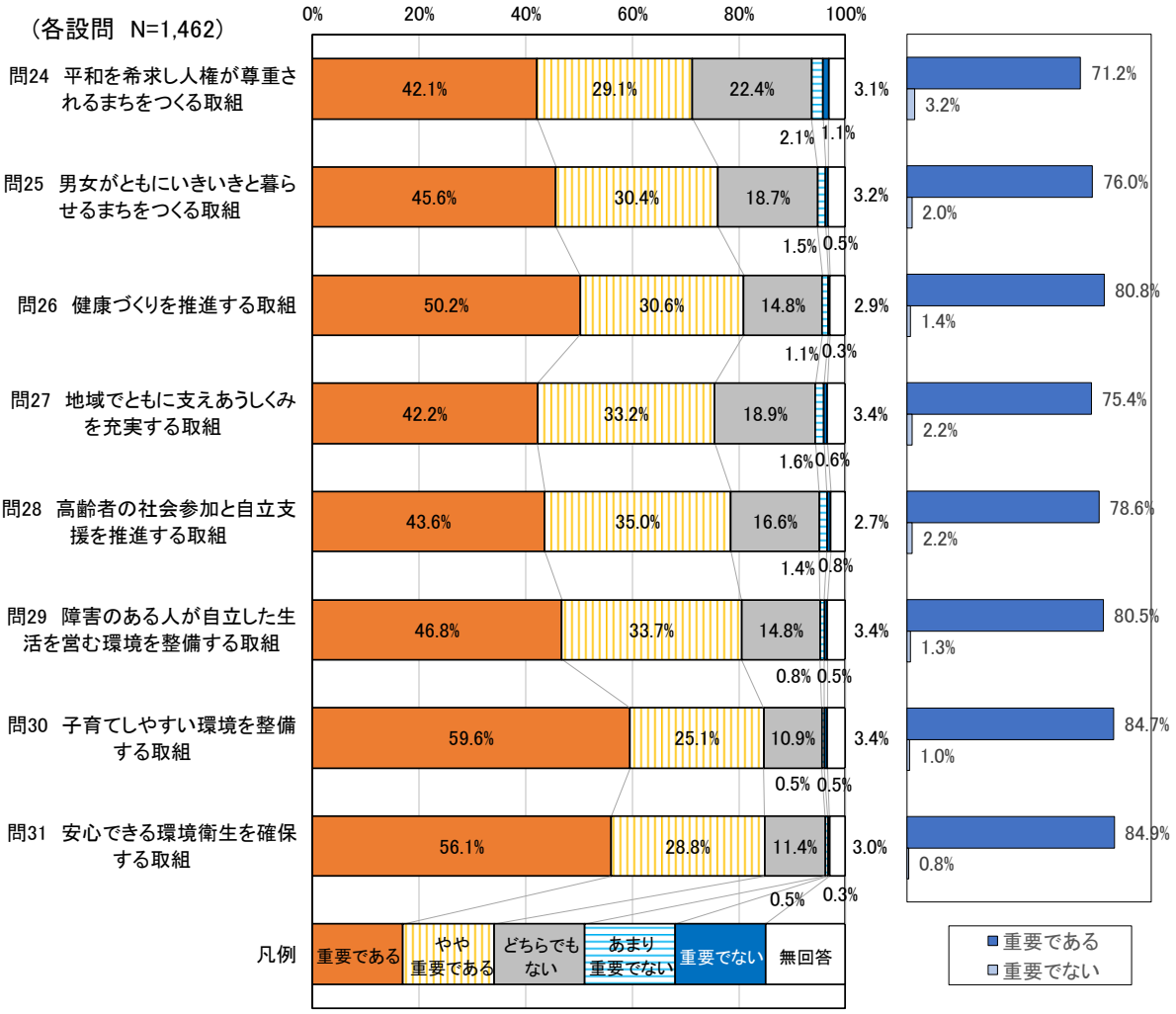


（３）　「人権」「保健福祉」の施策についての重要度と満足度

問 24～問 31　現在、寝屋川市が取り組んでいる「人権」「保健福祉」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

①　　重要度

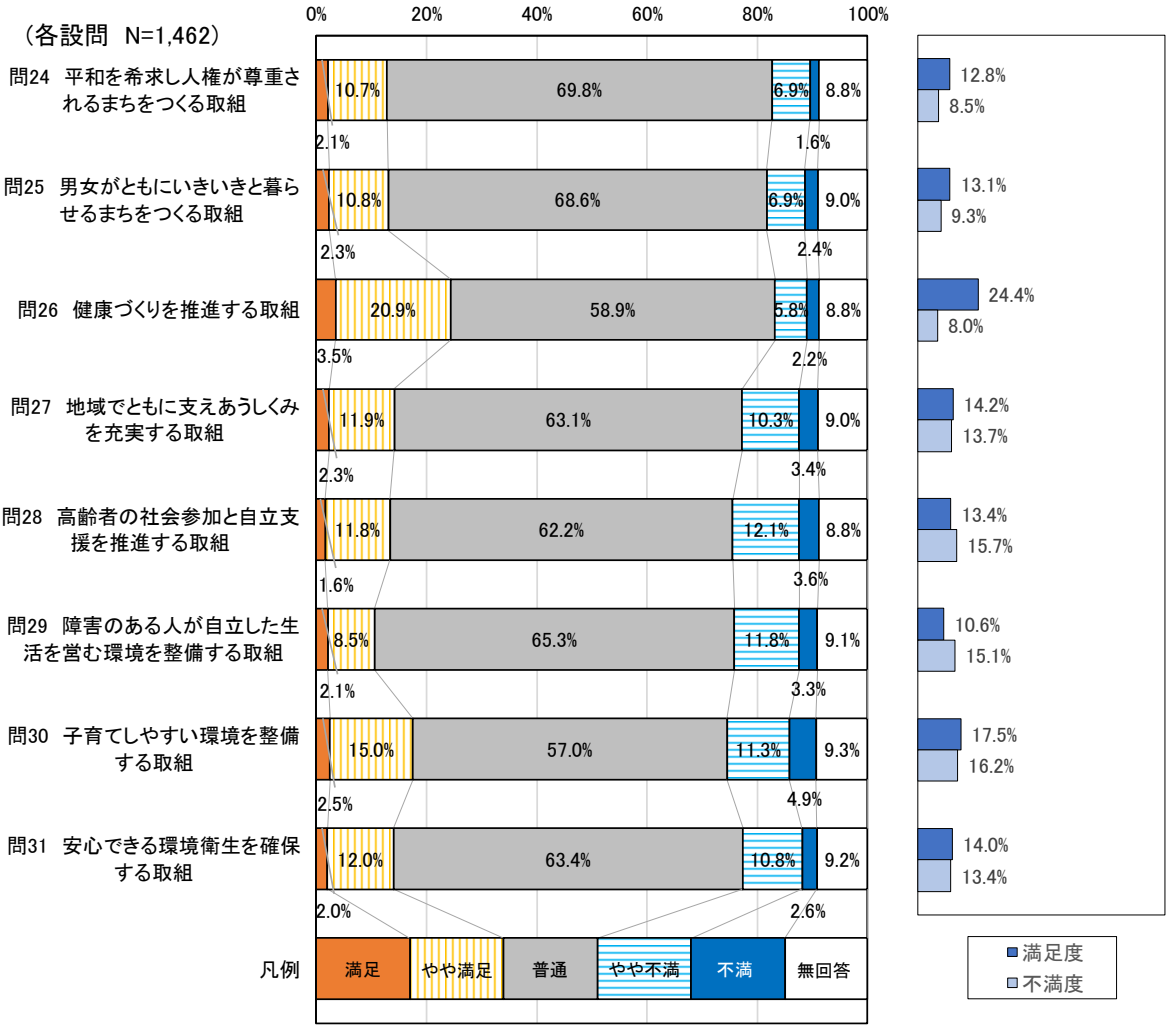
『人権』『保健福祉』の施策において、重要度が最も高いのは「安心できる環境衛生を確保する取組」で、次いで「子育てしやすい環境を整備する取組」、「健康づくりを推進する取組」が続いている。



②　満足度

『人権』『保健福祉』の施策において、満足度が最も高いのは「健康づくりを推進する取組」で、次いで「子育てしやすい環境を整備する取組」、「地域でともに支えあうしくみを充実する取組」が続いている。

不満度が最も高いのは、「子育てしやすい環境を整備する取組」である。



４．『夢を育む学びのまちづくり』について

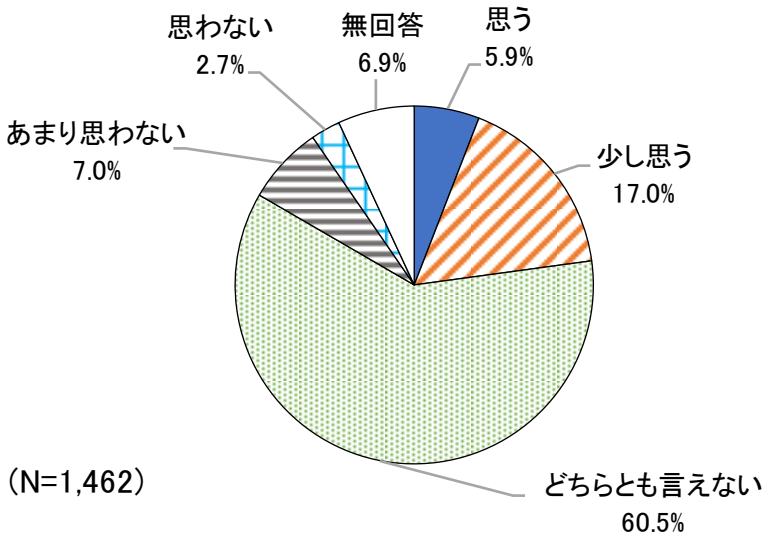
（１）　「教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流」について

問 32　寝屋川市の幼稚園は、教育内容が充実していると思いますか。

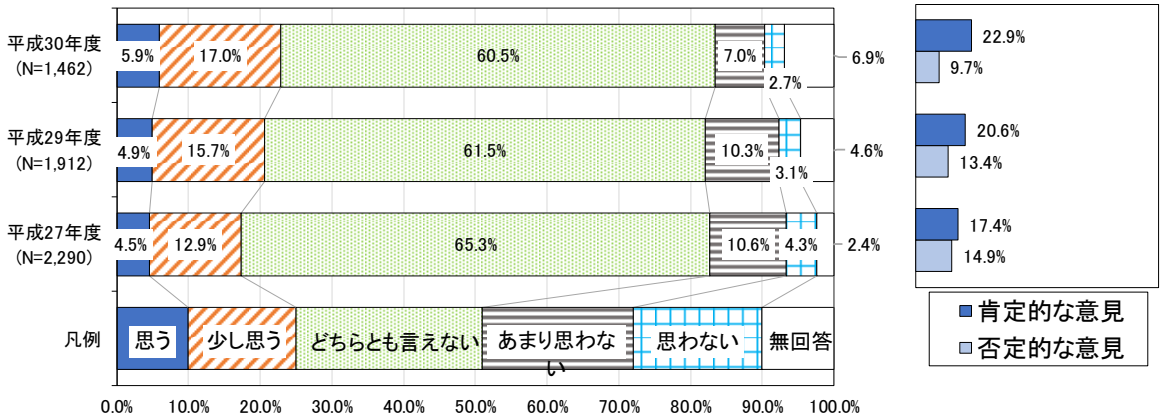
①　　全体

「どちらとも言えない」が 60.5%と最も高く、次いで「少し思う」が 17.0%、「あまり思わない」が 7.0%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 22.9%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 9.7%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



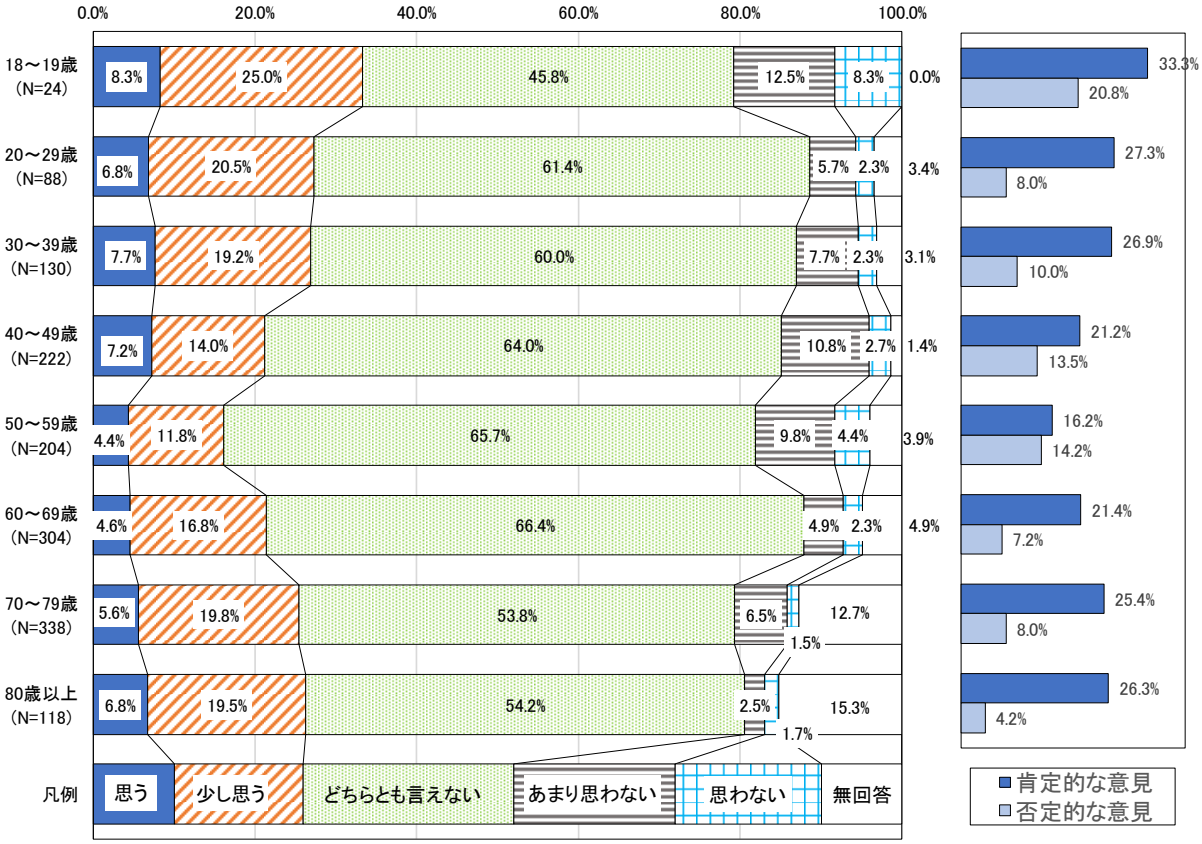
②　　年度別



③　年代別

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 10 歳代で、次いで 20 歳代、30 歳代の順となっている。

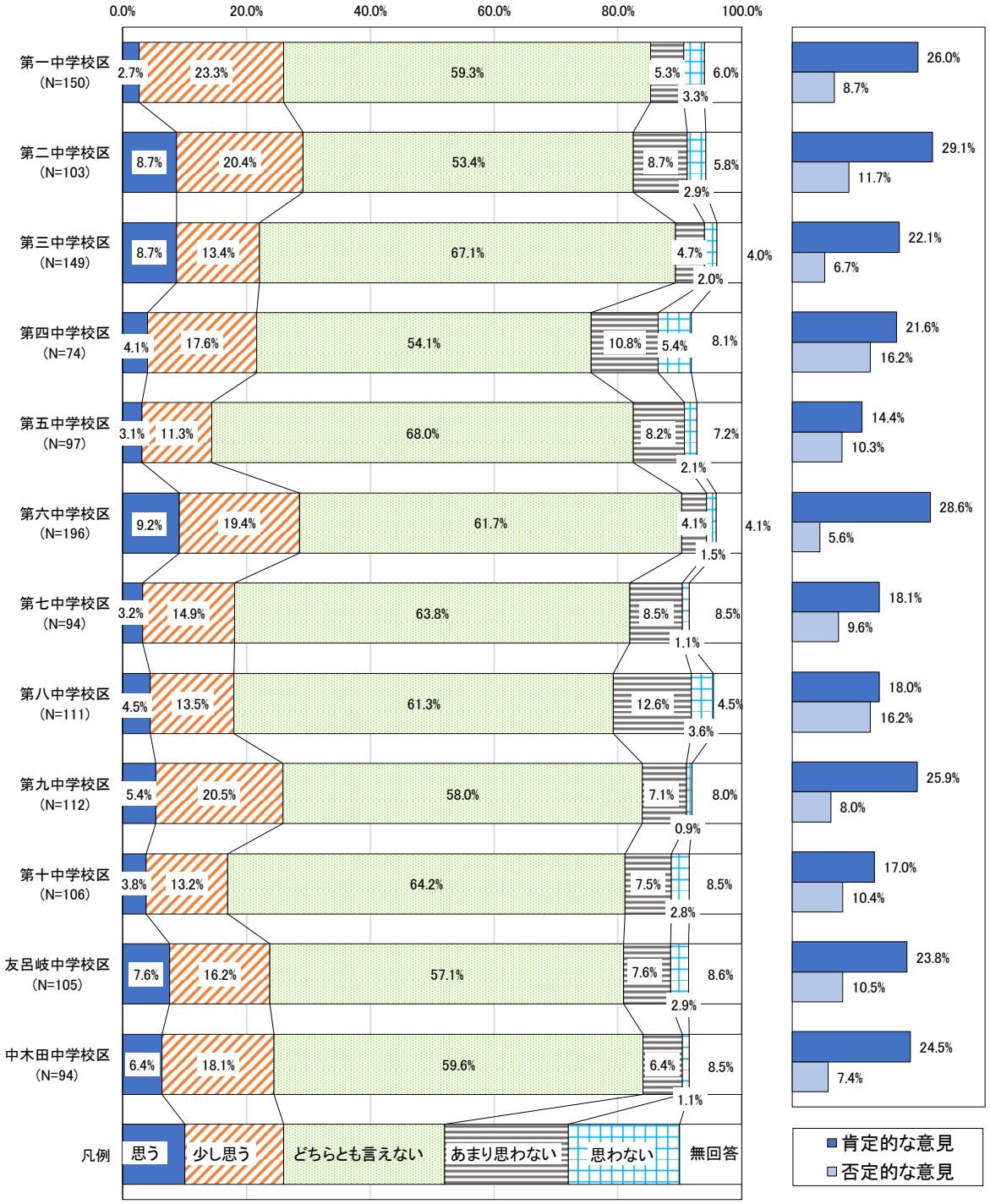
『否定的な意見』の割合は、10 歳代、50 歳代、40 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第二中学校区で、次いで第六、第一中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第四と第八中学校区、第二中学校区の順で高くなっている。

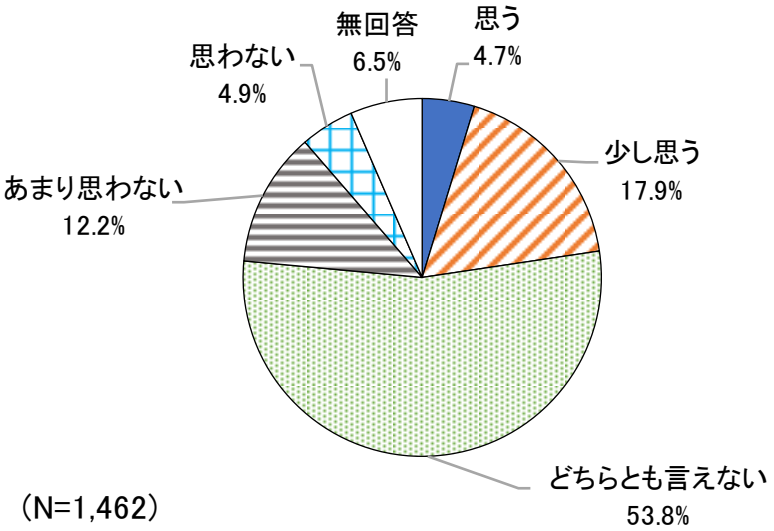


問 33　寝屋川市の小中学校は、教育内容が充実していると思いますか。

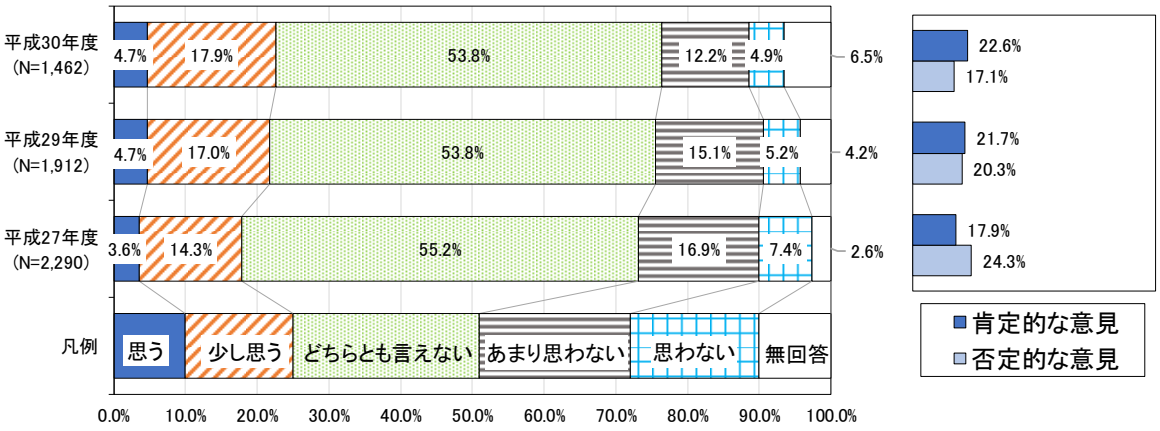
①　全体

「どちらとも言えない」が 53.8%と最も高く、次いで「少し思う」が 17.9%、「あまり思わない」が 12.2%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 22.6%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 17.1%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



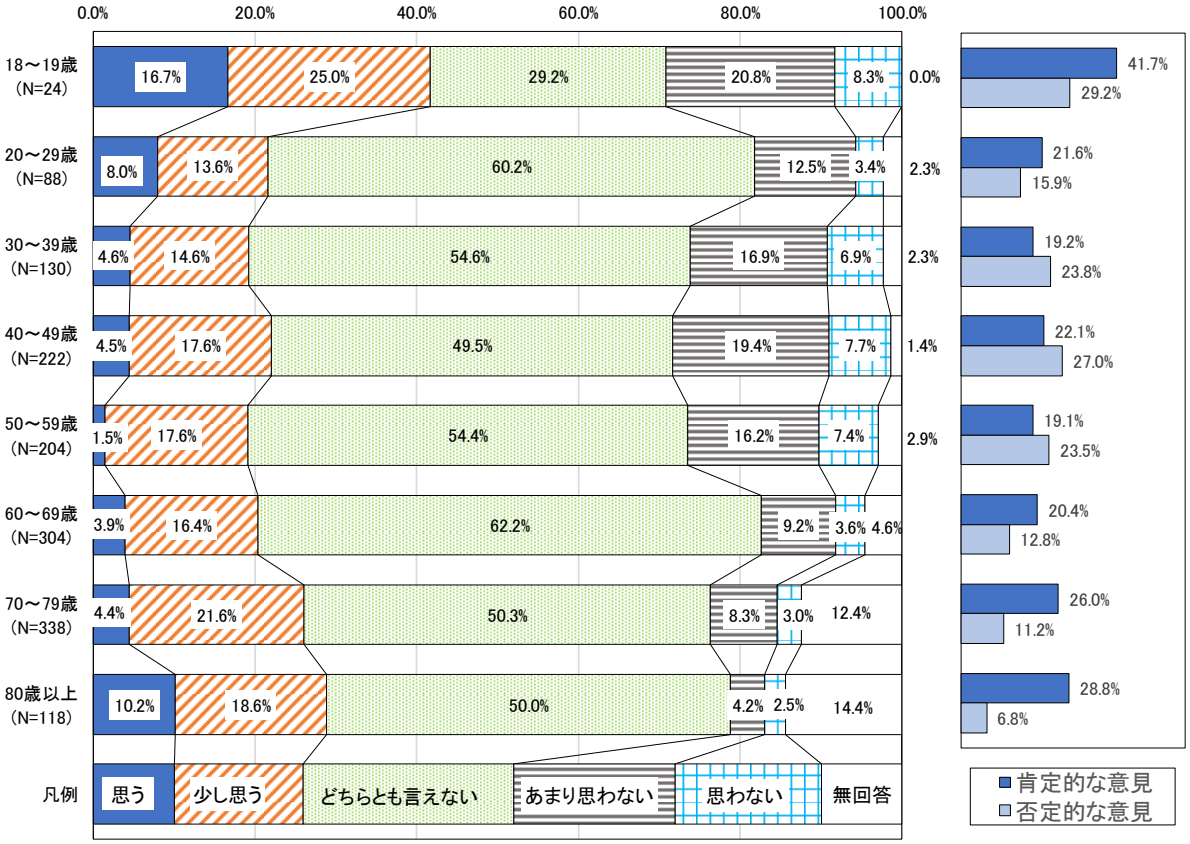
②　年度別



③　年代別

30 歳代から 50 歳代までを除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 10 歳代で、次いで 80 歳以上、70 歳代の順となっている。

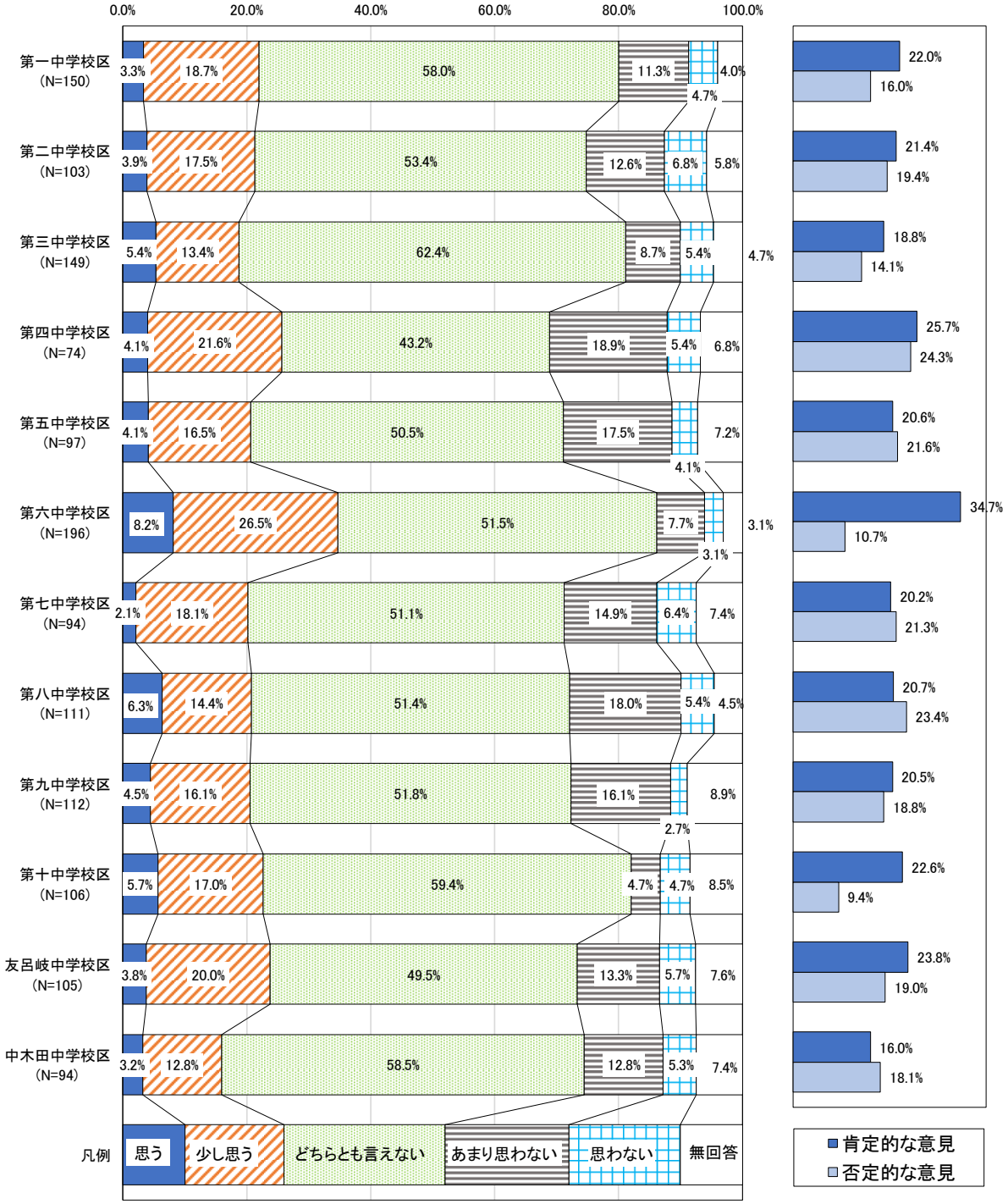
『否定的な意見』の割合は、10 歳代、40 歳代、30 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

第五、第七、第八、中木田中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第六中学校区で、次いで第四、友呂岐学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第四、第八、第五中学校区の順で高くなっている。

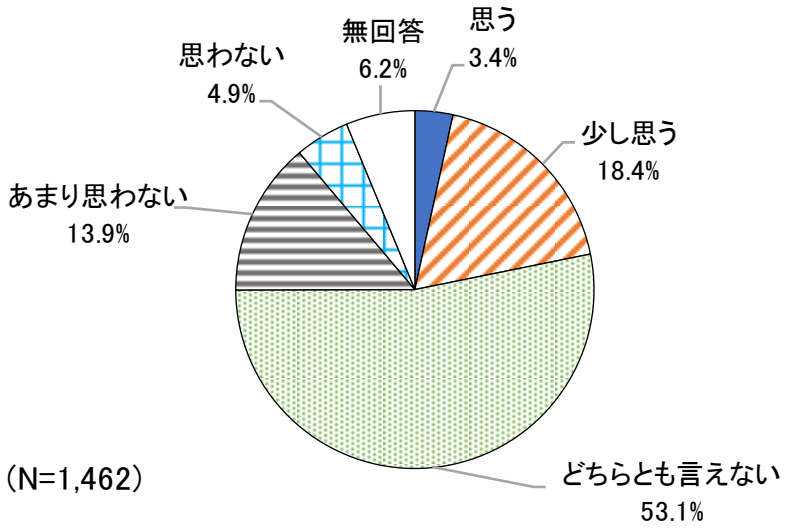


問 34　寝屋川市の小中学校・幼稚園は、教育環境（施設等）が充実していると思いますか。

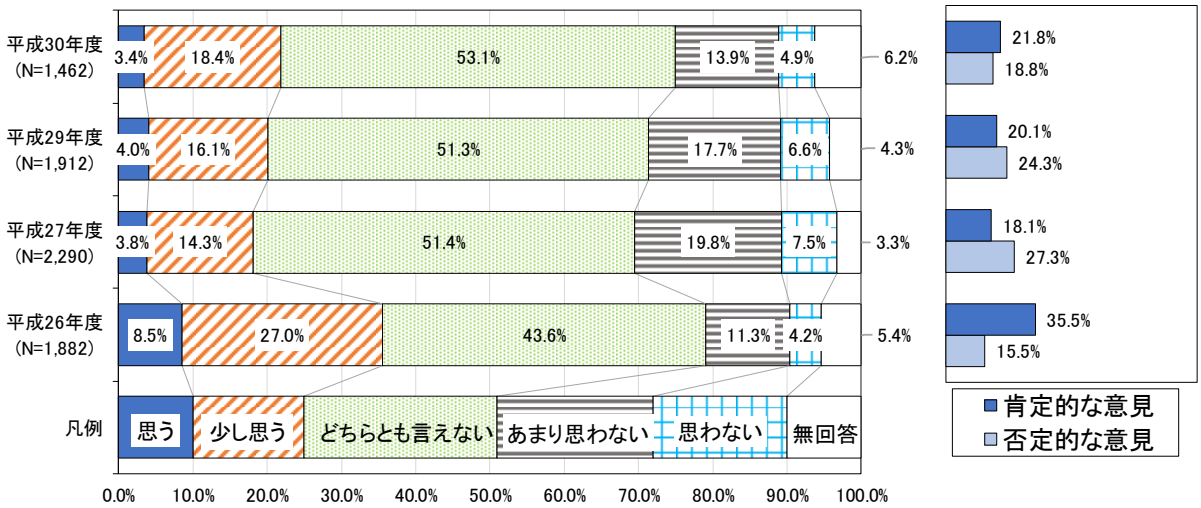
①　全体

「どちらとも言えない」が 53.1%と最も高く、次いで「少し思う」が 18.4%、「あまり思わない」が 13.9%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 21.8%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 18.8%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



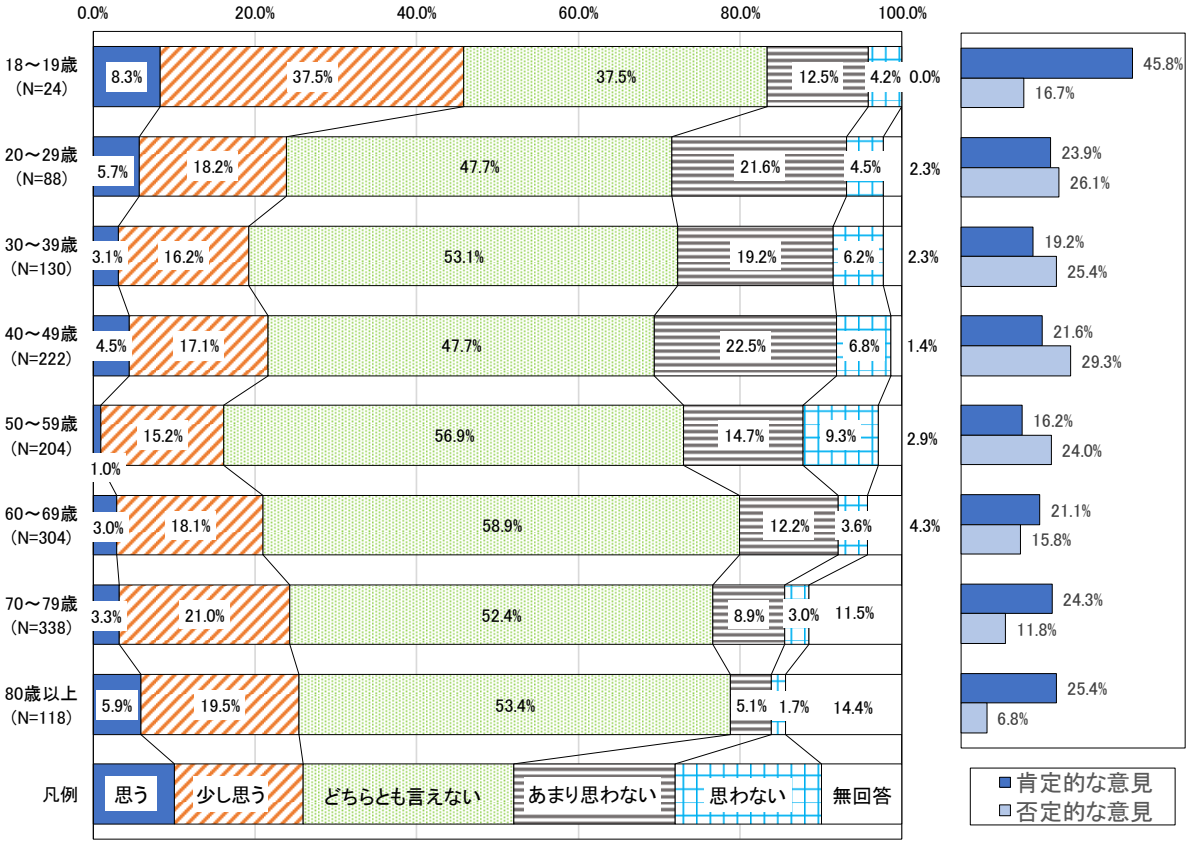
②　年度別



③　年代別

10 歳代、60 歳代以上の年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 10 歳代で、次いで 80 歳以上、70 歳代の順となっている。

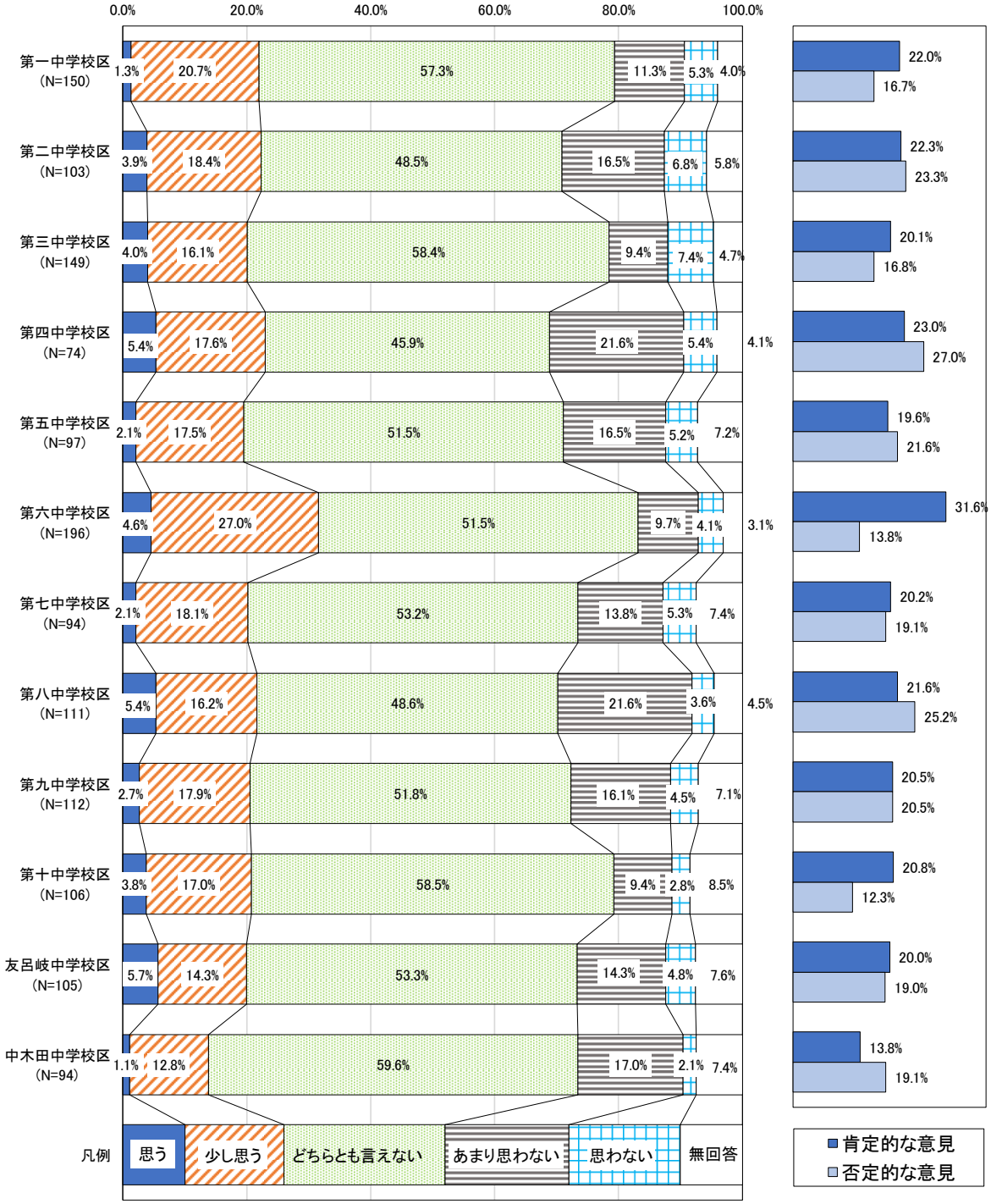
『否定的な意見』の割合は、40 歳代、20 歳代、30 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

第一、第三、第六、第七、第十、友呂岐中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第六中学校区で、次いで第四、第二中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第四、第八、第二中学校区の順で高くなっている。

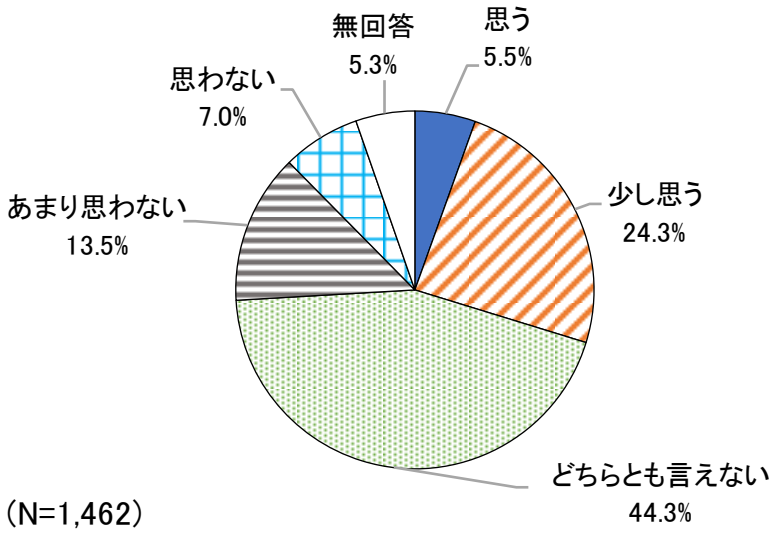


問 35　寝屋川市は、子どもの安全・安心に対する取組が充実していると思いますか。

① 全体

「どちらとも言えない」が 44.3%と最も高く、次いで「少し思う」が 24.3%、「あまり思わない」が 13.5%の順となっている。

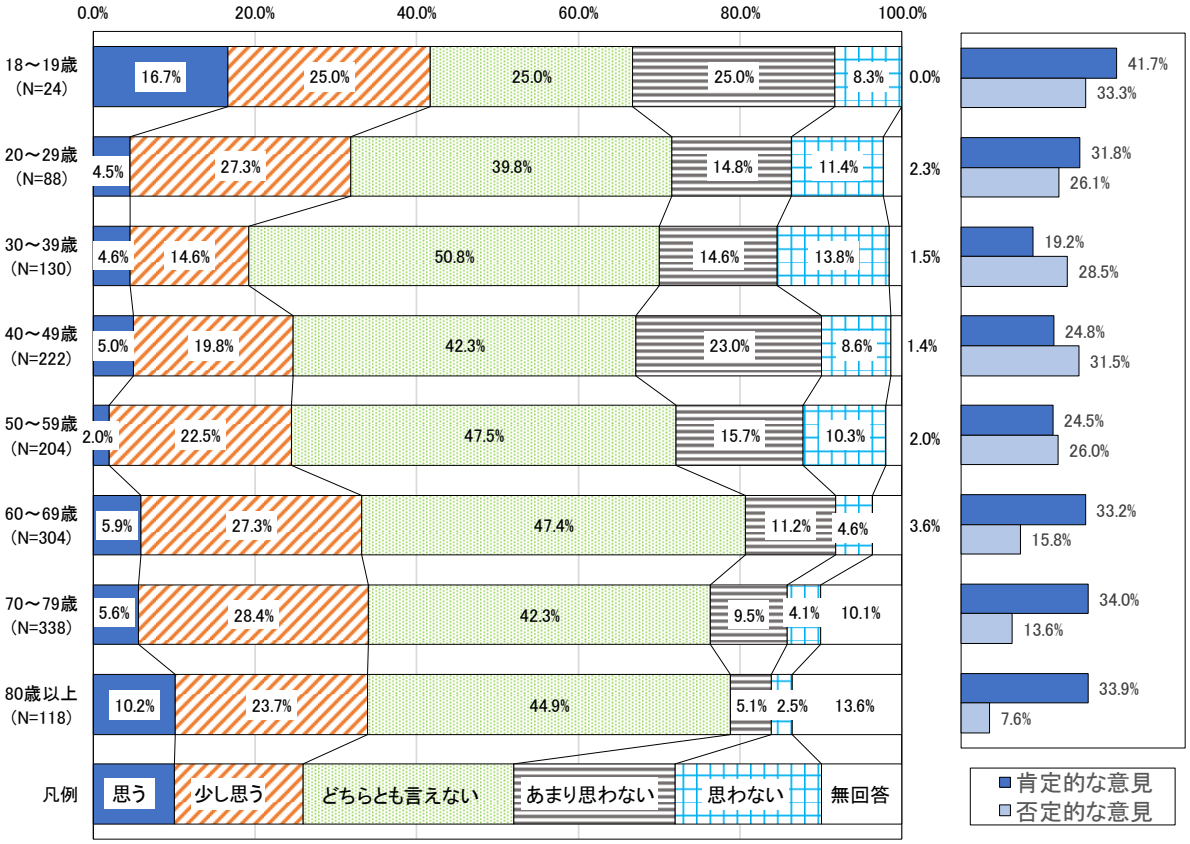
「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 29.8%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 20.5%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



②　年代別

10 歳代、20 歳代、60 歳代以上の年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 10 歳代で、次いで 70 歳代、80 歳以上の順となっている。

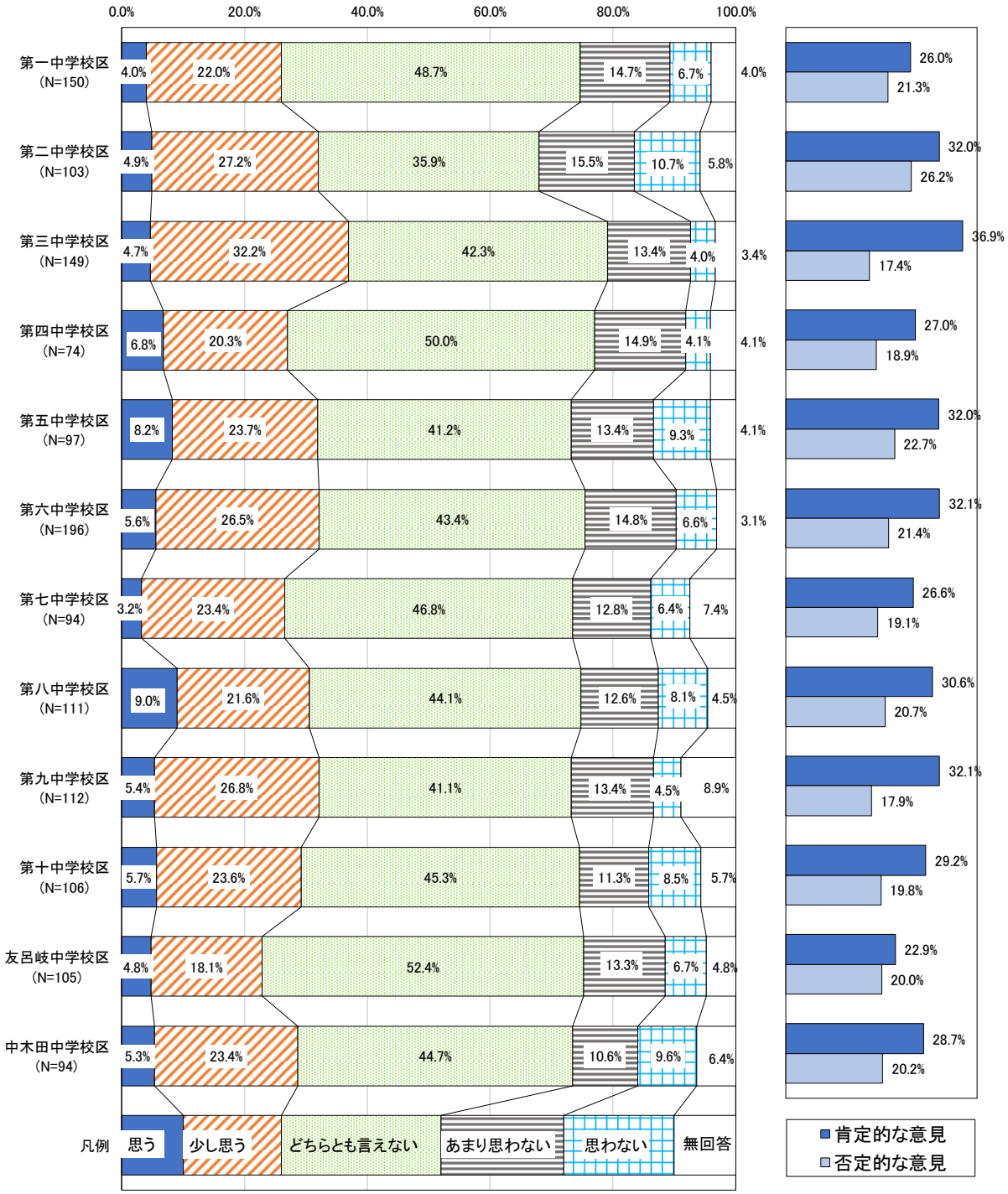
『否定的な意見』の割合は、10 歳代、40 歳代、30 歳代の順で高くなっている。



③　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第三中学校区で、次いで第九中学校区、第二と第六中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第二、第五、第六中学校区の順で高くなっている。

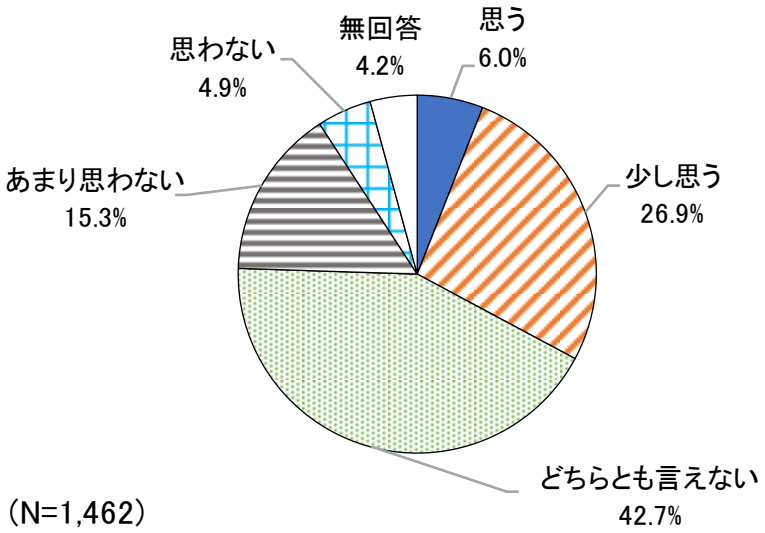


問 36　寝屋川市は、学校・家庭・地域が連携して青少年の育成を見守っていると思いますか。

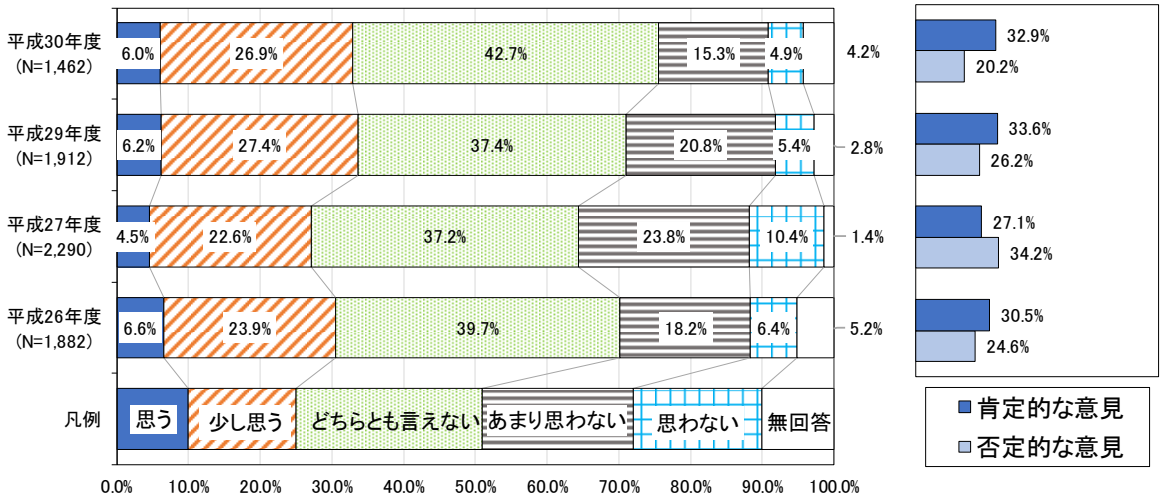
①　全体

「どちらとも言えない」が 42.7%と最も高く、次いで「少し思う」が 26.9%、「あまり思わない」が 15.3%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 32.9%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 20.2%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



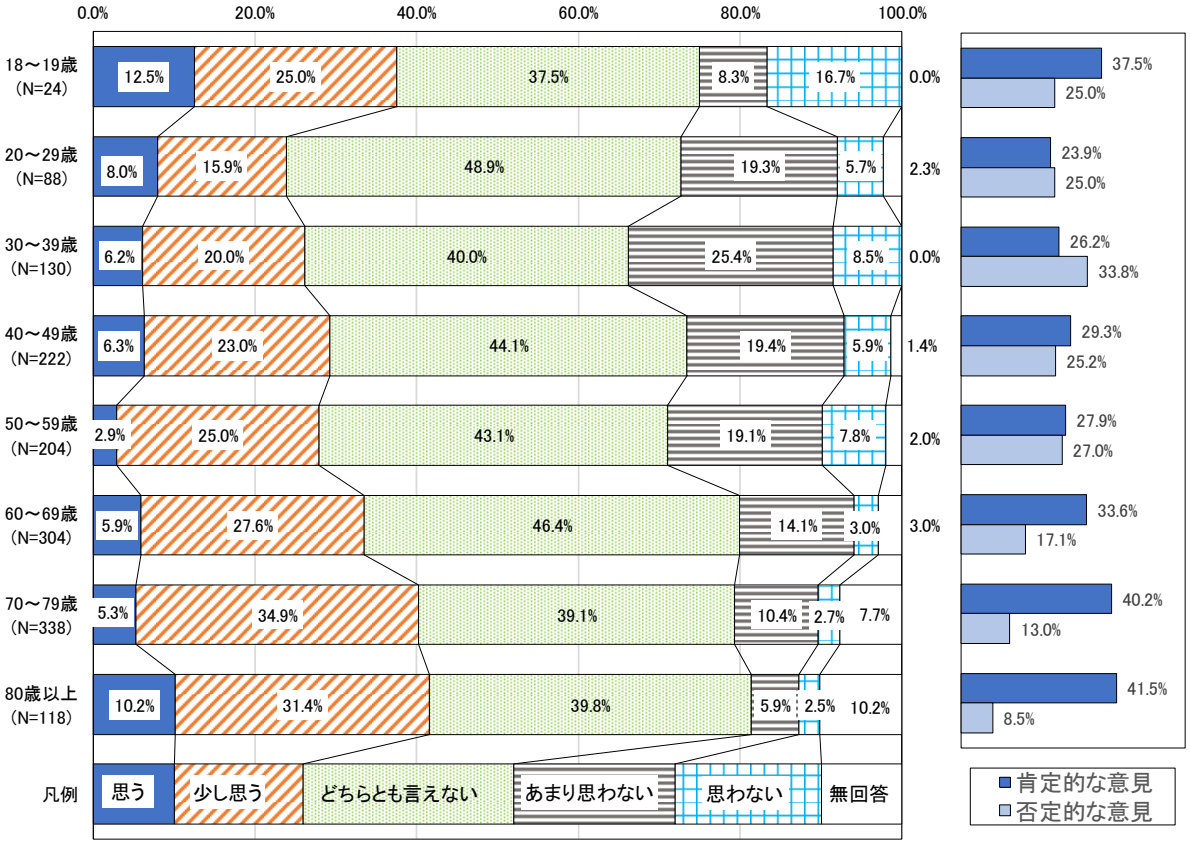
②　年度別



③　年代別

20 歳代、30 歳代を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 70 歳代、10 歳代の順となっている。

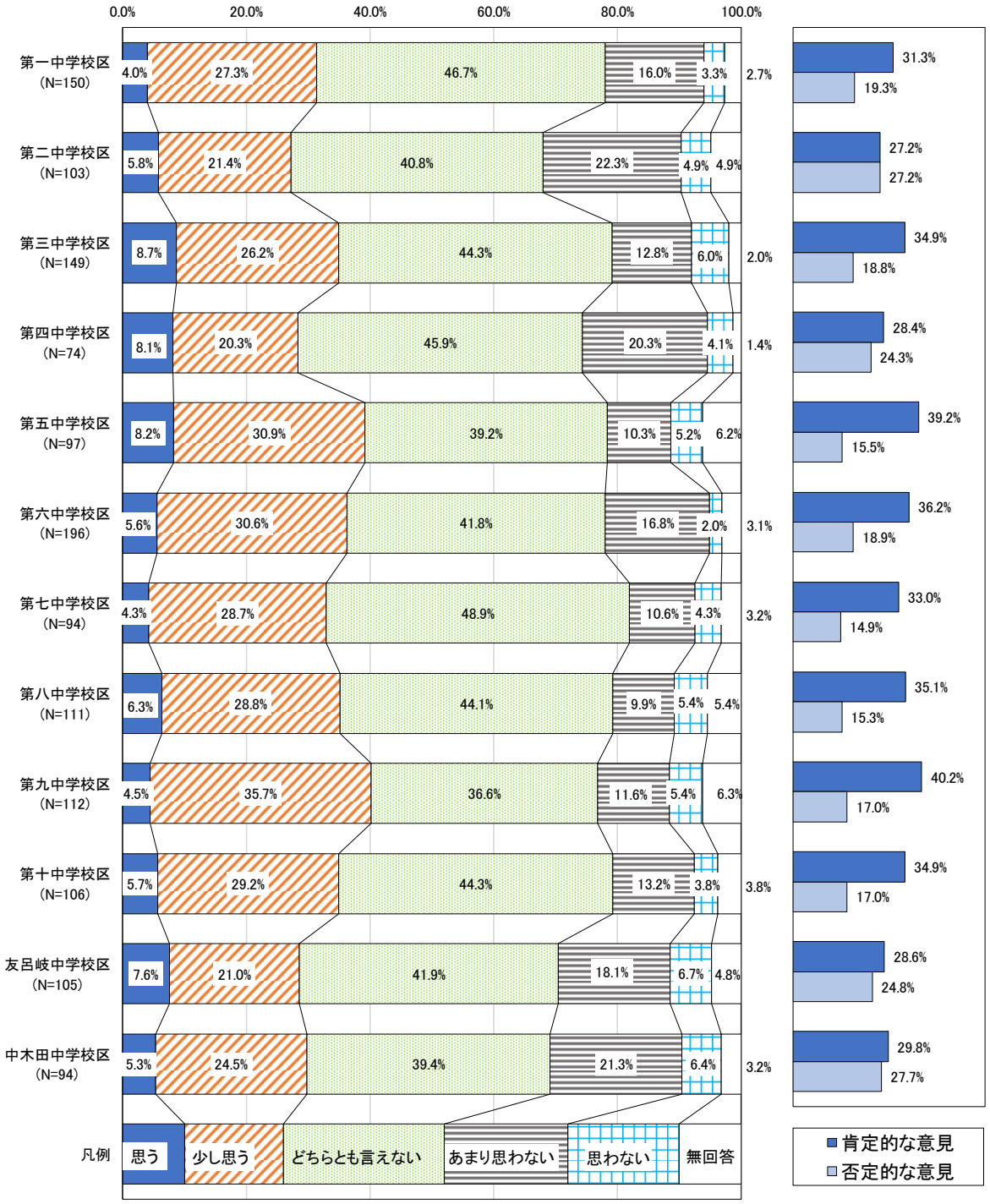
『否定的な意見』の割合は、30 歳代、50 歳代、40 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

第二中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第九中学校区で、次いで第五中学校区、第三と第十中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、中木田、第二、友呂岐中学校区の順で高くなっている。

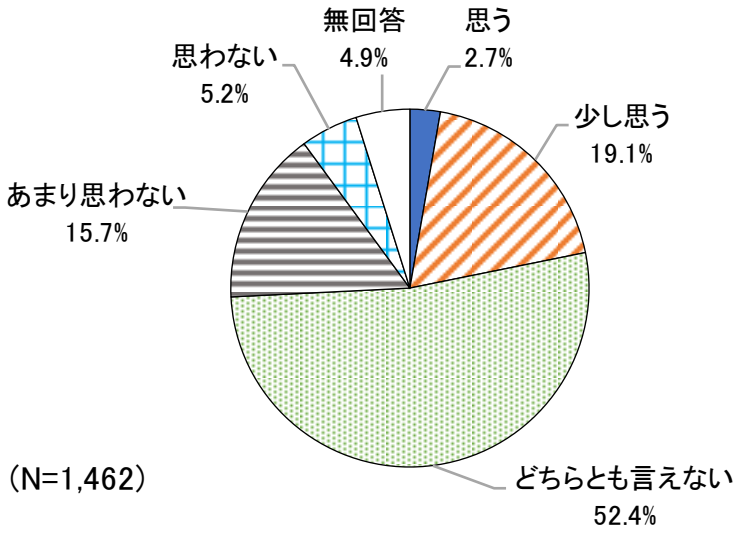


問 37　寝屋川市は、生涯学習の機会や情報の提供が充実していると思いますか。

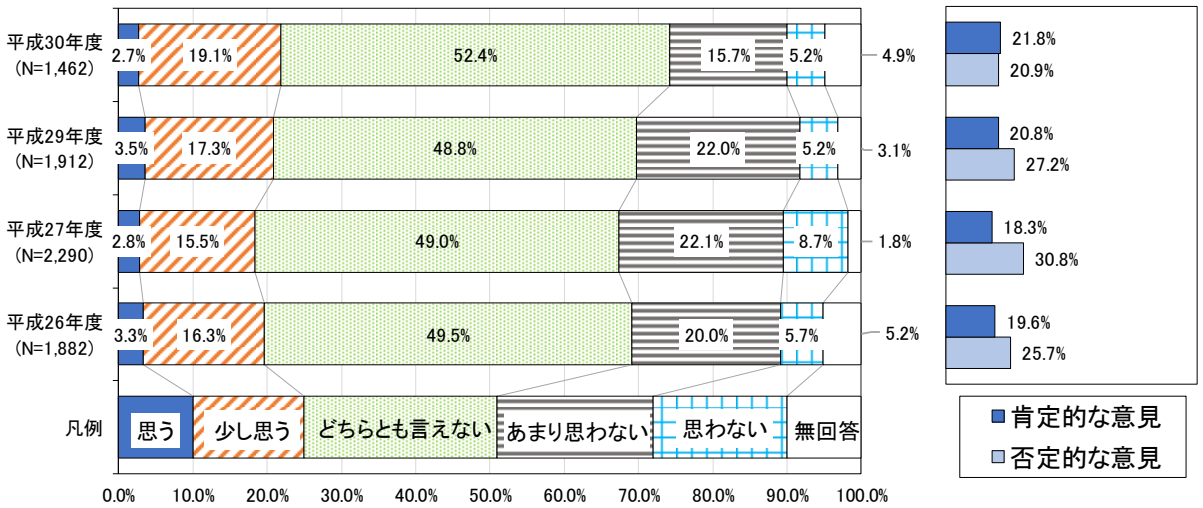
①　全体

「どちらとも言えない」が 52.4%と最も高く、次いで「少し思う」が 19.1%、「あまり思わない」が 15.7%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 21.8%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 20.9%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



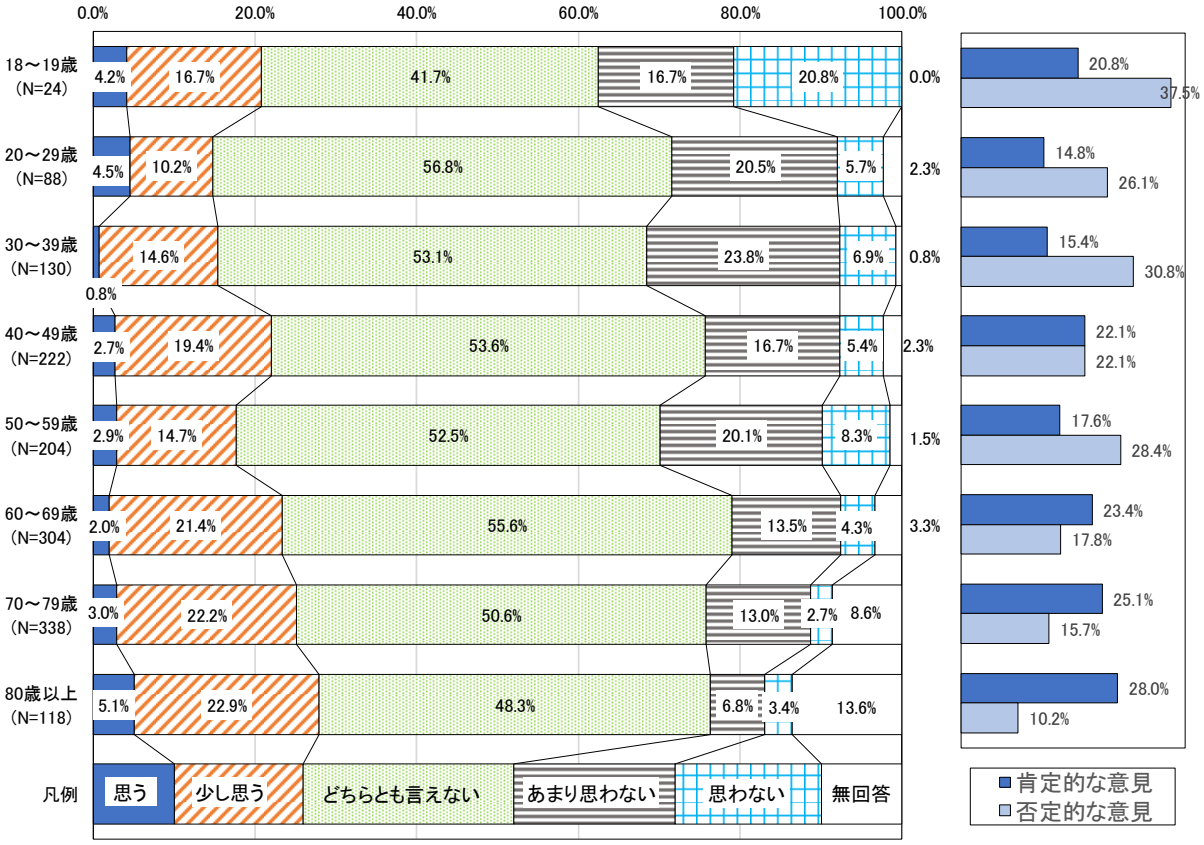
②　年度別



③　年代別

60 歳代以上の年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 70 歳代、60 歳代の順となっている。

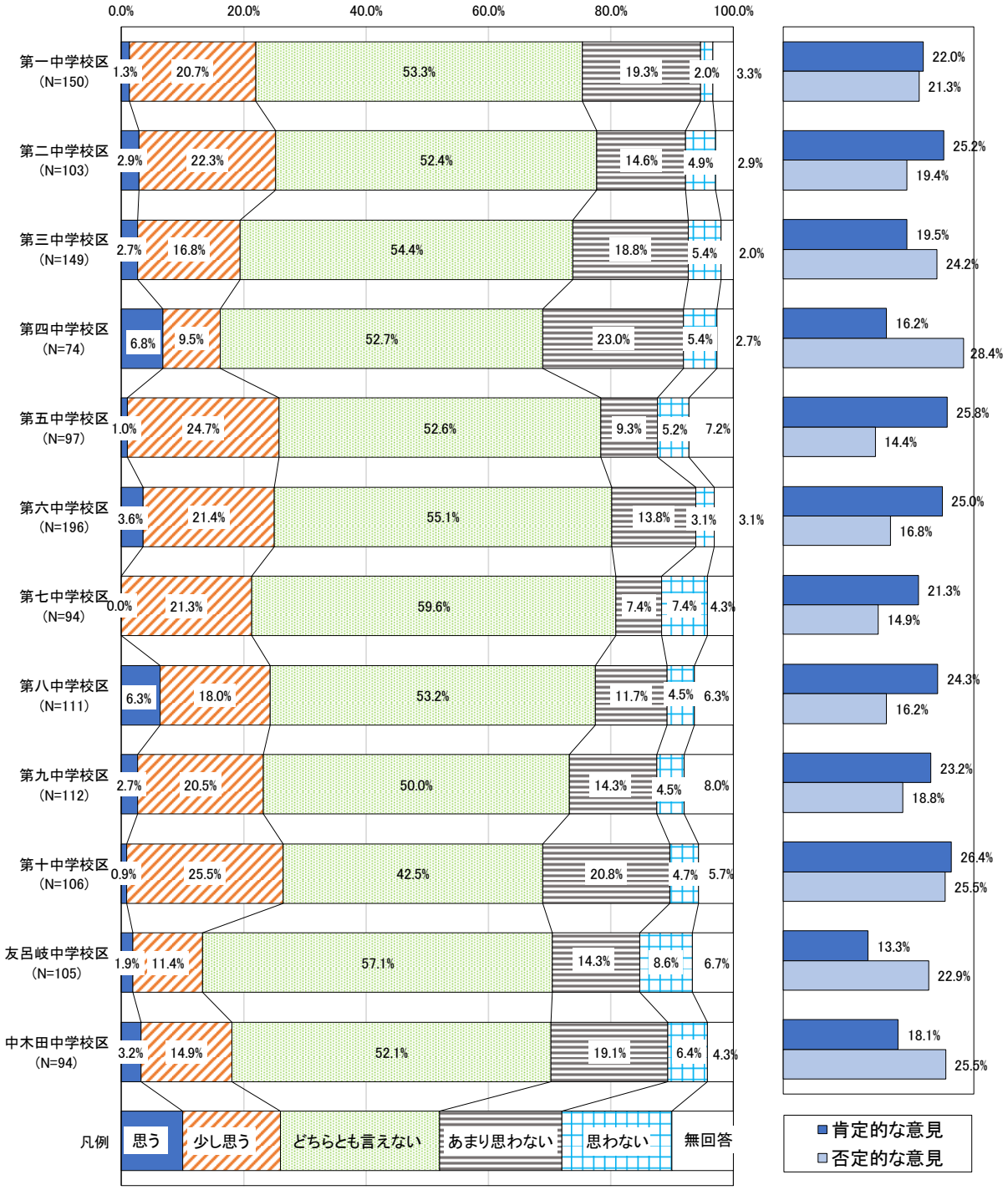
『否定的な意見』の割合は、10 歳代、30 歳代、50 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

第三、第四、友呂岐、中木田中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第十中学校区で、次いで第五、第二中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第四中学校区、第十と中木田中学校区の順で高くなっている。

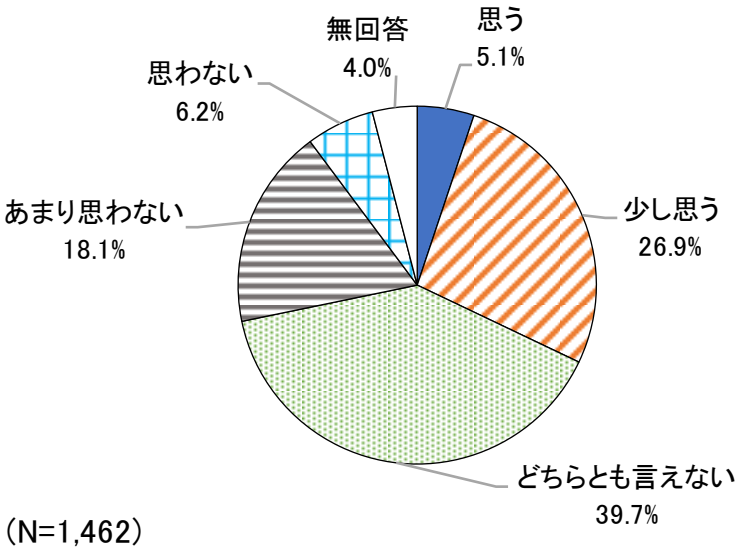


問 38　寝屋川市では、展示会・コンサートなど、文化・芸術活動が活発に行われていると思いますか。

①　全体

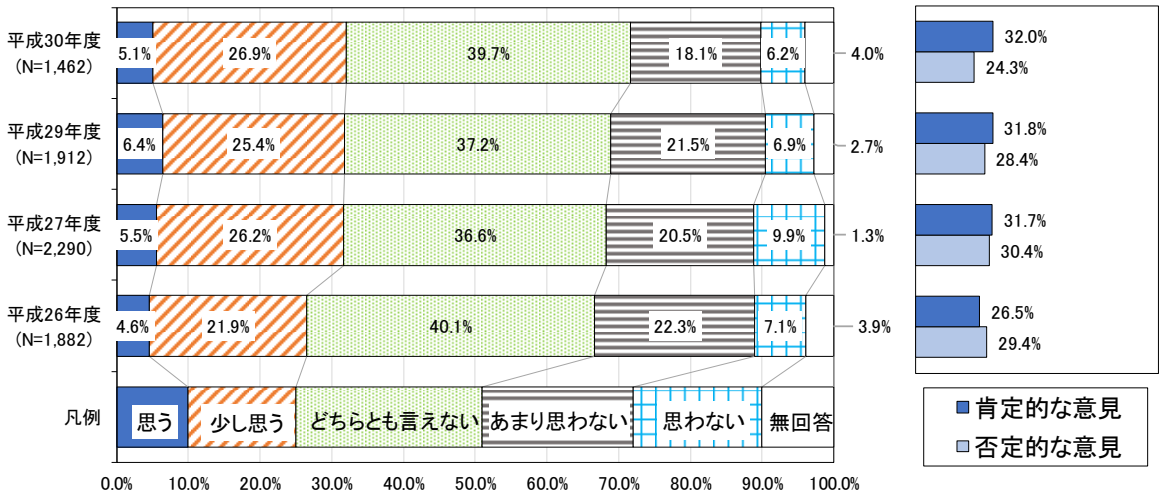
「どちらとも言えない」が 39.7%と最も高く、次いで「少し思う」が 26.9%、「あまり思わない」が 18.1%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 32.0%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 24.3%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



(N=1,462)

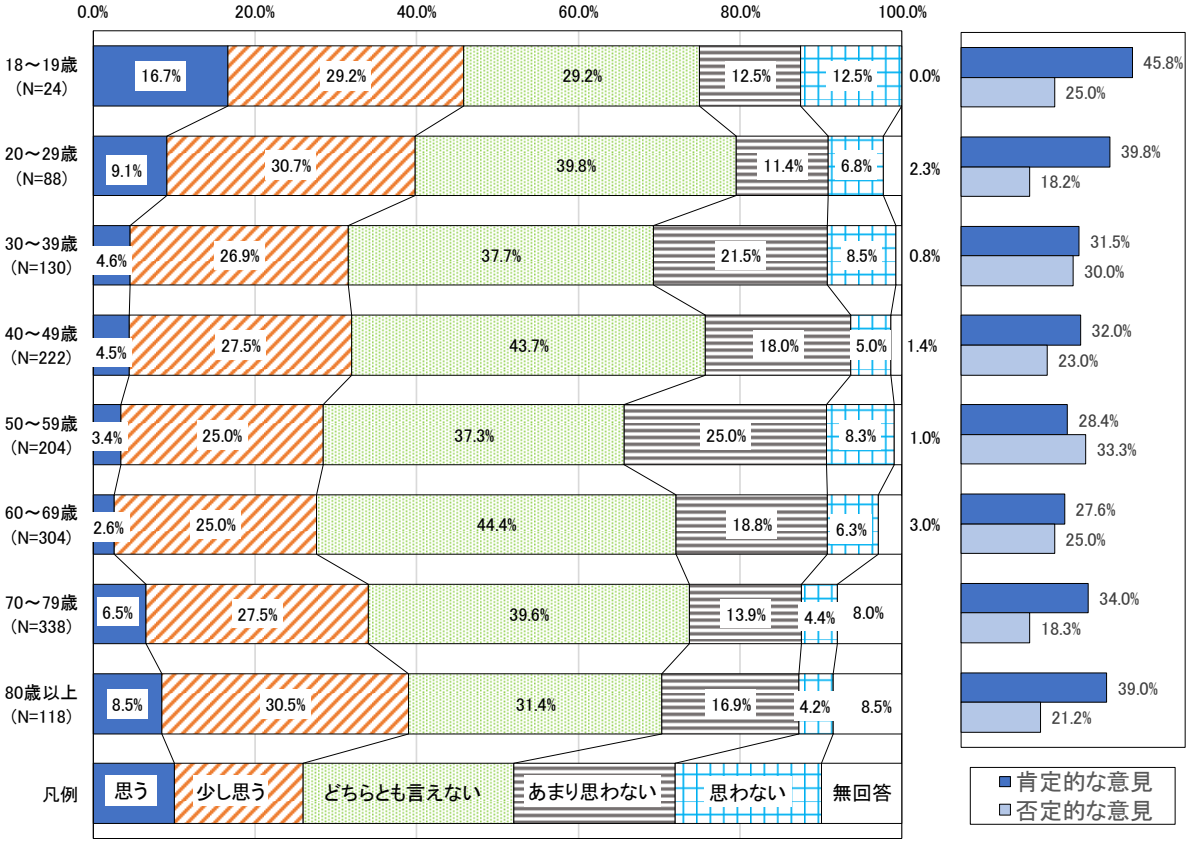
②　年度別



③　年代別

50 歳代を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 10 歳代で、次いで 20 歳代、80 歳以上の順となっている。

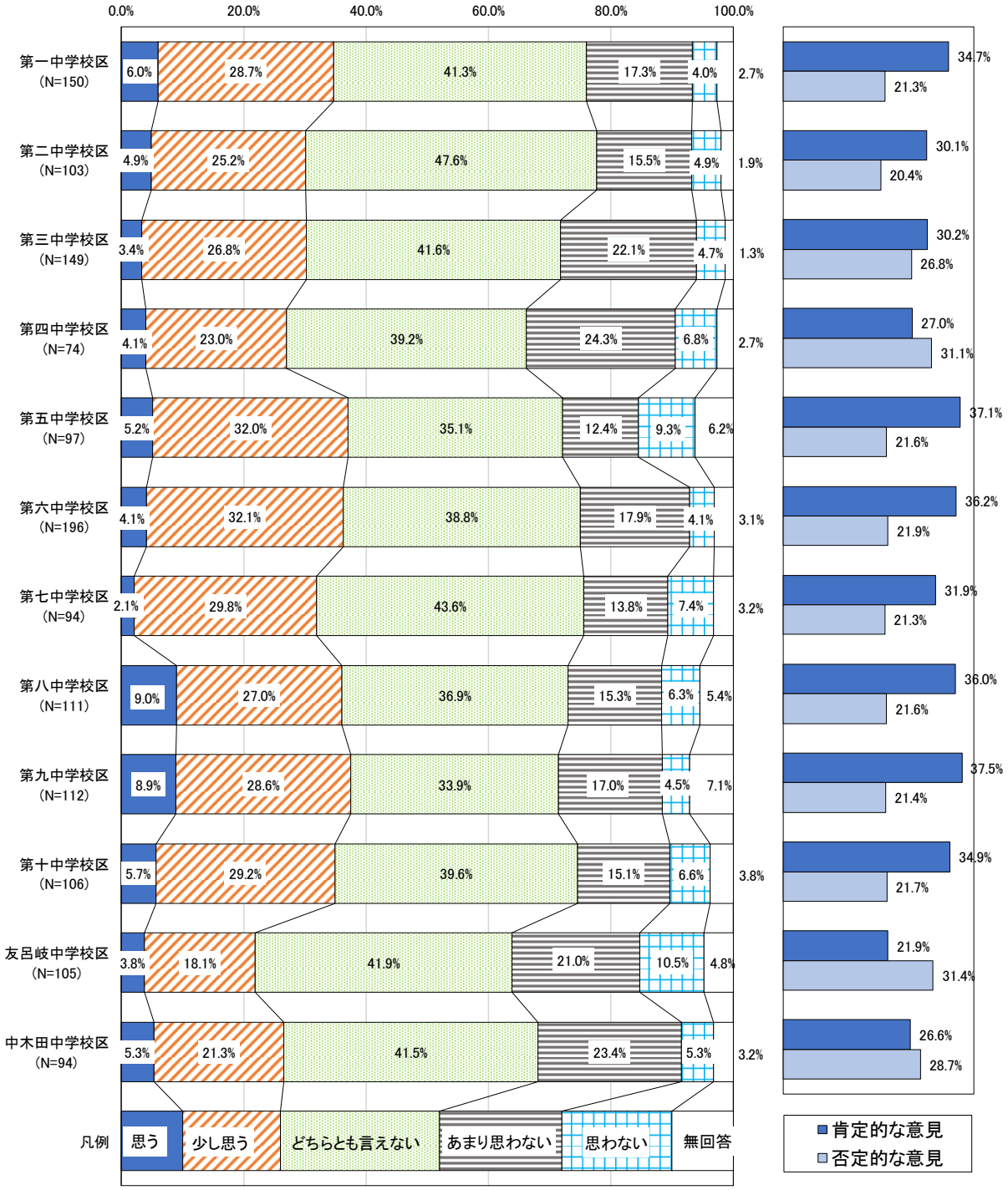
『否定的な意見』の割合は、50 歳代、30 歳代、10 歳代と 60 歳代の順で高くなっている。。



④　中学校区別

第四、友呂岐、中木田中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第九中学校区で、次いで第五、第六中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、友呂岐、第四、中木田中学校区の順で高くなっている。

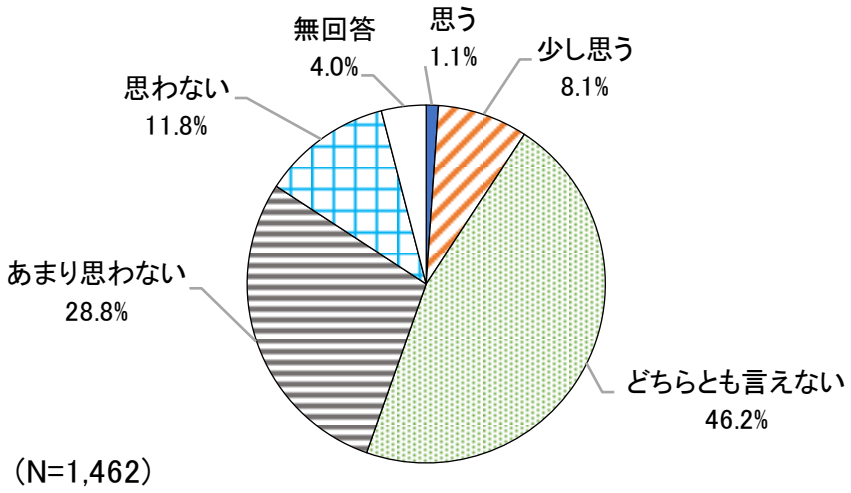


問 39　寝屋川市は、国際交流が盛んであると思いますか。

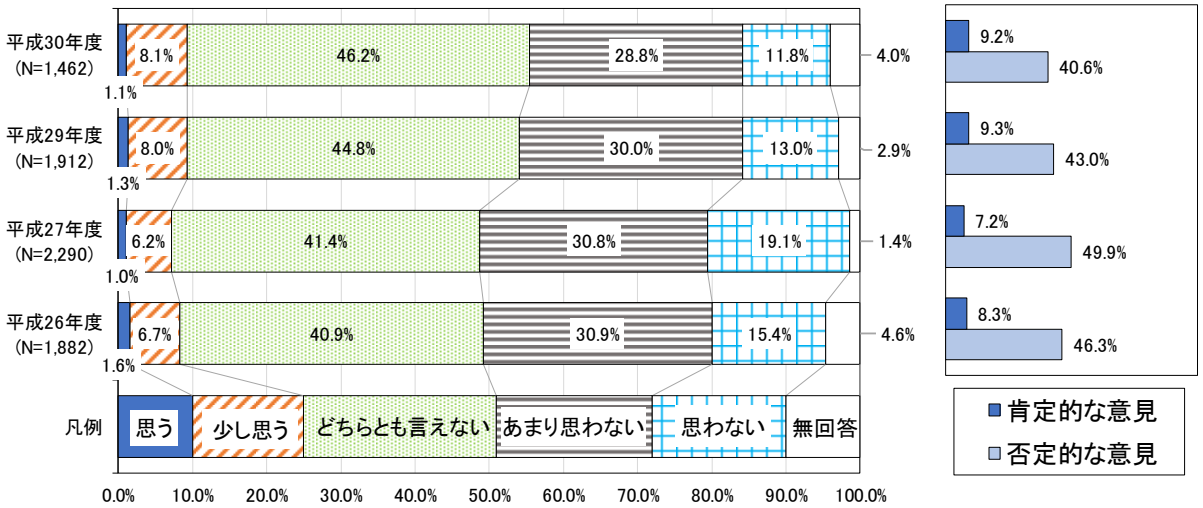
①　全体

「どちらとも言えない」が 46.2%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 28.8%、「思わない」が 11.8%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 9.2%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 40.6%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



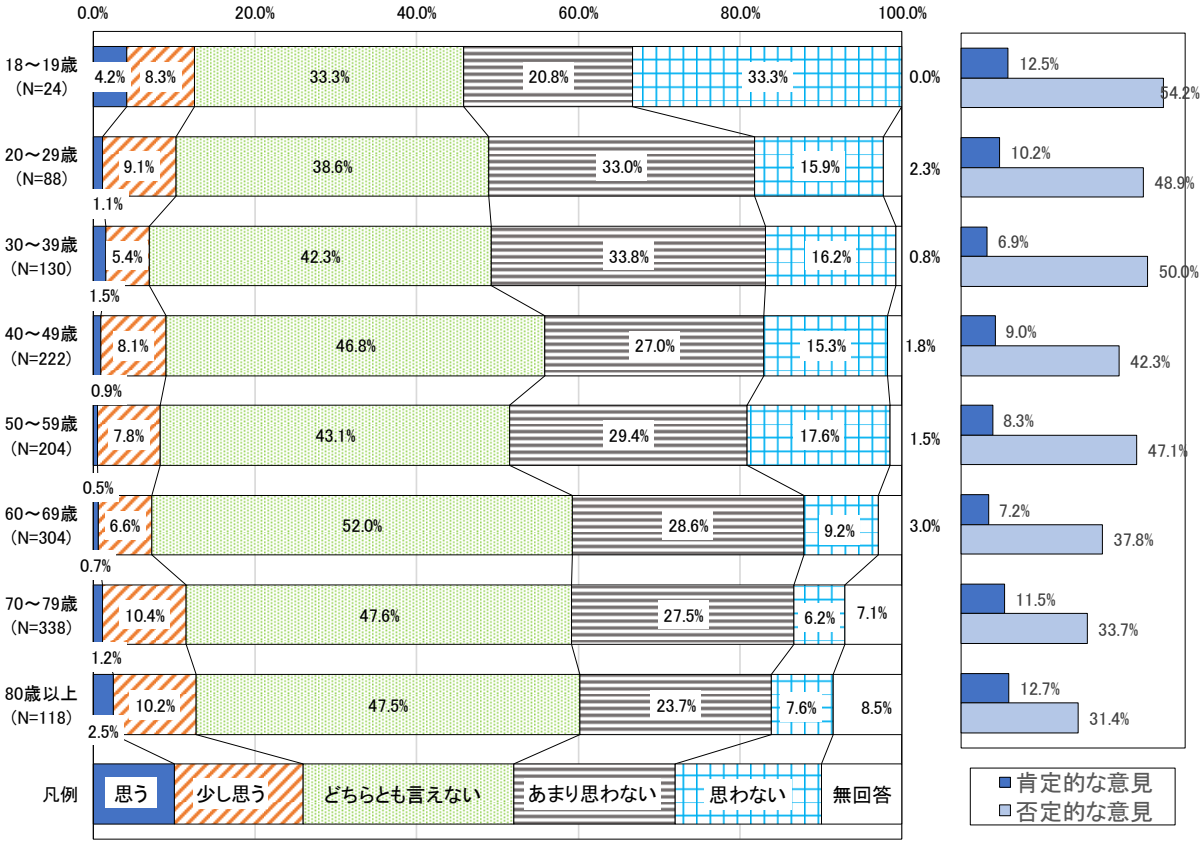
②　年度別



③　年代別

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 10 歳代、70 歳代の順となっている。

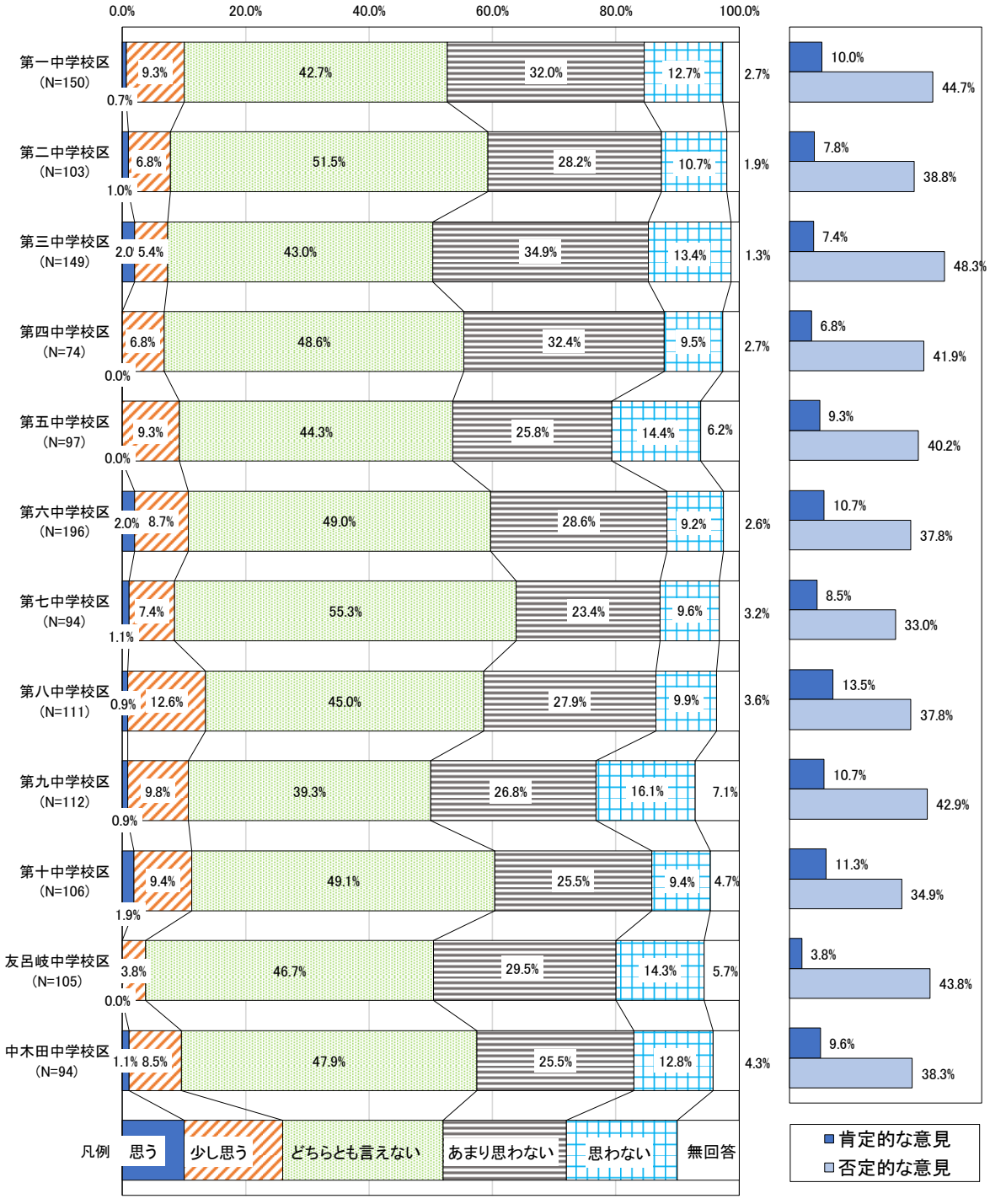
『否定的な意見』の割合は、10 歳代、30 歳代、20 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第八中学校区で、次いで第十中学校区、第六と第九中学校区の順で高くなっている。

『否定的な意見』の割合は、第三、第一、友呂岐中学校区の順で高くなっている。

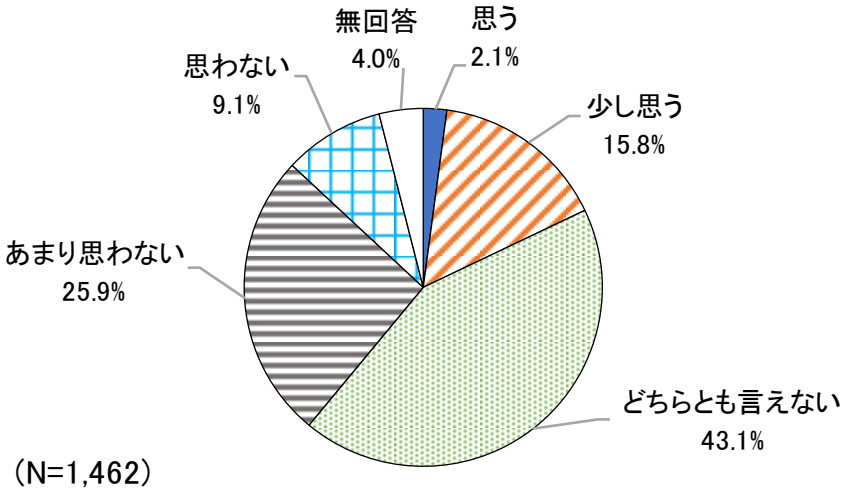


問 40　寝屋川市は、スポーツ活動の環境が整っていると思いますか。

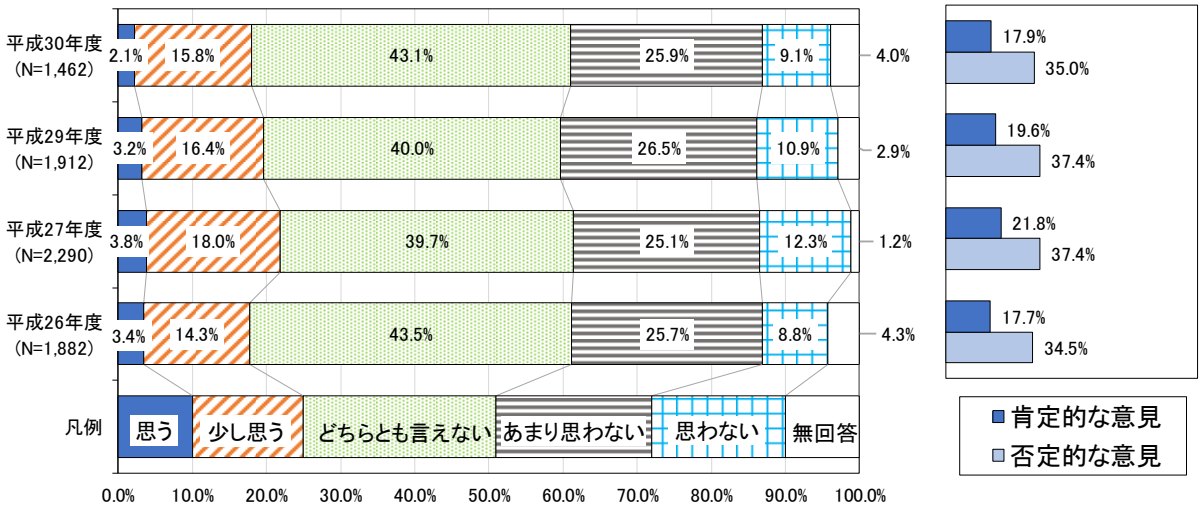
①　全体

「どちらとも言えない」が 43.1%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 25.9%、「少し思う」が 15.8%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 17.9%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 35.0%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



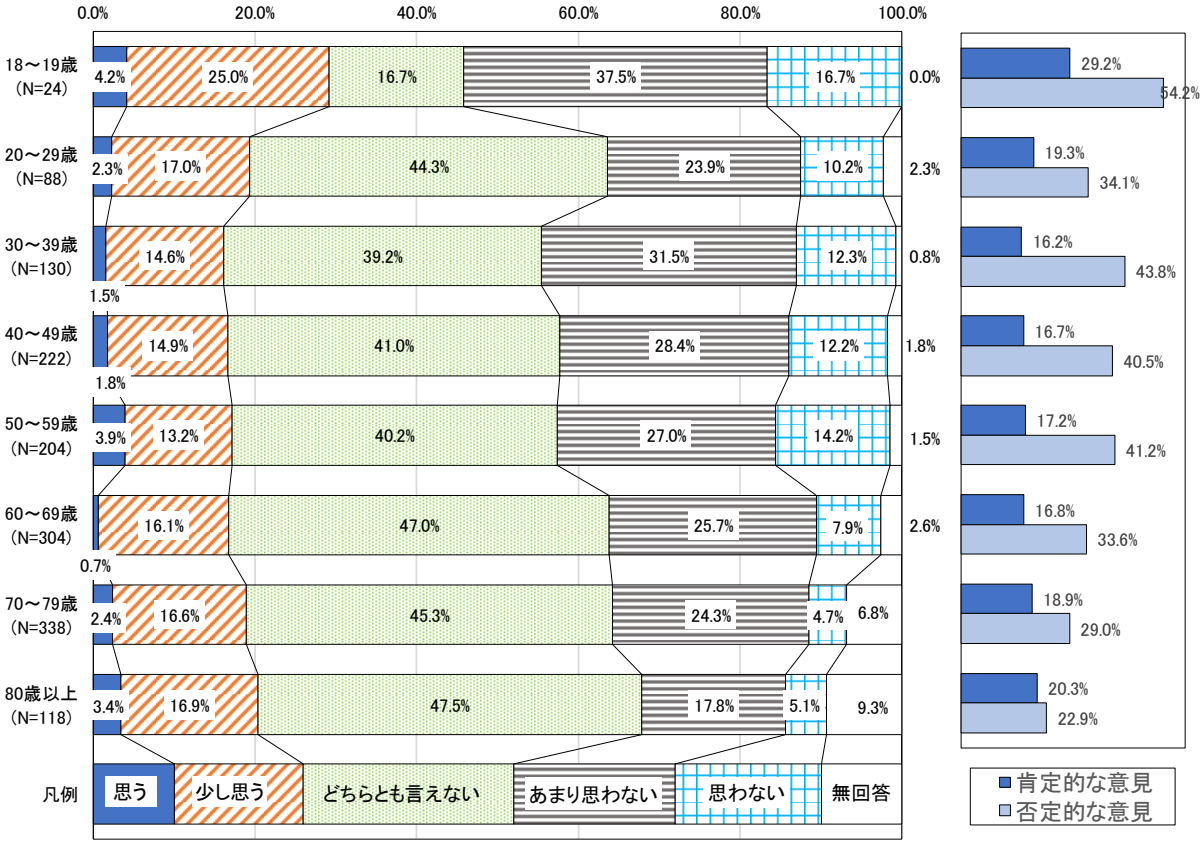
②　年度別



③　年代別

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 10 歳代で、次いで 80 歳以上、20 歳代の順となっている。

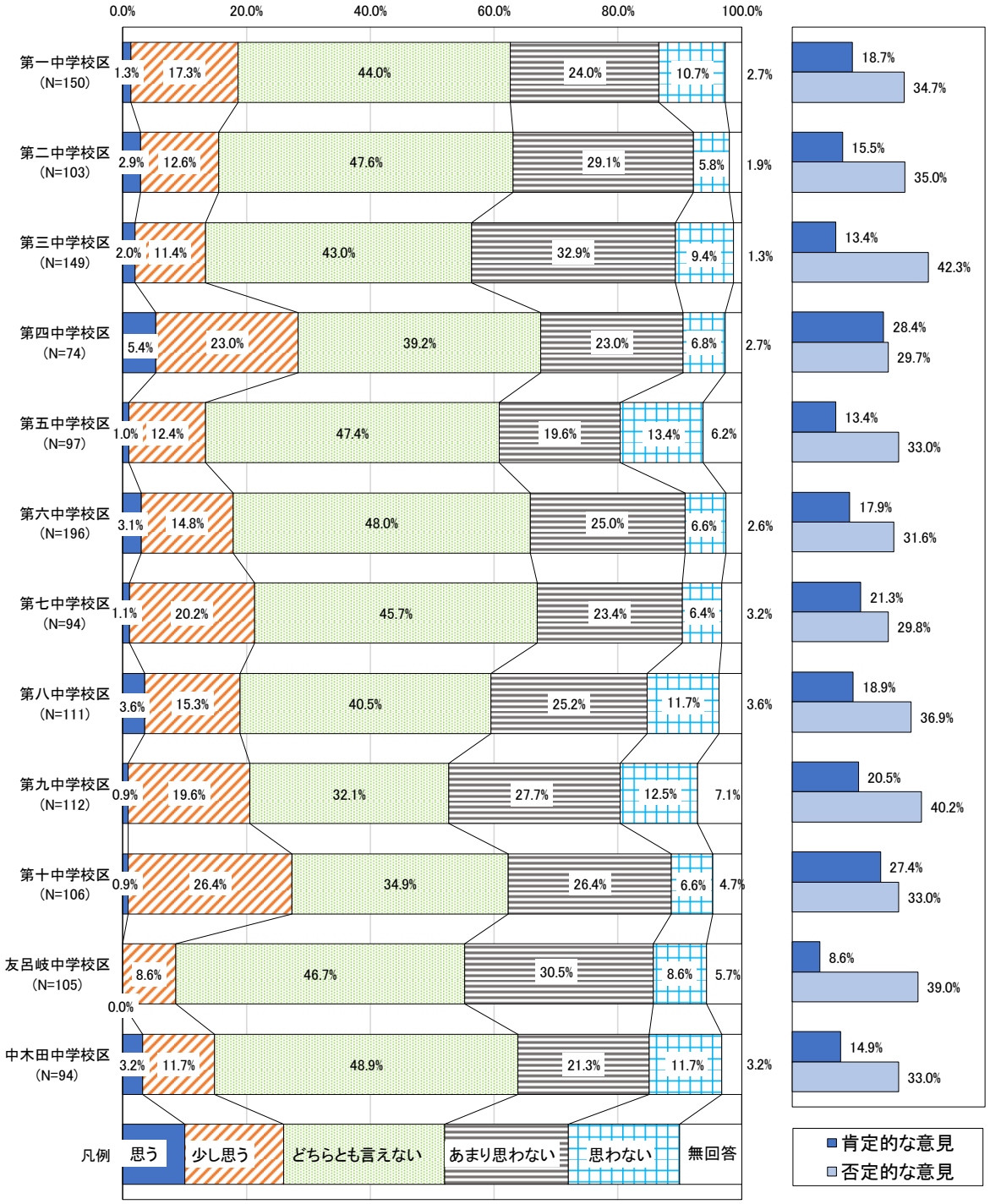
『否定的な意見』の割合は、10 歳代、30 歳代、50 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第四中学校区で、次いで第十、第七中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第三、第九、友呂岐中学校区の順で高くなっている。

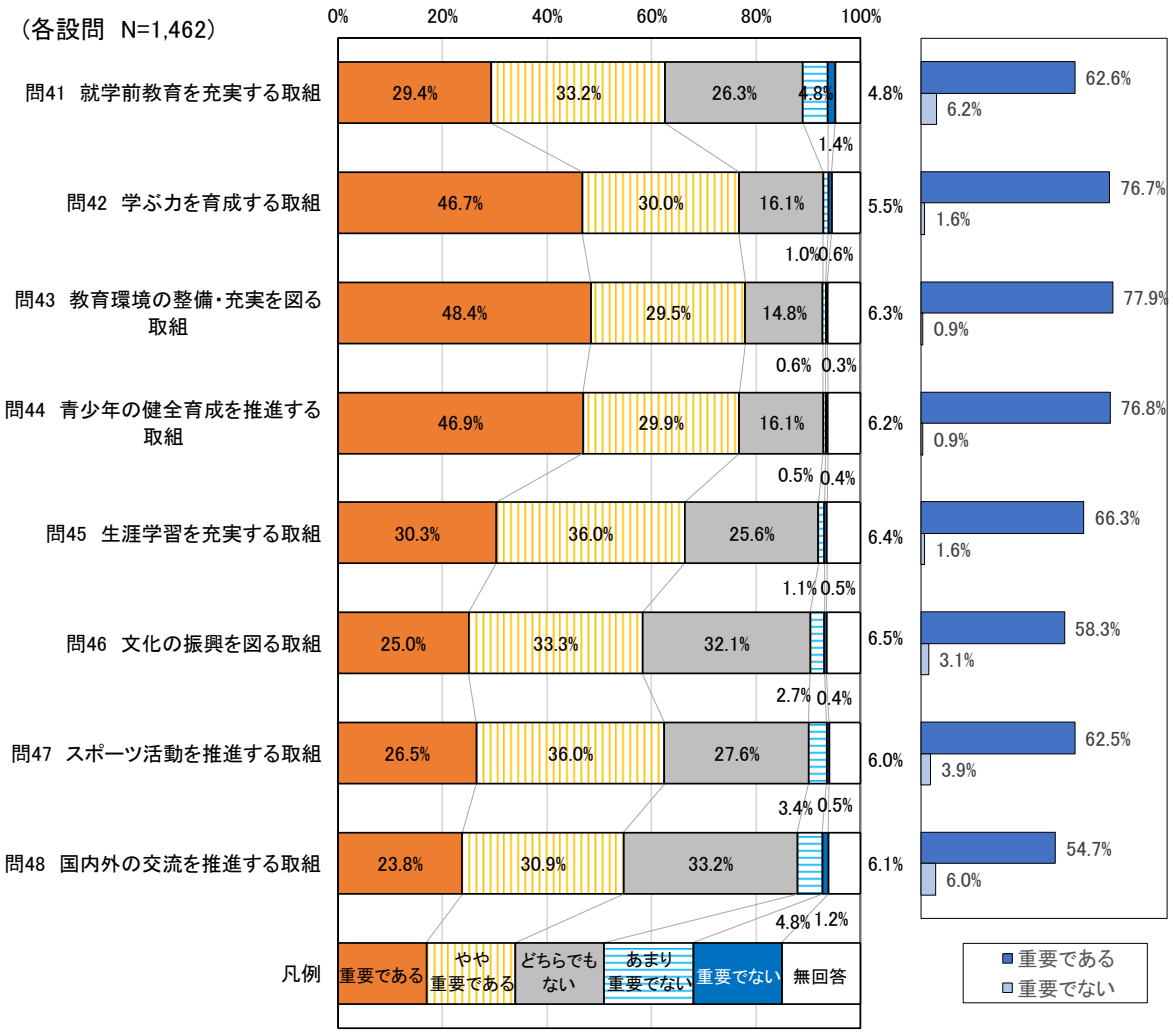


(2)「教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流」の施策についての重要度と満足度

問 41～問 48　現在、寝屋川市が取り組んでいる「教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

①　重要度

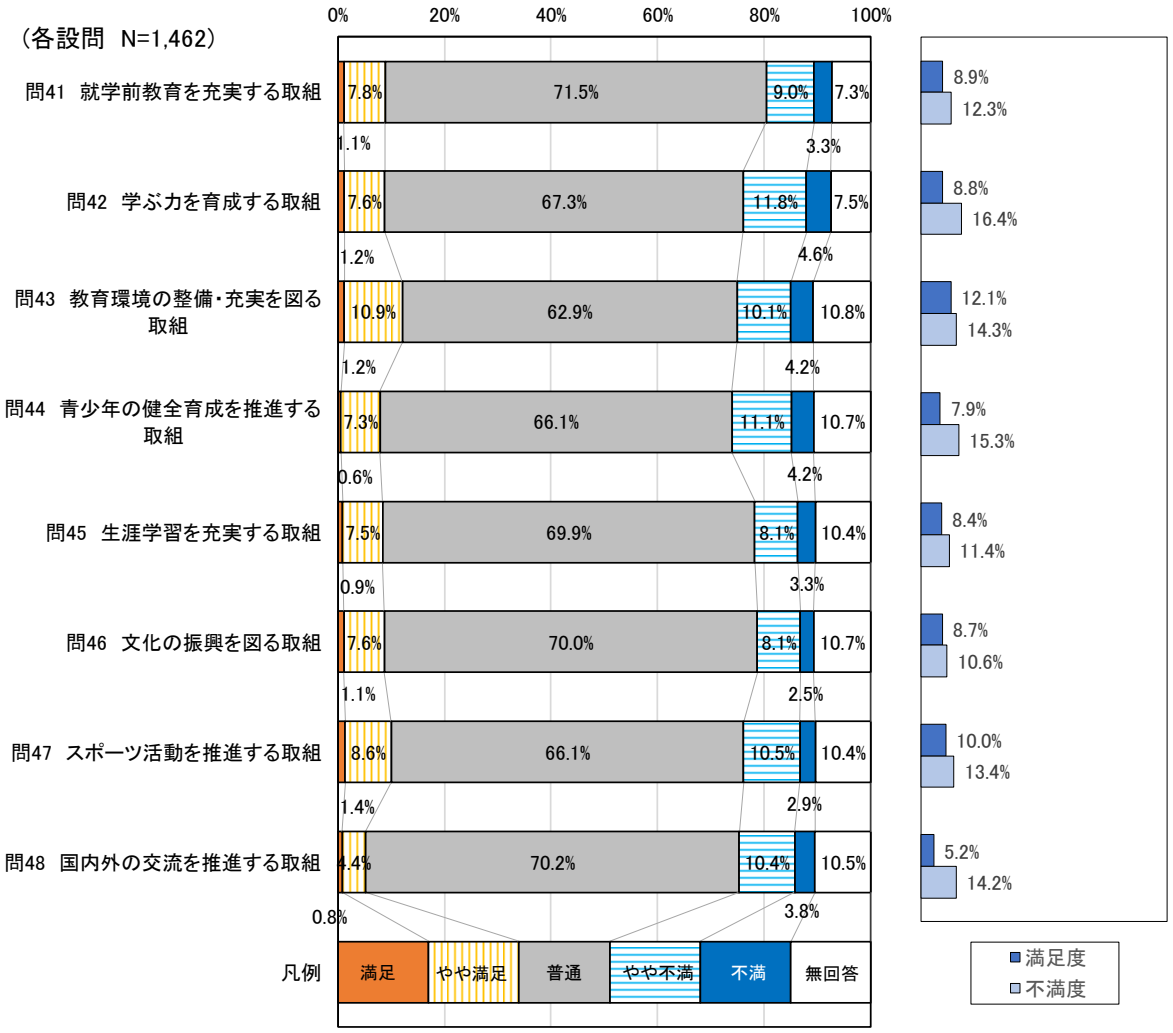
『教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流』の施策において、重要度が最も高いのは「教育環境の整備・充実を図る取組」で、次いで「青少年の健全育成を推進する取組」、「学ぶ力を育成する取組」が続いている。



②　満足度

『教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流』の施策において、満足度が最も高いのは「教育環境の整備・充実を図る取組」で、次いで「スポーツ活動を推進する取組」、「就学前教育を充実する取組」が続いている。

不満度が最も高いのは、「学ぶ力を育成する取組」である。



５．『快適でうるおいのあるまちづくり』について

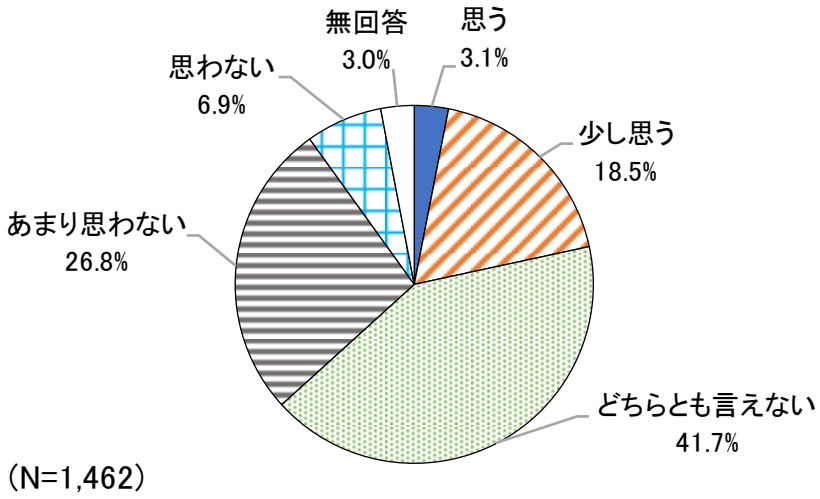
（１）　「都市整備・都市環境」について

問 49　寝屋川市は、地域の特性をいかした計画的なまちづくりが行われていると思いますか。

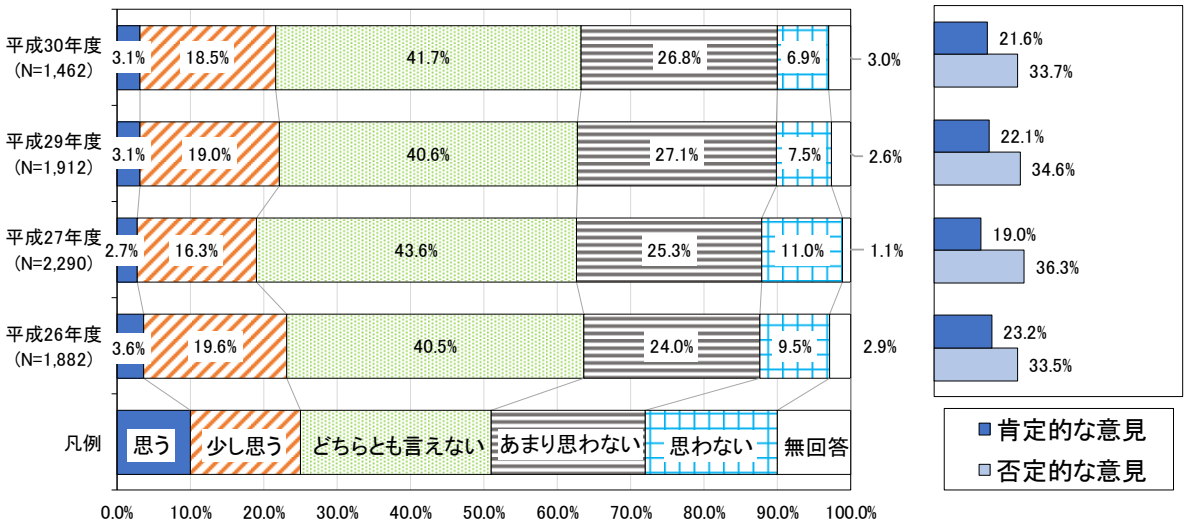
①　　全体

「どちらとも言えない」が 41.7%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 26.8%、「少し思う」が 18.5%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 21.6%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 33.7%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



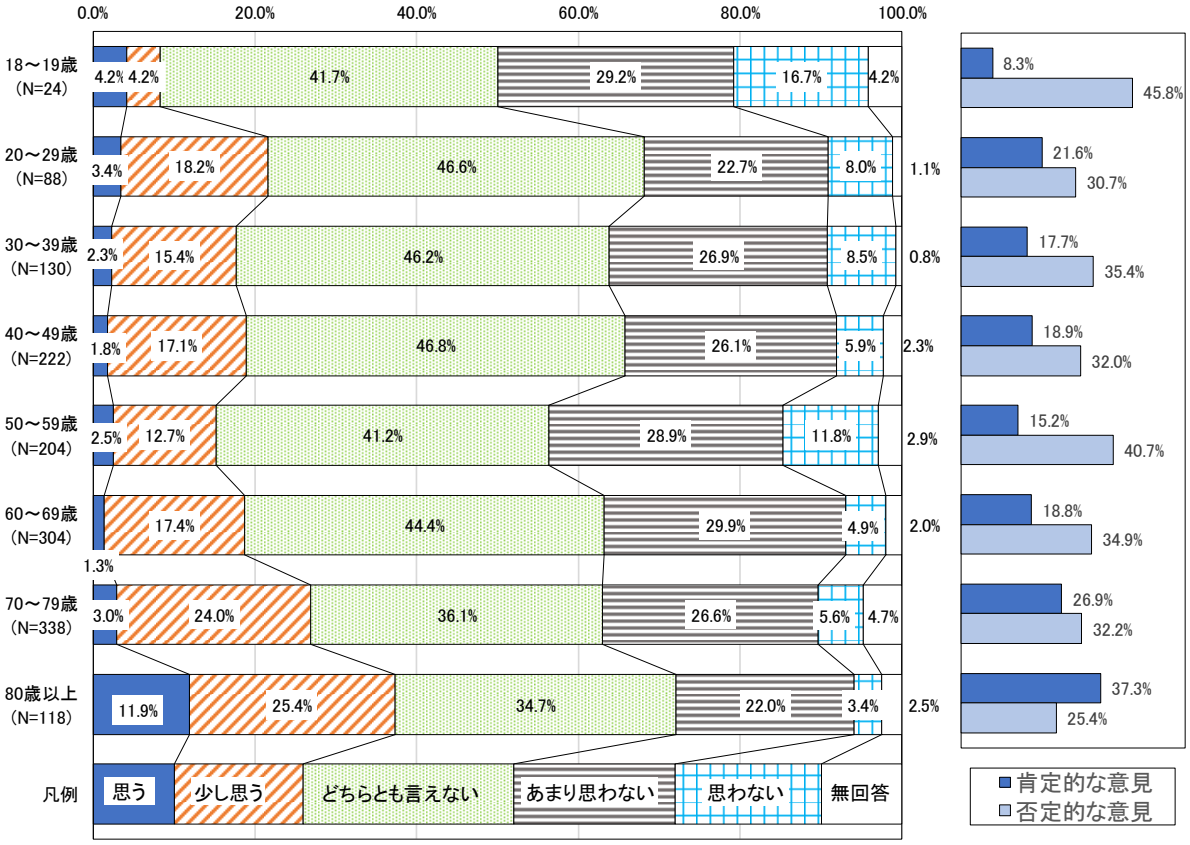
②　　年度別



③　年代別

80 歳以上を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 70 歳代、20 歳代の順となっている。

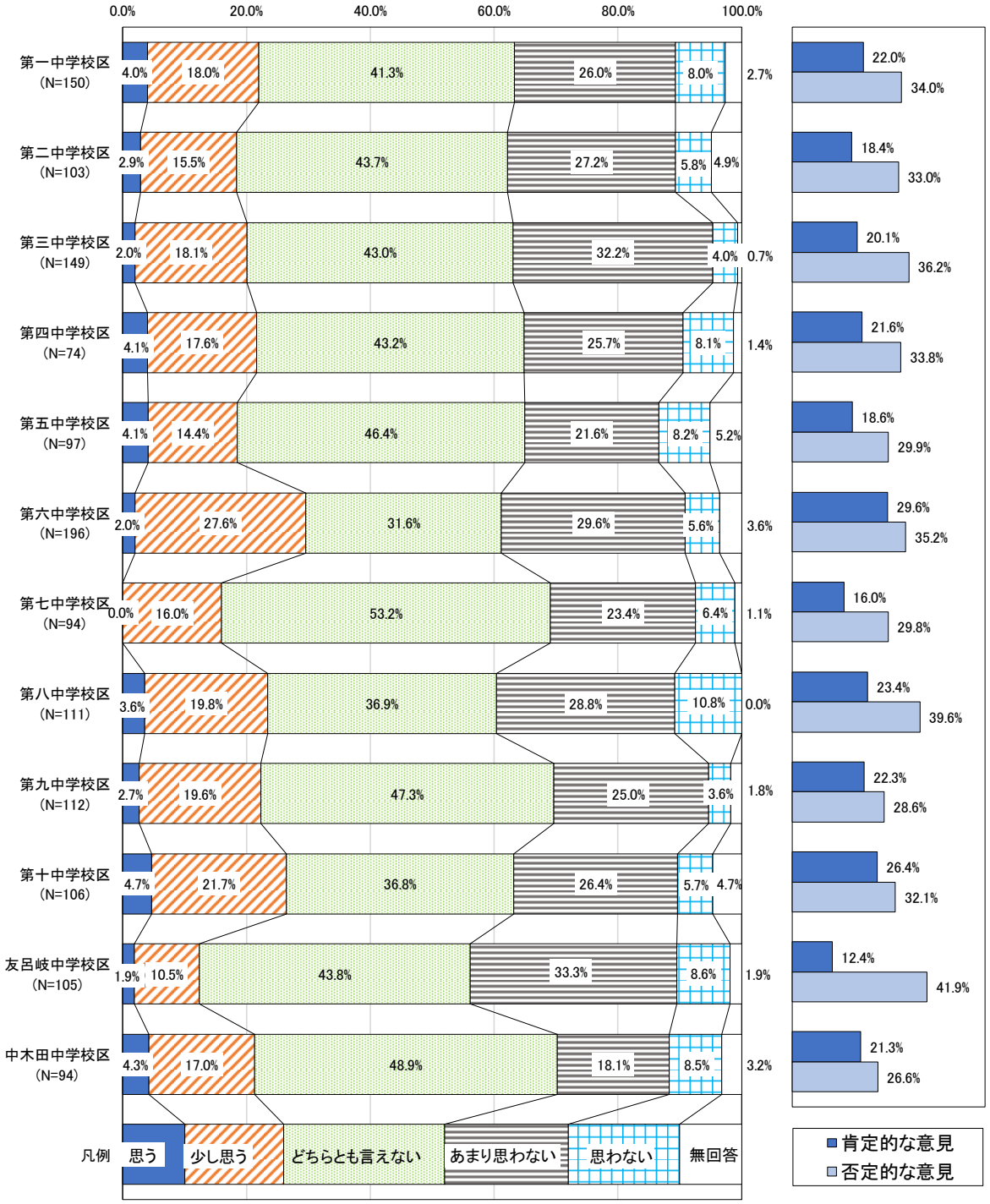
『否定的な意見』の割合は、10 歳代、50 歳代、30 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第六中学校区で、次いで第十、第八中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、友呂岐、第八、第三中学校区の順で高くなっている。

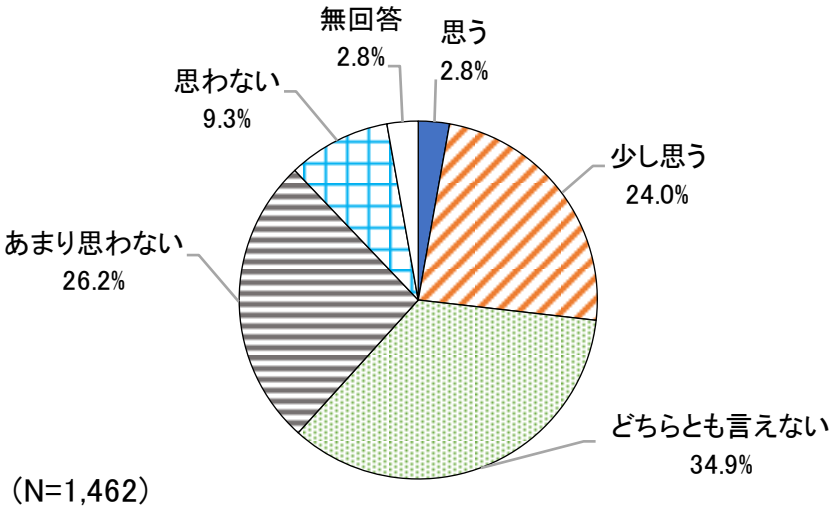


問 50　寝屋川市は、快適な生活環境や美しいまちなみが確保されていると思いますか。

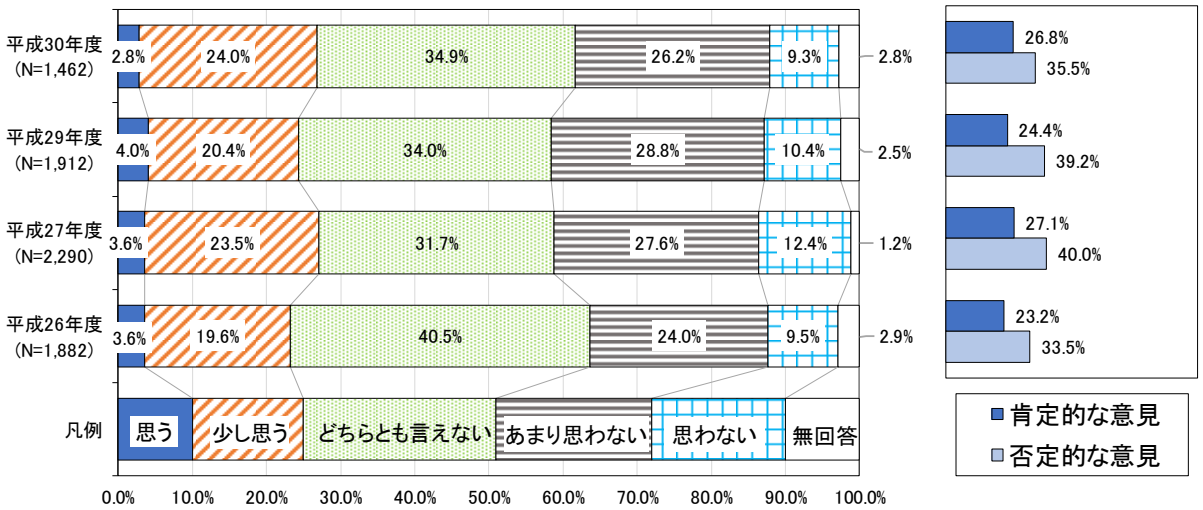
①　全体

「どちらとも言えない」が 34.9%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 26.2%、「少し思う」が 24.0%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 26.8%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 35.5%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



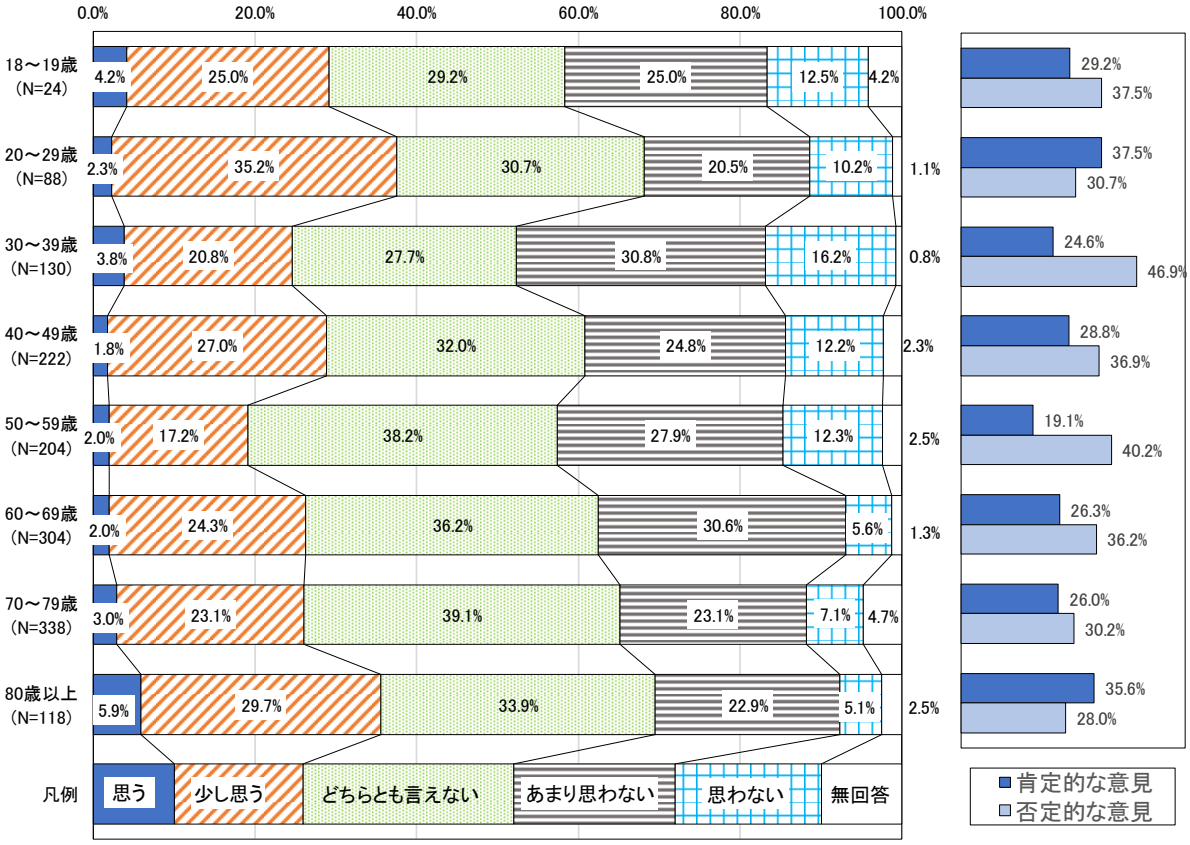
②　年度別



③　年代別

20 歳代、80 歳以上を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 20 歳代で、次いで 80 歳以上、10 歳代の順となっている。

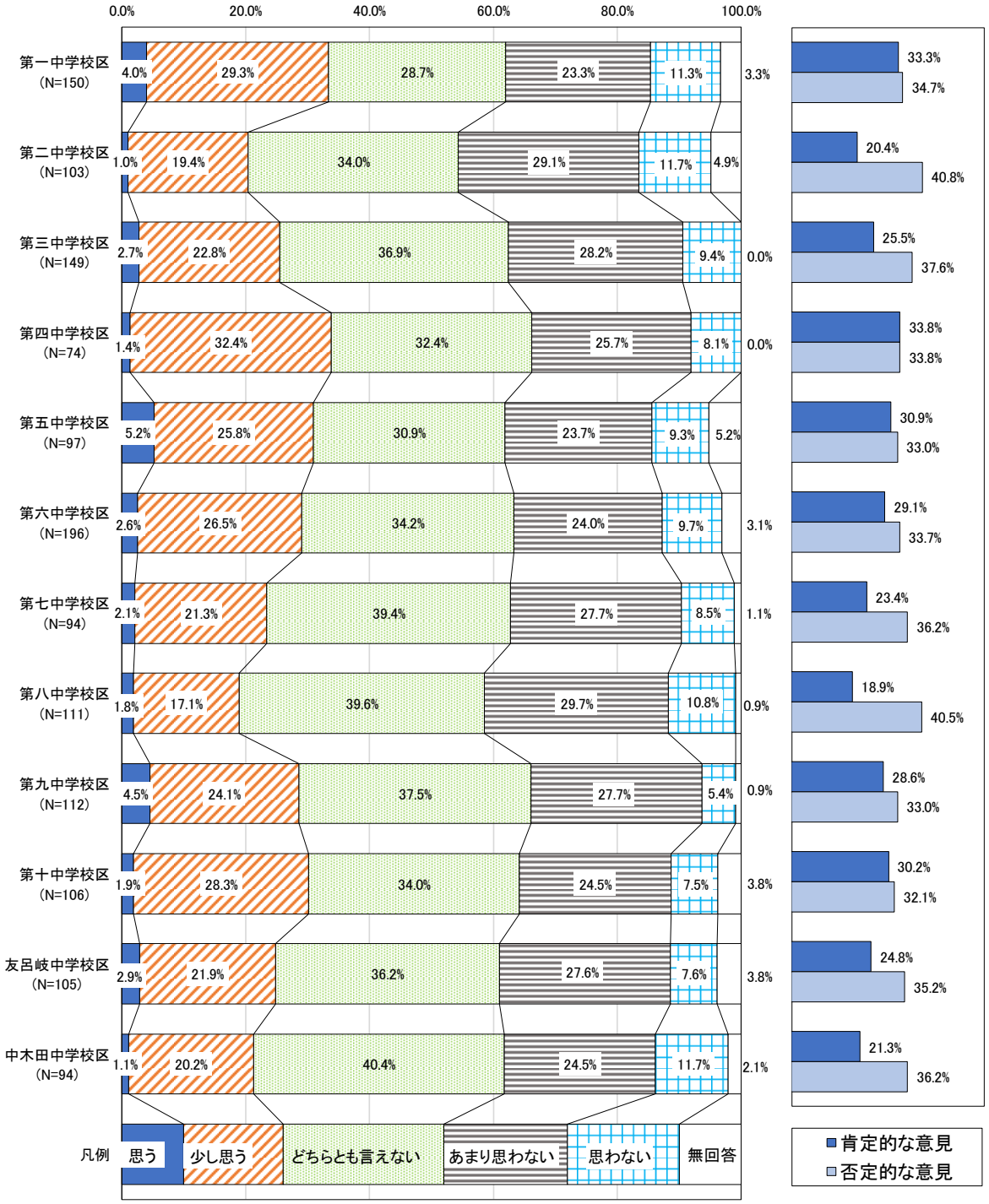
『否定的な意見』の割合は、30 歳代、50 歳代、10 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

第四中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第四中学校区で、次いで第一、第五中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第二、第八、第三中学校区の順で高くなっている。

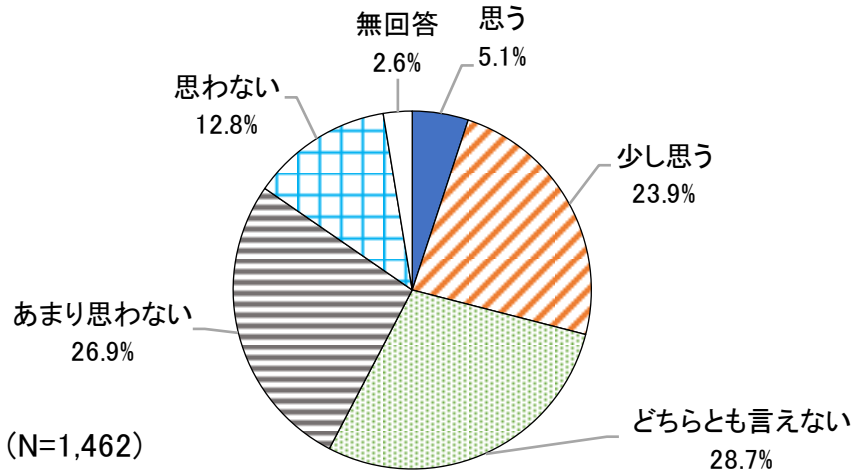


問 51　寝屋川市は、駅周辺が魅力ある空間であると思いますか。

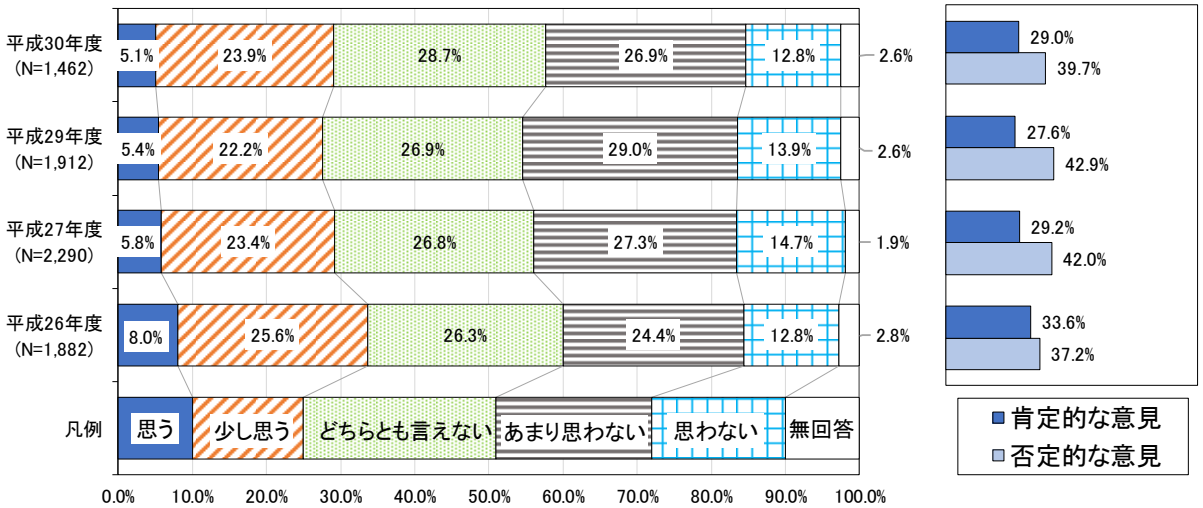
①　全体

「どちらとも言えない」が 28.7%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 26.9%、「少し思う」が 23.9%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 29.0%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 39.7%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



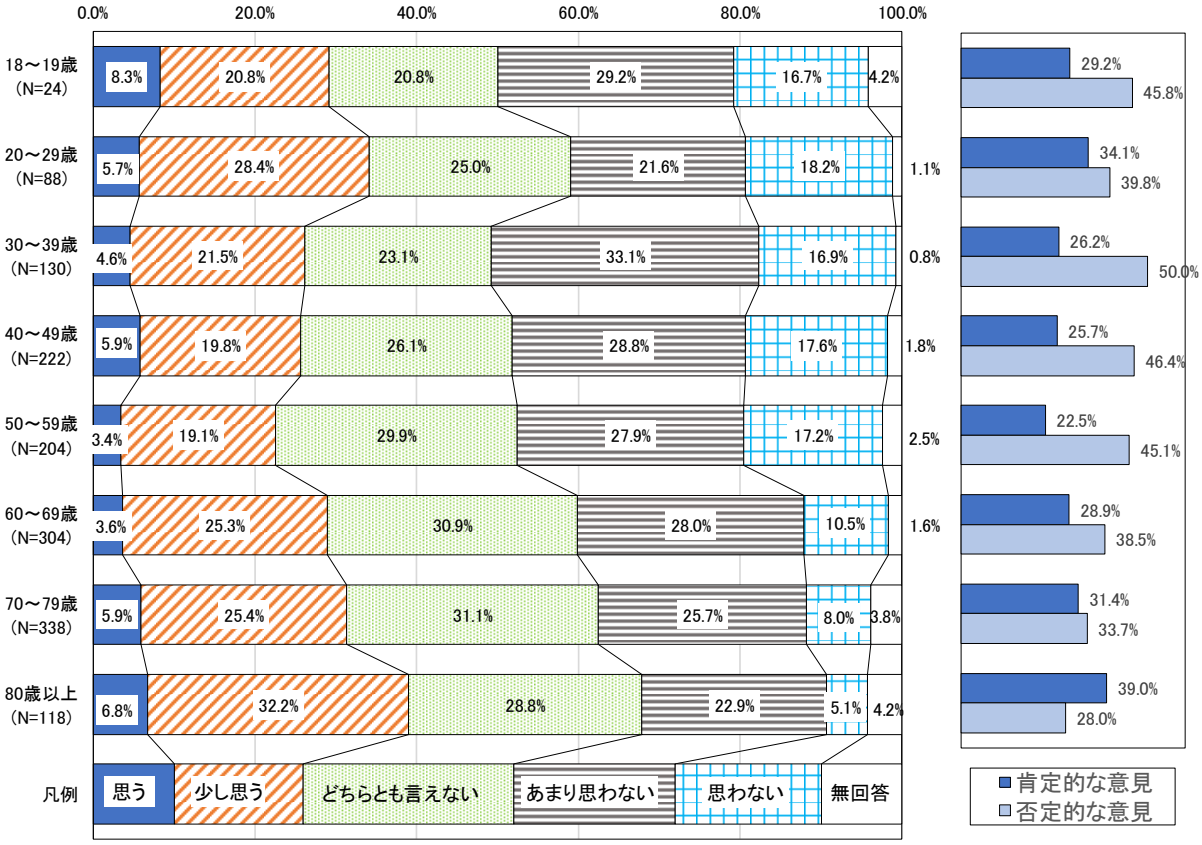
②　年度別



③　年代別

80 歳以上を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 20 歳代、70 歳代の順となっている。

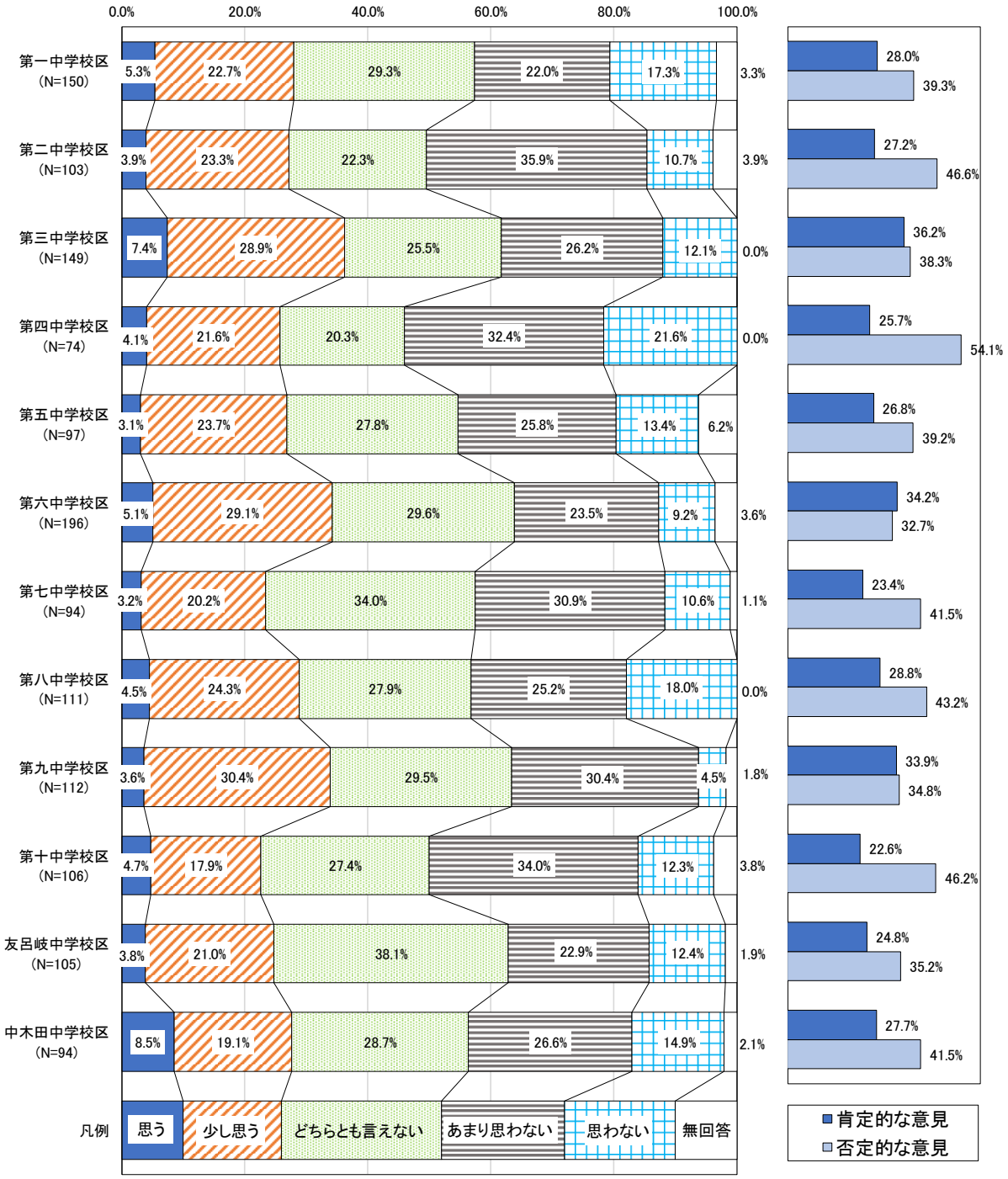
『否定的な意見』の割合は、30 歳代、40 歳代、10 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

第六中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第三中学校区で、次いで第六、第九中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第四、第二、第十中学校区の順で高くなっている。

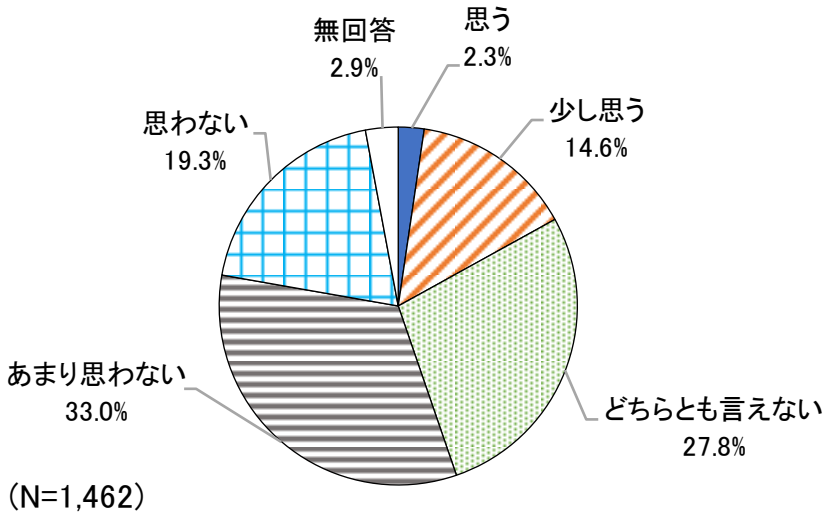


問 52　寝屋川市では、歩行者にやさしい道路整備が進んでいると思いますか。

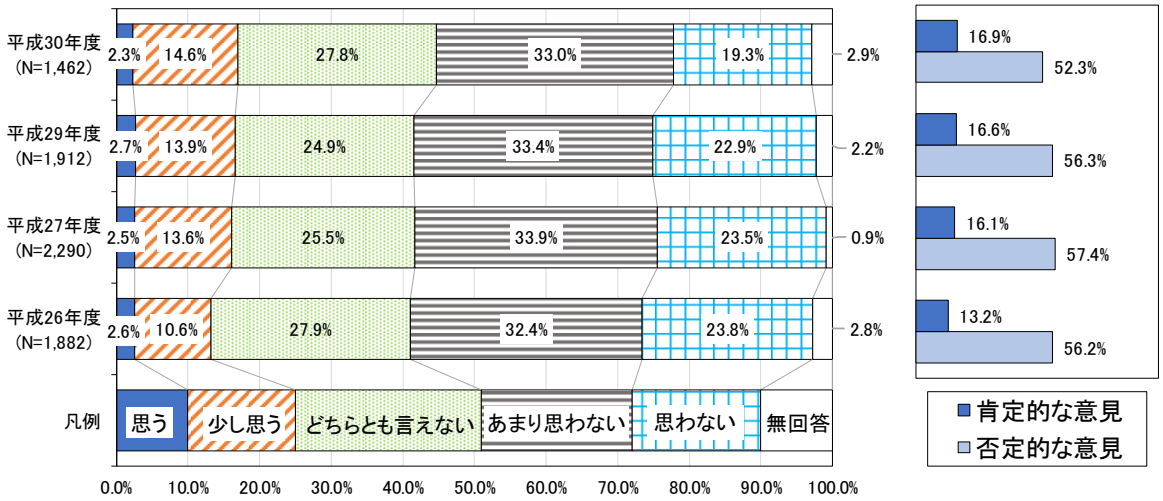
①　全体

「あまり思わない」が 33.0％と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 27.8％、「思わない」が 19.3％の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 16.9％、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 52.3％となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



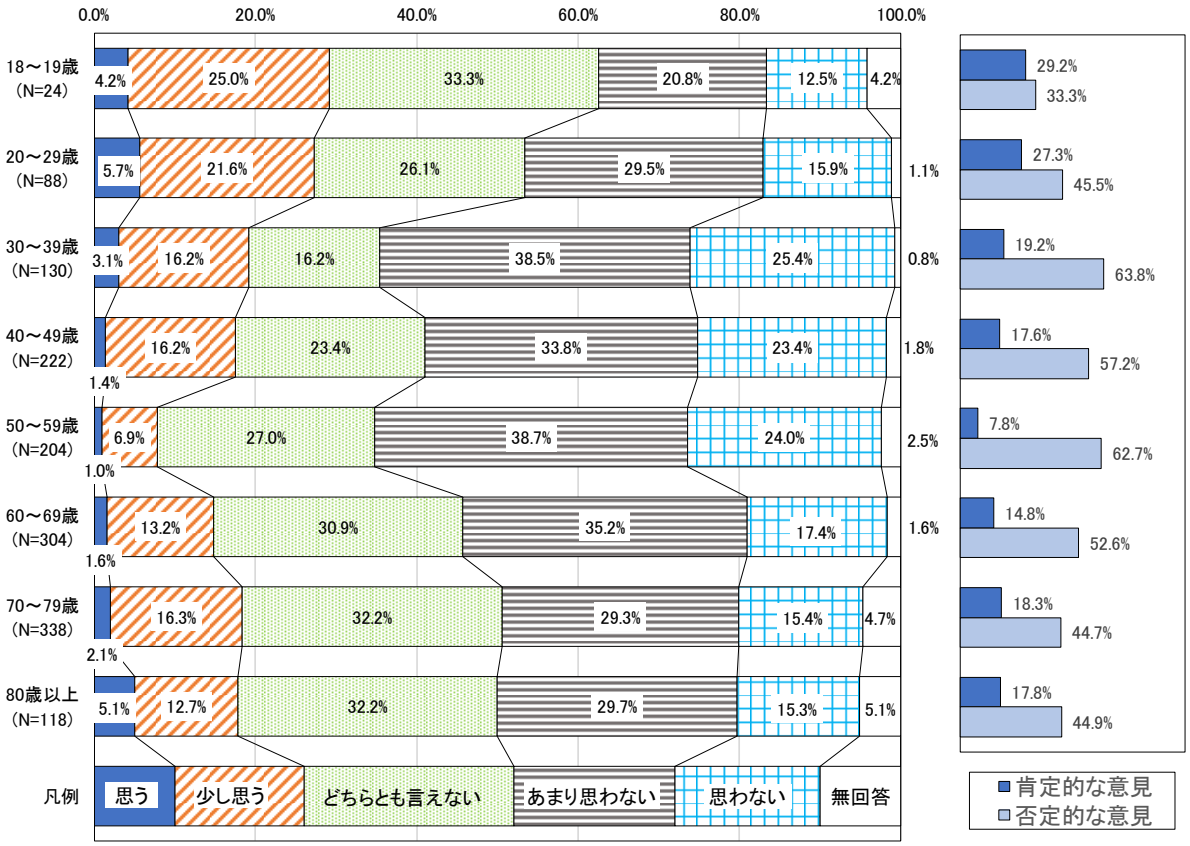
②　年度別



③　年代別

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 10 歳代で、次いで 20 歳代、30 歳代の順となっている。

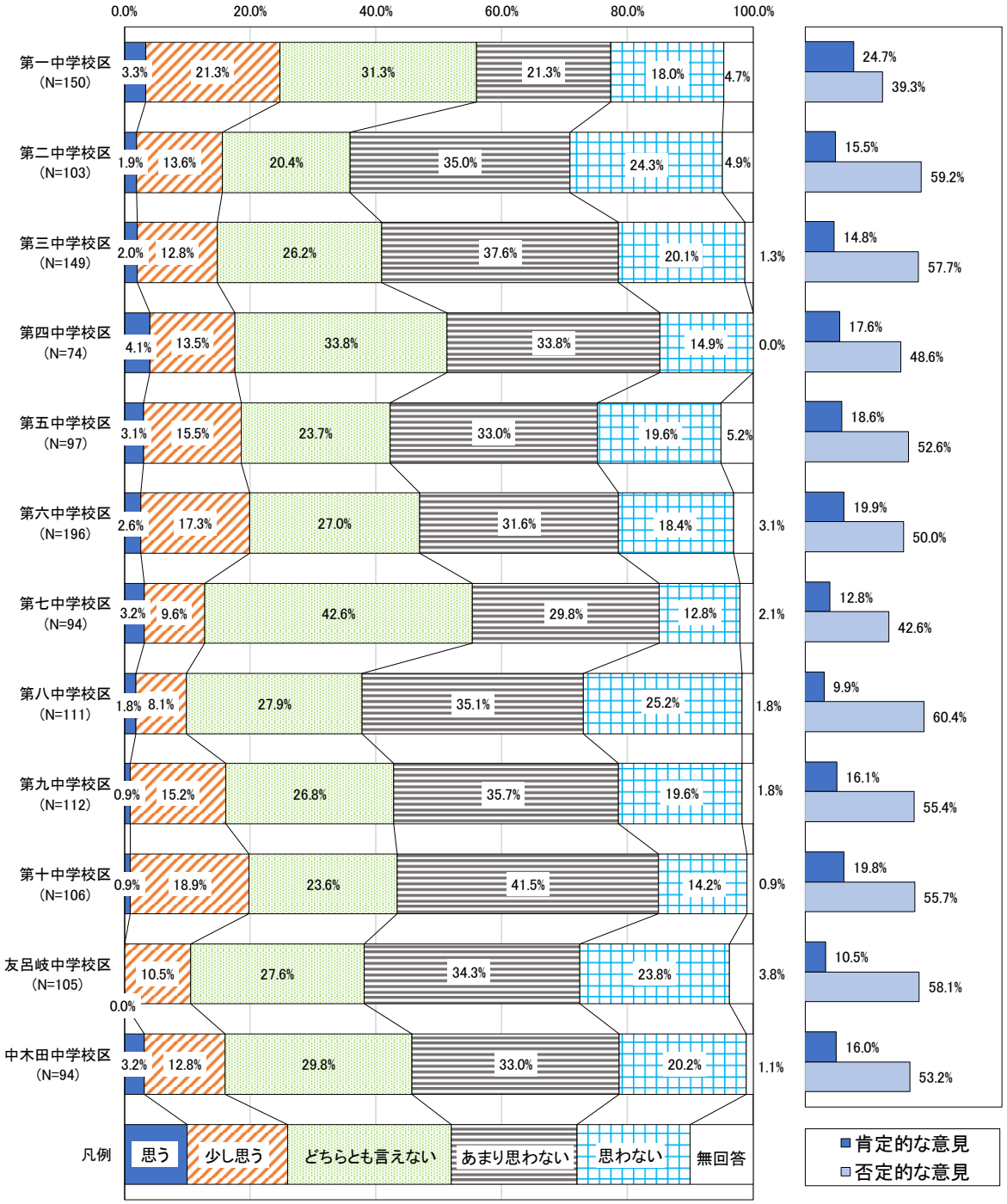
『否定的な意見』の割合は、30 歳代、50 歳代、40 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第一中学校区で、次いで第六、第十中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第八、第二、友呂岐中学校区の順で高くなっている。

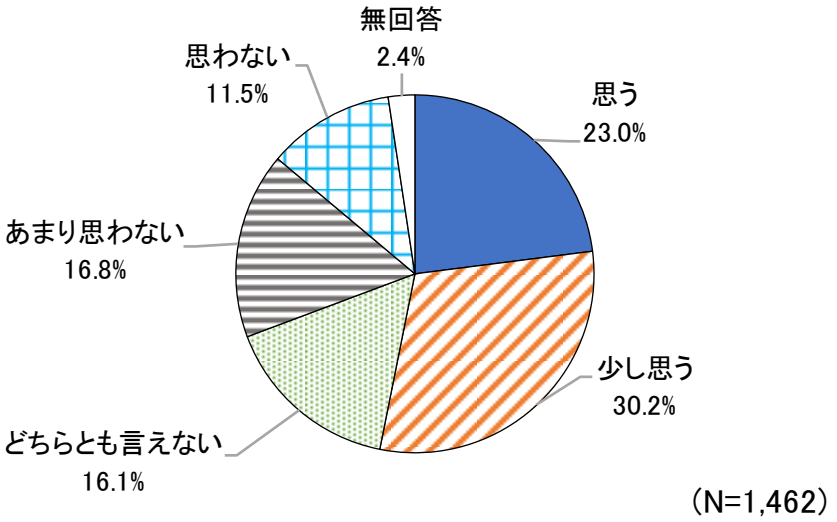


問 53　あなたの身近に公園・緑地があると思いますか。

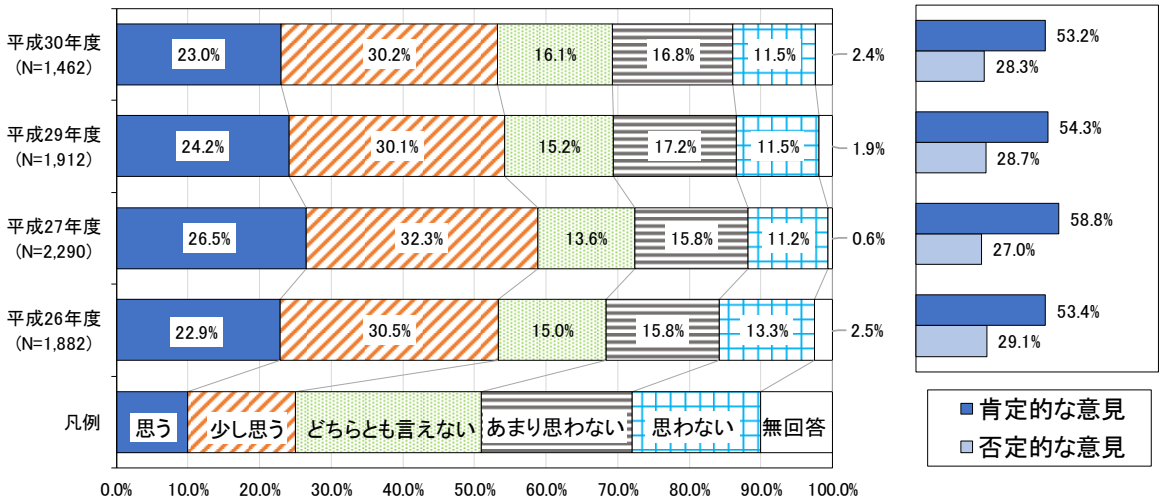
①　全体

「少し思う」が 30.2%と最も高く、次いで「思う」が 23.0%、「あまり思わない」が 16.8%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 53.2%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 28.3%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



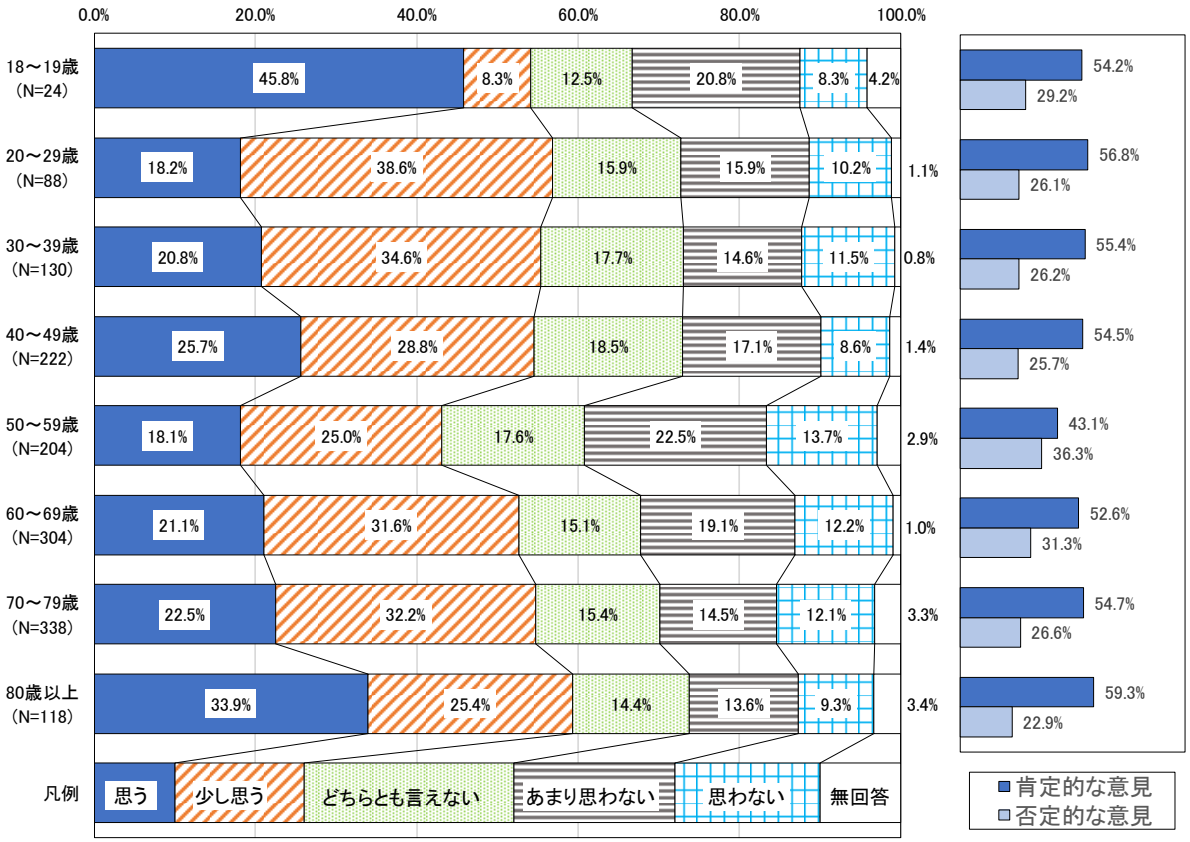
②　年度別



③　年代別

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 20 歳代、30 歳代の順となっている。

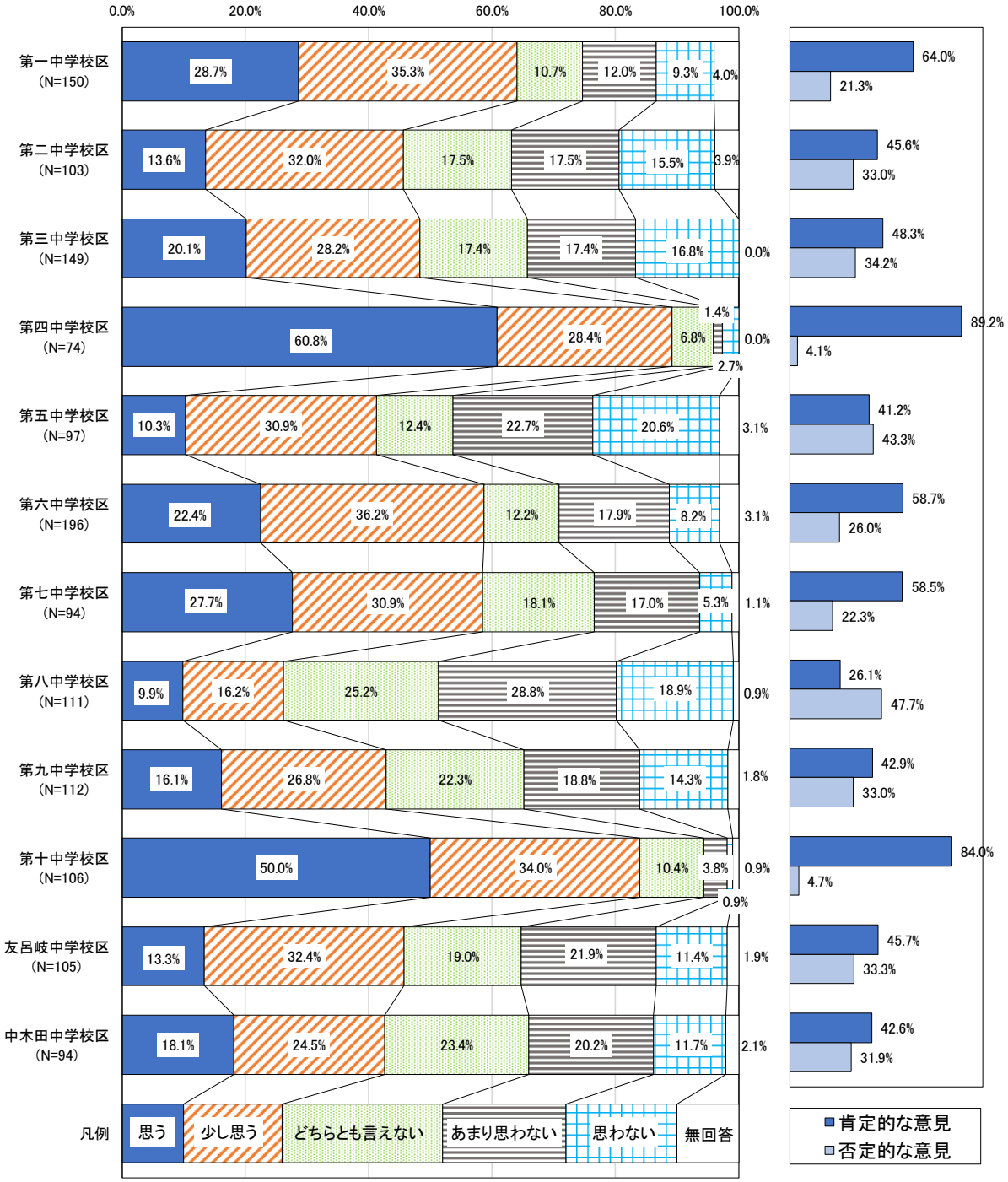
『否定的な意見』の割合は、50 歳代、60 歳代、10 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

第五、第八中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第四中学校区で、次いで第十、第一中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第八、第五、第三中学校区の順で高くなっている。

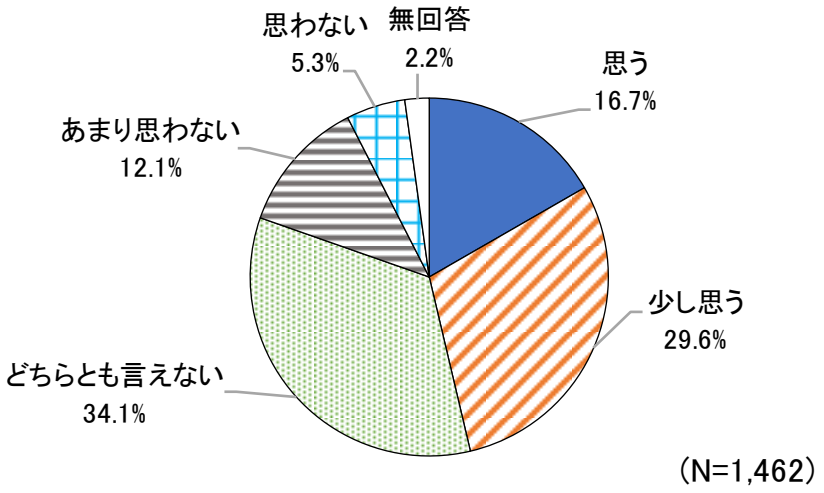


問 54　寝屋川市の水道水は、安全でおいしいと思いますか。

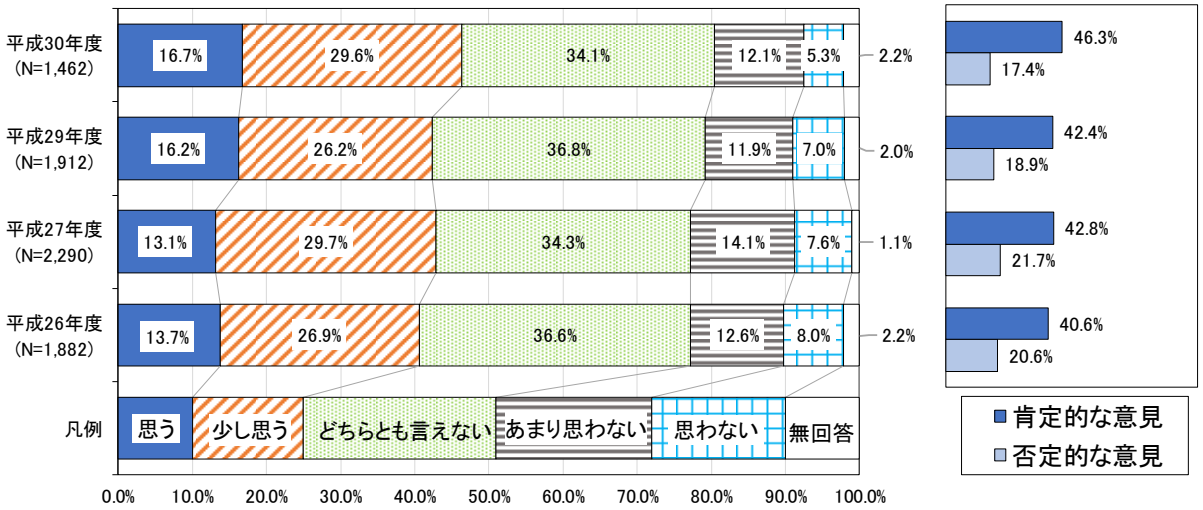
①　全体

「どちらとも言えない」が 34.1%と最も高く、次いで「少し思う」が 29.6%、「思う」が 16.7%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 46.3%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 17.4%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



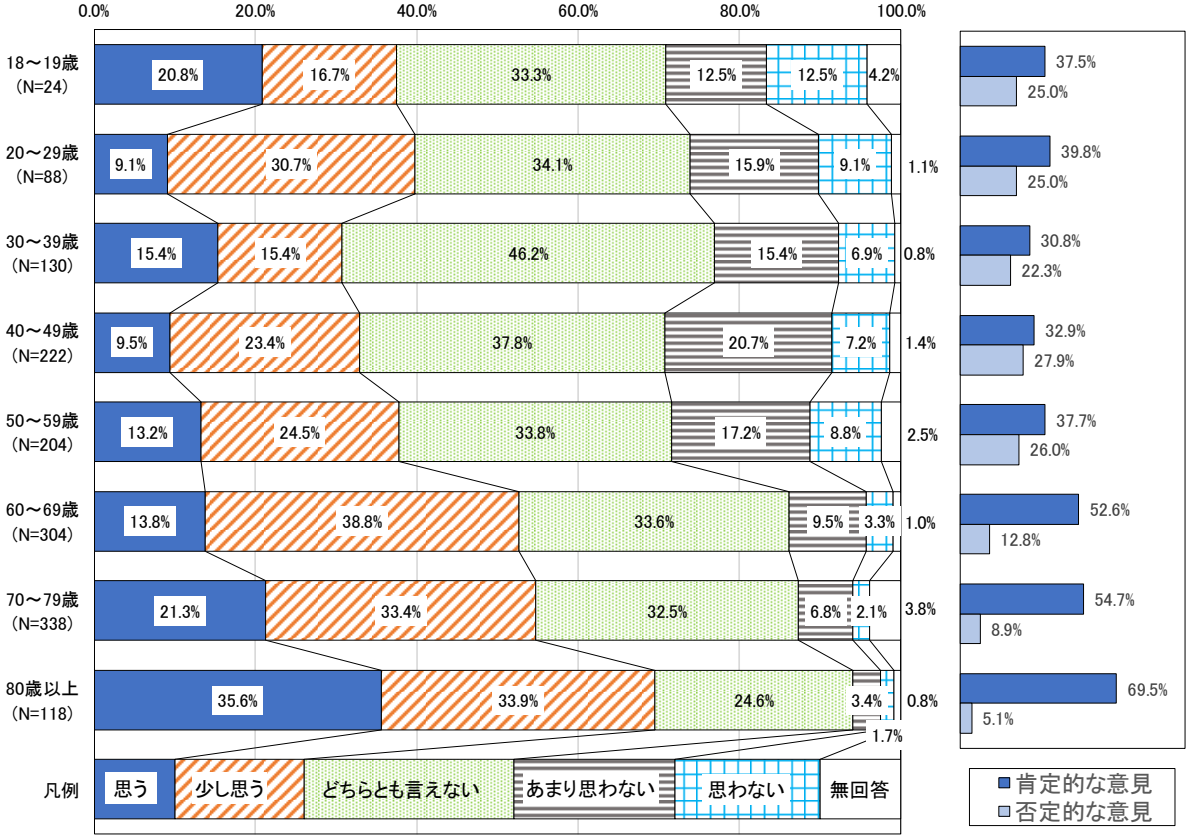
②　年度別



③　年代別

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 70 歳代、60 歳代の順となっている。

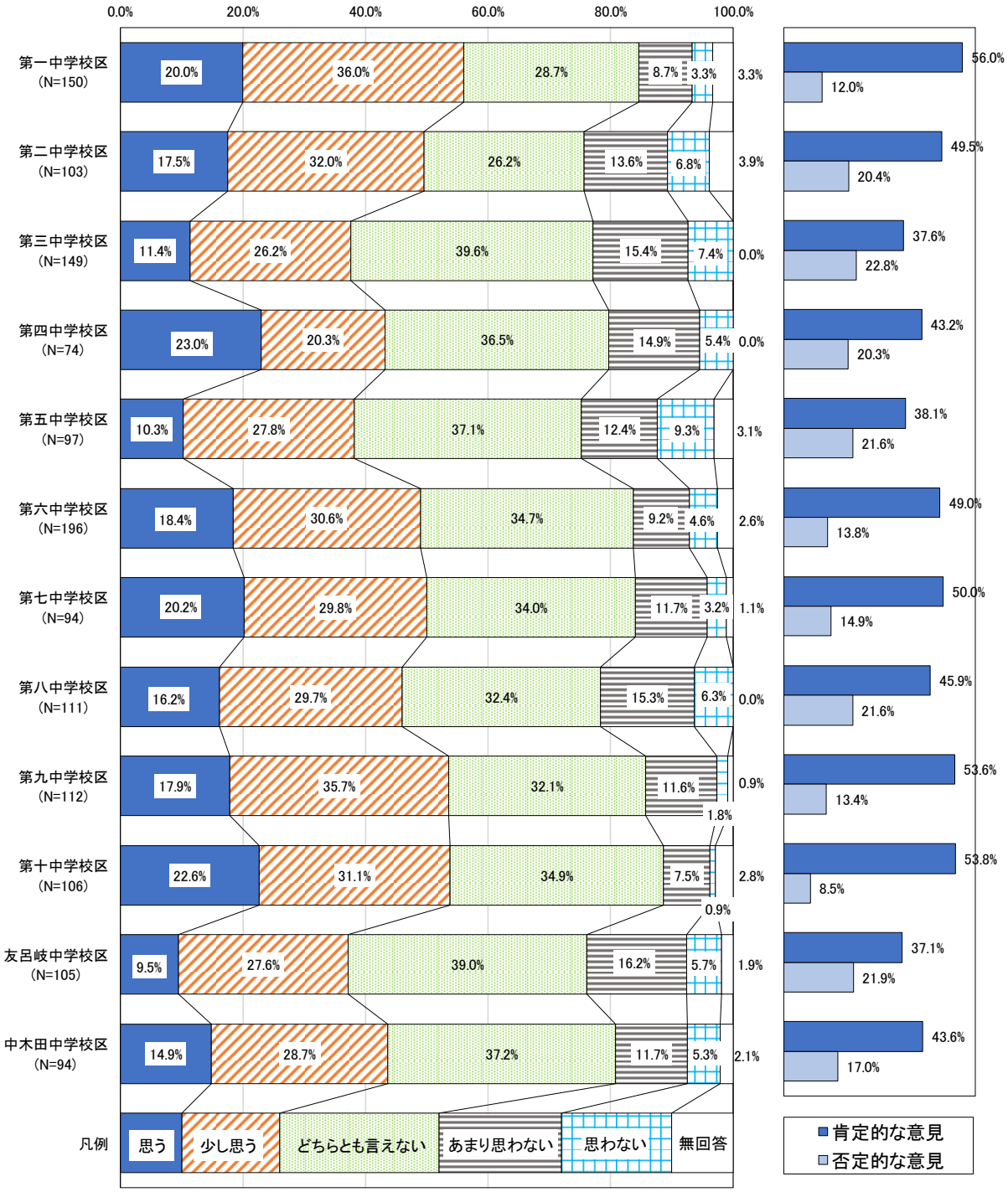
『否定的な意見』の割合は、40 歳代、50 歳代、10 歳代と 20 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第一中学校区で、次いで第十、第九中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第三、友呂岐、第五中学校区の順で高くなっている。

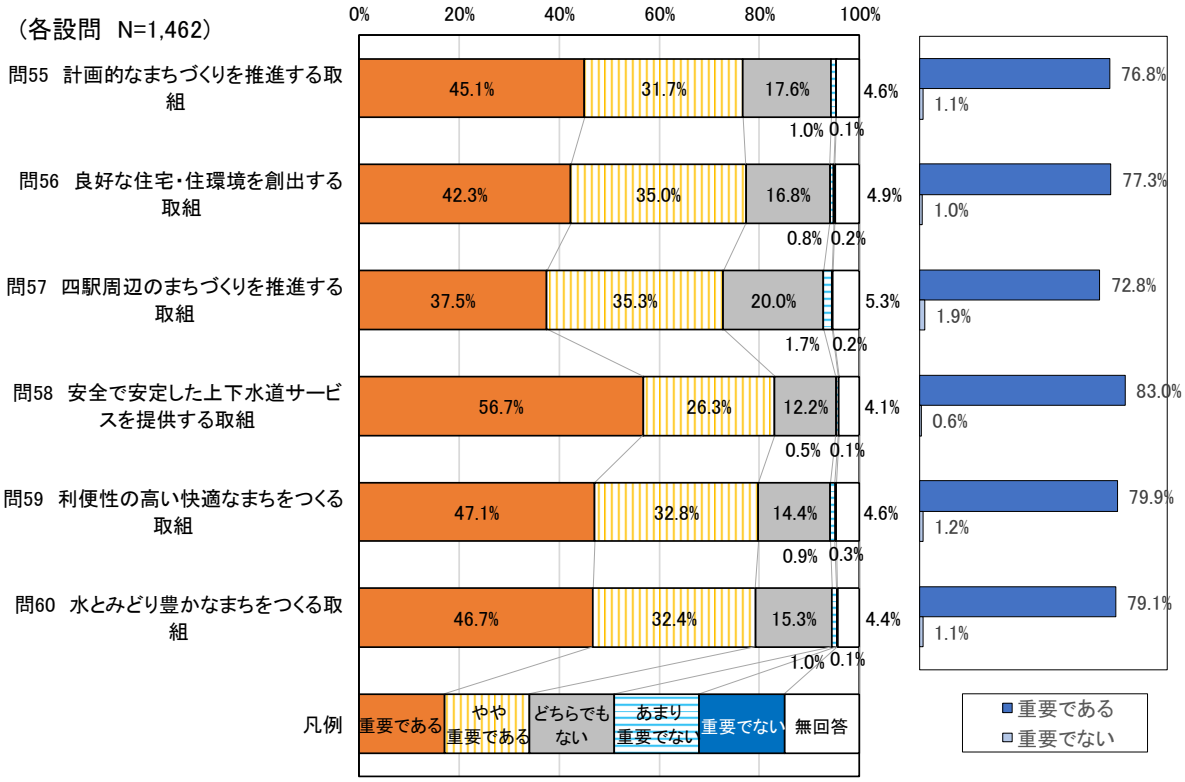


（２）　「都市整備・都市環境」の施策についての重要度と満足度

問 55～問 60　現在、寝屋川市が取り組んでいる「都市整備・都市環境」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

①　　重要度

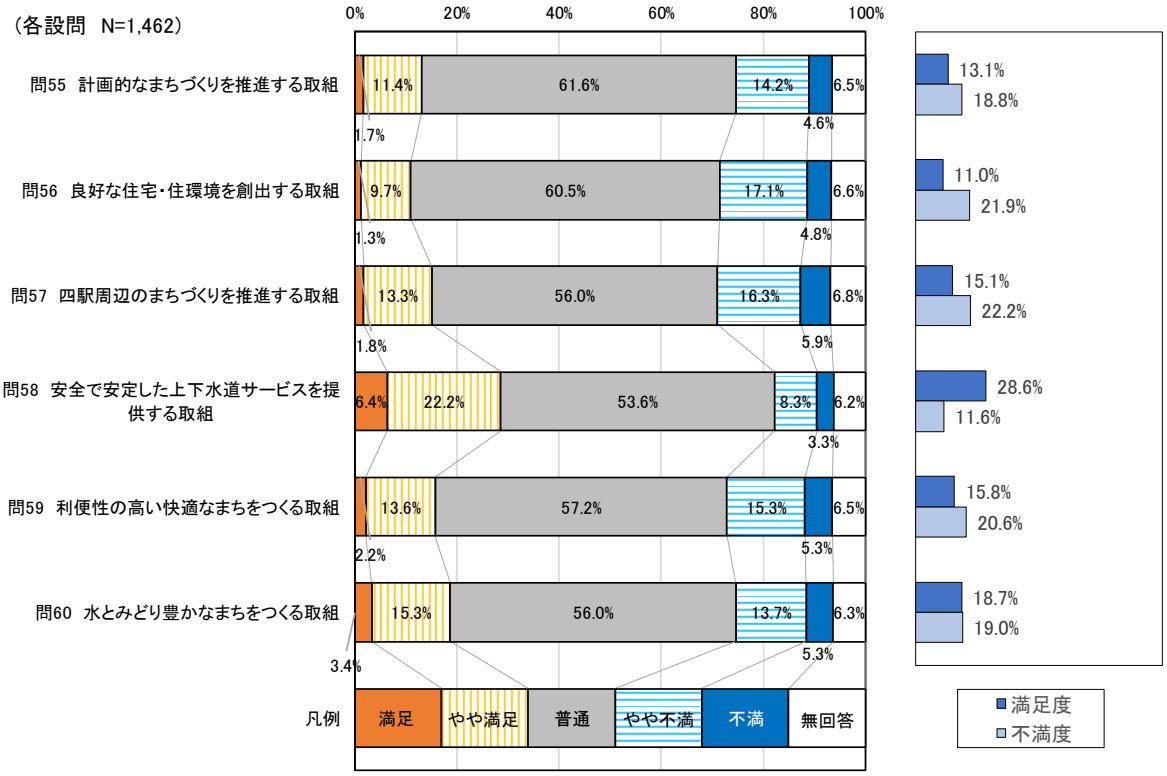
『都市整備・都市環境』の施策において、重要度が最も高いのは「安全で安定した上下水道サービスを提供する取組」で、次いで「利便性の高い快適なまちをつくる取組」、「水とみどり豊かなまちをつくる取組」が続いている。



②　満足度

『都市整備・都市環境』の施策において、満足度が最も高いのは「安全で安定した上下水道サービスを提供する取組」で、次いで「水とみどり豊かなまちをつくる取組」、「利便性の高い快適なまちをつくる取組」が続いている。

不満度が最も高いのは、「四駅周辺のまちづくりを推進する取組」である。



６．『環境を守り育てるまちづくり』について

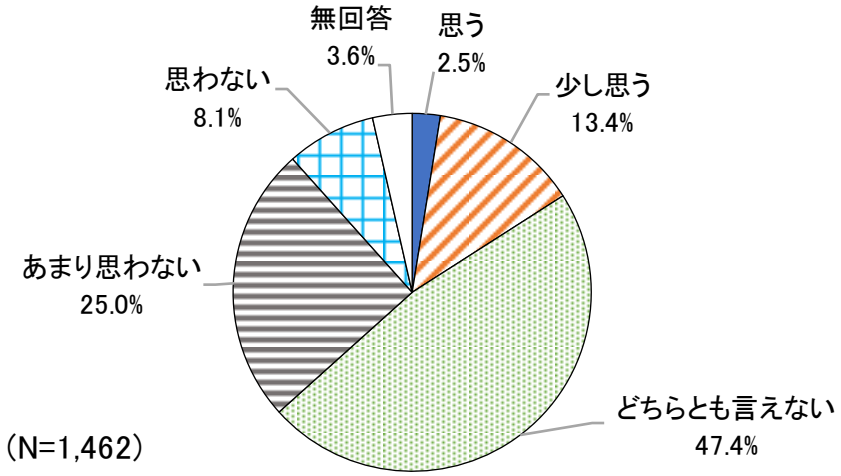
（１）　「環境」について

問 61　寝屋川市は、地球温暖化防止に向けた取組の啓発活動など、温暖化対策が適切に行われていると思いますか。

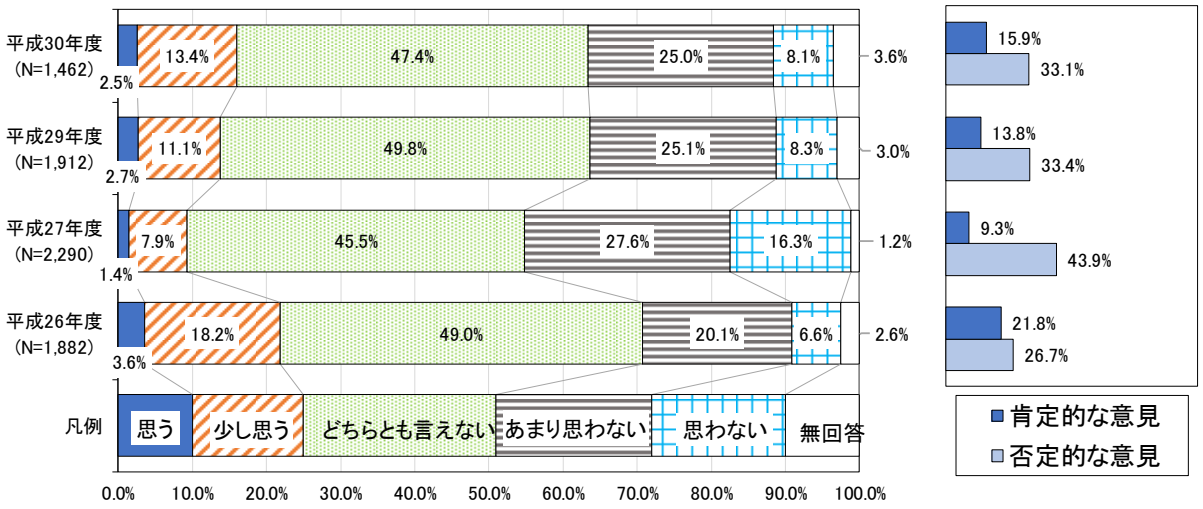
①　　全体

「どちらとも言えない」が 47.4%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 25.0%、「少し思う」が 13.4%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 15.9%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 33.1%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



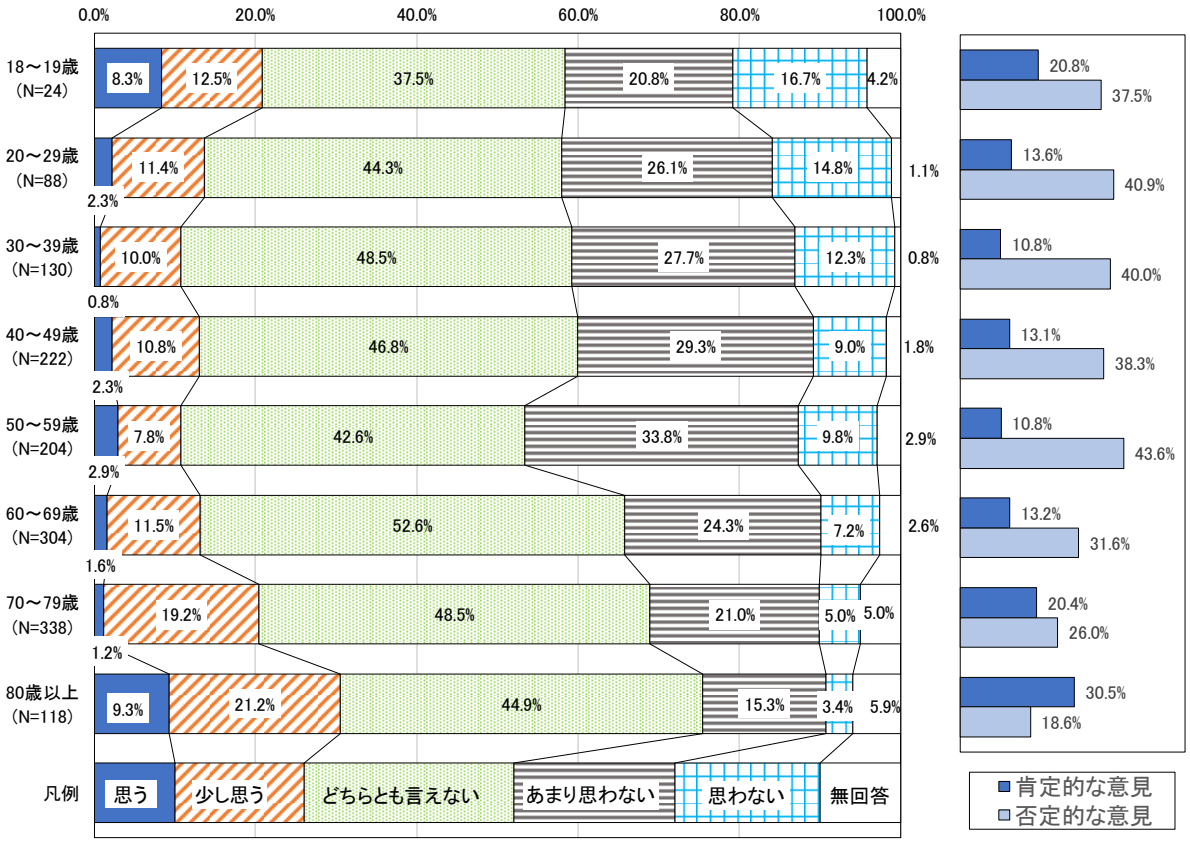
②　　年度別



③　年代別

80 歳以上を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 10 歳代、70 歳代の順となっている。

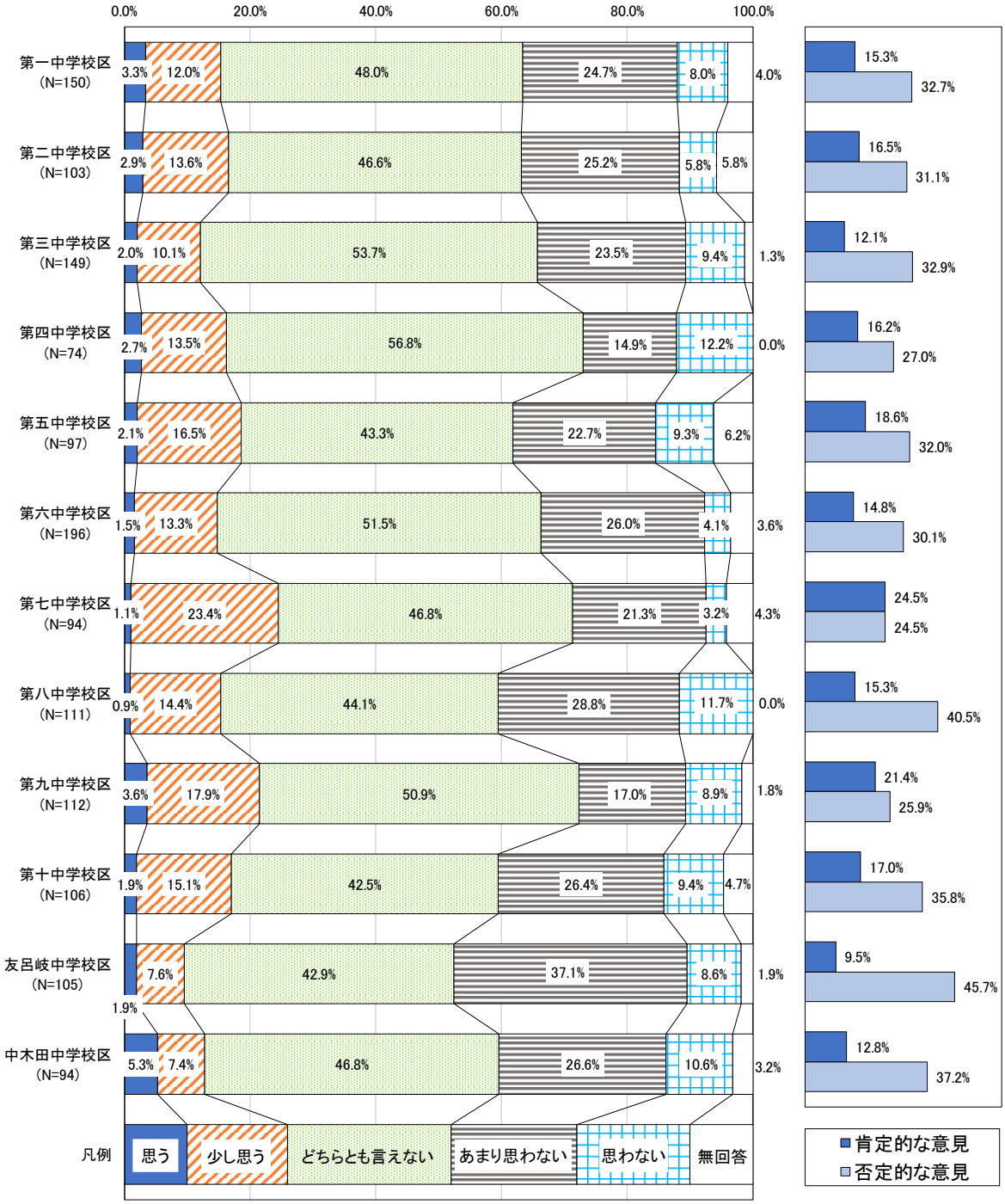
『否定的な意見』の割合は、50 歳代、20 歳代、30 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

第七中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで第九、第五中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、友呂岐、第八、中木田中学校区の順で高くなっている。

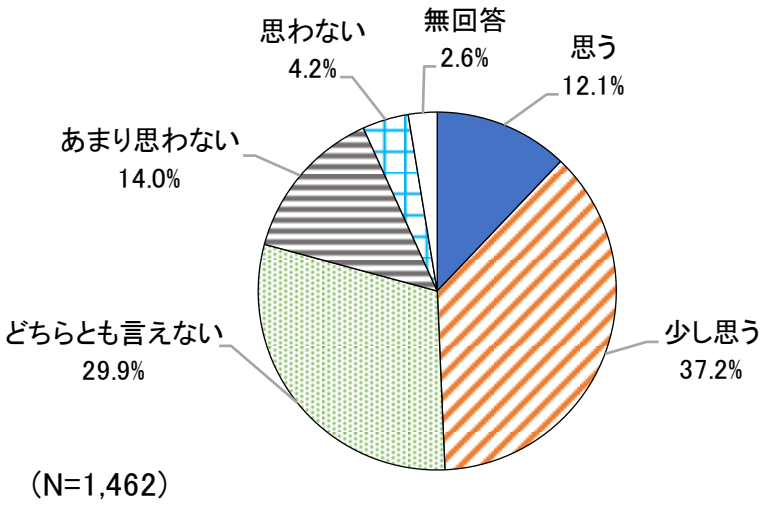


問 62　寝屋川市は、ごみの減量と資源リサイクルの取組が進んでいると思いますか。

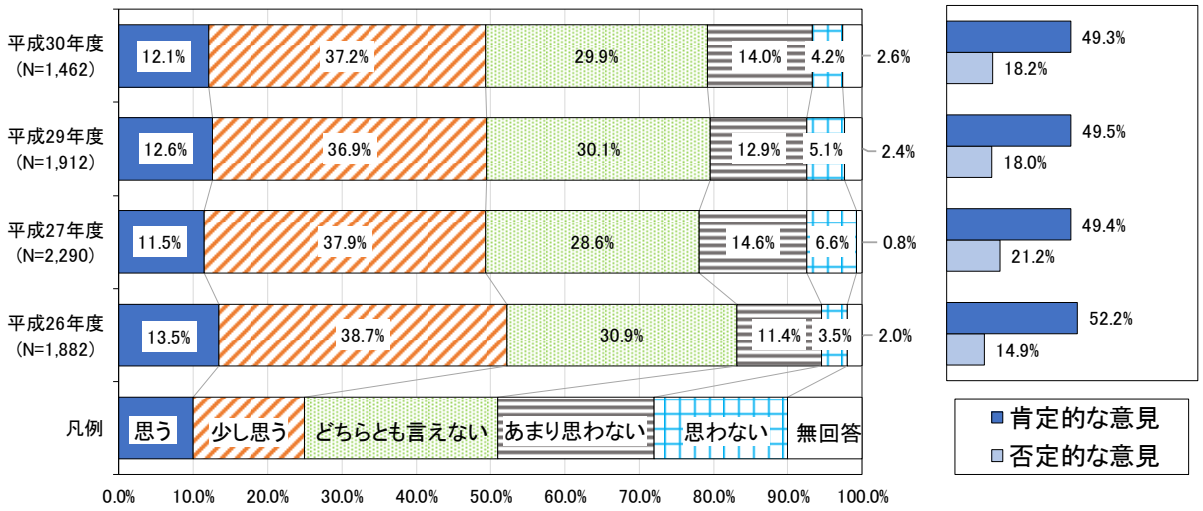
① 全体

「少し思う」が 37.2%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 29.9%、「あまり思わない」が 14.0%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 49.3%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 18.2%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



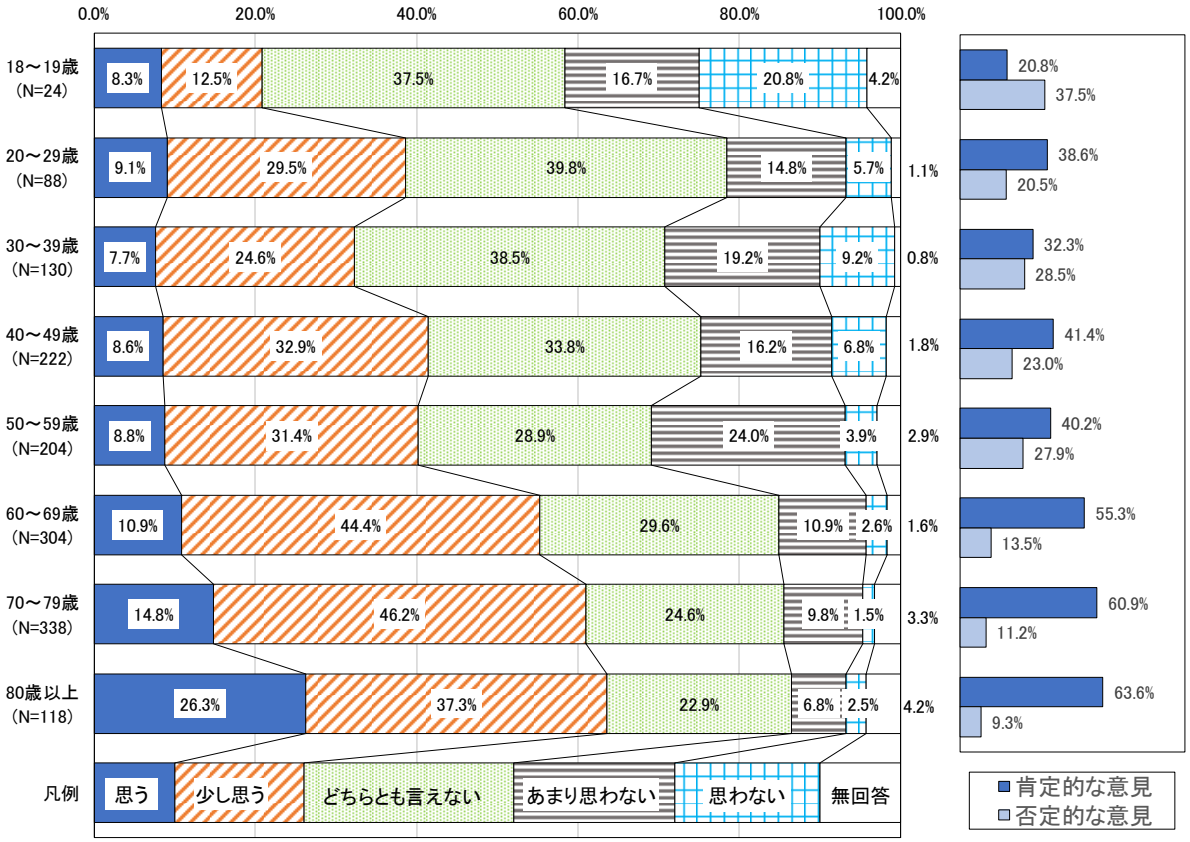
② 年度別



③　年代別

10 歳代を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 70 歳代、60 歳代の順となっている。

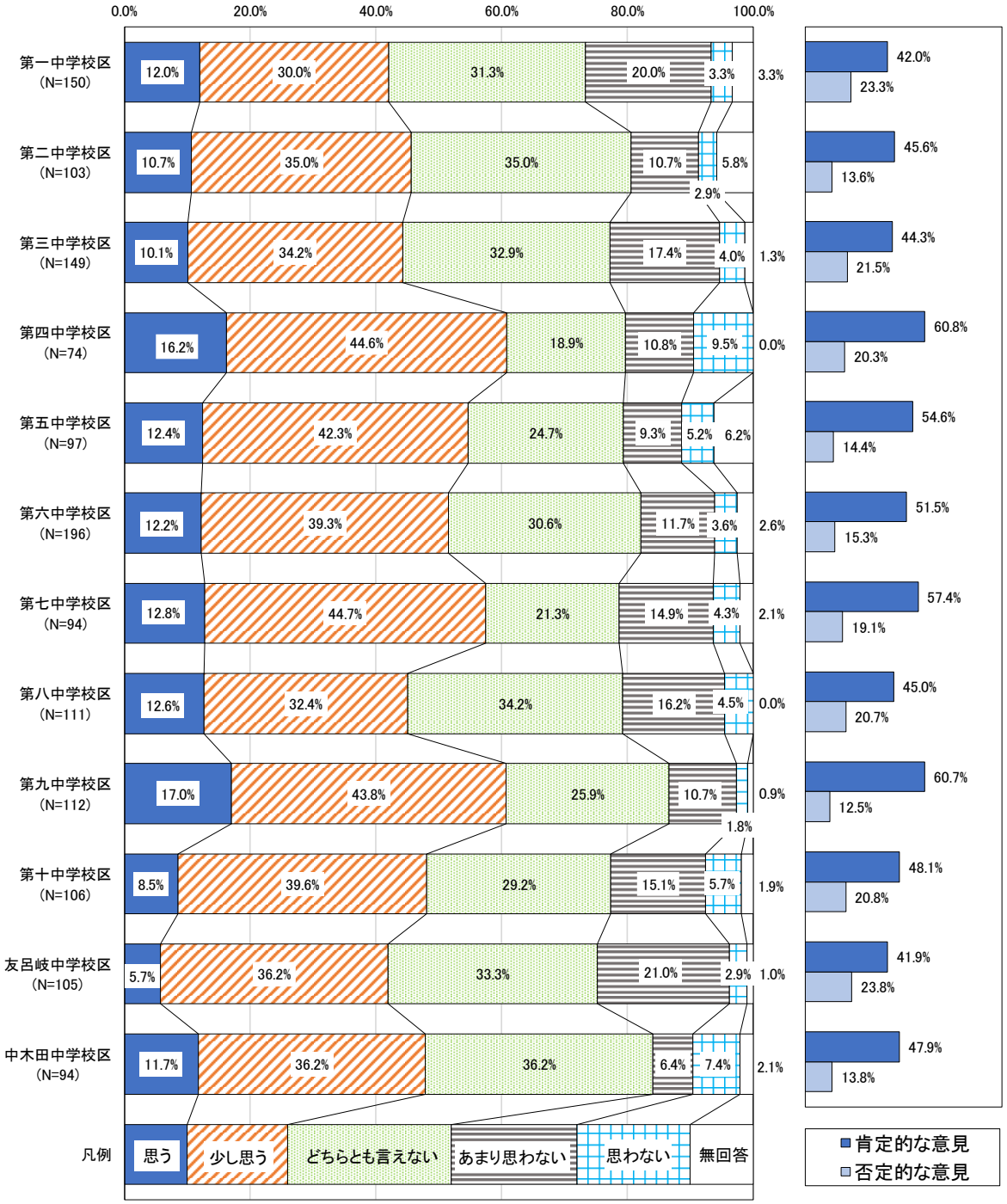
『否定的な意見』の割合は、10 歳代、30 歳代、50 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第四と第九中学校区で、次いで第七中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、友呂岐、第一、第三中学校区の順で高くなっている。

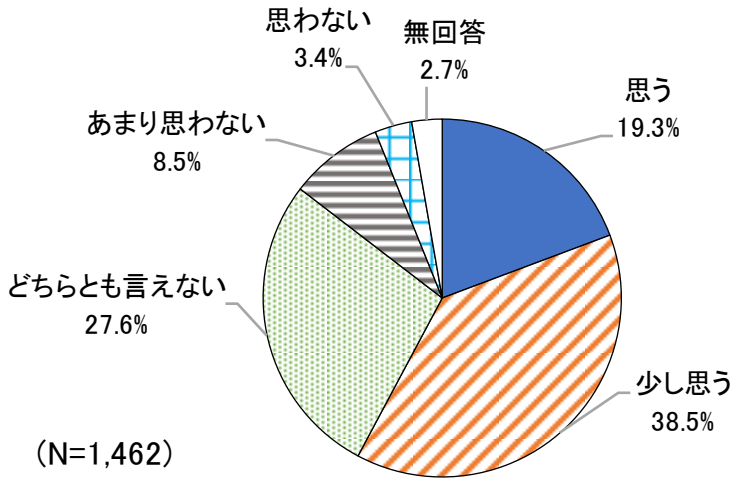


問 63　寝屋川市は、ごみ収集及び処理が効率的かつ適正に行われていると思いますか。

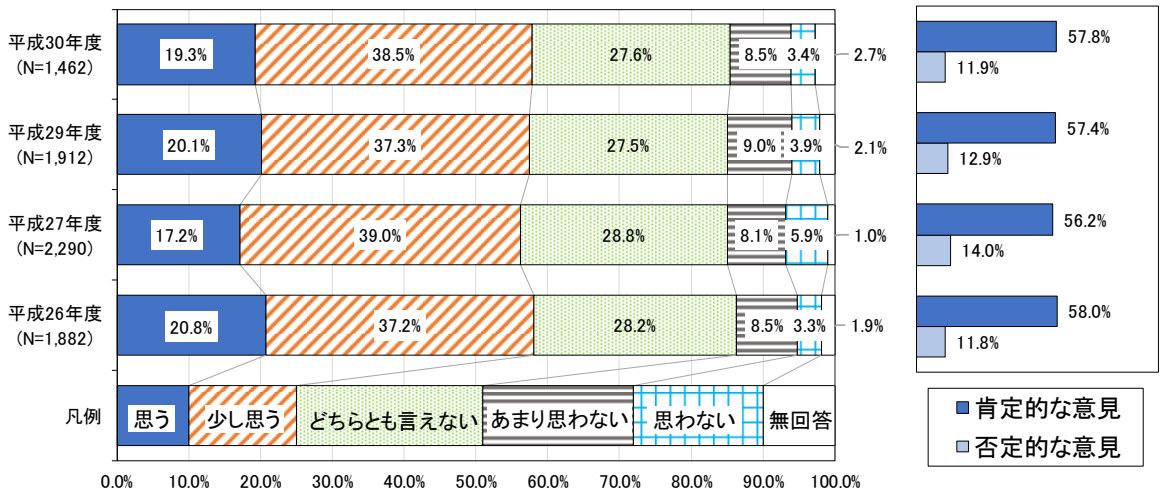
①　全体

「少し思う」が 38.5%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 27.6%、「思う」が 19.3%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 57.8%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 11.9%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



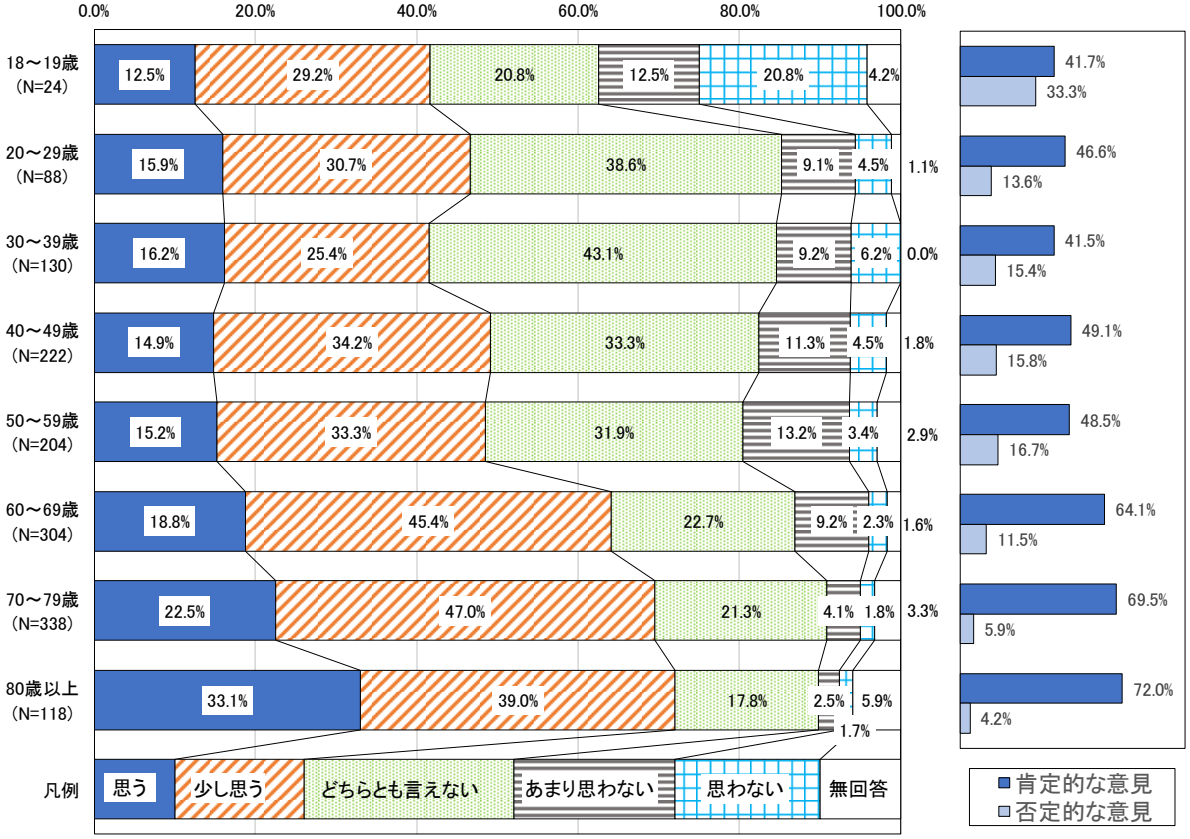
②　年度別



③　年代別

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 70 歳代、60 歳代の順となっている。

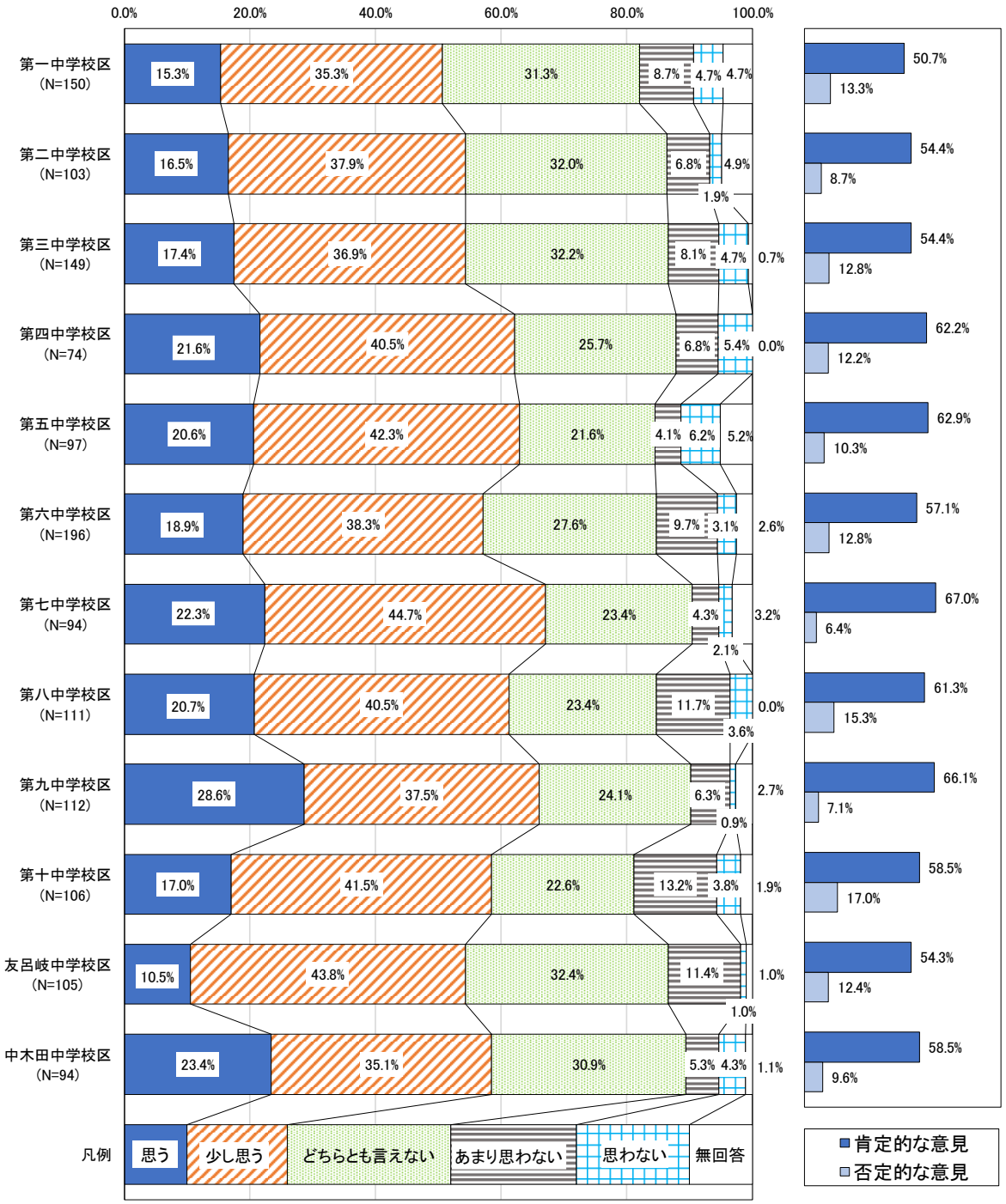
『否定的な意見』の割合は、10 歳代、50 歳代、40 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで第九、第五中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第十、第八、第一中学校区の順で高くなっている。

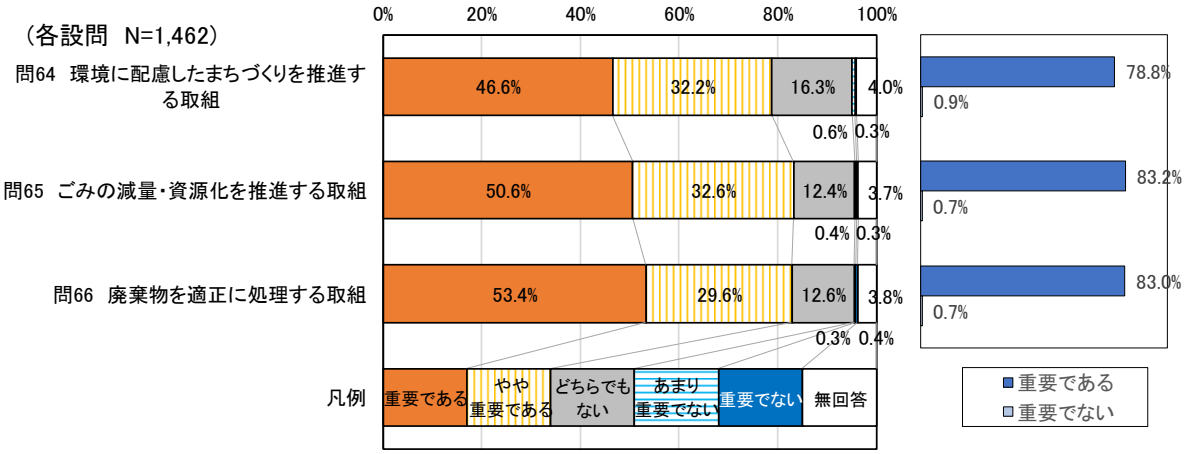


（２）　「環境」の施策についての重要度と満足度

問 64～問 66　現在、寝屋川市が取り組んでいる「環境」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

①　　重要度

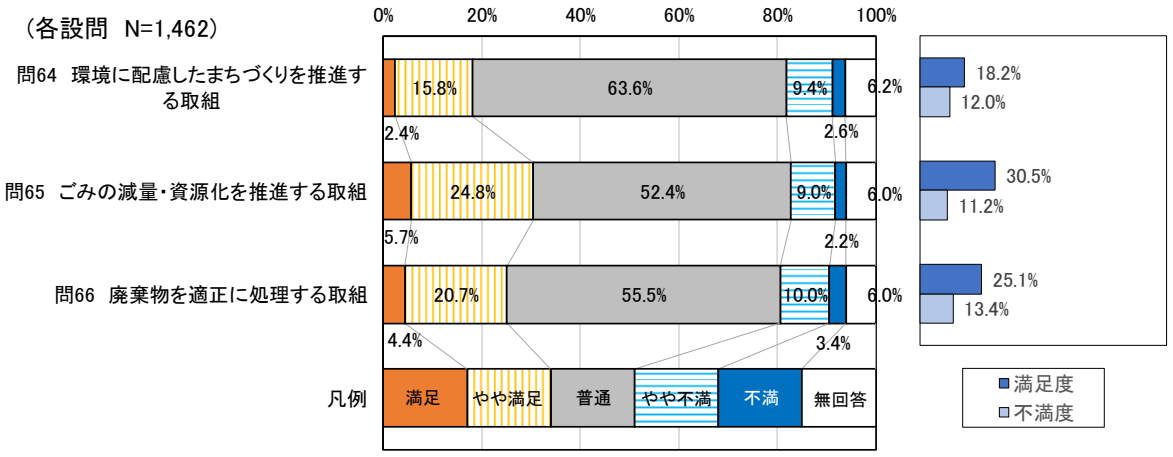
『環境』の施策において、重要度が最も高いのは「ごみの減量・資源化を推進する取組」で、次いで「廃棄物を適正に処理する取組」が続いている。



②　　満足度

『環境』の施策において、満足度が最も高いのは「ごみの減量・資源化を推進する取組」で、次いで「廃棄物を適正に処理する取組」が続いている。

不満度が最も高いのは、「廃棄物を適正に処理する取組」である。



7．『活力あふれるにぎわいのまちづくり』について

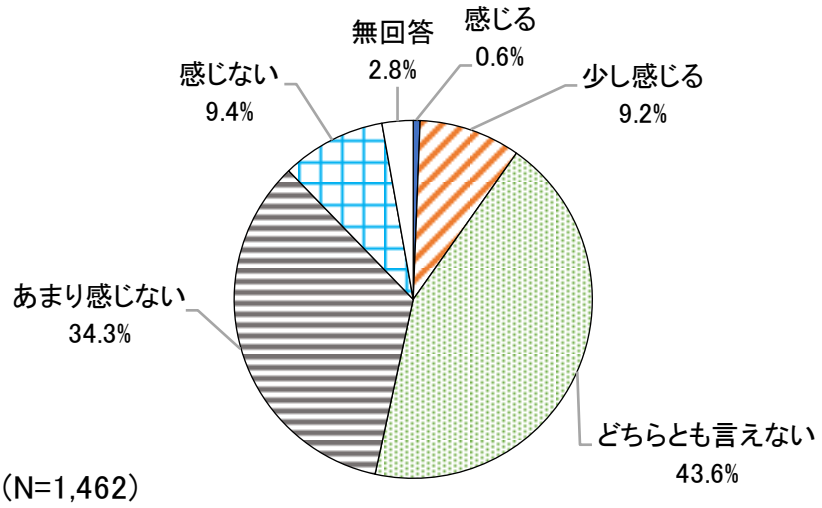
（１）　「産業」について

問 67　寝屋川市の商・工・農は、近隣市と比べて活気があると感じますか。

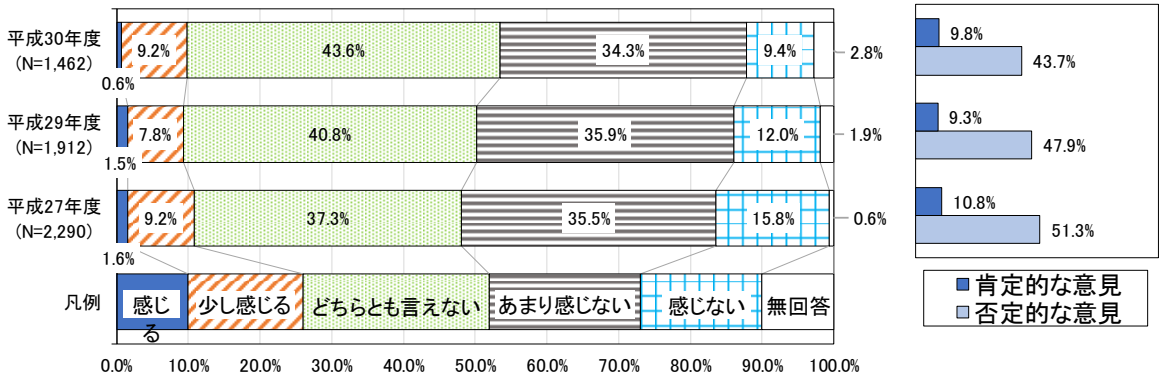
①　　全体

「どちらとも言えない」が 43.6％と最も高く、次いで「あまり感じない」が 34.3％、「感じない」が 9.4％の順となっている。

「感じる」と「少し感じる」を合わせた『肯定的な意見』は 9.8％、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた『否定的な意見』は 43.8％となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



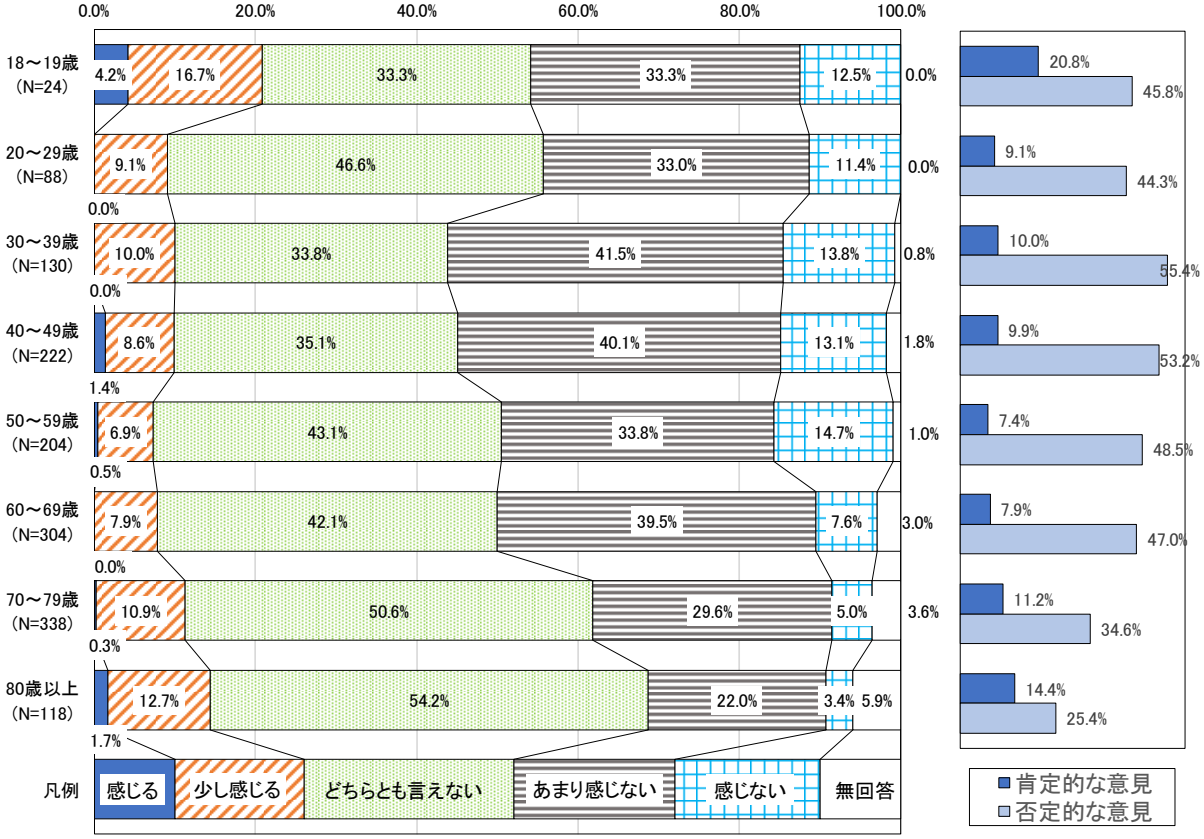
②　　年度別



③　年代別

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 10 歳代で、次いで 80 歳以上、70 歳代の順となっている。

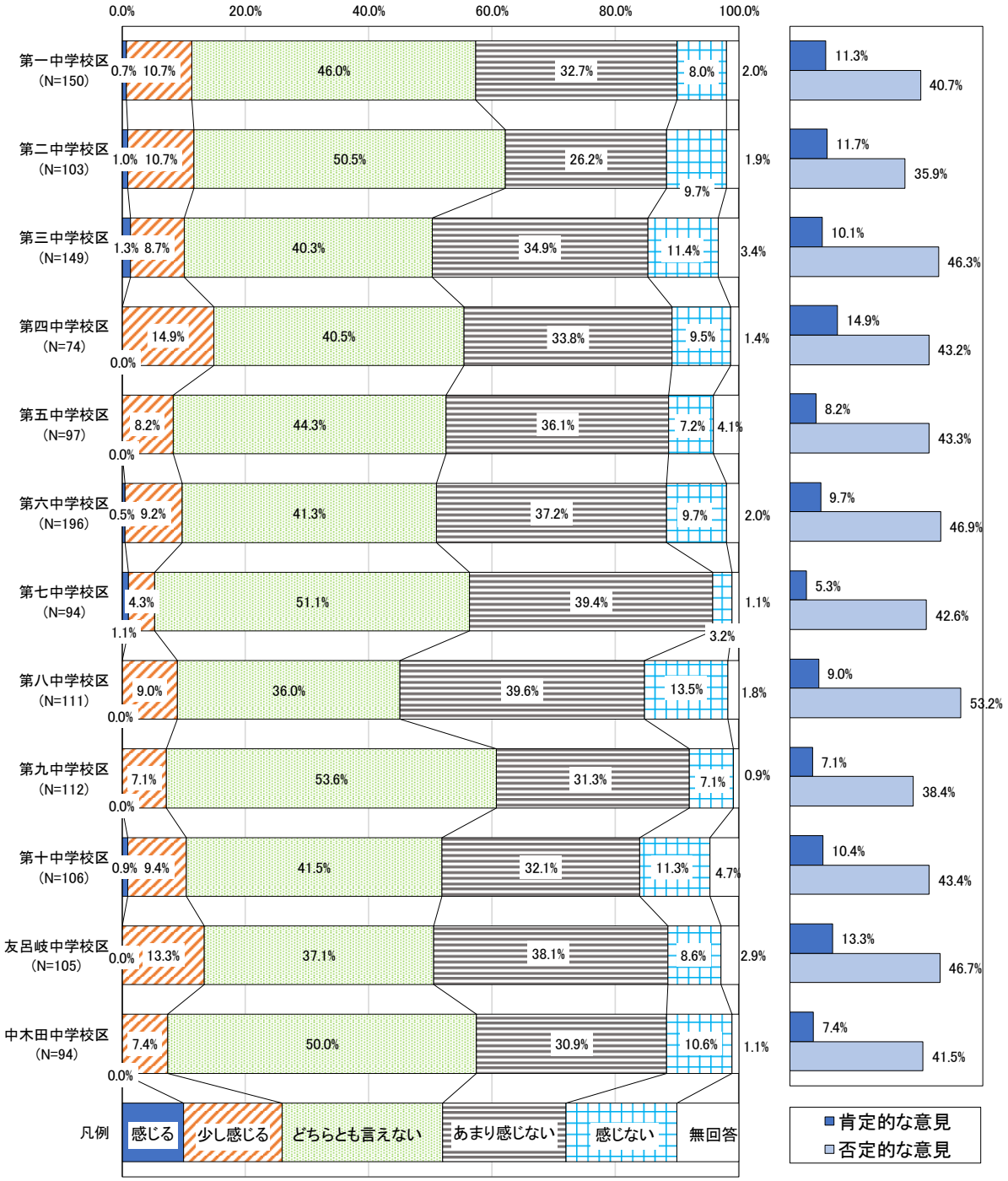
『否定的な意見』の割合は、30 歳代、40 歳代、50 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第四中学校区で、次いで友呂岐、第二中学校区の順となっている。

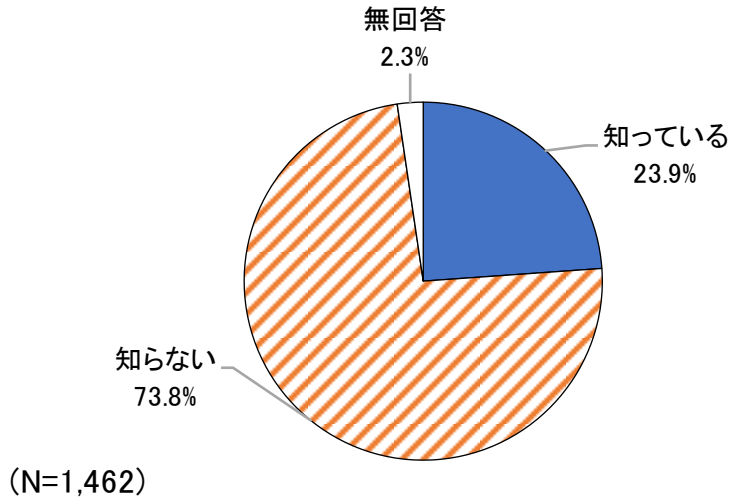
『否定的な意見』の割合は、第八、第六、友呂岐中学校区の順で高くなっている。



問 68　産業振興センター（にぎわい創造館）を知っていますか。

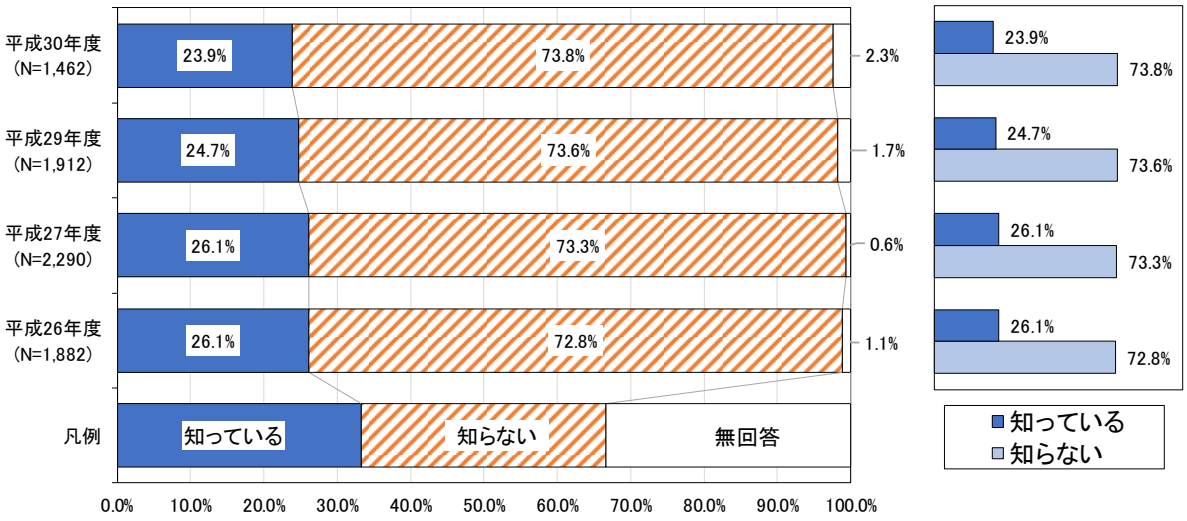
①　全体

「知らない」が 73.8%、「知っている」が 23.9%となっている。



（N=1,462）

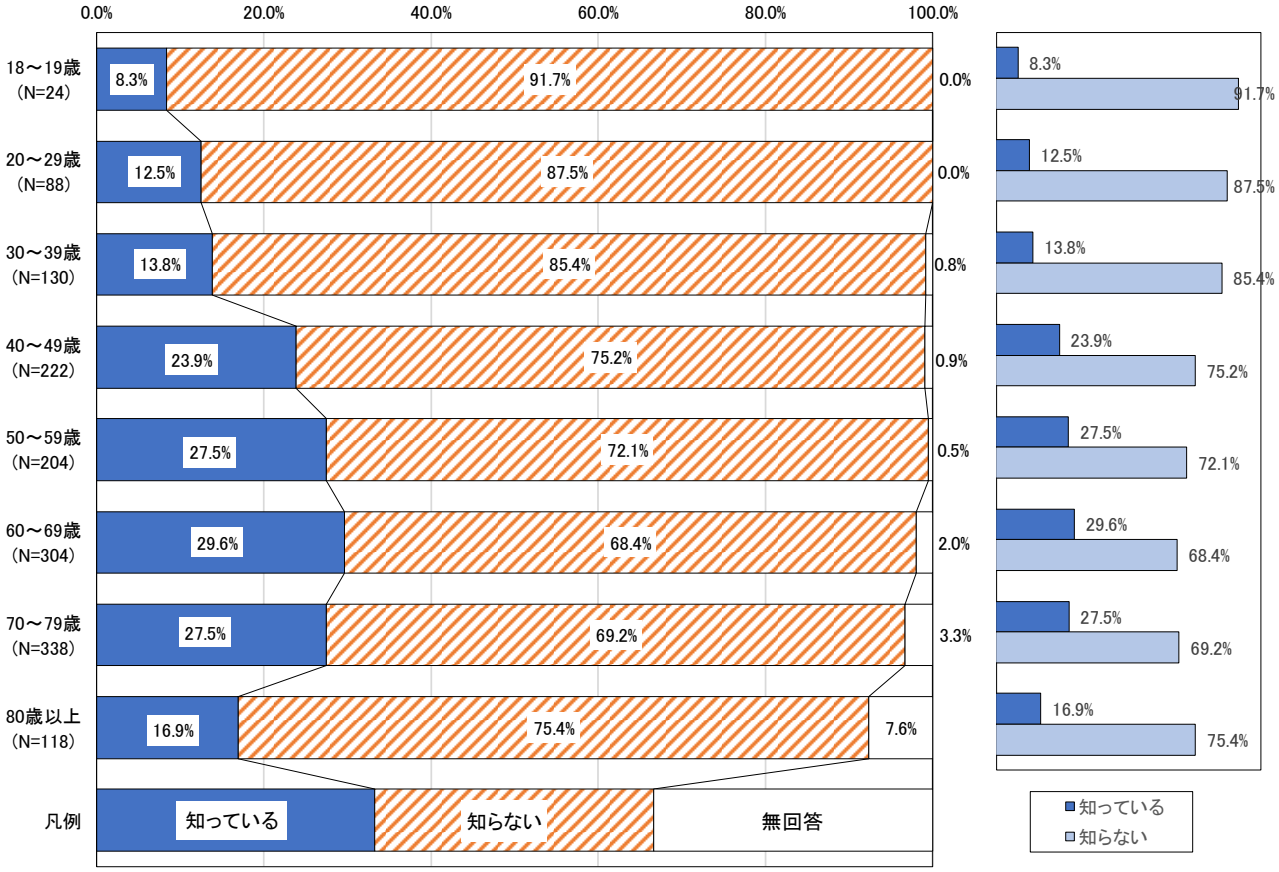
②　年度別



③　年代別

全ての年代において『知っている』が『知らない』を下回っており、『知っている』の割合が最も高いのは 60 歳代で、次いで 50 歳代と 70 歳代となっている。

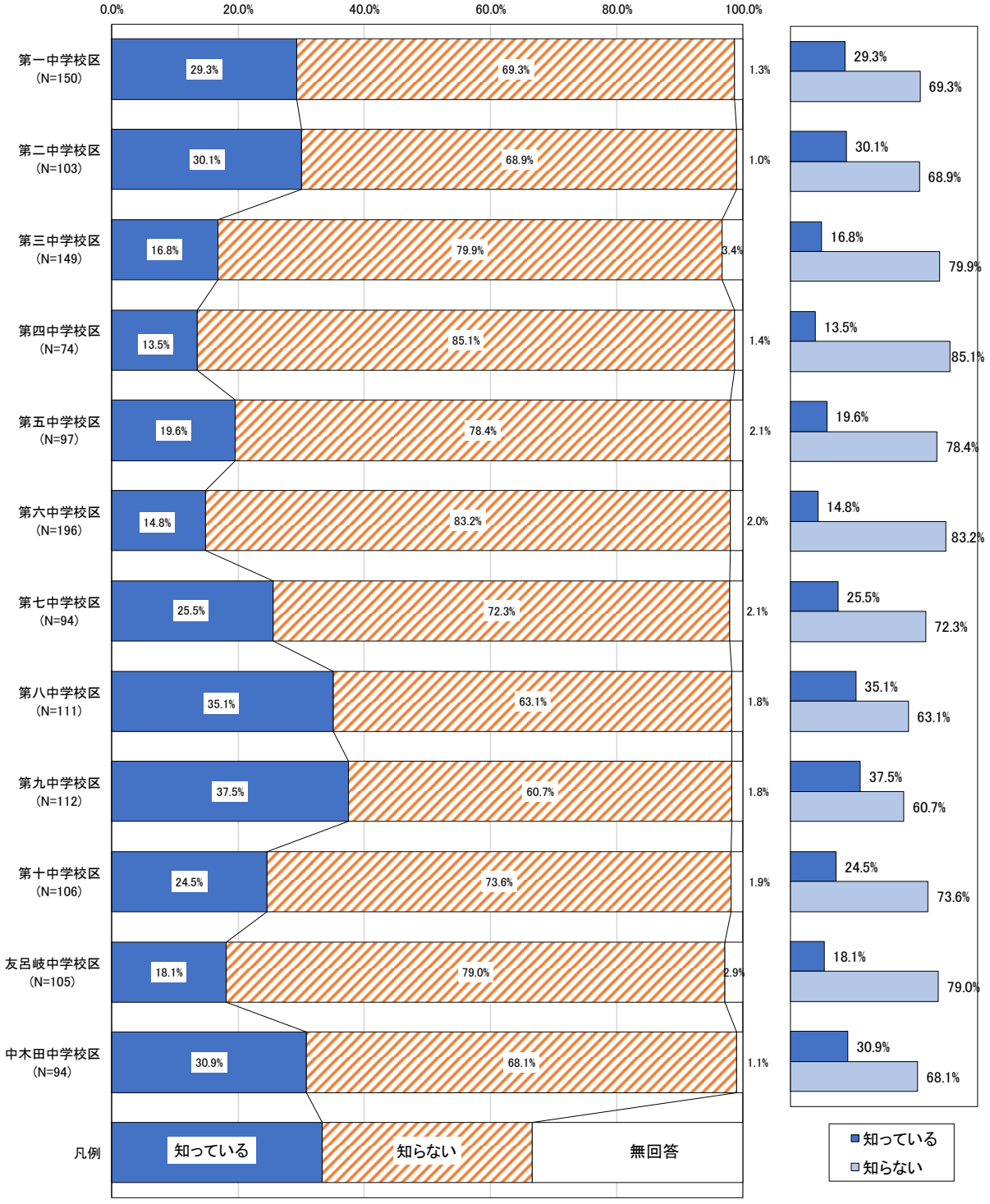
『知らない』の割合は、10 歳代、20 歳代、30 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『知っている』が『知らない』を下回っており、『知っている』の割合が最も高いのは第九中学校区で、次いで第八、中木田中学校区の順となっている。

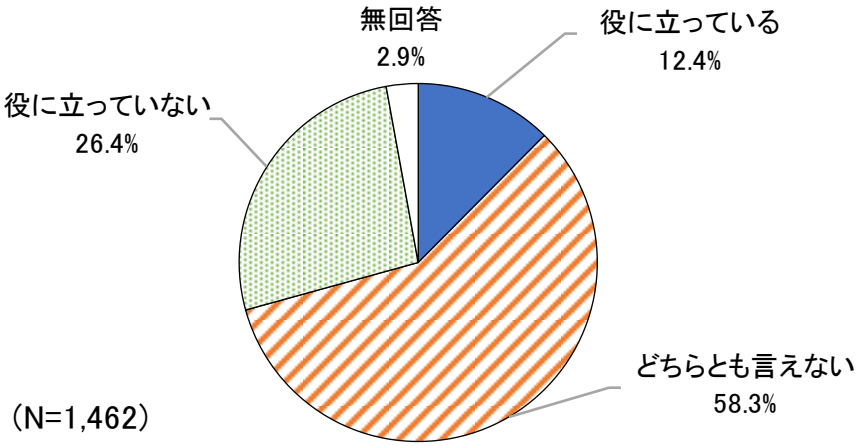
『知らない』の割合は、第四、第六、第三中学校区の順で高くなっている。



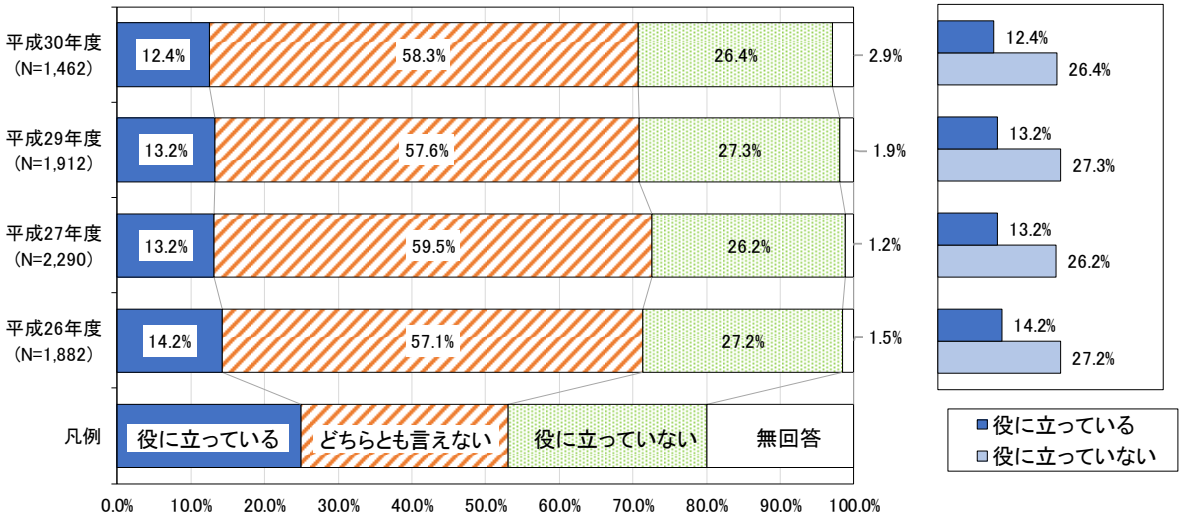
問 69　消費生活センターからの情報が役に立っていると思いますか。

①　全体

「どちらとも言えない」が 58.3%と最も高く、次いで「役に立っていない」が 26.4%、「役に立っている」が 12.4%の順となっている。



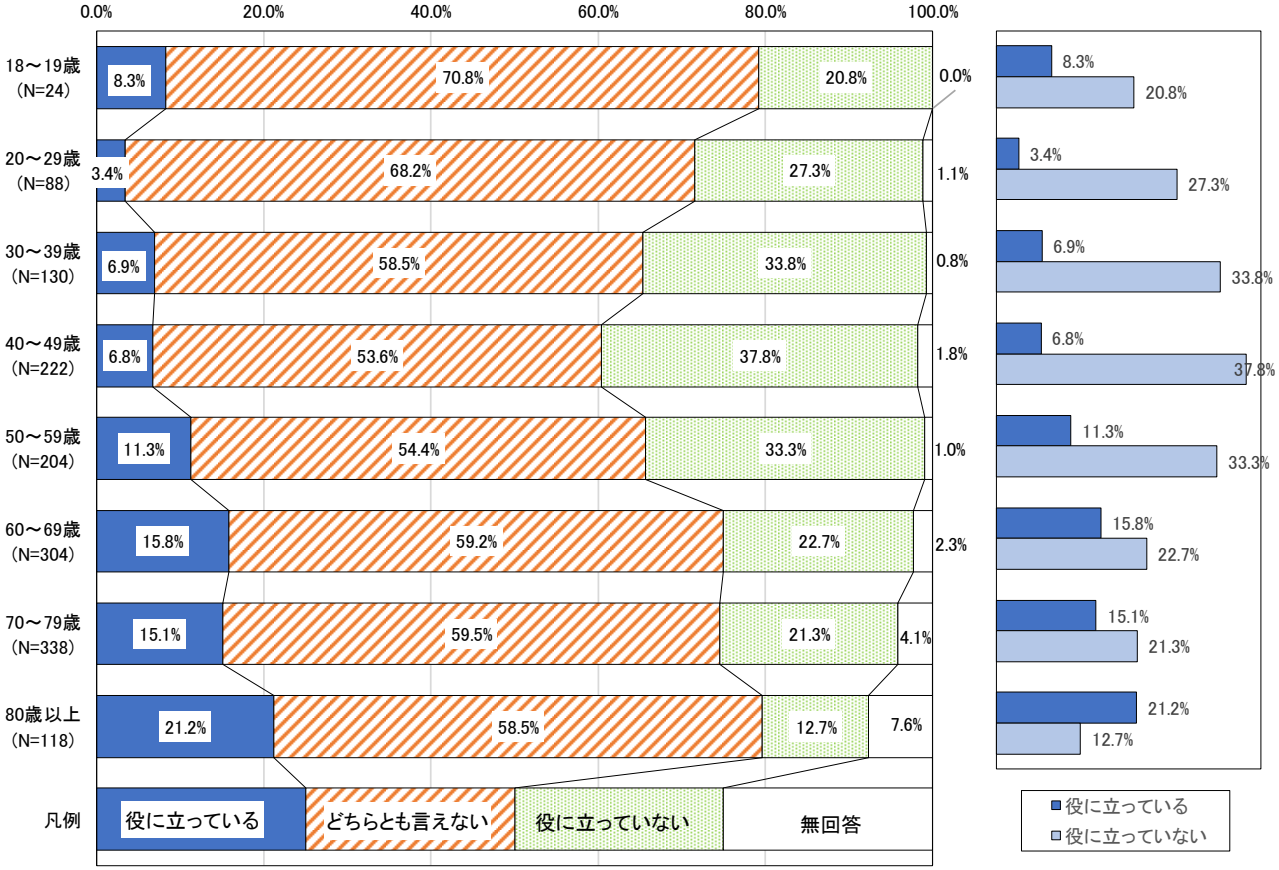
②　年度別



③　年代別

80 歳以上を除く年代において『役に立っている』が『役に立っていない』を下回っており、『役にたっている』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 60 歳代、70 歳代の順となっている。

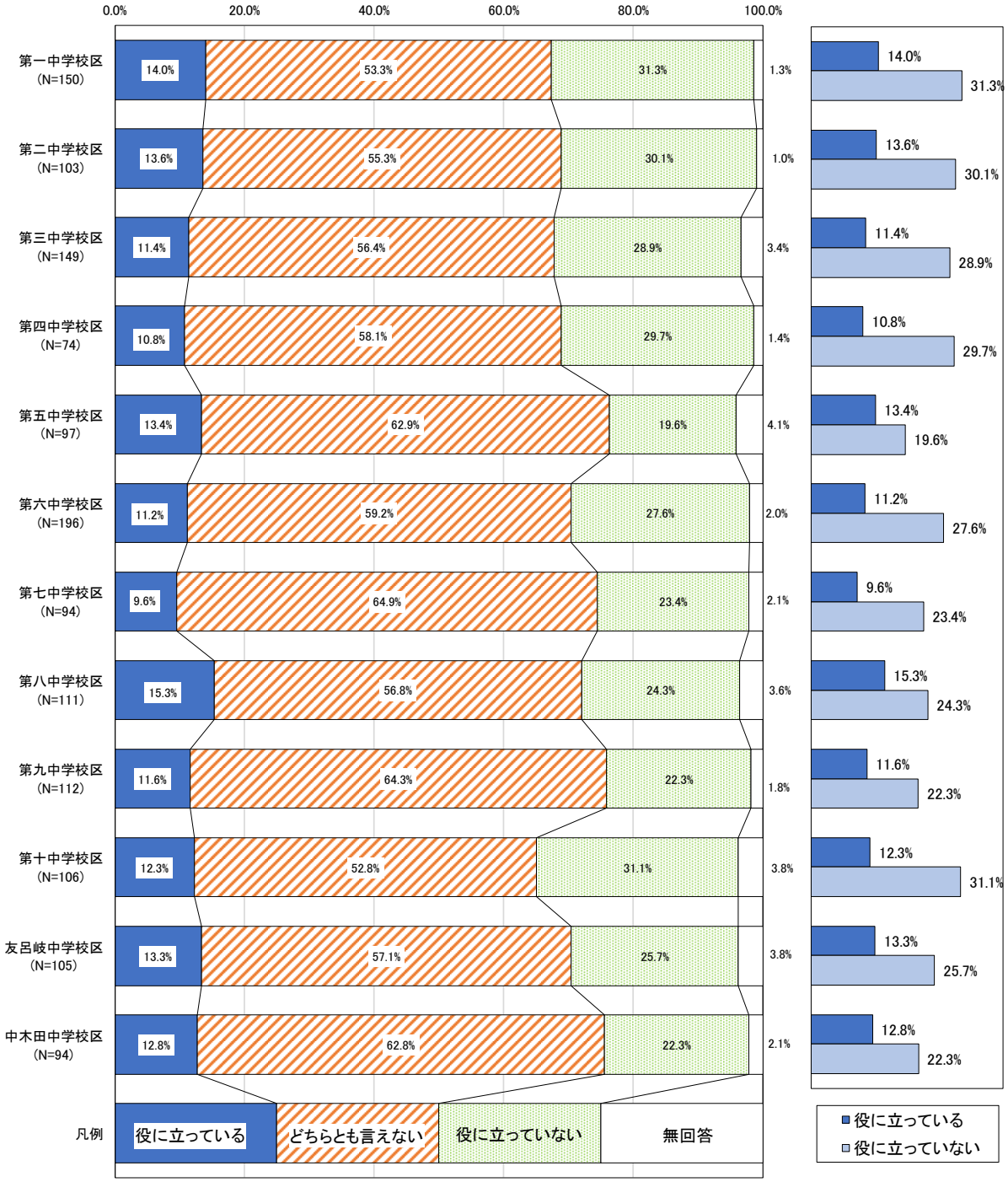
『役にたっていない』の割合は、40 歳代、30 歳代、50 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『役に立っている』が『役に立っていない』を下回っており、『役に立っている』の割合が最も高いのは第八中学校区で、次いで第一、第二中学校区の順となっている。

『役に立っていない』の割合は、第一、第十、第二中学校区の順で高くなっている。

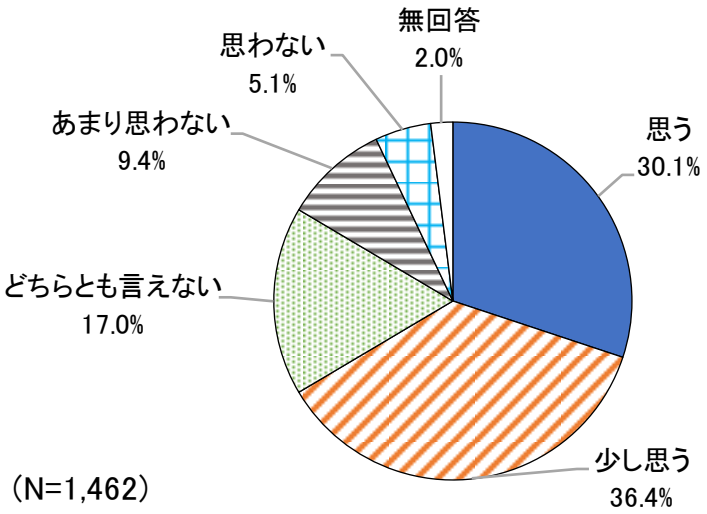


問 70　寝屋川市内で買い物がしやすいと思いますか。

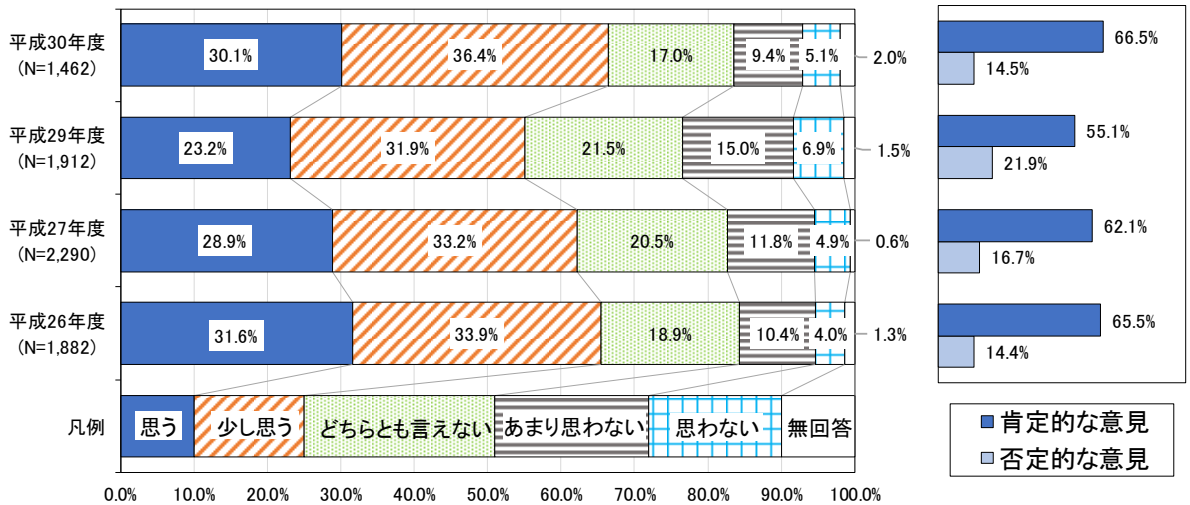
①　全体

「少し思う」が 36.4％と最も高く、次いで「思う」が 30.1％、「どちらとも言えない」が 17.0％の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 66.5％、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 14.5％となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



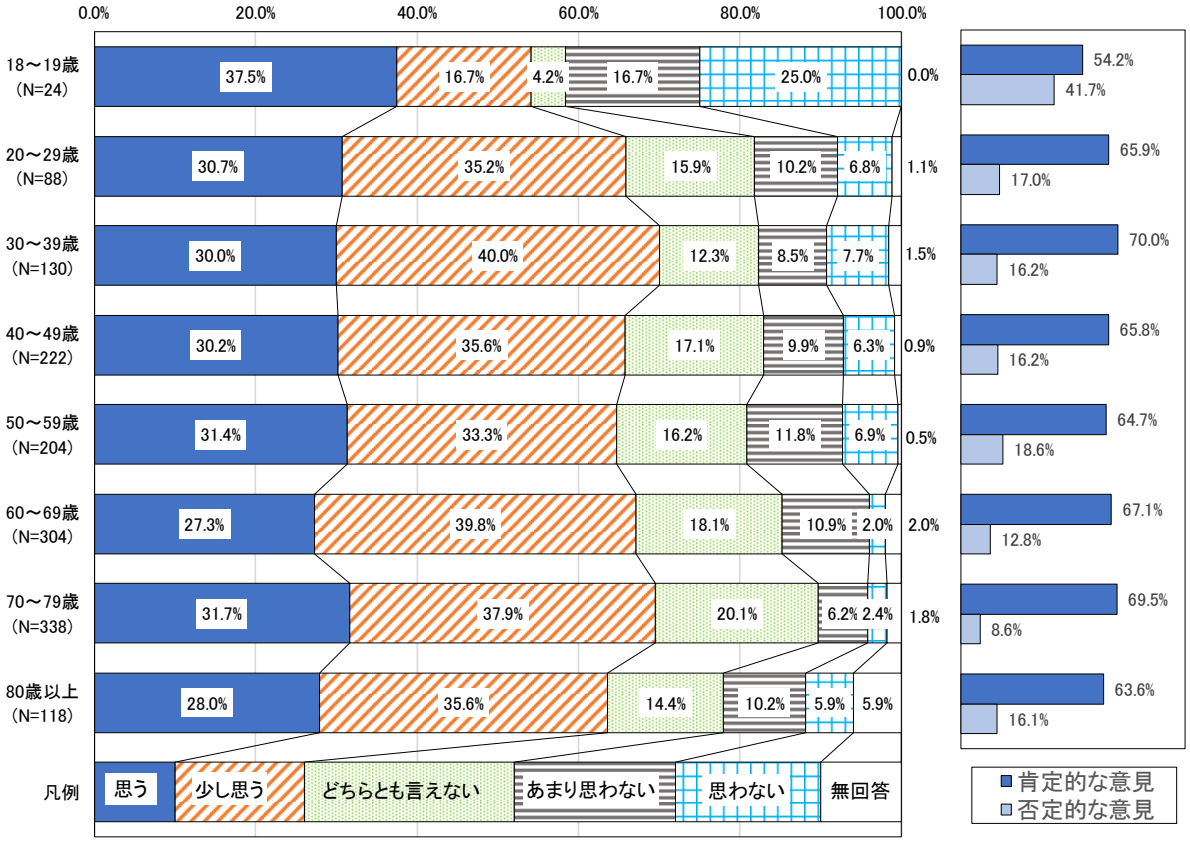
②　年度別



③　年代別

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 30 歳代で、次いで 70 歳代、60 歳代の順となっている。

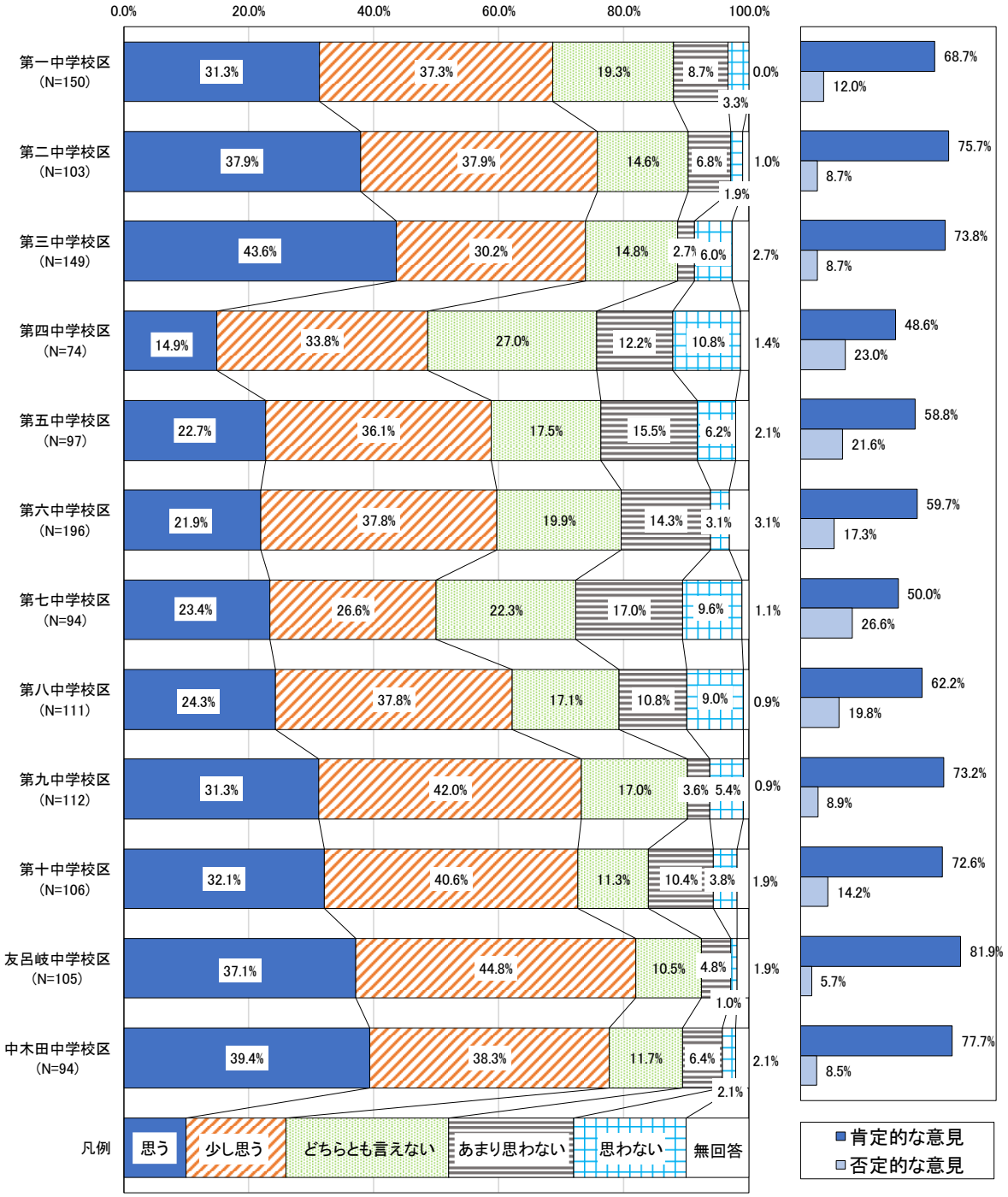
『否定的な意見』の割合は、10 歳代、50 歳代、20 歳代の順に高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは友呂岐中学校区で、次いで中木田、第二中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第七、第四、第五中学校区の順で高くなっている。

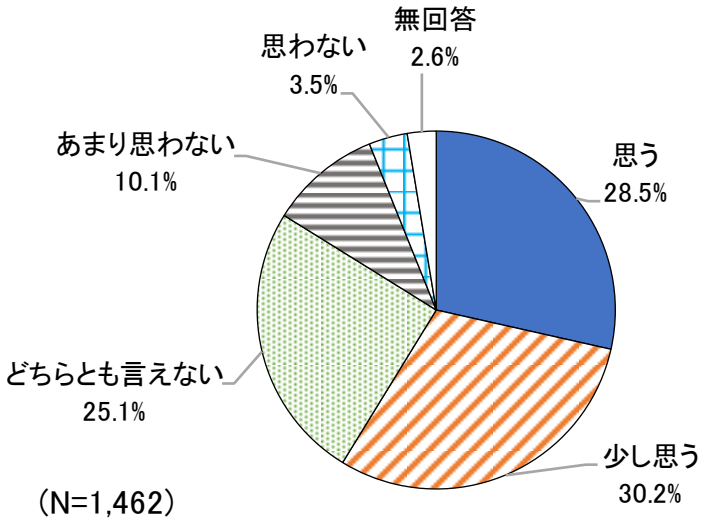


問 71　寝屋川市内で生産した農作物を購入したいと思いますか。

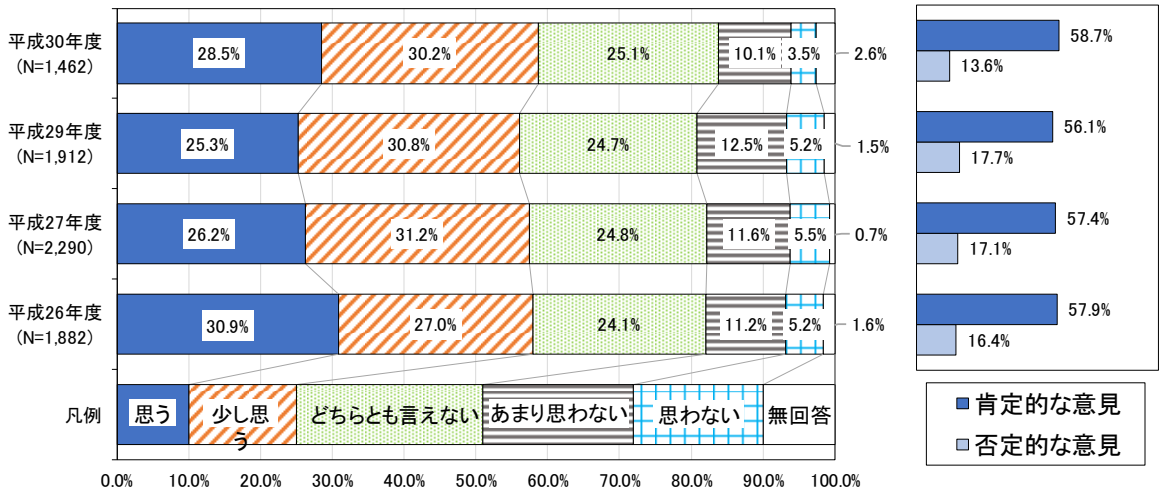
①　全体

「少し思う」が 30.2％と最も高く、次いで「思う」が 28.5％、「どちらとも言えない」が 25.1％の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 58.7％、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 13.6％となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



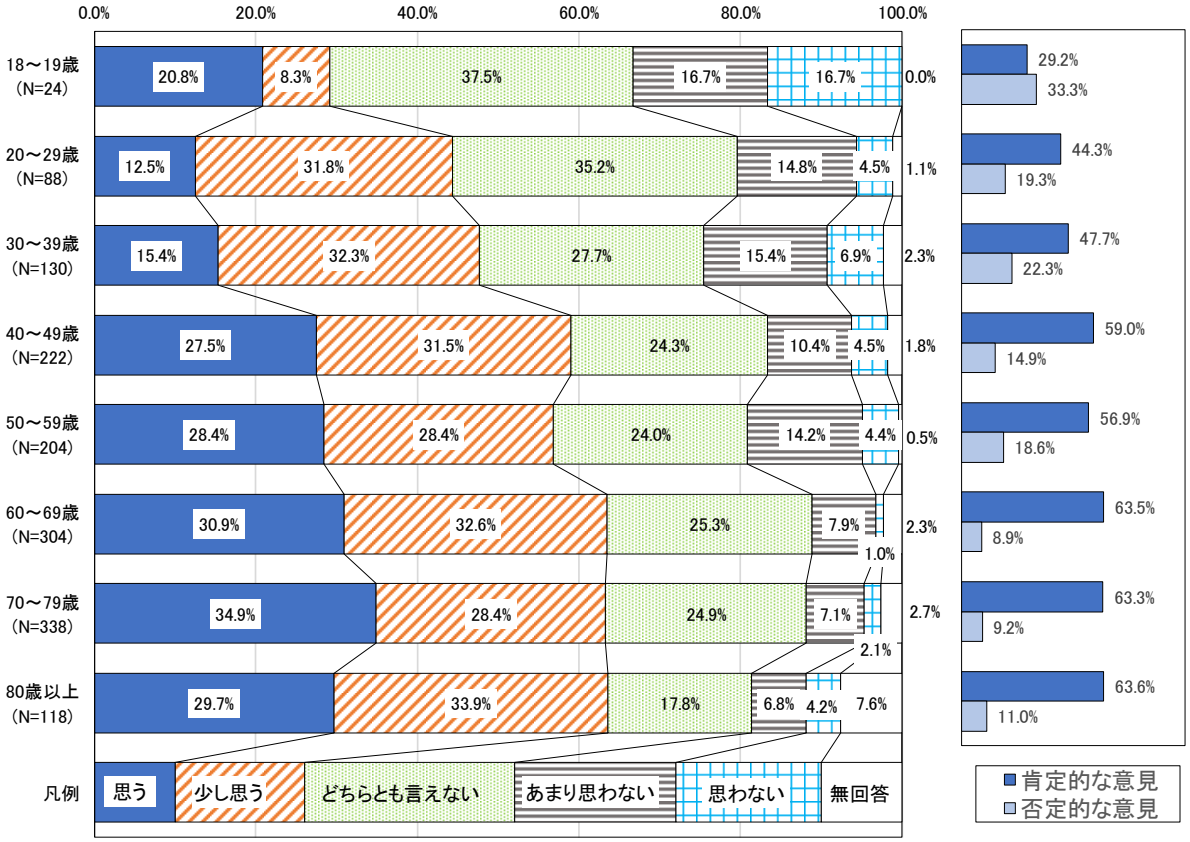
②　年度別



③　年代別

10 歳代を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 60 歳代、70 歳代の順となっている。

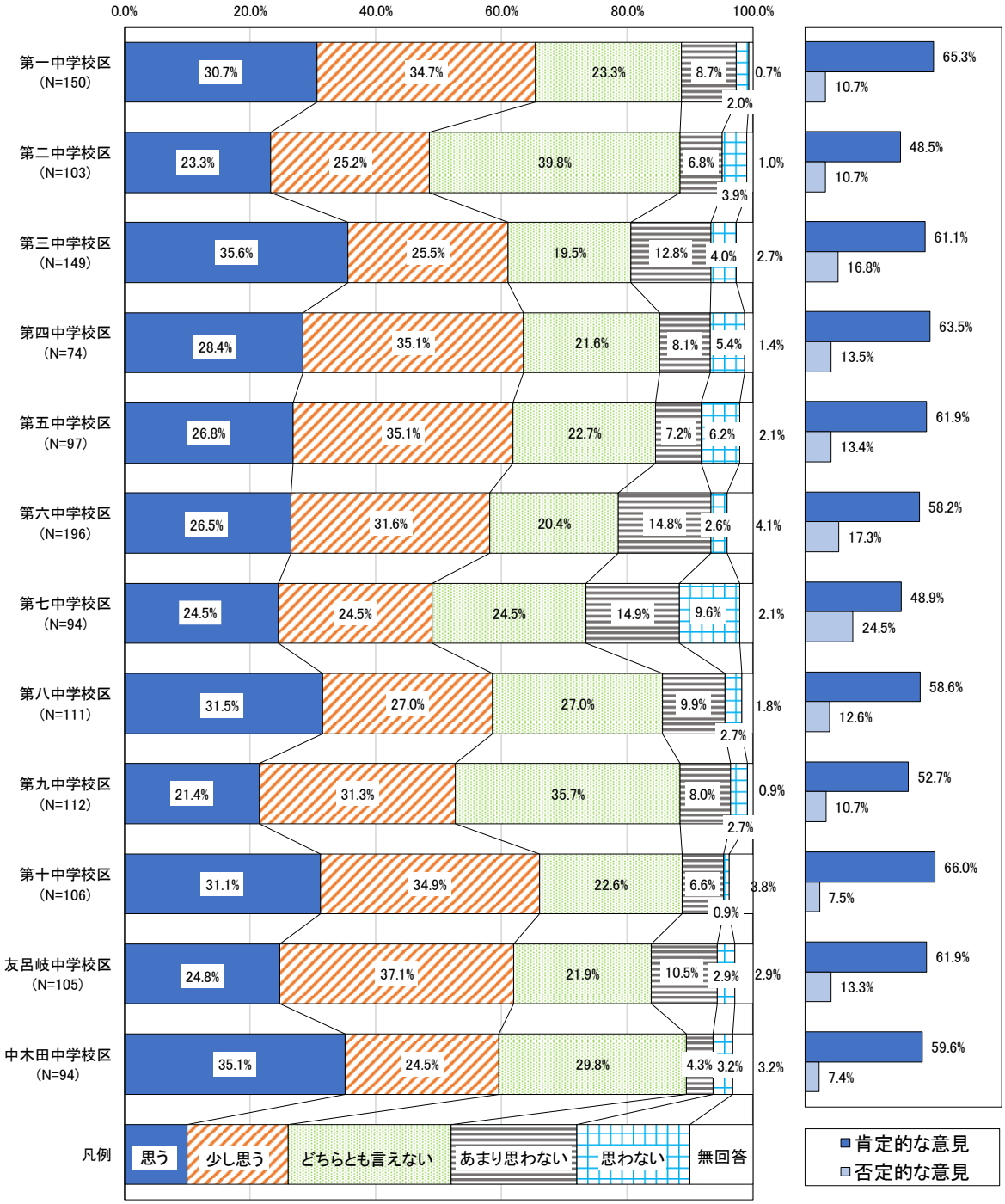
『否定的な意見』の割合は、10 歳代、30 歳代、20 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第十中学校区で、次いで第一、第四中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第七、第六、第三中学校区の順で高くなっている。

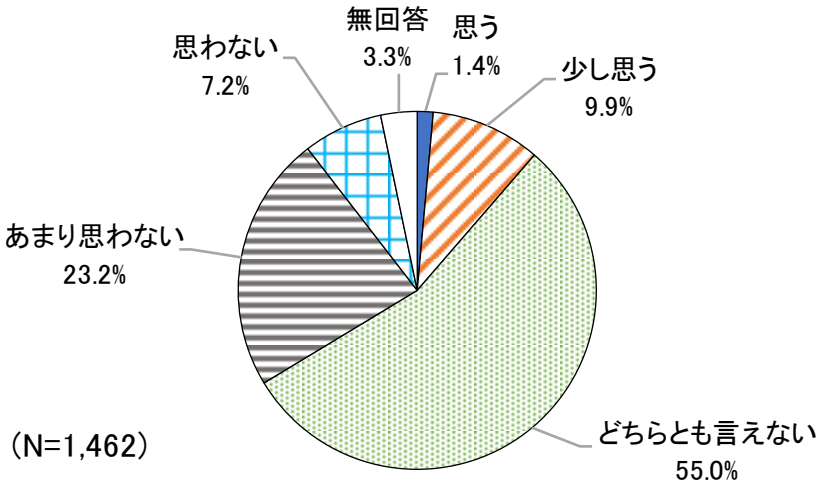


問 72　寝屋川市は、きめ細やかな就労支援サービスが提供されていると思いますか。

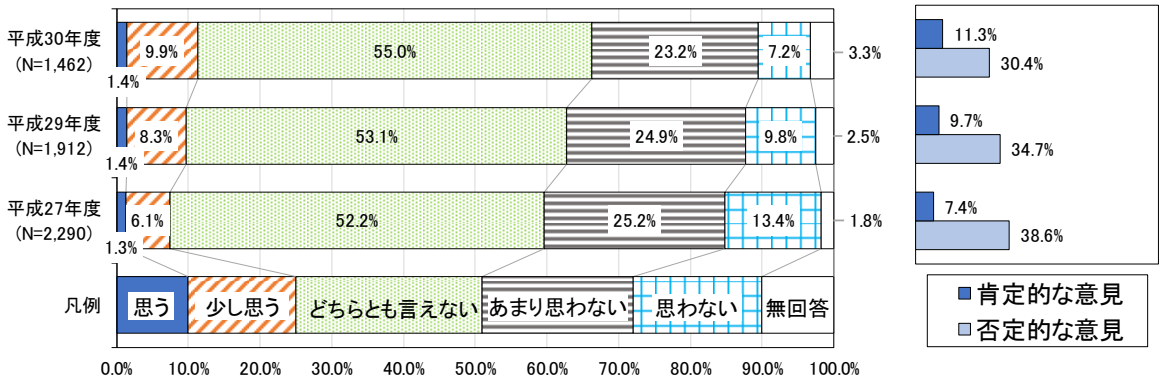
①　全体

「どちらとも言えない」が 55.0%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 23.2%、「少し思う」が 9.9%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 11.3%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 30.4%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



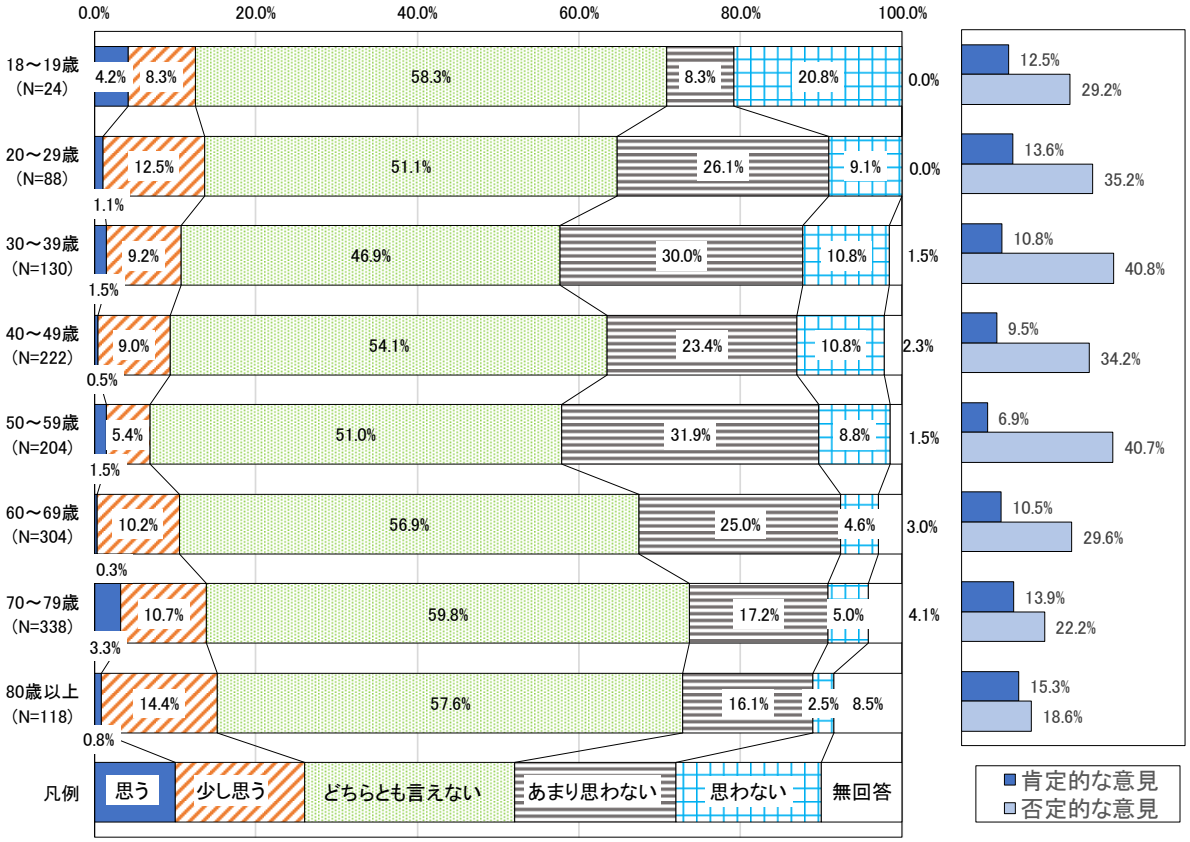
②　年度別



③　年代別

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 70 歳代、20 歳代の順となっている。

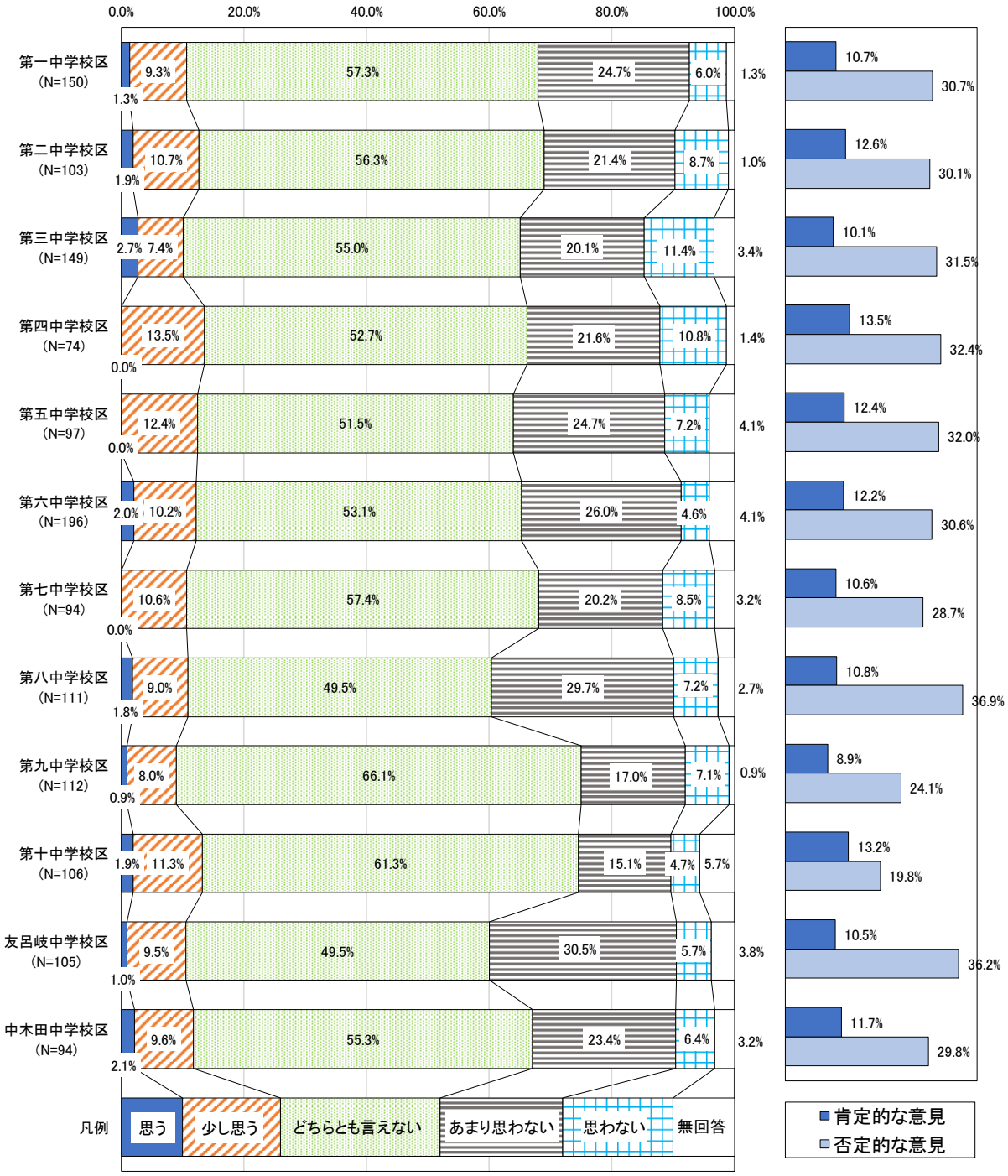
『否定的な意見』の割合は、30 歳代、50 歳代、20 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第四中学校区で、次いで第十、第二中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第八、友呂岐、第四中学校区の順で高くなっている。

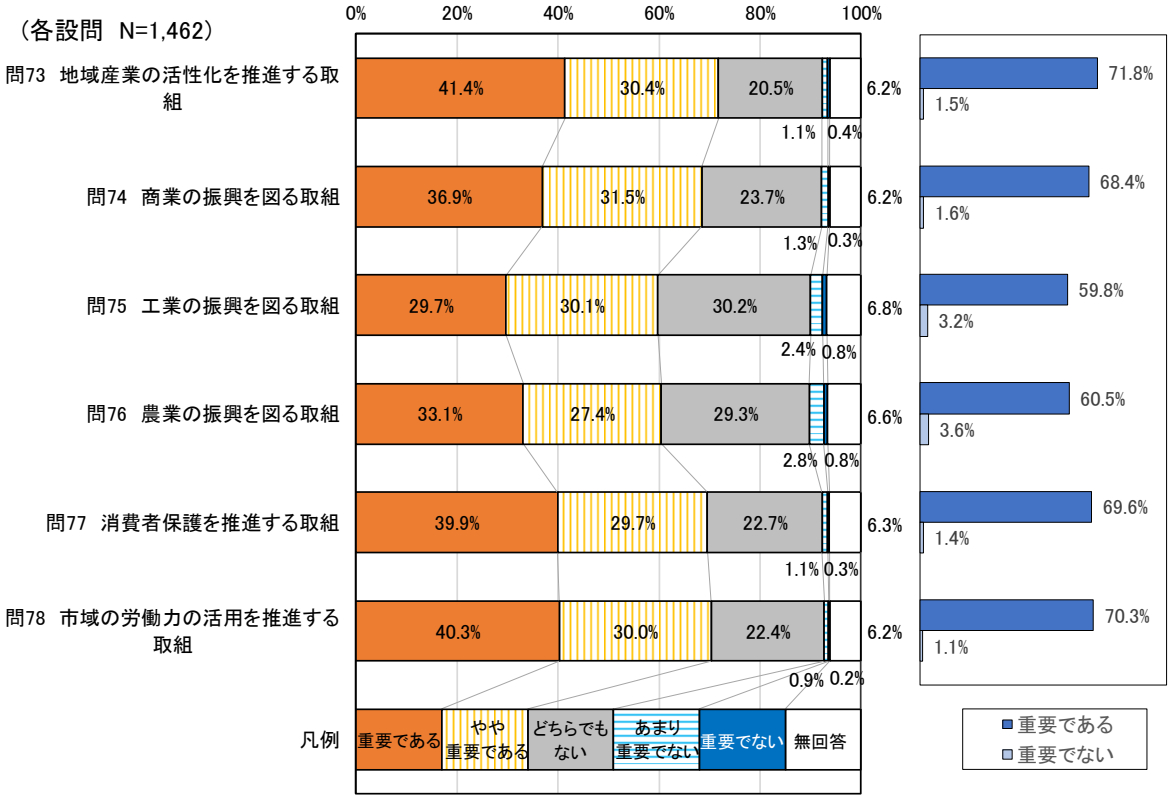


（２）　「産業」の施策についての重要度と満足度

問 73～問 78　現在、寝屋川市が取り組んでいる「産業」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

①　　重要度

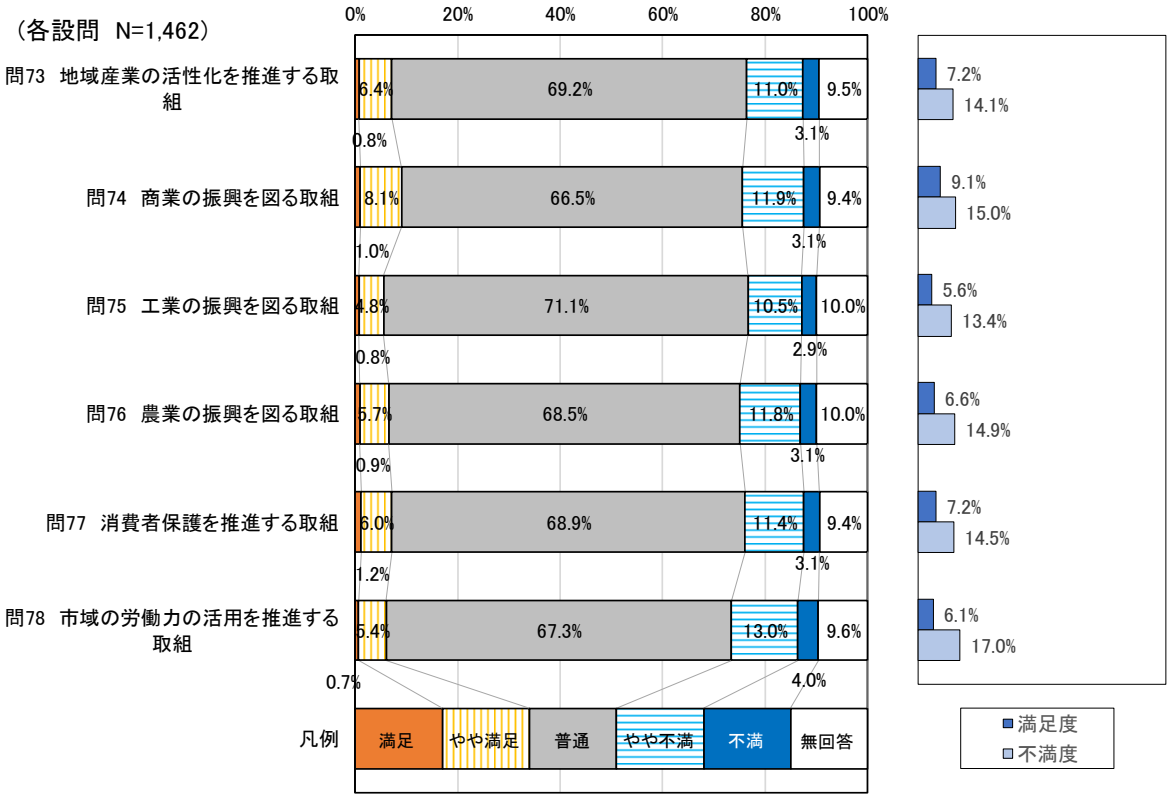
『産業』の施策において、重要度が最も高いのは「地域産業の活性化を推進する取組」で、次いで「市域の労働力の活用を推進する取組」、「消費者保護を推進する取組」が続いている。



②　満足度

『産業』の施策において、満足度が最も高いのは「商業の振興を図る取組」で、次いで「地域産業の活性化を推進する取組」と「消費者保護を推進する取組」が続いている。

不満度が最も高いのは、「市域の労働力の活用を推進する取組」である。



８．『市民が主役のまちづくり』について

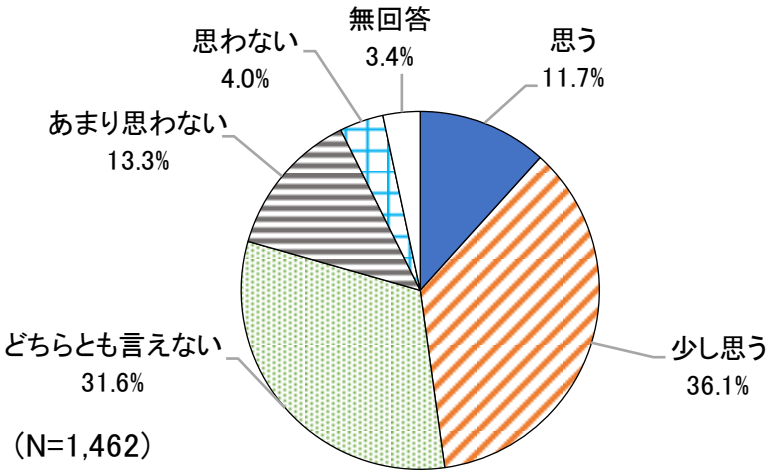
（１）　「地域・市民ニーズの把握・情報発信」について

問 79　自治会や小学校区での地域活動が盛んであると思いますか。

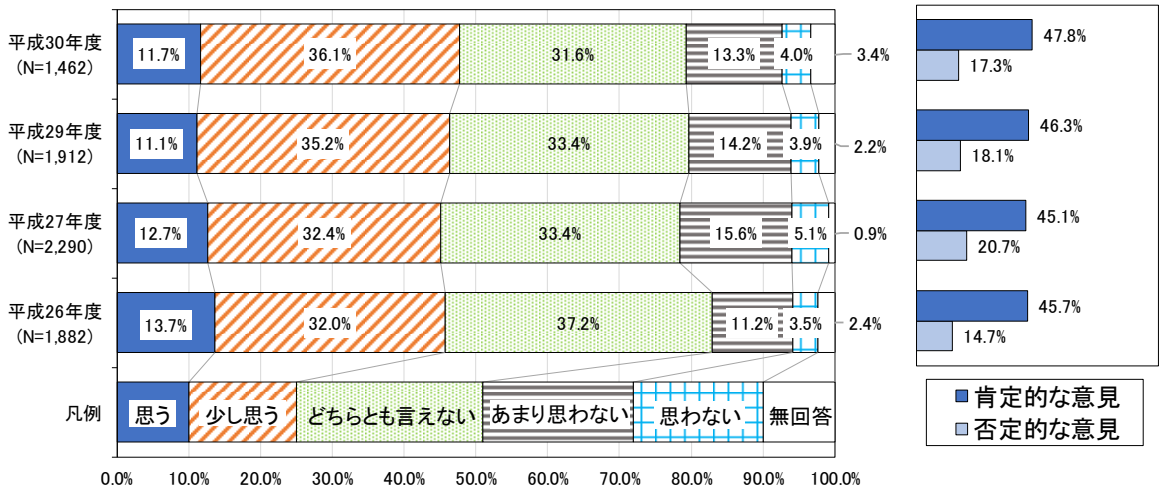
①　　全体

「少し思う」が 36.1%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 31.6%、「あまり思わない」が 13.3%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 47.8%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 17.3%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



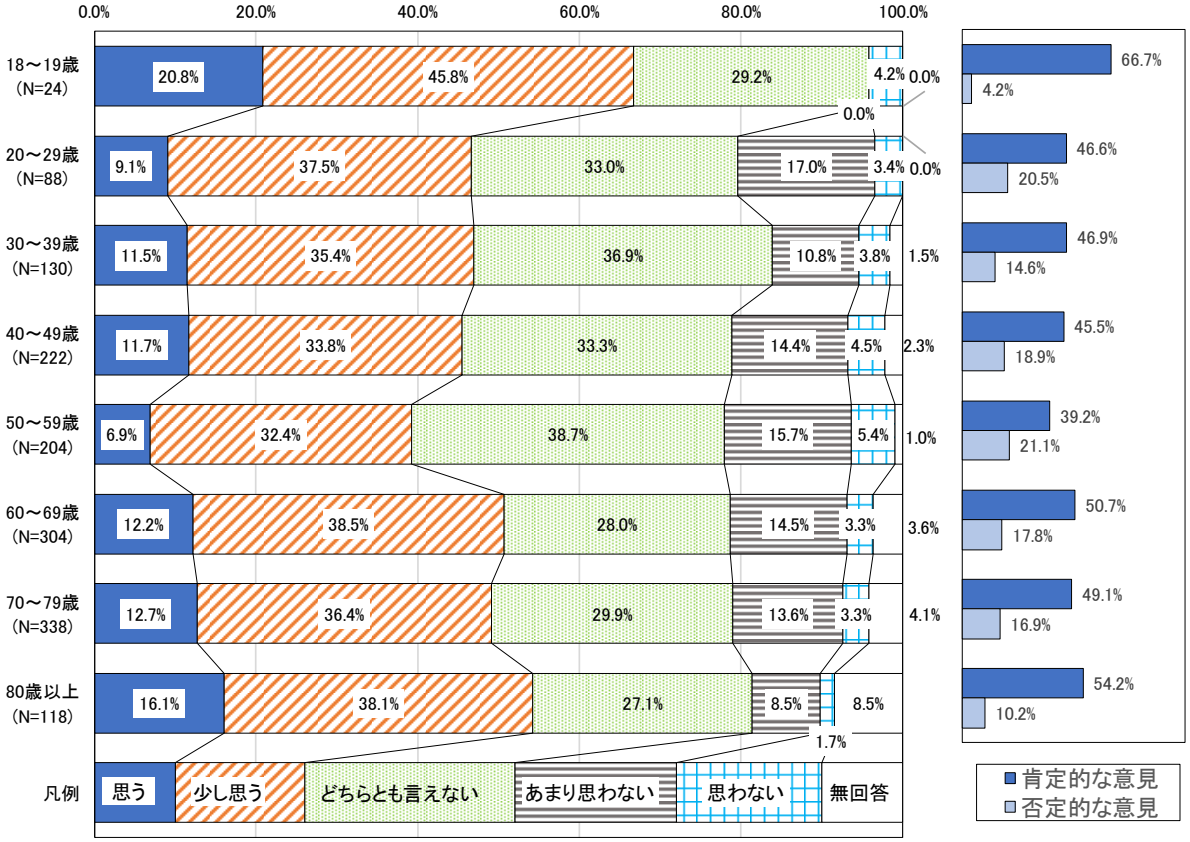
②　　年度別



③　年代別

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 10 歳代で、次いで 80 歳以上、60 歳代の順となっている。

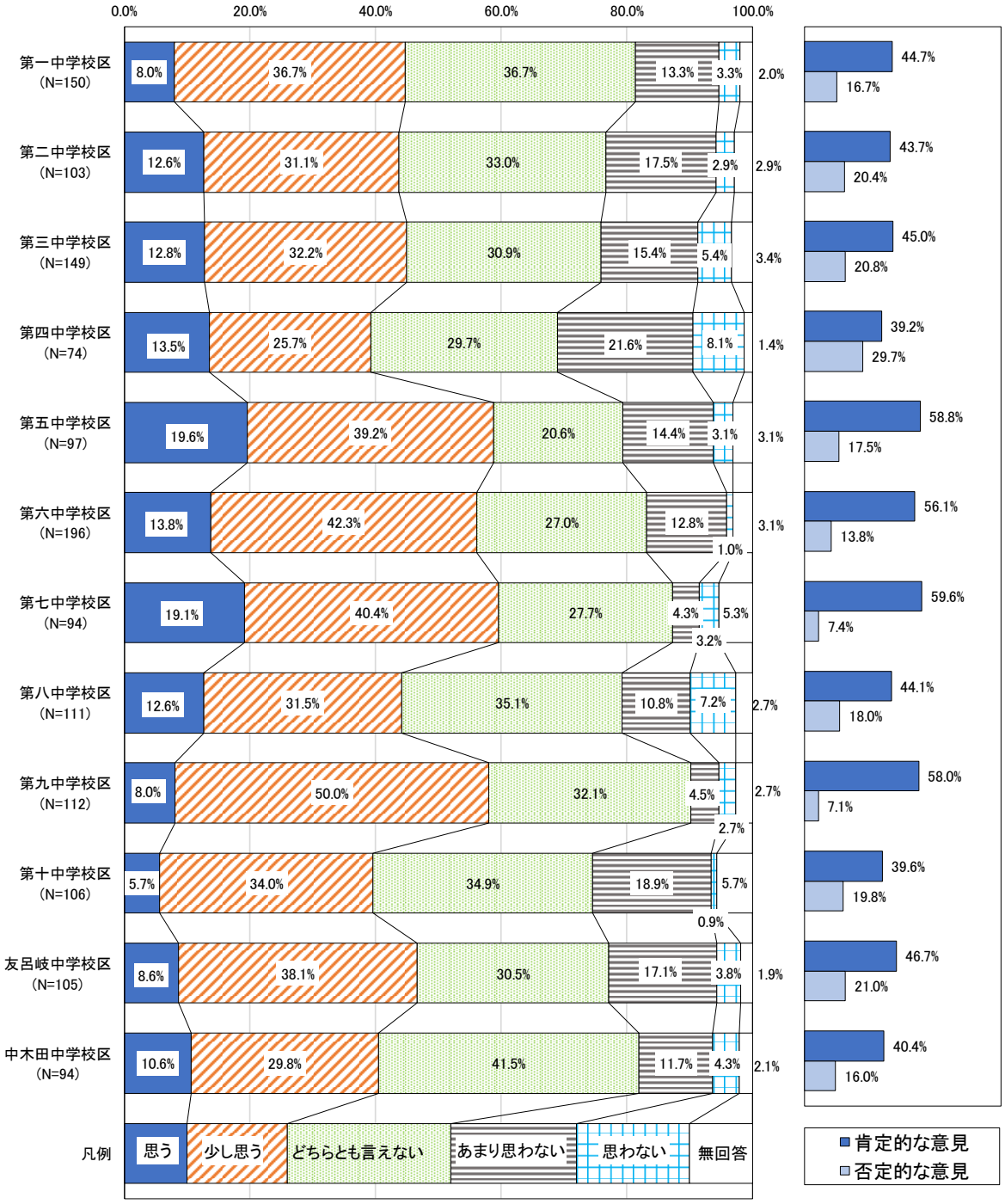
『否定的な意見』の割合は、50 歳代、20 歳代、40 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで第五、第九中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第四、友呂岐、第三中学校区の順で高くなっている。

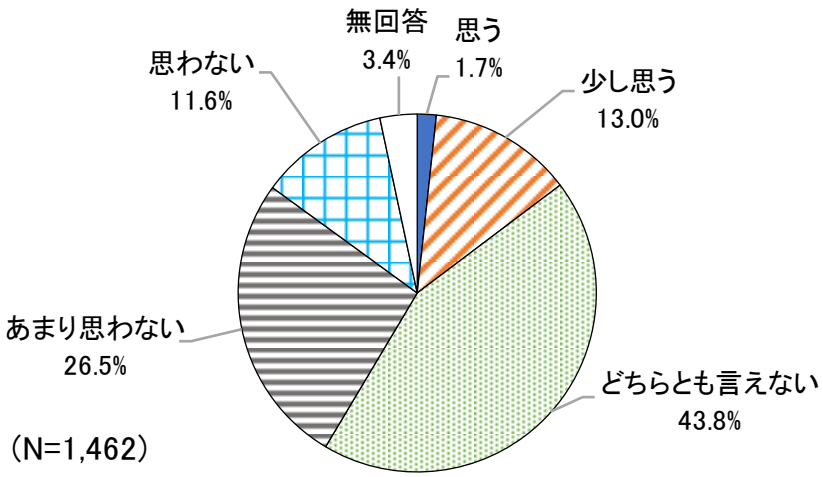


問 80　寝屋川市政に、市民の声が届いていると思いますか。

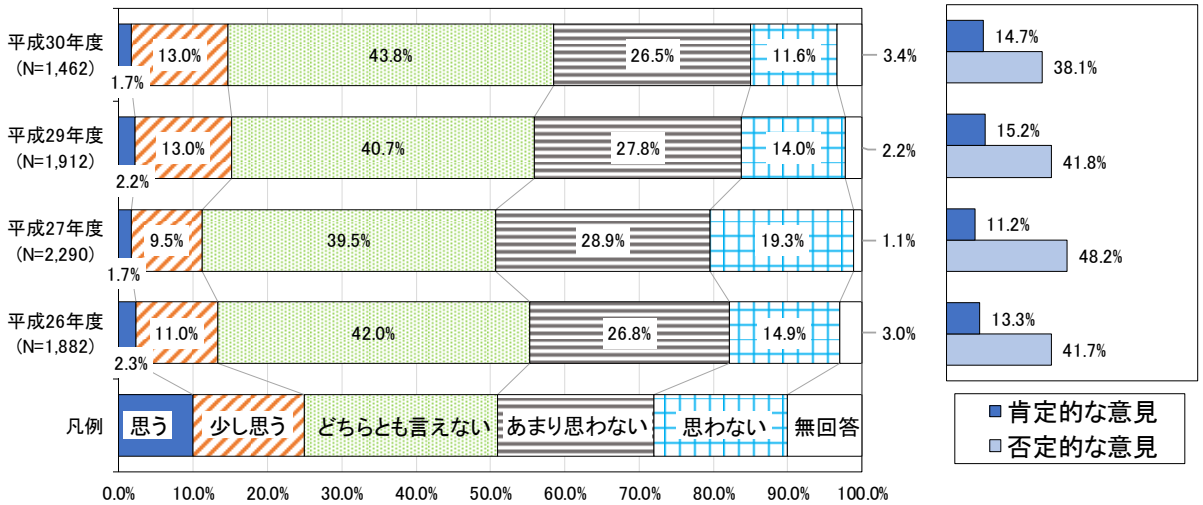
①　全体

「どちらとも言えない」が 43.8％と最も高く、次いで「あまり思わない」が 26.5％、「少し思う」が 13.0％の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 14.7％、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 38.1％となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



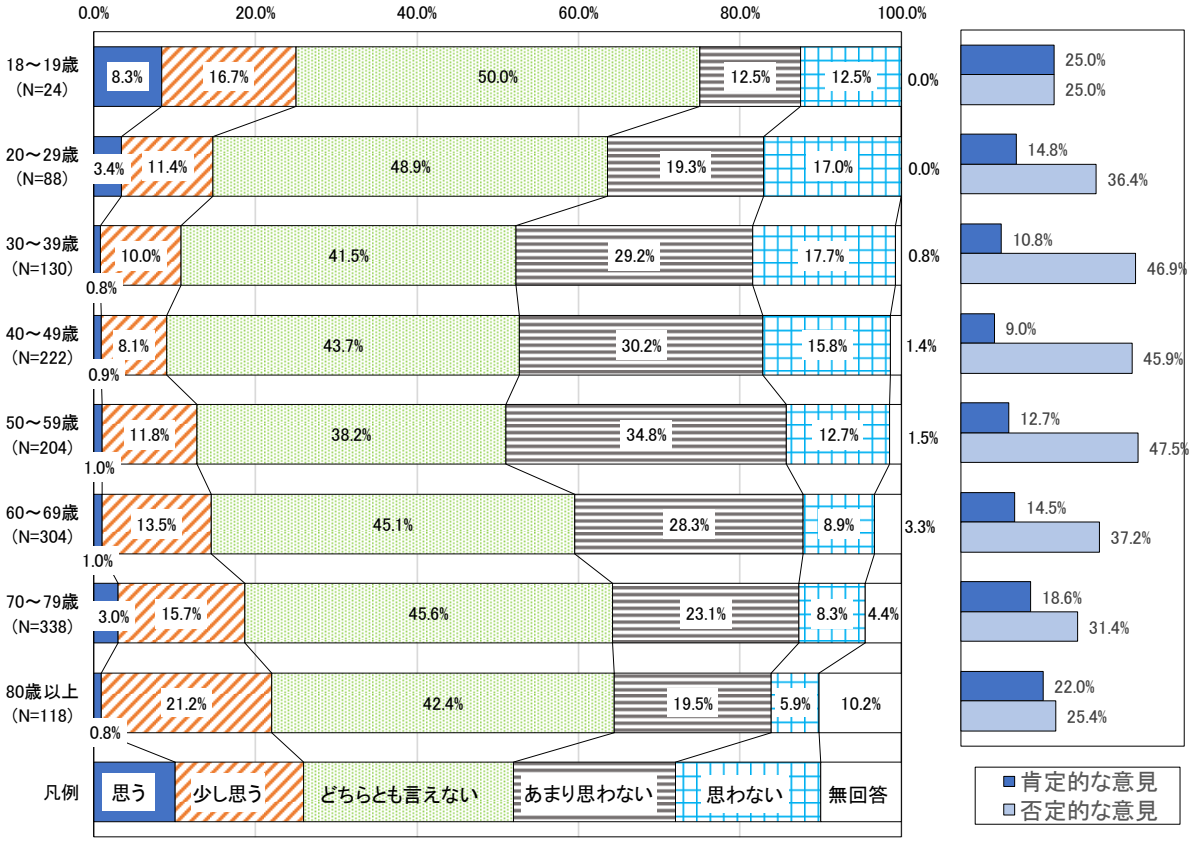
②　年度別



③　年代別

10 歳代を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 10 歳代で、次いで 80 歳以上、70 歳代の順となっている。

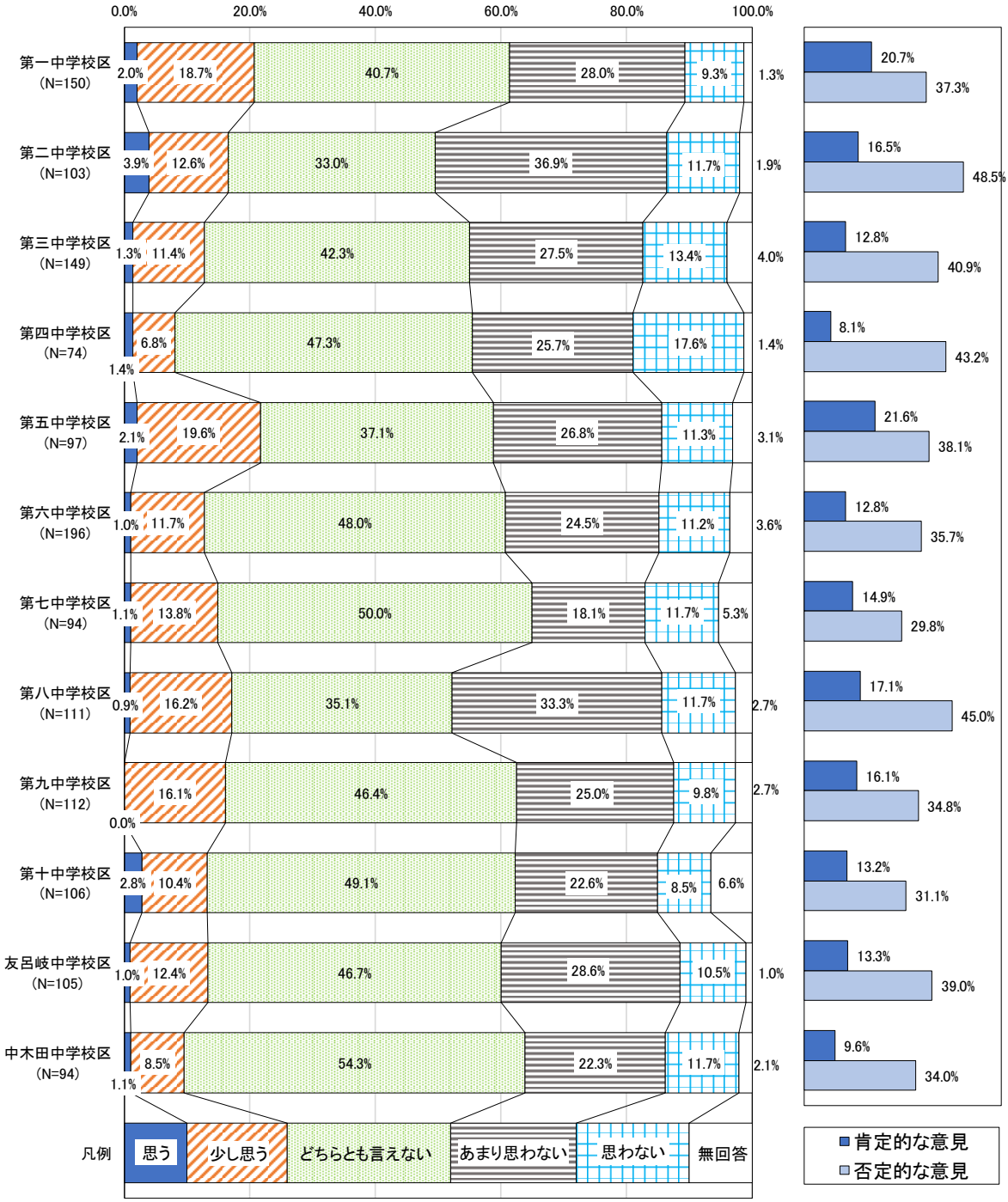
『否定的な意見』の割合は、50 歳代、30 歳代、40 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第五中学校区で、次いで第一、第八中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第二、第八、第四中学校区の順で高くなっている。

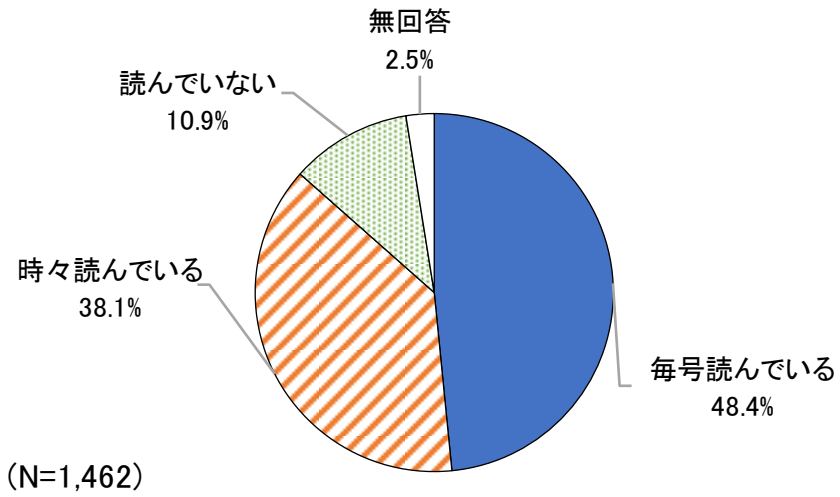


問 81　「広報ねやがわ」を読んでいますか。

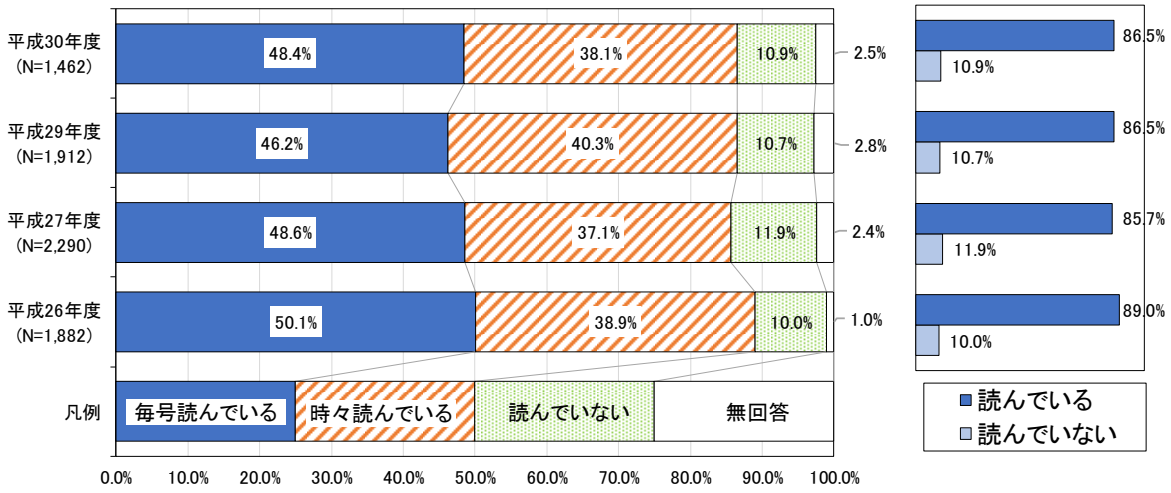
①　全体

「毎号読んでいる」が 48.4%と最も高く、次いで「時々読んでいる」が 38.1%、「読んでいない」が 10.9%の順となっている。

「毎号読んでいる」と「時々読んでいる」を合わせた『読んでいる』は 86.5%、『読んでいない』は 10.9%となっており、『読んでいる』が『読んでいない』を上回っている。



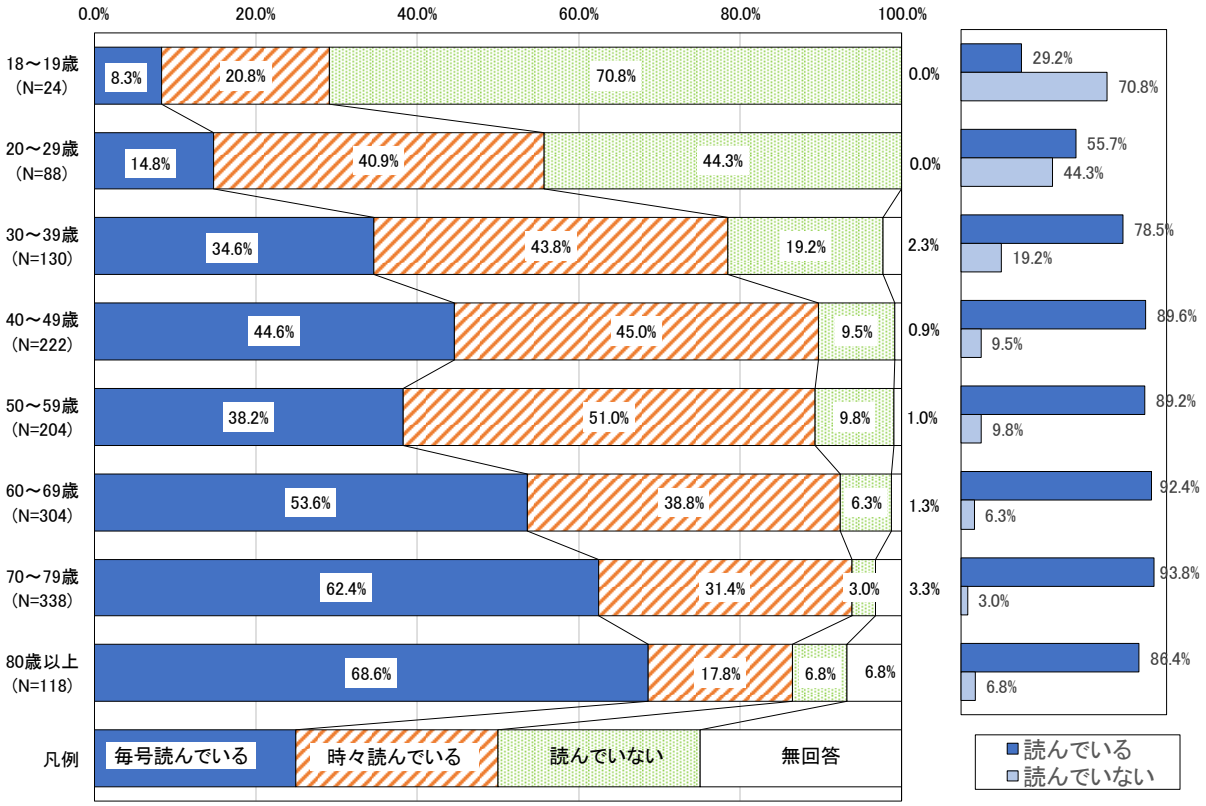
②　年度別



③　年代別

10 歳代を除く年代において『読んでいる』が『読んでいない』を上回っており、『読んでいる』の割合が最も高いのは 70 歳代で、次いで 60 歳代、40 歳代の順となっている。

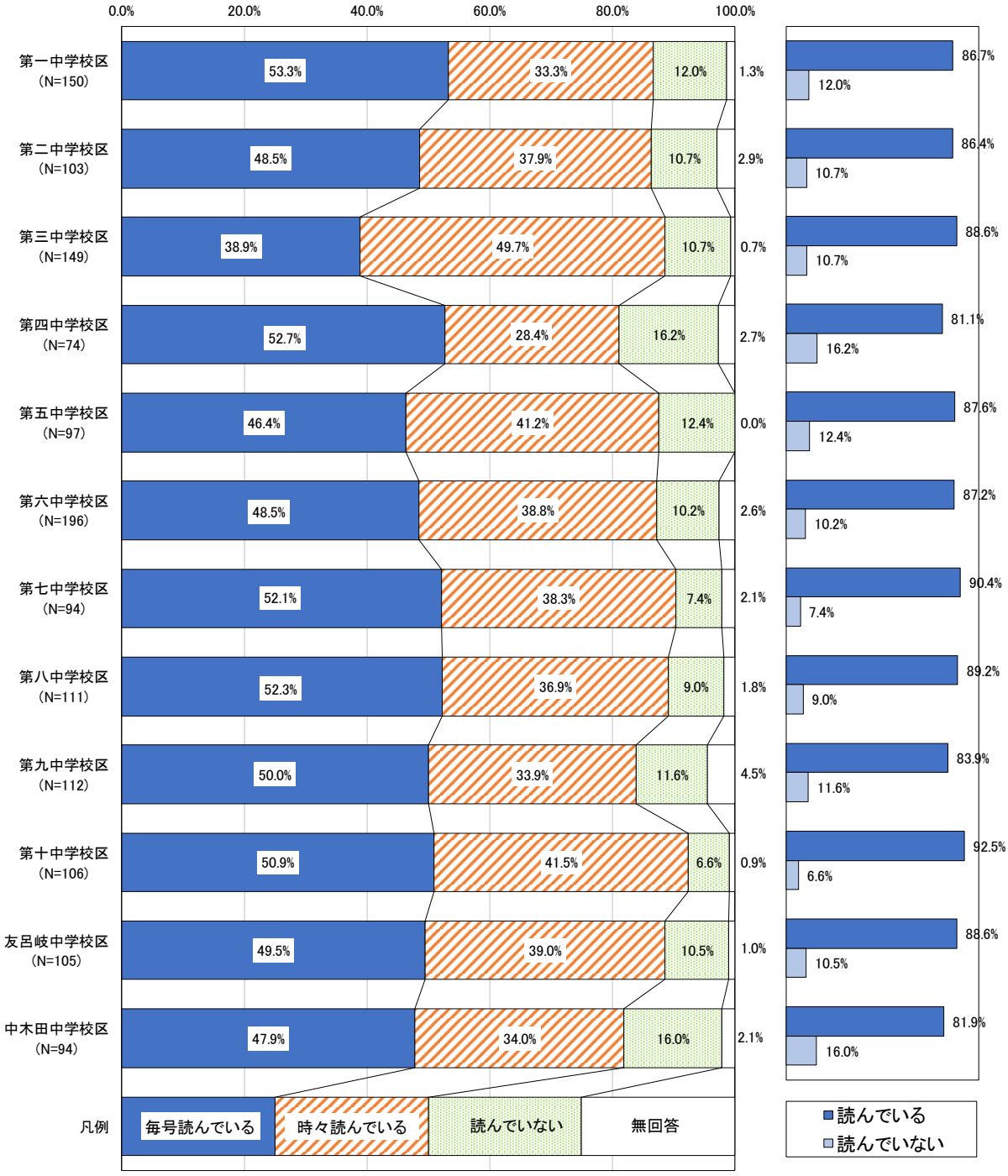
『読んでいない』の割合は、10 歳代、20 歳代、30 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『読んでいる』が『読んでいない』を上回っており、『読んでいる』の割合が最も高いのは第十中学校区で、次いで第七、第八中学校区の順となっている。

『読んでいない』の割合は、第四、中木田、第五中学校区の順で高くなっている。

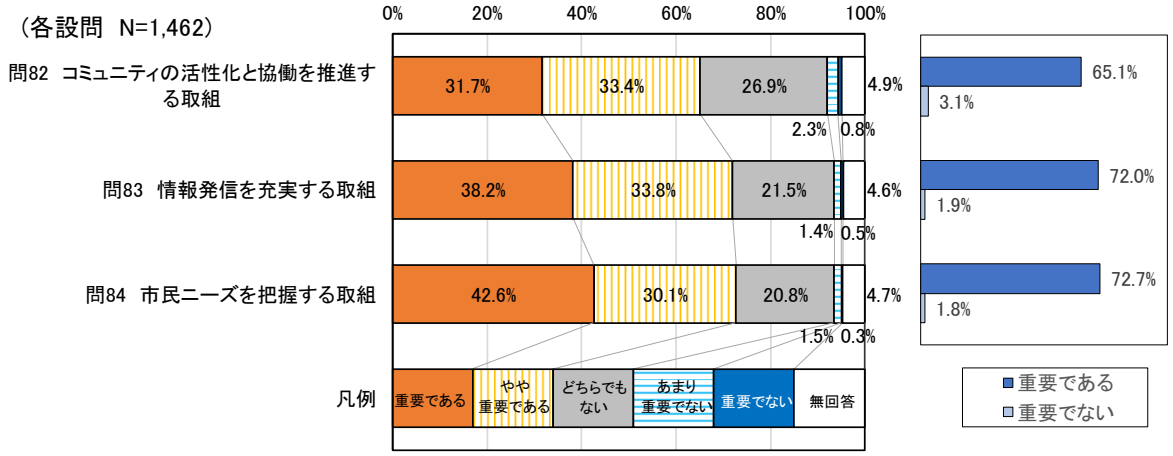


（２）　「地域・市民ニーズの把握・情報発信」の施策についての重要度と満足度

問 82～問 84　現在、寝屋川市が取り組んでいる「地域・市民ニーズの把握・情報発信」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

①　　重要度

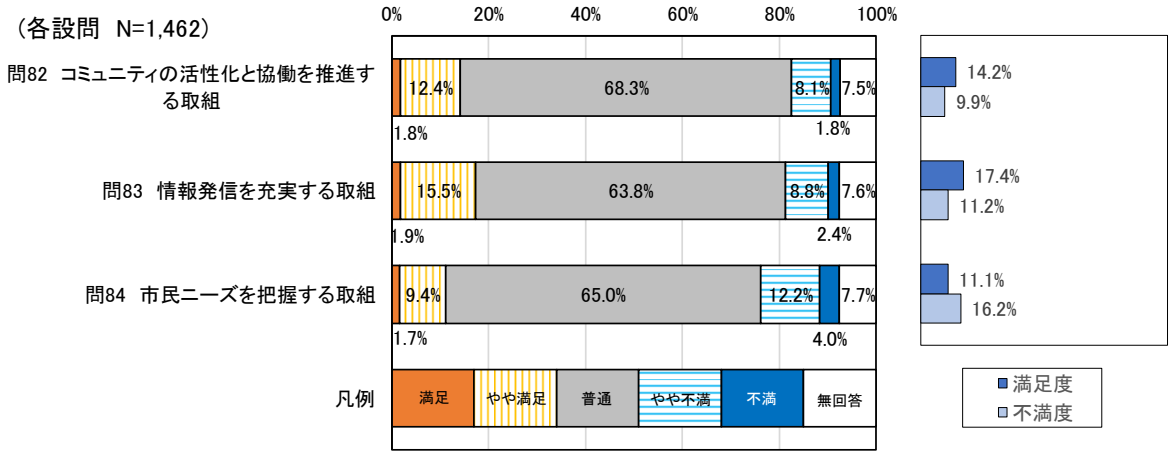
『地域・市民ニーズの把握・情報発信』の施策において、重要度が最も高いのは「市民ニーズを把握する取組」で、次いで「情報発信を充実する取組」が続いている。



②　　満足度

『地域・市民ニーズの把握・情報発信』の施策において、満足度が最も高いのは「情報発信を充実する取組」で、次いで「コミュニティの活性化と協働を推進する取組」が続いている。

不満度が最も高いのは、「市民ニーズを把握する取組」である。



９．『将来を見据えた自治経営』について

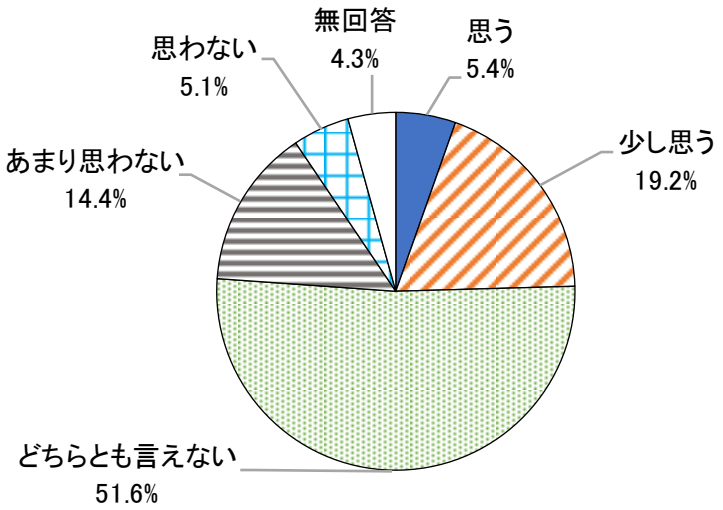
（１）　「自治経営」について

問 85　寝屋川市は、健全な財政運営が行われていると思いますか。

①　　全体

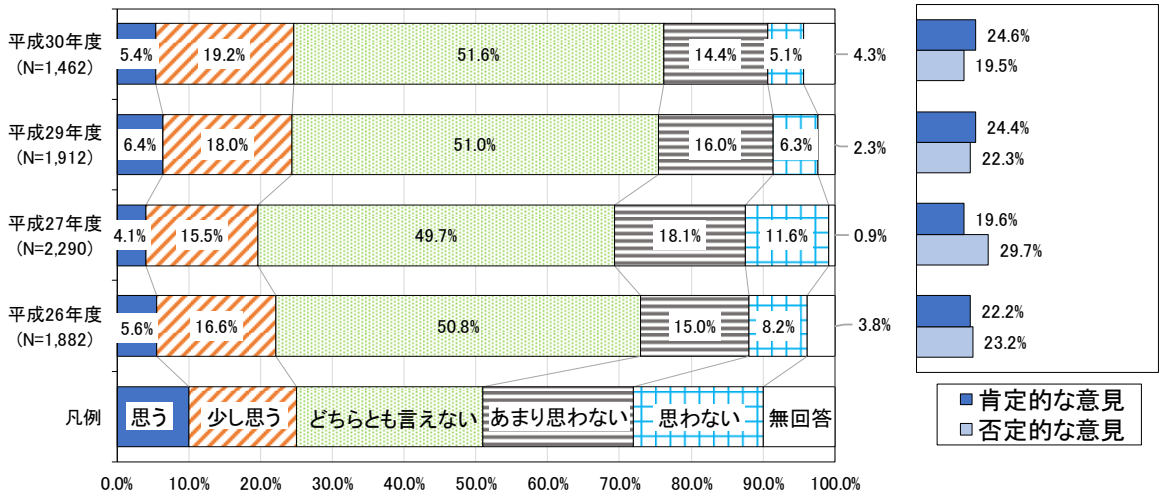
「どちらとも言えない」が 51.6%と最も高く、次いで「少し思う」が 19.2%、「あまり思わない」が 14.4%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 24.6%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 19.5%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



（N=1,462）

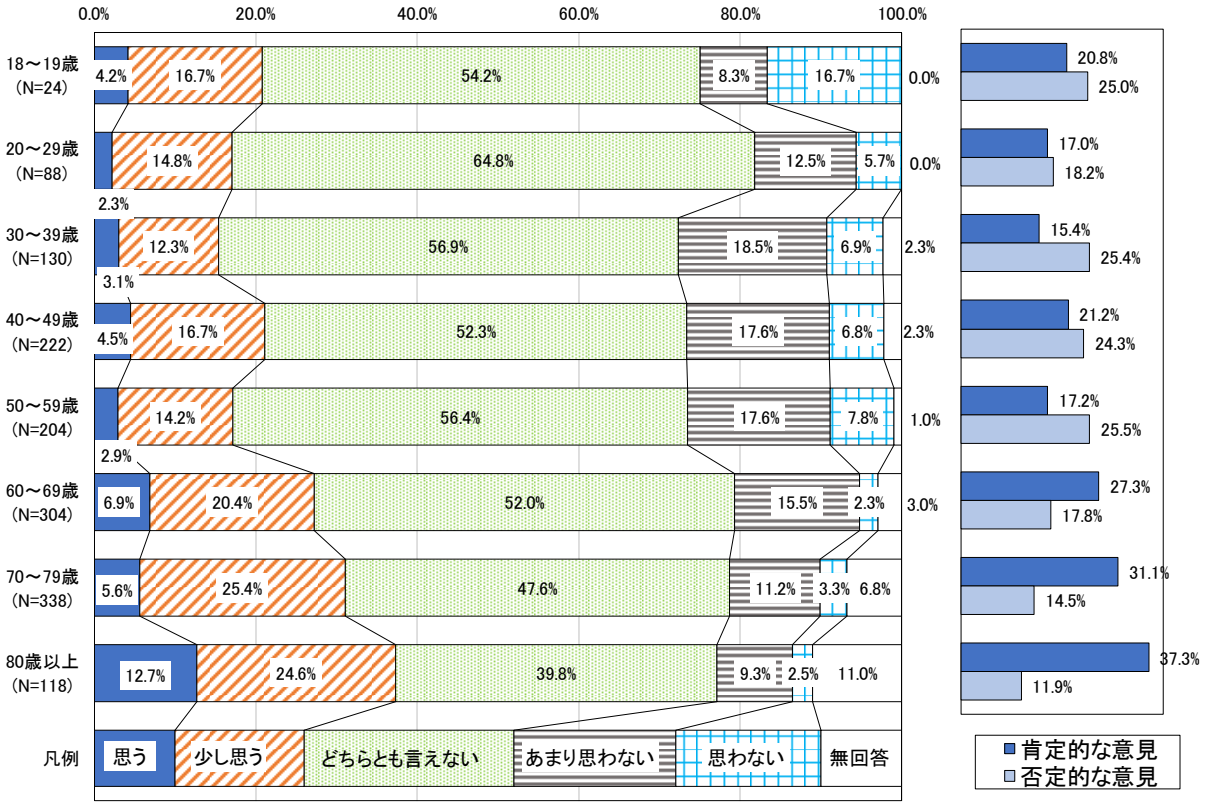
②　　年度別



③　年代別

60 歳代、70 歳代、80 歳以上の年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 70 歳代、60 歳代の順となっている。

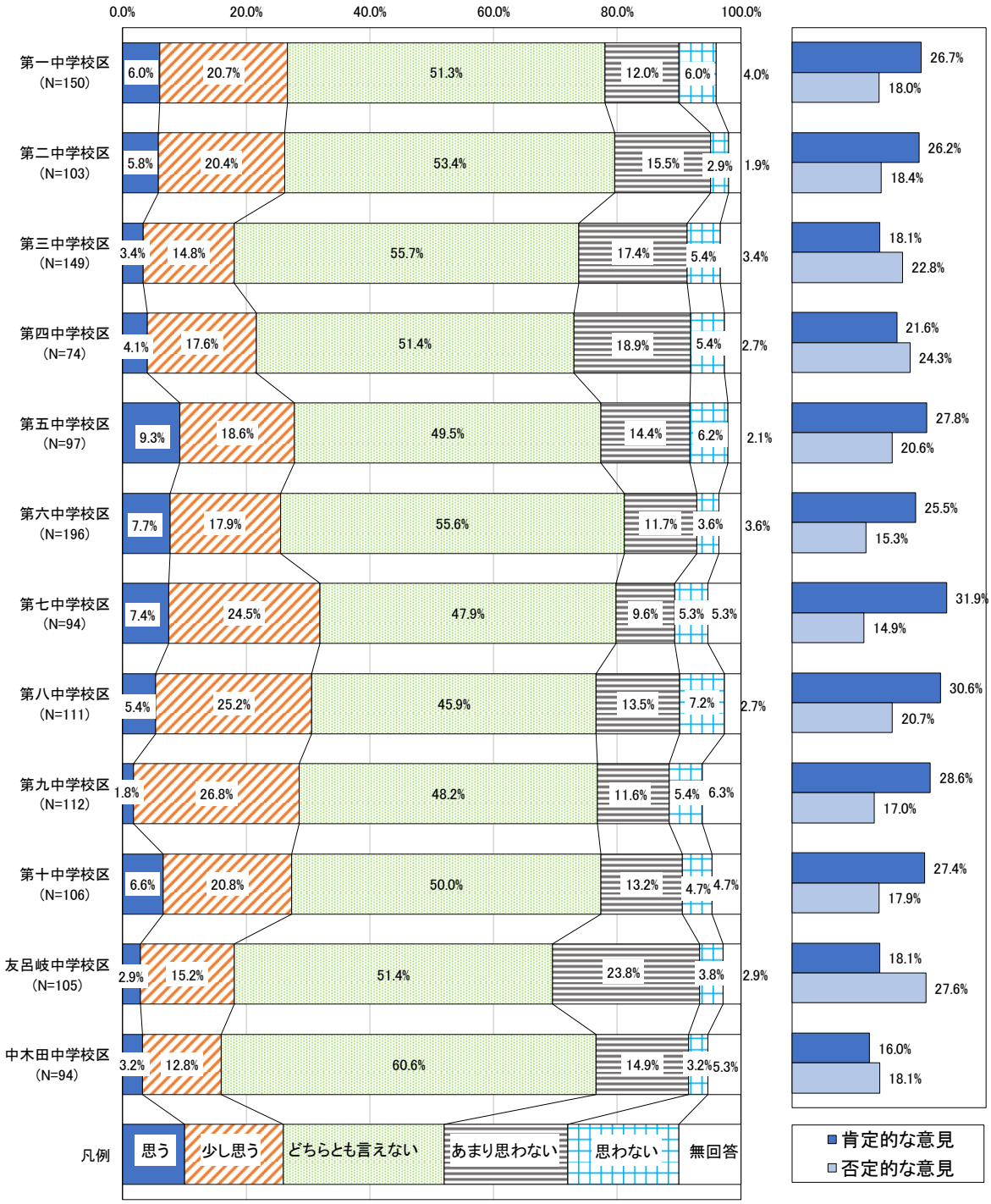
『否定的な意見』の割合は、30 歳代と 50 歳代、10 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

第三、第四、友呂岐、中木田中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで第八、第九中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、友呂岐、第四、第三中学校区の順で高くなっている。

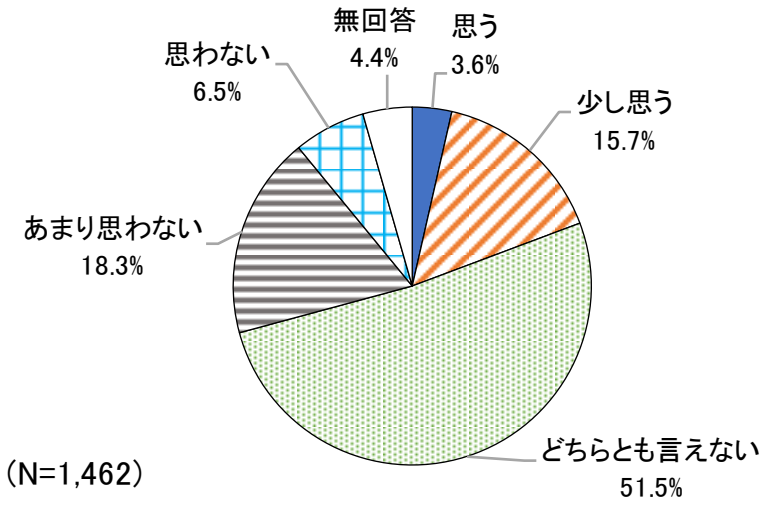


問 86　寝屋川市は、行財政改革が進んでいると思いますか。

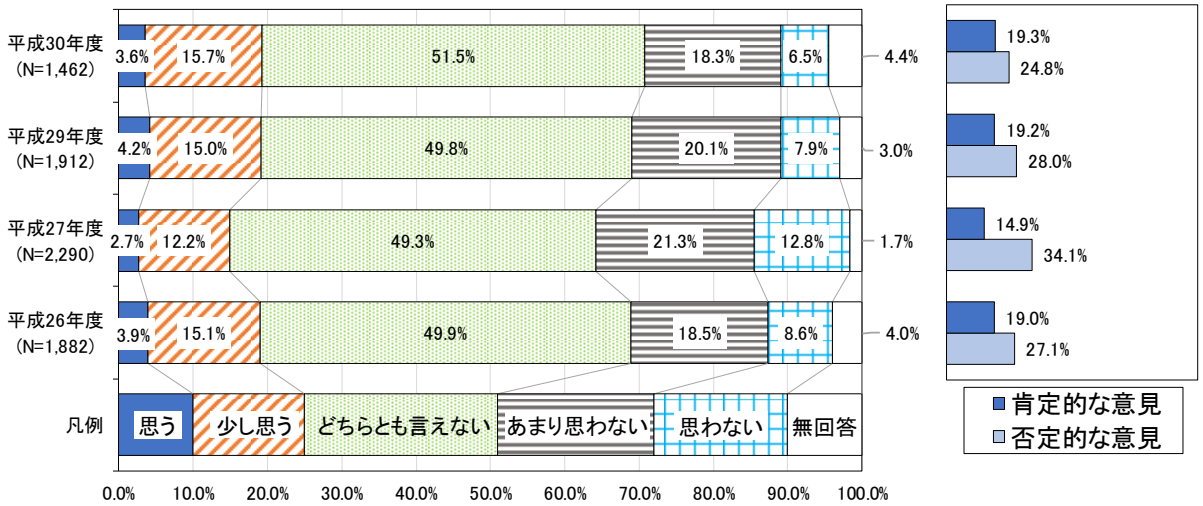
①　全体

「どちらとも言えない」が 51.5%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 18.3%、「少し思う」が 15.7%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 19.3%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 24.8%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



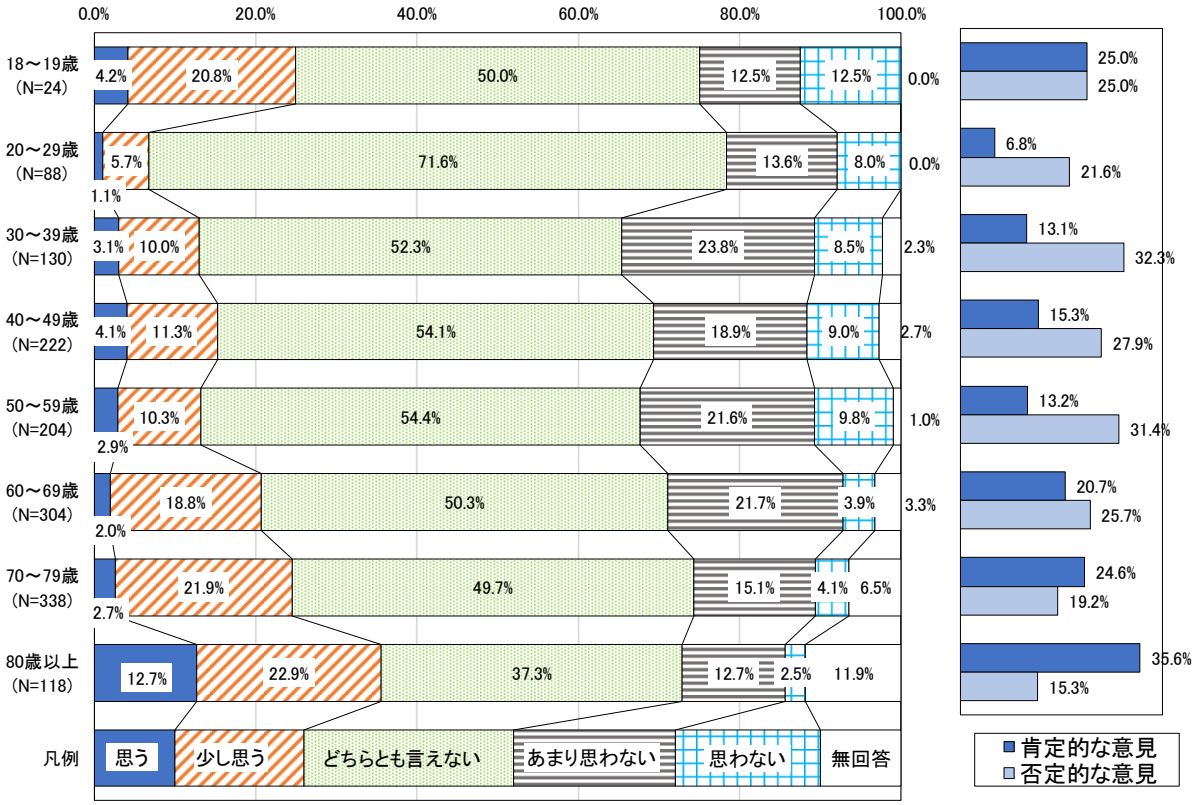
②　年度別



③　年代別

10 歳代、70 歳代、80 歳以上を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 10 歳代、70 歳代の順となっている。

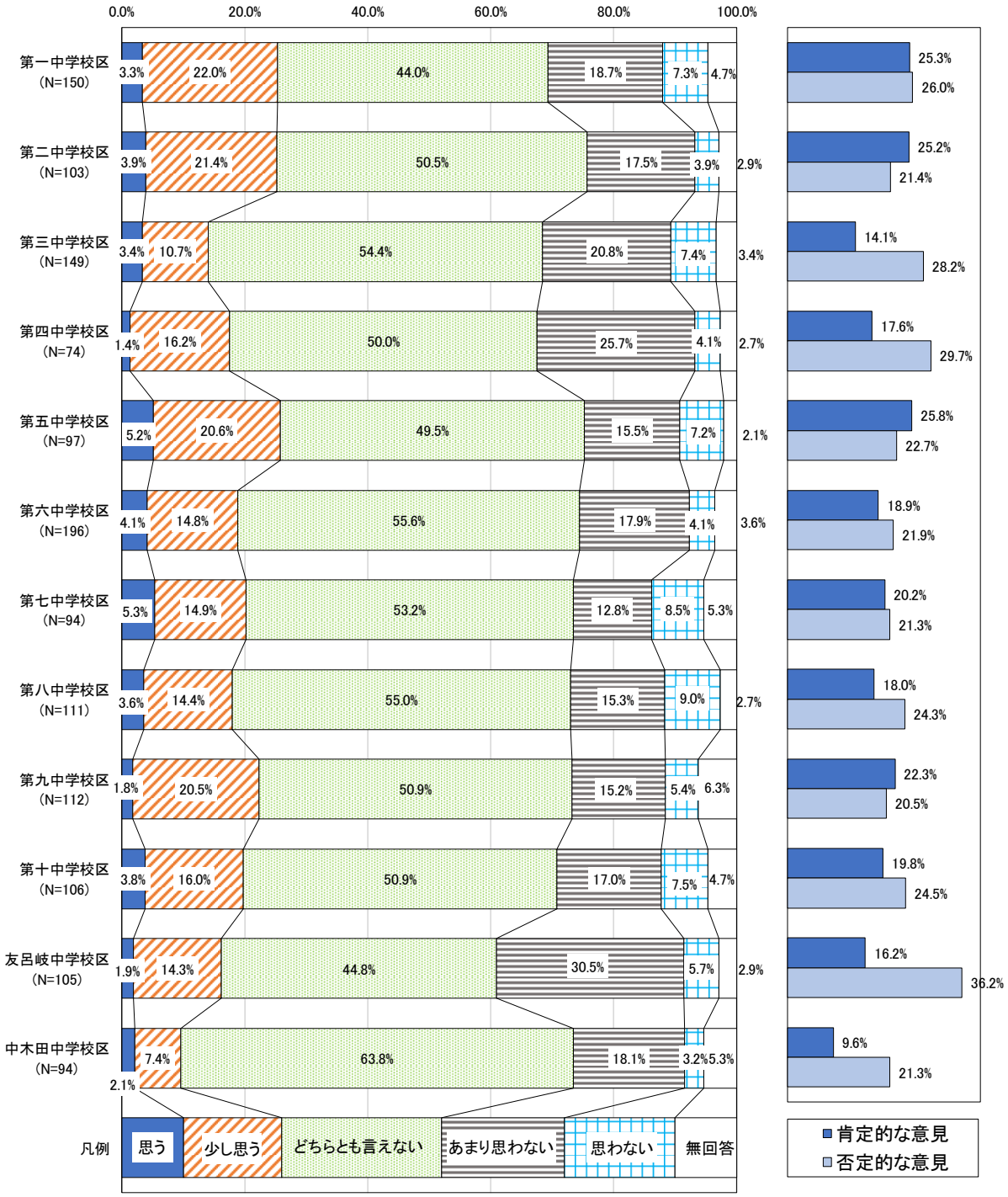
『否定的な意見』の割合は、30 歳代、50 歳代、40 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

第二、第五、第九中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第五中学校区で、次いで第一と第二中学校区となっている。

『否定的な意見』の割合は、友呂岐、第四、第三中学校区の順で高くなっている。

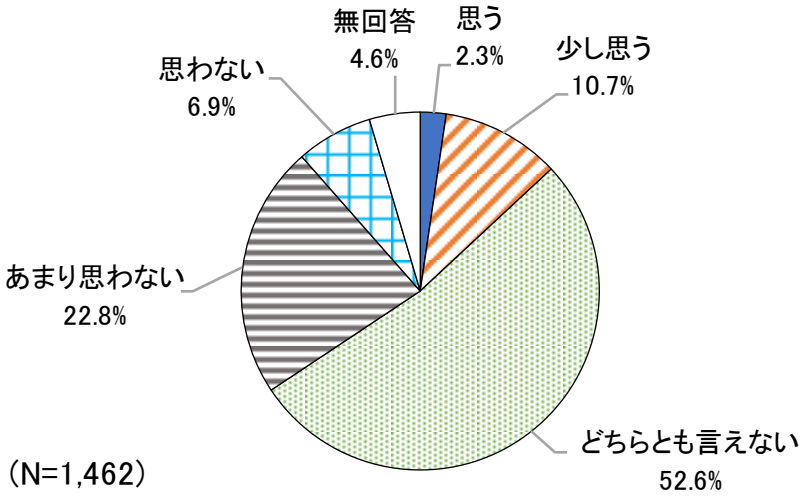


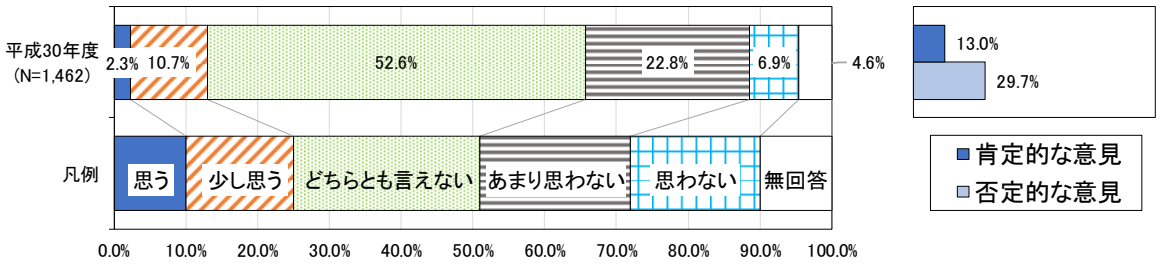
問 87　寝屋川市の ICT（情報通信技術）を活用したまちづくりは進んでいると思いますか。

① 全体

「どちらとも言えない」が 52.6%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 22.8%、「少し思う」が 10.7%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 13.0%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 29.7%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。

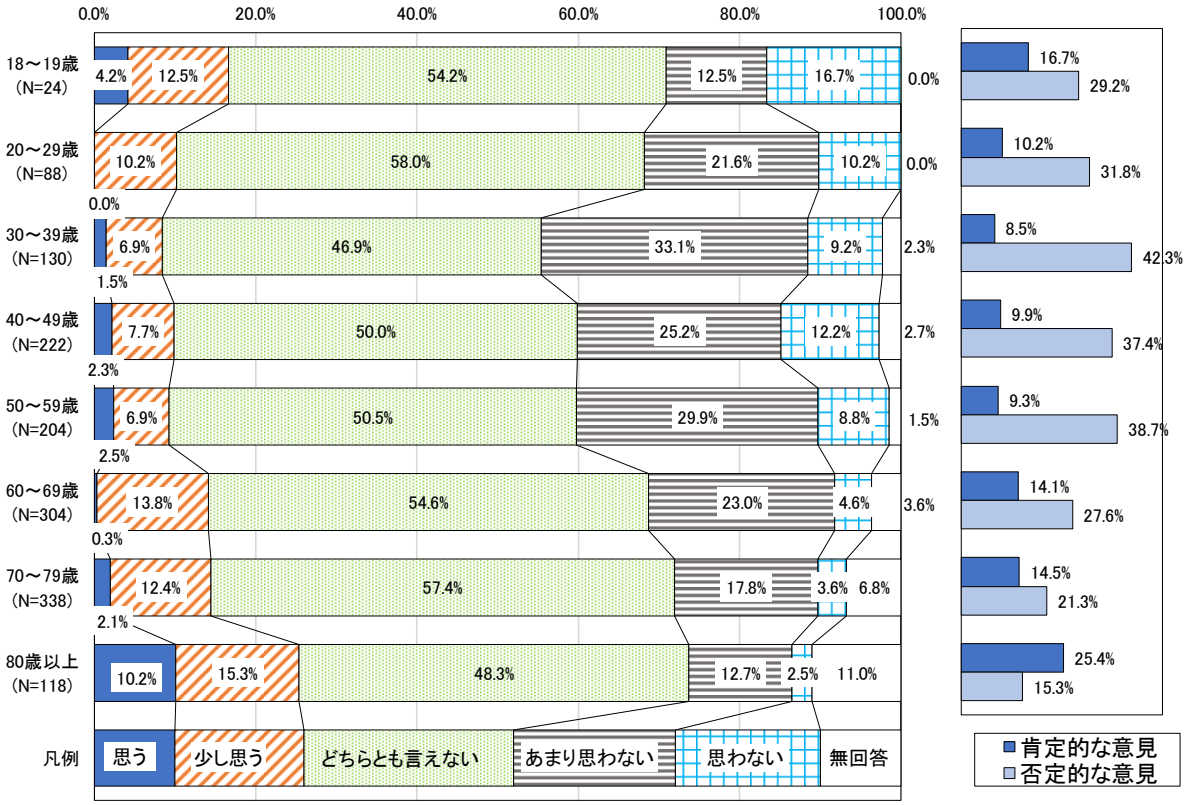




②　年代別

80 歳以上を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 80 歳以上で、次いで 10 歳代、70 歳代の順となっている。

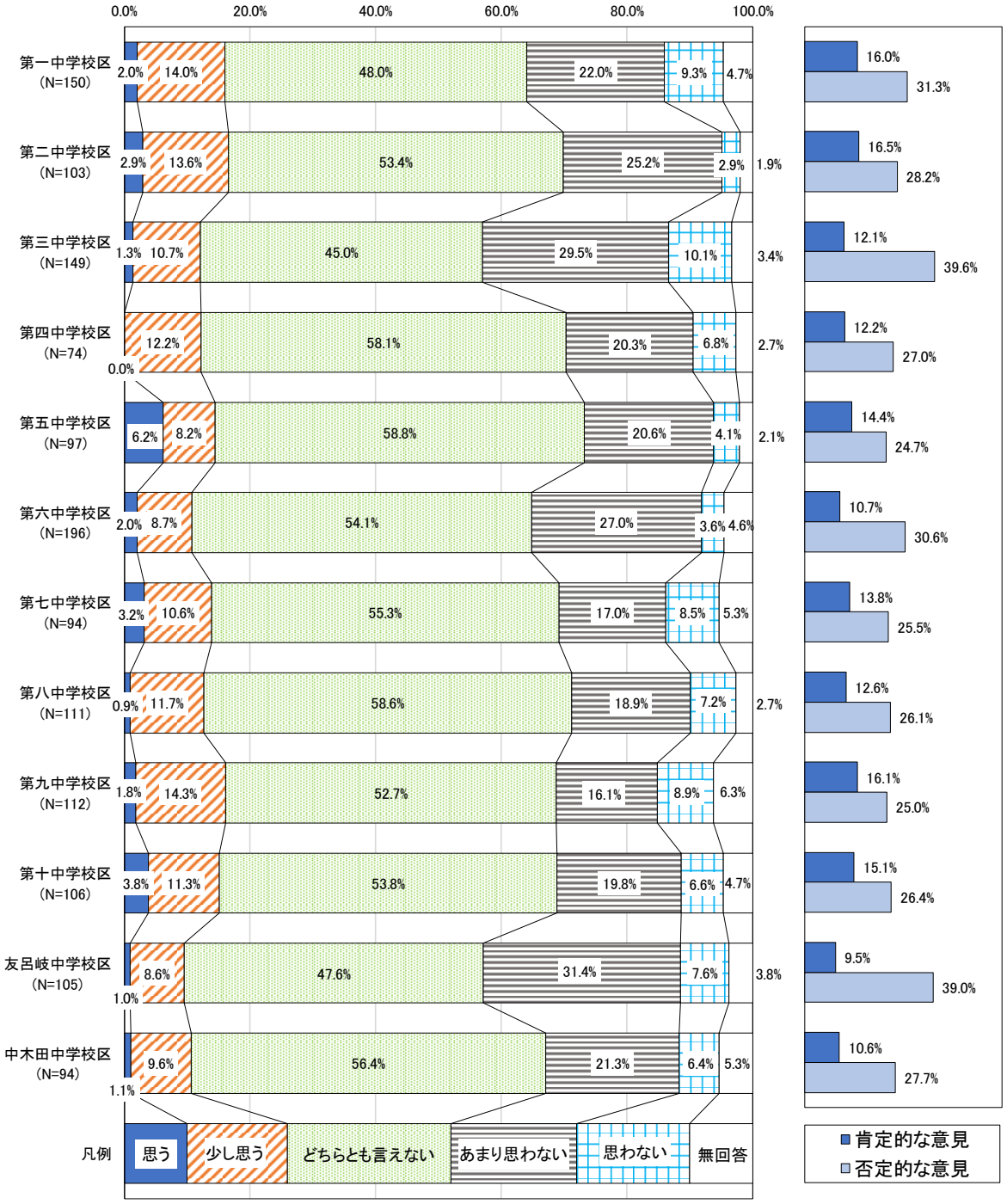
『否定的な意見』の割合は、30 歳代、50 歳代、40 歳代の順で高くなっている。



③　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第二中学校区で、次いで第九、第一中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第三、友呂岐、第六中学校区の順で高くなっている。

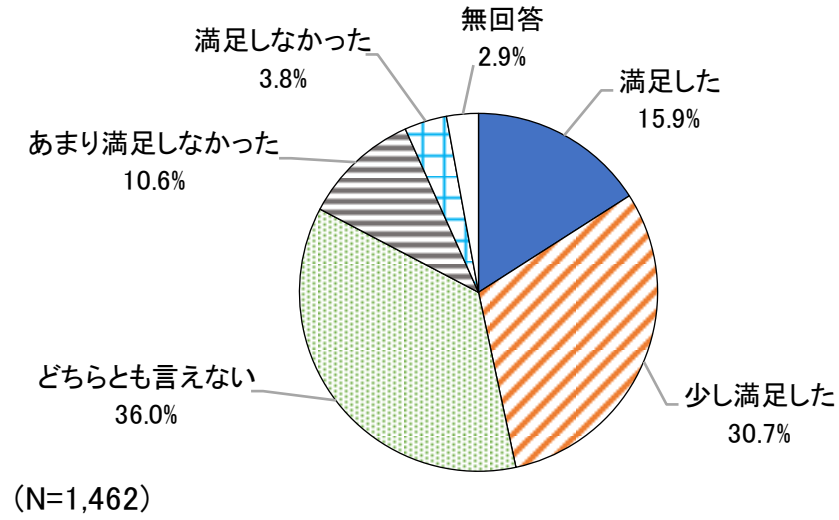


問 88　市役所やシティ・ステーションの窓口対応に満足しましたか。

①　全体

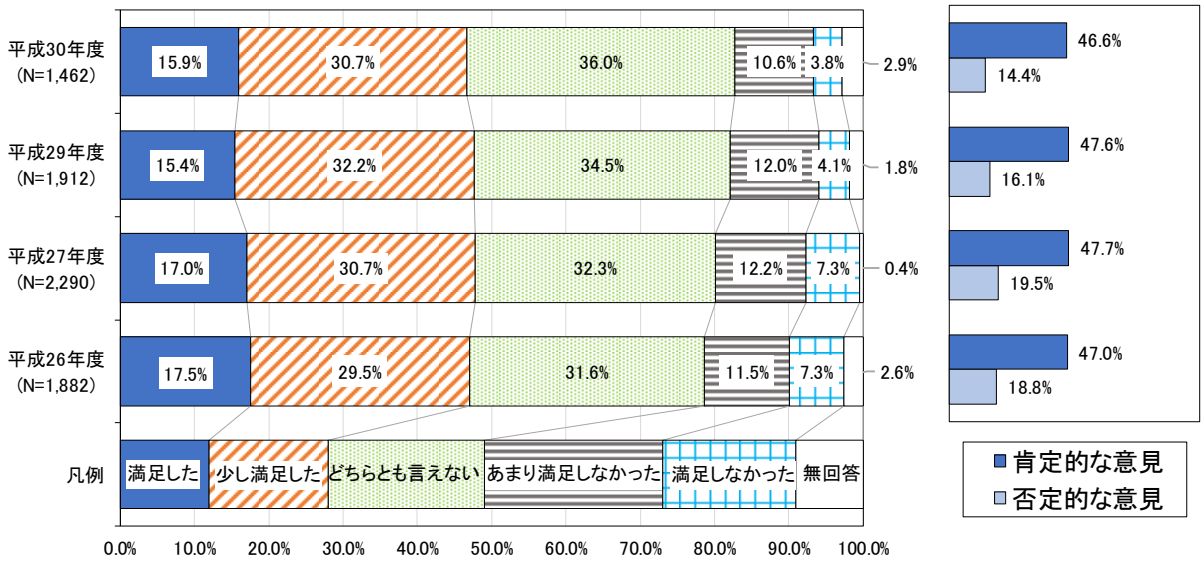
「どちらとも言えない」が 36.0％と最も高く、次いで「少し満足した」が 30.7％、「満足した」が 15.9％の順となっている。

「満足した」と「少し満足した」を合わせた『肯定的な意見』は 46.6％、「あまり満足しなかった」と「満足しなかった」を合わせた『否定的な意見』は 14.4％となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。



（N=1,462）

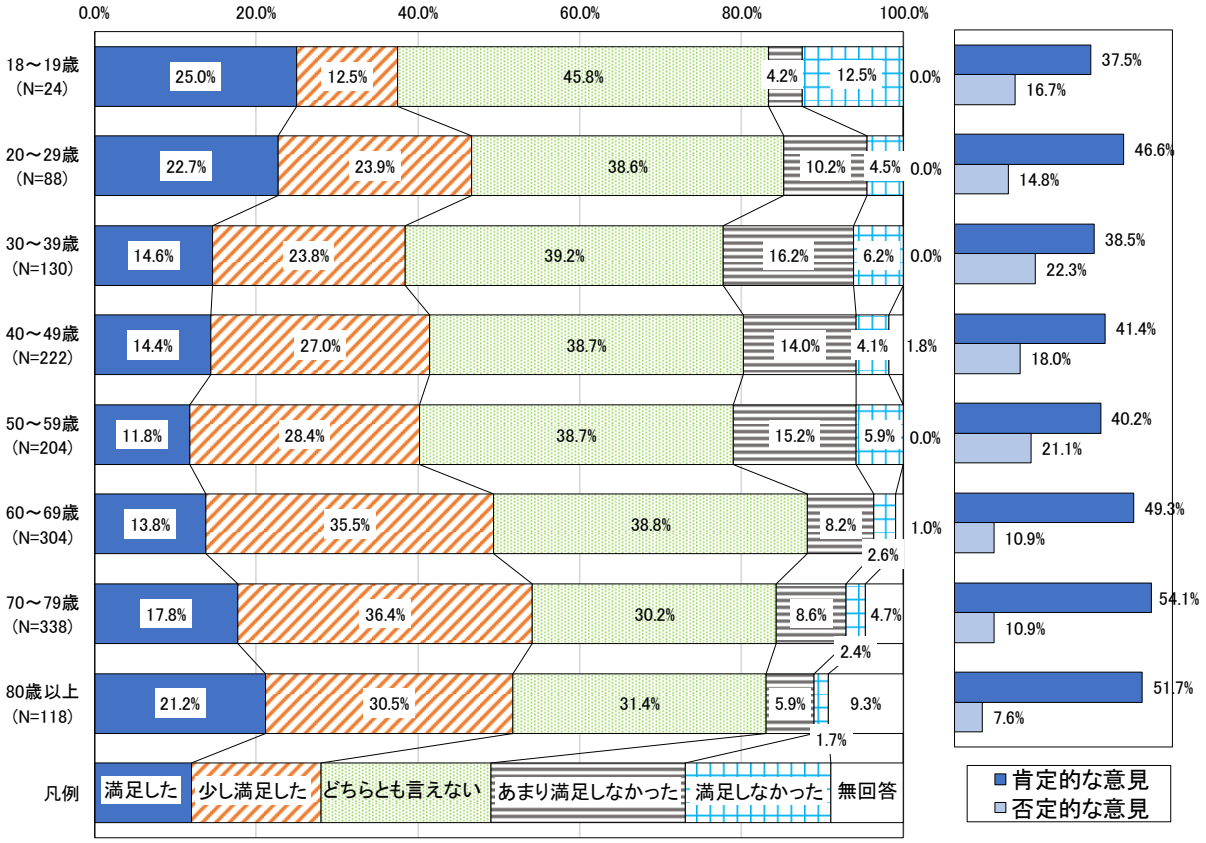
②　年度別



③　年代別

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 70 歳代で、次いで 80 歳以上、60 歳代の順となっている。

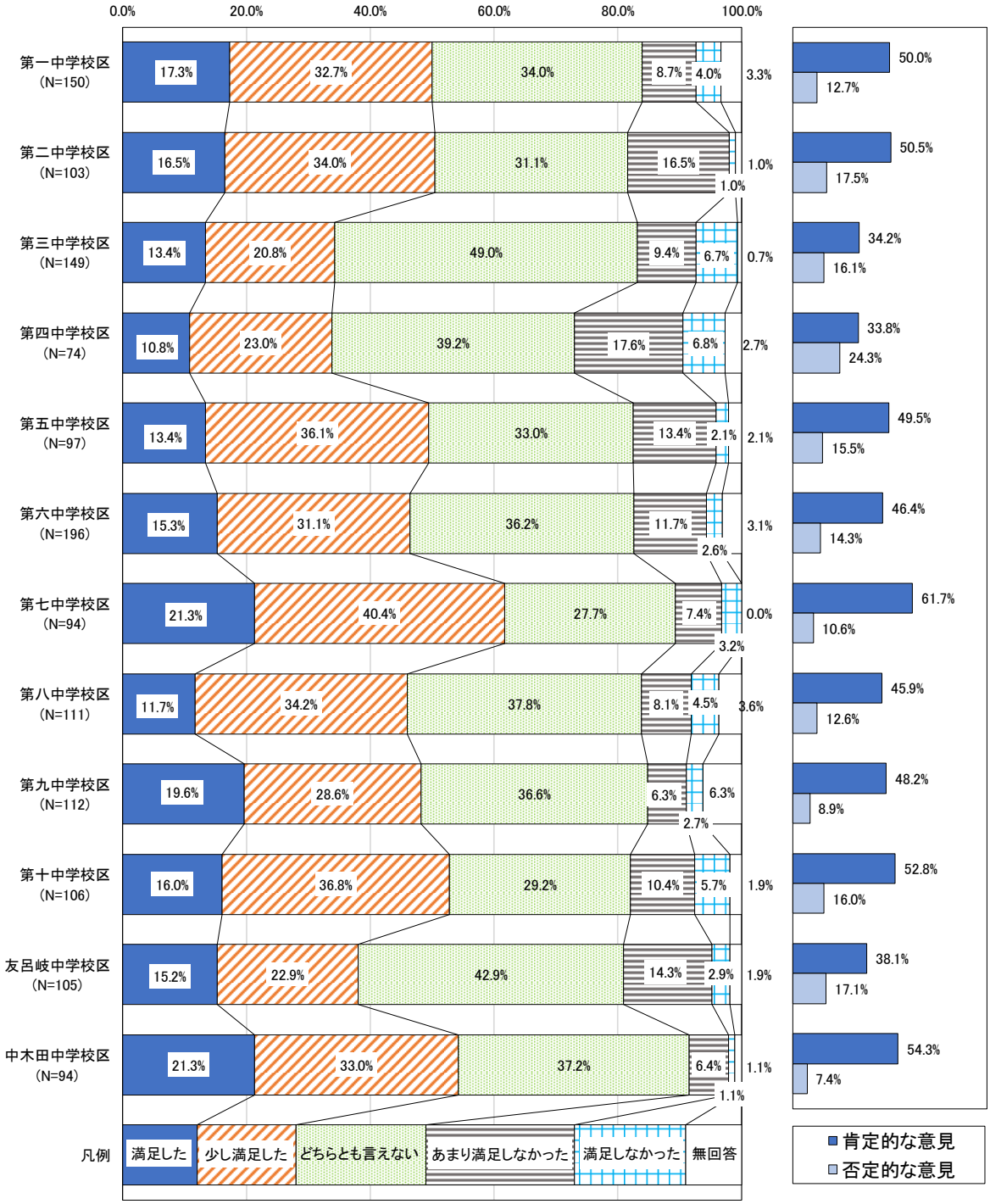
『否定的な意見』の割合は、30 歳代、50 歳代、40 歳代の順で高くなっている。



④　中学校区別

全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで中木田、第十中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第四、第二、友呂岐中学校区の順で高くなっている。

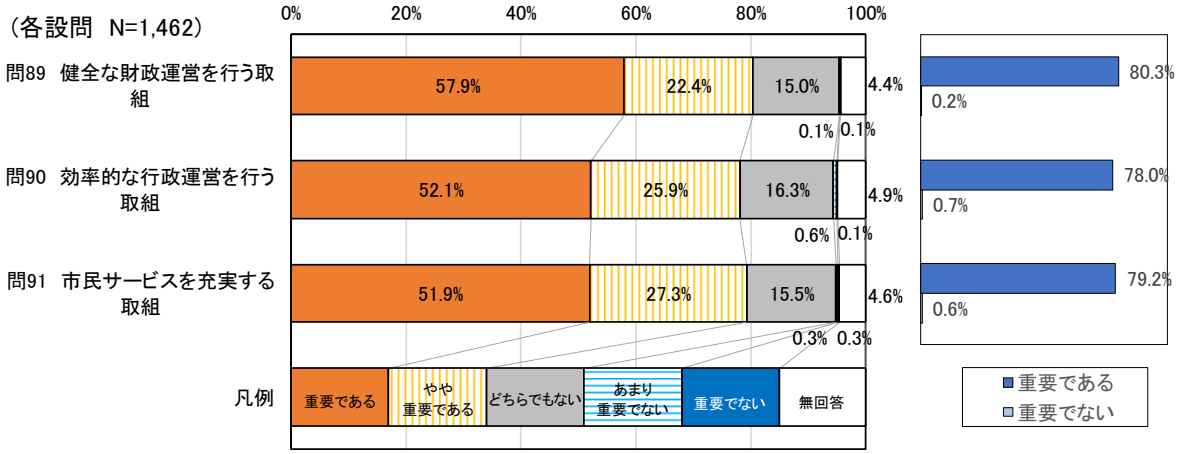


（２）　「自治経営」の施策についての重要度と満足度

問 89～問 91　現在、寝屋川市が取り組んでいる「自治経営」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

①　　重要度

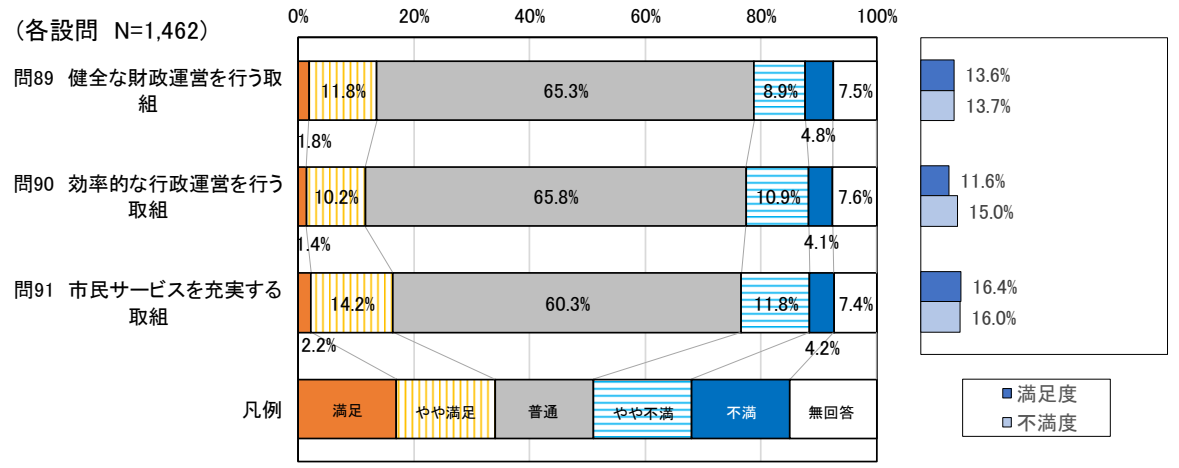
『自治経営』の施策において、重要度が最も高いのは「健全な財政運営を行う取組で」で、次いで「市民サービスを充実する取組」が続いている。



②　　満足度

『自治経営』の施策において、満足度が最も高いのは「市民サービスを充実する取組」で、次いで「健全な財政運営を行う取組」が続いている。

不満度が最も高いのは、「市民サービスを充実する取組」である。



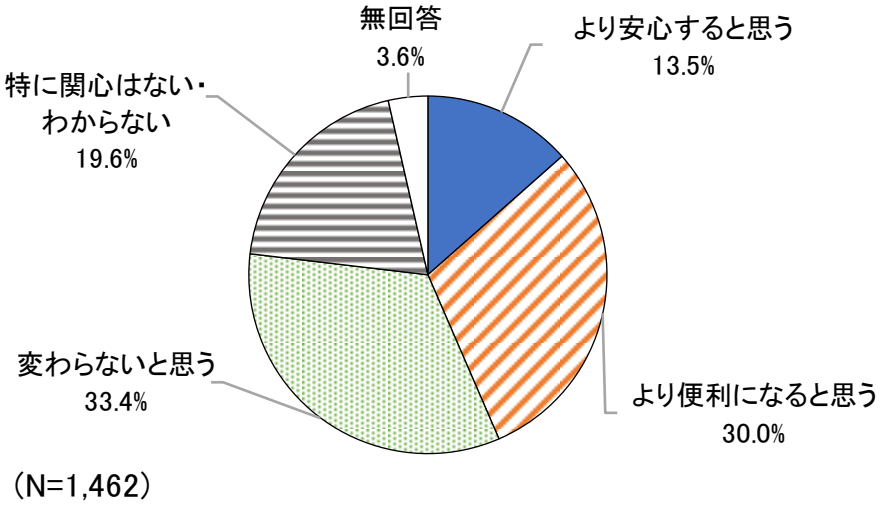
（３）　「中核市への移行に伴う、寝屋川保健所の市への移管」について

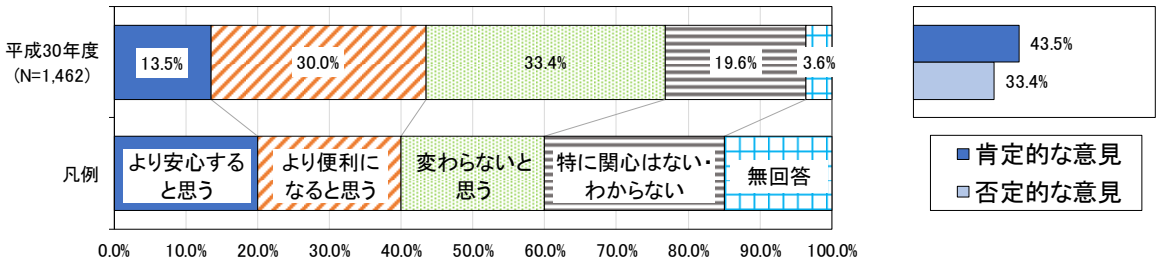
問 92　寝屋川市が保健所を設置運営することになりますが、あなたはこのことをどう思いますか。

①　　全体

「変わらないと思う」が 33.4%と最も高く、次いで「より便利になると思う」が 30.0%、「特に関心はない・わからない」が 19.6%の順となっている。

「より安心すると思う」と「より便利になると思う」を合わせた『肯定的な意見』は 43.5%、「変わらないと思う」の『否定的な意見』は 33.4%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っている。

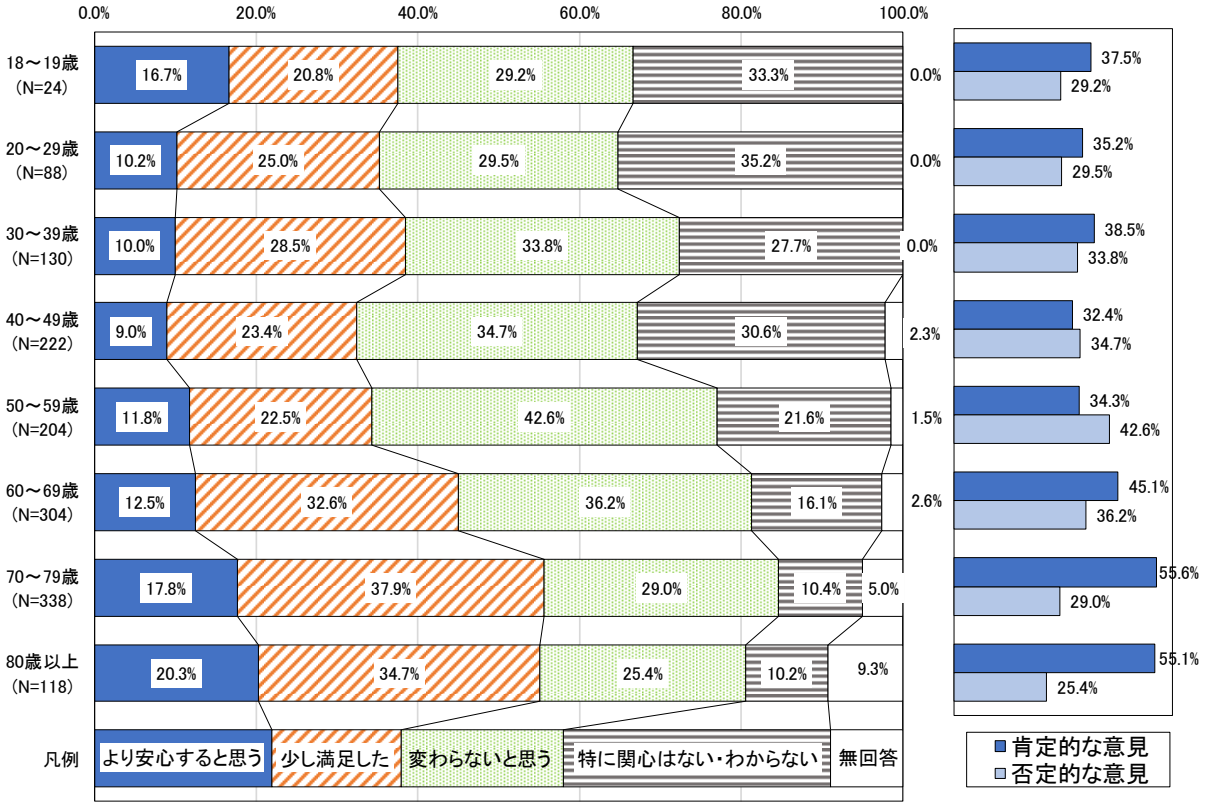




②　年代別

40 歳代、50 歳代を除く年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 70 歳代で、次いで 80 歳以上、60 歳代の順となっている。

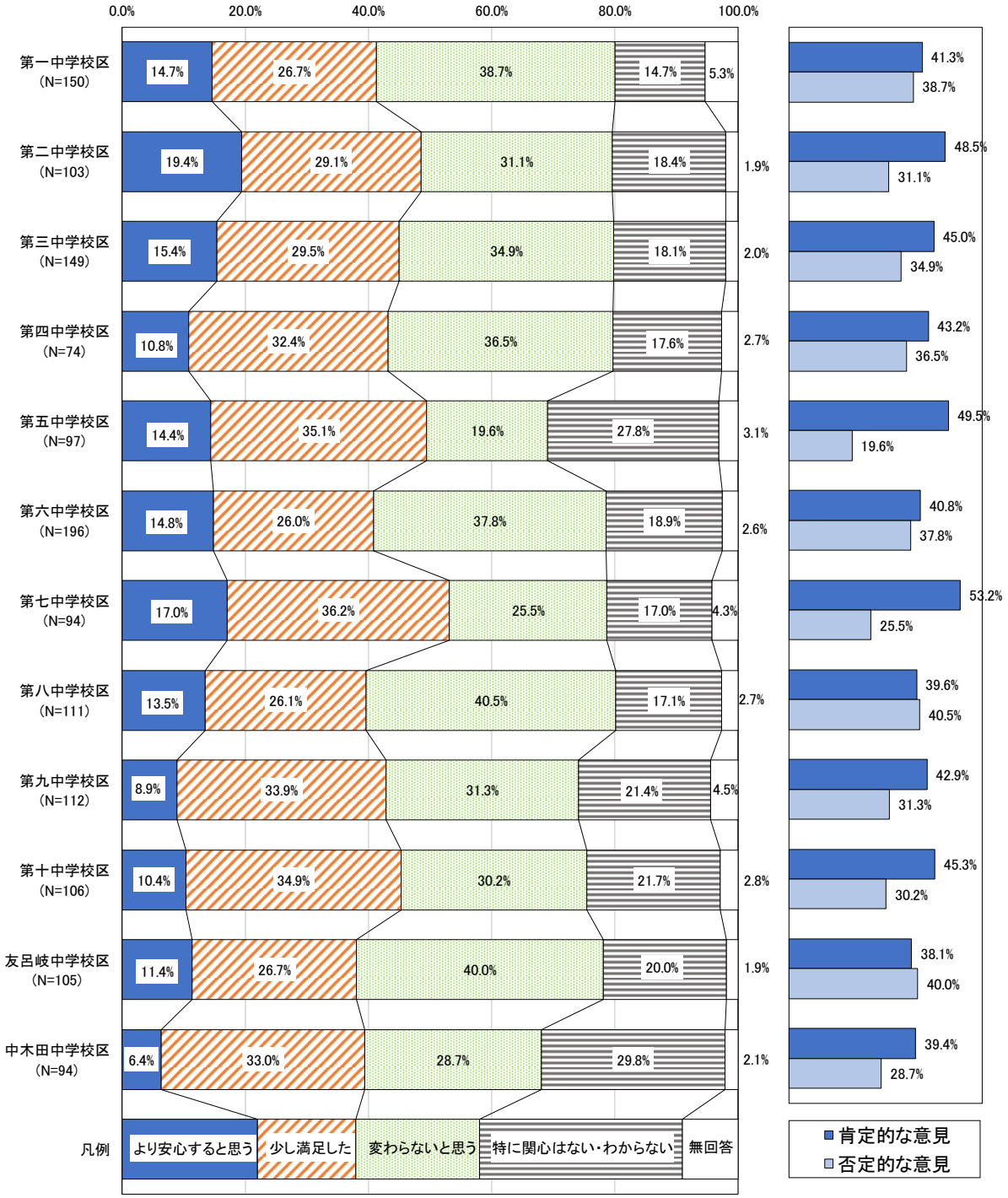
『否定的な意見』の割合は、50 歳代、60 歳代、40 歳代の順で高くなっている。



③　中学校区別

第八、友呂岐中学校区を除く中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を上回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第七中学校区で、次いで第五、第二中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第八、友呂岐、第一中学校区の順で高くなっている。



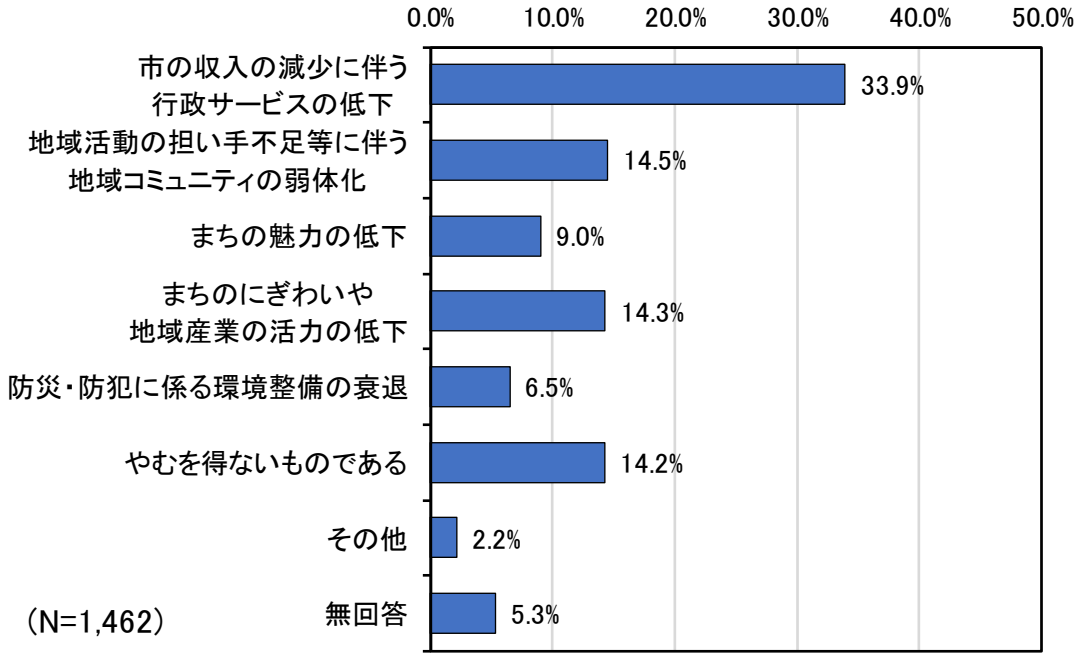
１０．　『人口減少対策』について

（１）　「人口減少対策」について

問 93　今後、日本全体で人口減少が進行していくものと推測されている中で、寝屋川市の人口も減少していくと推測されています。市の人口が減少することに対して、あなたはどのような問題意識をお持ちですか。あてはまる番号に○をしてください。（○は１つ）

①　　全体

「市の収入の減少に伴う行政サービスの低下」が 33.9％と最も高く、次いで「地域活動の担い手不足等に伴う地域コミュニティの弱体化」が 14.5％、「まちのにぎわいや地域産業の活力の低下」が 14.3％の順となっている。



②　年代別

10 歳代を除く年代において「市の収入の減少に伴う行政サービスの低下」が、10 歳代において、「まちのにぎわいや地域産業の活力の低下」が最も高くなっている。

	18～19歳 (N=24)	20～29歳 (N=88)	30～39歳 (N=130)	40～49歳 (N=222)	50～59歳 (N=204)	60～69歳 (N=304)	70～79歳 (N=338)	80歳以上 (N=118)
市の収入の減少に伴う行政サービスの低下	16.7%	29.5%	37.7%	37.4%	39.7%	30.6%	33.7%	27.1%
地域活動の担い手不足等に伴う地域コミュニティの弱体化	0.0%	8.0%	13.1%	14.9%	16.2%	14.5%	16.0%	18.6%
まちの魅力の低下	8.3%	5.7%	13.1%	5.9%	9.8%	10.2%	10.1%	7.6%
まちのにぎわいや地域産業の活力の低下	33.3%	14.8%	13.1%	13.5%	12.7%	17.4%	14.2%	10.2%
防災・防犯に係る環境整備の衰退	12.5%	11.4%	8.5%	7.7%	8.8%	3.9%	4.7%	5.9%
やむを得ないものである	25.0%	27.3%	10.8%	13.5%	9.8%	16.4%	12.7%	13.6%
その他	4.2%	2.3%	3.1%	3.2%	1.5%	2.0%	1.8%	1.7%
無回答	0.0%	1.1%	0.8%	4.1%	1.5%	4.9%	6.8%	15.3%

③　中学校区別

全ての中学校区において「市の収入の減少に伴う行政サービスの低下」の割合が最も高くなっている。

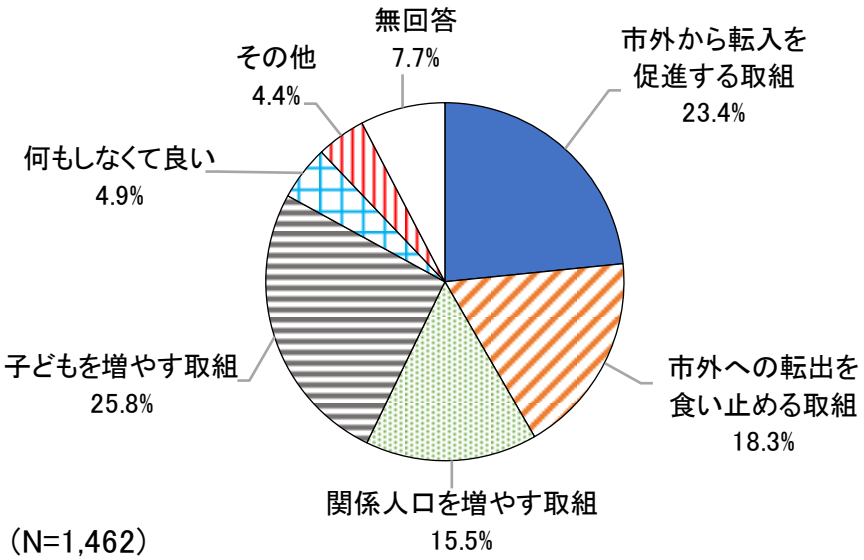
	第一中学校区 (N=150)	第二中学校区 (N=103)	第三中学校区 (N=149)	第四中学校区 (N=74)	第五中学校区 (N=97)	第六中学校区 (N=196)
市の収入の減少に伴う行政サービスの低下	26.7%	32.0%	34.2%	31.1%	33.0%	35.2%
地域活動の担い手不足等に伴う地域コミュニティの弱体化	17.3%	17.5%	16.8%	12.2%	17.5%	10.7%
まちの魅力の低下	10.0%	10.7%	7.4%	14.9%	9.3%	8.7%
まちのにぎわいや地域産業の活力の低下	17.3%	14.6%	15.4%	16.2%	10.3%	13.3%
防災・防犯に係る環境整備の衰退	8.0%	10.7%	6.0%	6.8%	7.2%	6.6%
やむを得ないものである	13.3%	9.7%	13.4%	12.2%	13.4%	18.4%
その他	2.7%	1.0%	4.0%	1.4%	3.1%	3.1%
無回答	4.7%	3.9%	2.7%	5.4%	6.2%	4.1%

	第七中学校区 (N=94)	第八中学校区 (N=111)	第九中学校区 (N=112)	第十中学校区 (N=106)	友呂岐中学校区 (N=105)	中木田中学校区 (N=94)
市の収入の減少に伴う行政サービスの低下	26.6%	35.1%	27.7%	44.3%	37.1%	41.5%
地域活動の担い手不足等に伴う地域コミュニティの弱体化	18.1%	15.3%	17.0%	15.1%	9.5%	13.8%
まちの魅力の低下	6.4%	7.2%	9.8%	9.4%	8.6%	9.6%
まちのにぎわいや地域産業の活力の低下	23.4%	17.1%	10.7%	11.3%	19.0%	5.3%
防災・防犯に係る環境整備の衰退	6.4%	3.6%	8.9%	3.8%	7.6%	3.2%
やむを得ないものである	11.7%	15.3%	17.0%	10.4%	14.3%	17.0%
その他	3.2%	1.8%	0.9%	0.9%	1.0%	1.1%
無回答	4.3%	4.5%	8.0%	4.7%	2.9%	8.5%

問 94　人口減少に歯止めをかけるために、今後、どのような取組が重要であると思いますか。（○は１つ）

①　　全体

「子どもを増やす取組」が 25.8%と最も高く、次いで「市外から転入を促進する取組」が 23.4%、「市外への転出を食い止める取組」が 18.3%の順となっている。



②　年代別

10 歳代、20 歳代、30 歳代、60 歳代、70 歳代において「子どもを増やす取組」が、40 歳代、50 歳代において「市外から転入を促進する取組」が最も高くなっている。

	18～19歳 (N=24)	20～29歳 (N=88)	30～39歳 (N=130)	40～49歳 (N=222)	50～59歳 (N=204)	60～69歳 (N=304)	70～79歳 (N=338)	80歳以上 (N=118)
市外から転入を促進する取組	8.3%	21.6%	19.2%	33.8%	32.4%	19.7%	18.9%	22.0%
市外への転出を食い止める取組	12.5%	17.0%	18.5%	12.2%	16.2%	21.4%	20.7%	19.5%
関係人口を増やす取組	8.3%	15.9%	15.4%	13.1%	16.2%	19.1%	15.4%	12.7%
子どもを増やす取組	58.3%	29.5%	32.3%	25.7%	23.5%	26.0%	24.6%	16.9%
何もしなくて良い	8.3%	9.1%	6.2%	5.9%	5.9%	4.3%	3.8%	2.5%
その他	4.2%	5.7%	7.7%	5.9%	2.9%	3.6%	4.4%	3.4%
無回答	0.0%	1.1%	0.8%	3.6%	2.9%	5.9%	12.1%	22.9%

③　中学校区別

第一、第九、第十、友呂岐中学校区を除く中学校区において「子どもを増やす取組」が最も高くなっている。

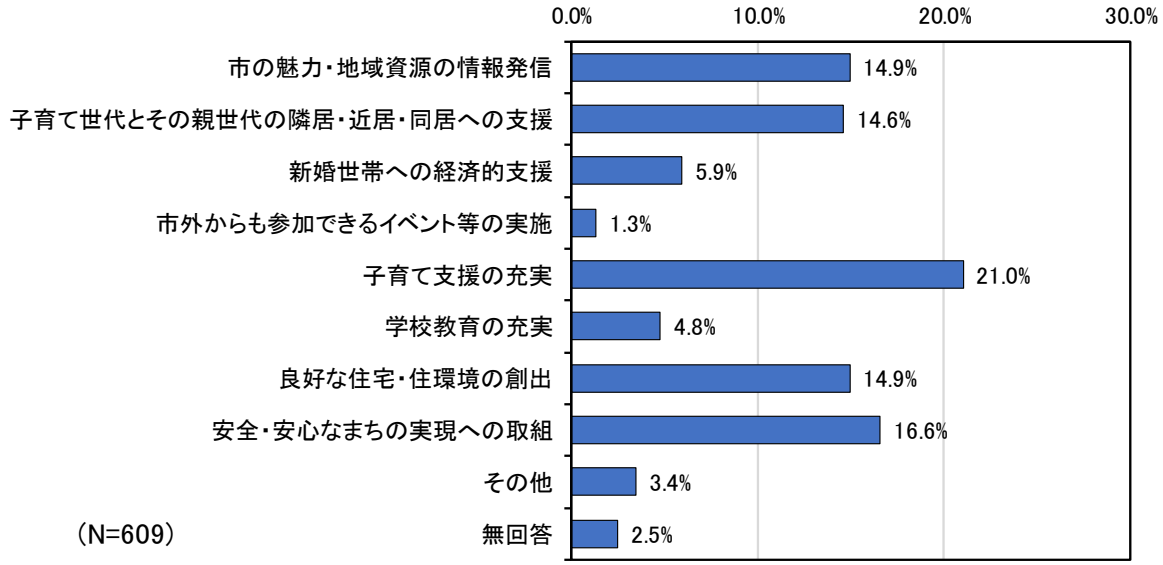
	第一中学校区 (N=150)	第二中学校区 (N=103)	第三中学校区 (N=149)	第四中学校区 (N=74)	第五中学校区 (N=97)	第六中学校区 (N=196)
市外から転入を促進する取組	27.3%	20.4%	26.8%	24.3%	23.7%	23.0%
市外への転出を食い止める取組	17.3%	18.4%	12.1%	16.2%	17.5%	16.3%
関係人口を増やす取組	15.3%	18.4%	18.1%	20.3%	15.5%	15.3%
子どもを増やす取組	20.0%	27.2%	28.9%	25.7%	28.9%	27.0%
何もしなくて良い	6.7%	6.8%	3.4%	2.7%	3.1%	8.2%
その他	7.3%	2.9%	6.7%	1.4%	3.1%	3.6%
無回答	6.0%	5.8%	4.0%	9.5%	8.2%	6.6%

	第七中学校区 (N=94)	第八中学校区 (N=111)	第九中学校区 (N=112)	第十中学校区 (N=106)	友呂岐中学校区 (N=105)	中木田中学校区 (N=94)
市外から転入を促進する取組	19.1%	18.9%	20.5%	32.1%	23.8%	23.4%
市外への転出を食い止める取組	20.2%	19.8%	22.3%	21.7%	23.8%	18.1%
関係人口を増やす取組	18.1%	16.2%	16.1%	8.5%	14.3%	12.8%
子どもを増やす取組	26.6%	29.7%	21.4%	21.7%	21.0%	31.9%
何もしなくて良い	3.2%	3.6%	2.7%	6.6%	5.7%	4.3%
その他	7.4%	4.5%	4.5%	2.8%	5.7%	1.1%
無回答	5.3%	7.2%	12.5%	6.6%	5.7%	8.5%

問 95　問 94 で「1. 市外から転入を促進する取組」「2.　市外への転出を食い止める取組」と答えた方にお聞きします。具体的にどのような取組が重要であると思いますか。（○は１つ）

①　全体

「子育て支援の充実」が 21.0%と最も高く、次いで「安全・安心なまちの実現への取組」が 16.6%、「市の魅力・地域資源の情報発信」と「良好な住宅・住環境の創出」が 14.6%の順となっている。



②　年代別

20 歳代、30 歳代、40 歳代において「子育て支援の充実」が、50 歳代、60 歳代において「良好な住宅・住環境の創出」が最も高くなっている。

	18～19歳 (N=5)	20～29歳 (N=34)	30～39歳 (N=49)	40～49歳 (N=102)	50～59歳 (N=99)	60～69歳 (N=125)	70～79歳 (N=134)	80歳以上 (N=49)
市の魅力・地域資源の情報発信	20.0%	5.9%	12.2%	13.7%	10.1%	13.6%	17.9%	28.6%
子育て世代とその親世代の隣居・近居・同居への支援	20.0%	8.8%	14.3%	10.8%	15.2%	16.0%	16.4%	20.4%
新婚世帯への経済的支援	0.0%	11.8%	4.1%	4.9%	5.1%	4.8%	8.2%	6.1%
市外からも参加できるイベント等の実施	0.0%	5.9%	0.0%	1.0%	1.0%	0.8%	2.2%	0.0%
子育て支援の充実	20.0%	35.3%	36.7%	24.5%	16.2%	16.8%	19.4%	16.3%
学校教育の充実	20.0%	5.9%	6.1%	6.9%	7.1%	4.0%	3.0%	0.0%
良好な住宅・住環境の創出	0.0%	14.7%	12.2%	11.8%	23.2%	20.8%	9.0%	14.3%
安全・安心なまちの実現への取組	0.0%	8.8%	10.2%	15.7%	19.2%	18.4%	19.4%	10.2%
その他	20.0%	2.9%	4.1%	9.8%	2.0%	1.6%	2.2%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%	3.2%	2.2%	4.1%

③　中学校区別

第五、第六、第七、第十、友呂岐中学校区において「子育て支援の充実」が、第一、第三中学校区において「市の魅力・地域資源の情報発信」が最も高くなっている。

	第一中学校区 (N=67)	第二中学校区 (N=40)	第三中学校区 (N=58)	第四中学校区 (N=30)	第五中学校区 (N=40)	第六中学校区 (N=77)
市の魅力・地域資源の情報発信	22.4%	17.5%	24.1%	6.7%	15.0%	15.6%
子育て世代とその親世代の隣居・近居・同居への支援	14.9%	12.5%	15.5%	20.0%	20.0%	14.3%
新婚世帯への経済的支援	7.5%	0.0%	3.4%	10.0%	0.0%	2.6%
市外からも参加できるイベント等の実施	1.5%	5.0%	3.4%	3.3%	0.0%	0.0%
子育て支援の充実	20.9%	20.0%	15.5%	20.0%	27.5%	27.3%
学校教育の充実	4.5%	5.0%	1.7%	10.0%	5.0%	6.5%
良好な住宅・住環境の創出	10.4%	10.0%	17.2%	16.7%	10.0%	19.5%
安全・安心なまちの実現への取組	11.9%	22.5%	13.8%	10.0%	7.5%	10.4%
その他	4.5%	2.5%	3.4%	3.3%	10.0%	2.6%
無回答	1.5%	5.0%	1.7%	0.0%	5.0%	1.3%

	第七中学校区 (N=37)	第八中学校区 (N=43)	第九中学校区 (N=48)	第十中学校区 (N=57)	友呂岐中学校区 (N=50)	中木田中学校区 (N=39)
市の魅力・地域資源の情報発信	13.5%	14.0%	10.4%	7.0%	18.0%	2.6%
子育て世代とその親世代の隣居・近居・同居への支援	16.2%	14.0%	18.8%	17.5%	8.0%	10.3%
新婚世帯への経済的支援	2.7%	9.3%	8.3%	10.5%	6.0%	10.3%
市外からも参加できるイベント等の実施	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	2.0%	0.0%
子育て支援の充実	35.1%	14.0%	12.5%	24.6%	24.0%	17.9%
学校教育の充実	5.4%	2.3%	0.0%	7.0%	4.0%	10.3%
良好な住宅・住環境の創出	5.4%	20.9%	22.9%	17.5%	12.0%	10.3%
安全・安心なまちの実現への取組	18.9%	18.6%	25.0%	14.0%	22.0%	28.2%
その他	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%	4.0%	7.7%
無回答	2.7%	2.3%	0.0%	1.8%	0.0%	2.6%

１１．　『シティプロモーション』について

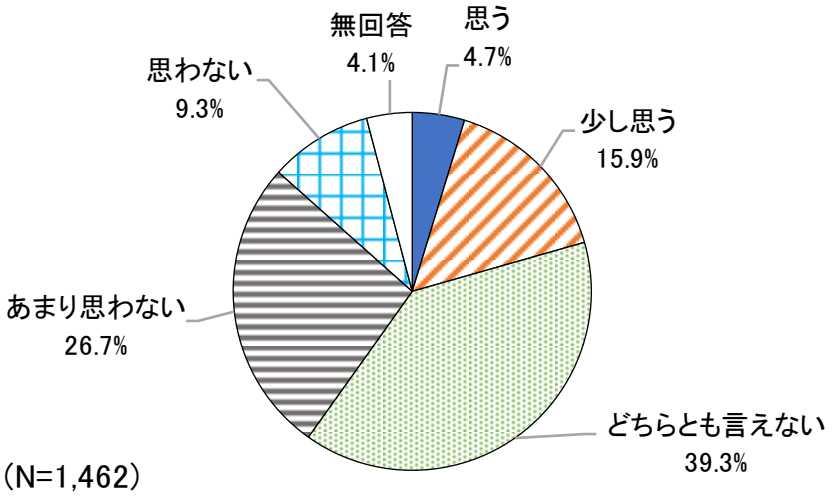
（１）　「シティプロモーション」について

問 96　あなたは、寝屋川市に住むことや来訪することを友人、知人に勧めたいと思いますか。

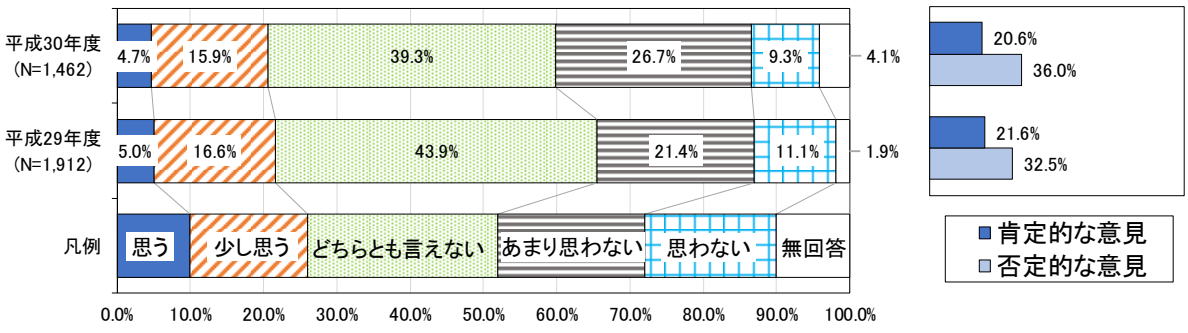
①　　全体

「どちらとも言えない」が 39.3%と最も高く、次いで「あまり思わない」が 26.7%、「少し思う」が 15.9%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせた『肯定的な意見』は 20.6%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『否定的な意見』は 36.0%となっており、『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っている。



②　　年度別

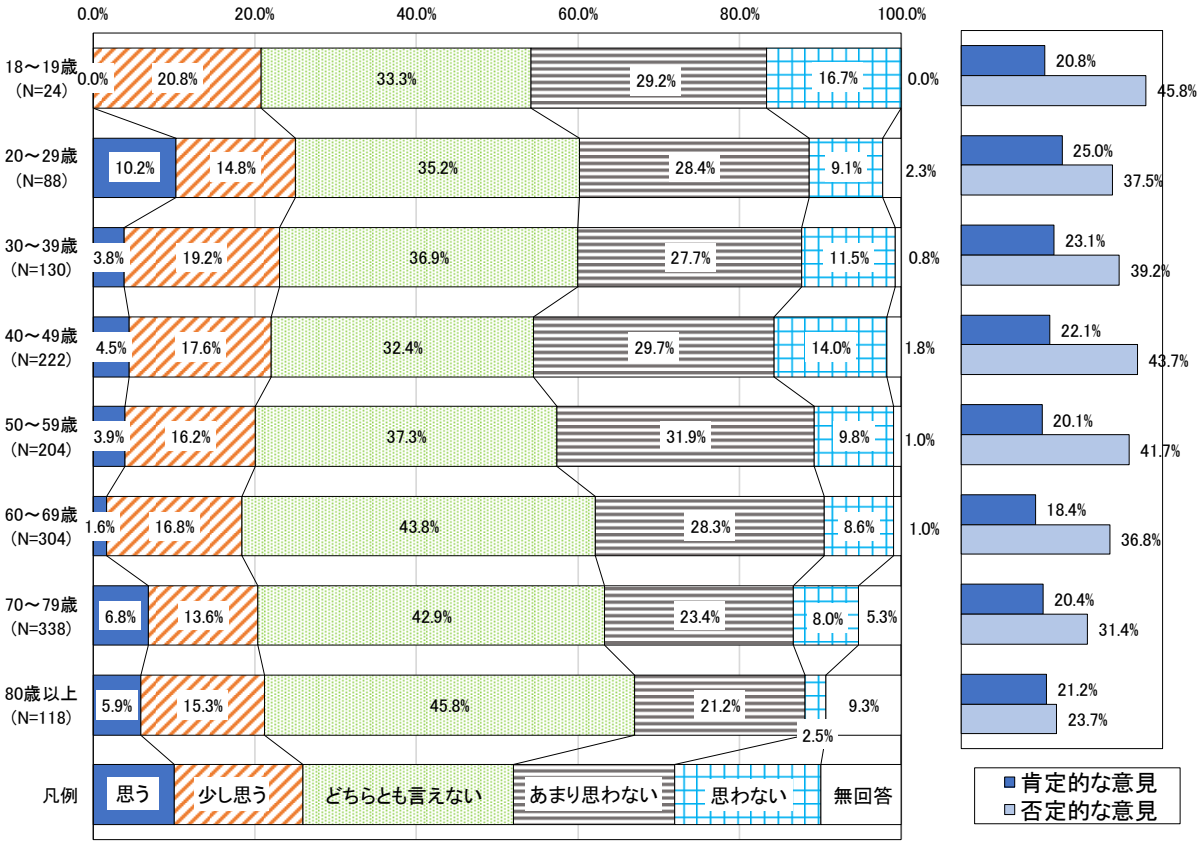


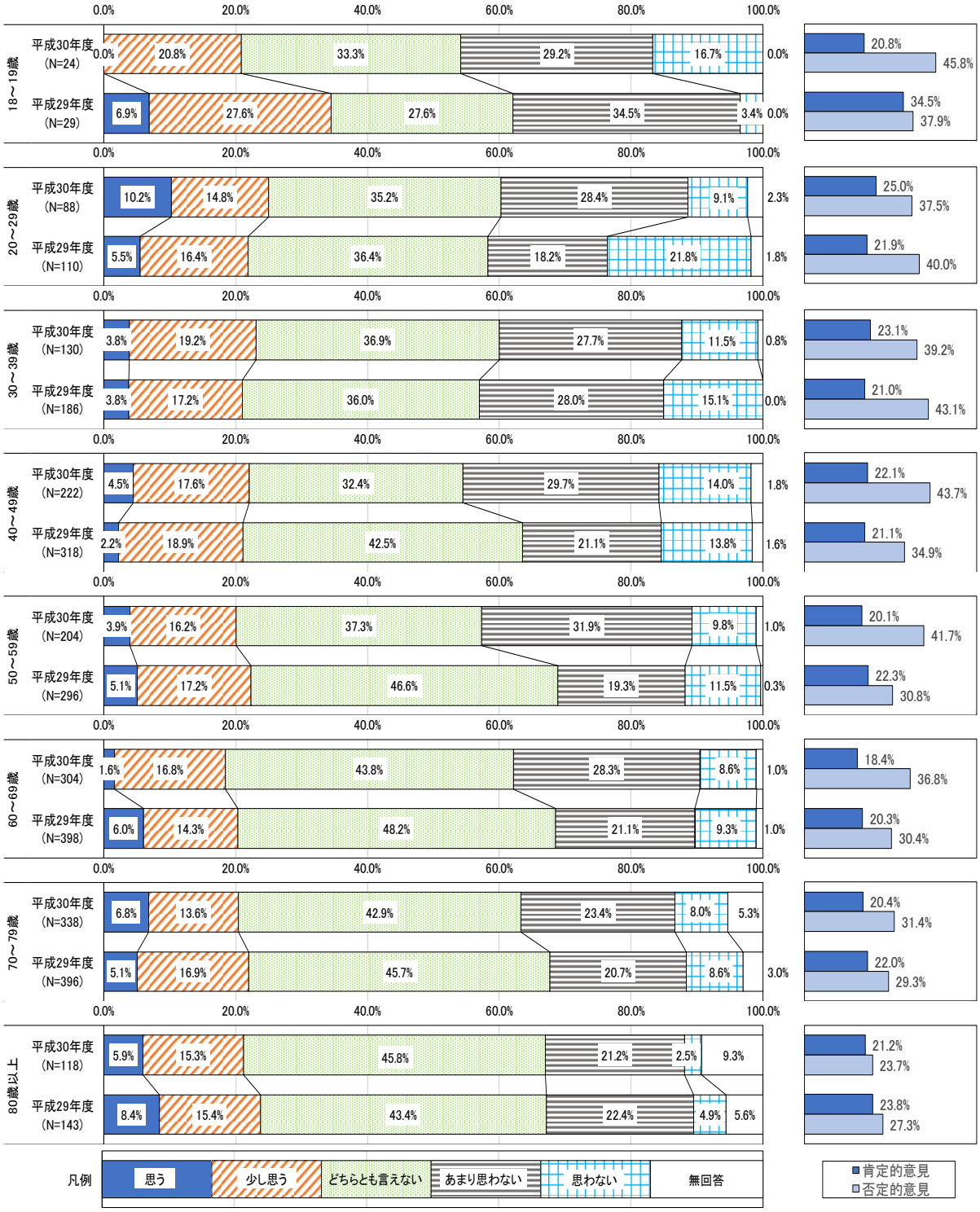
③　年代別

全ての年代において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは 20 歳代で、次いで 30 歳代、40 歳代の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、10 歳代、40 歳代、50 歳代の順で高くなっている。

平成 29 年度の調査と比較すると、20 歳代から 40 歳代までの年代において「肯定的な意見」の割合が増加している。



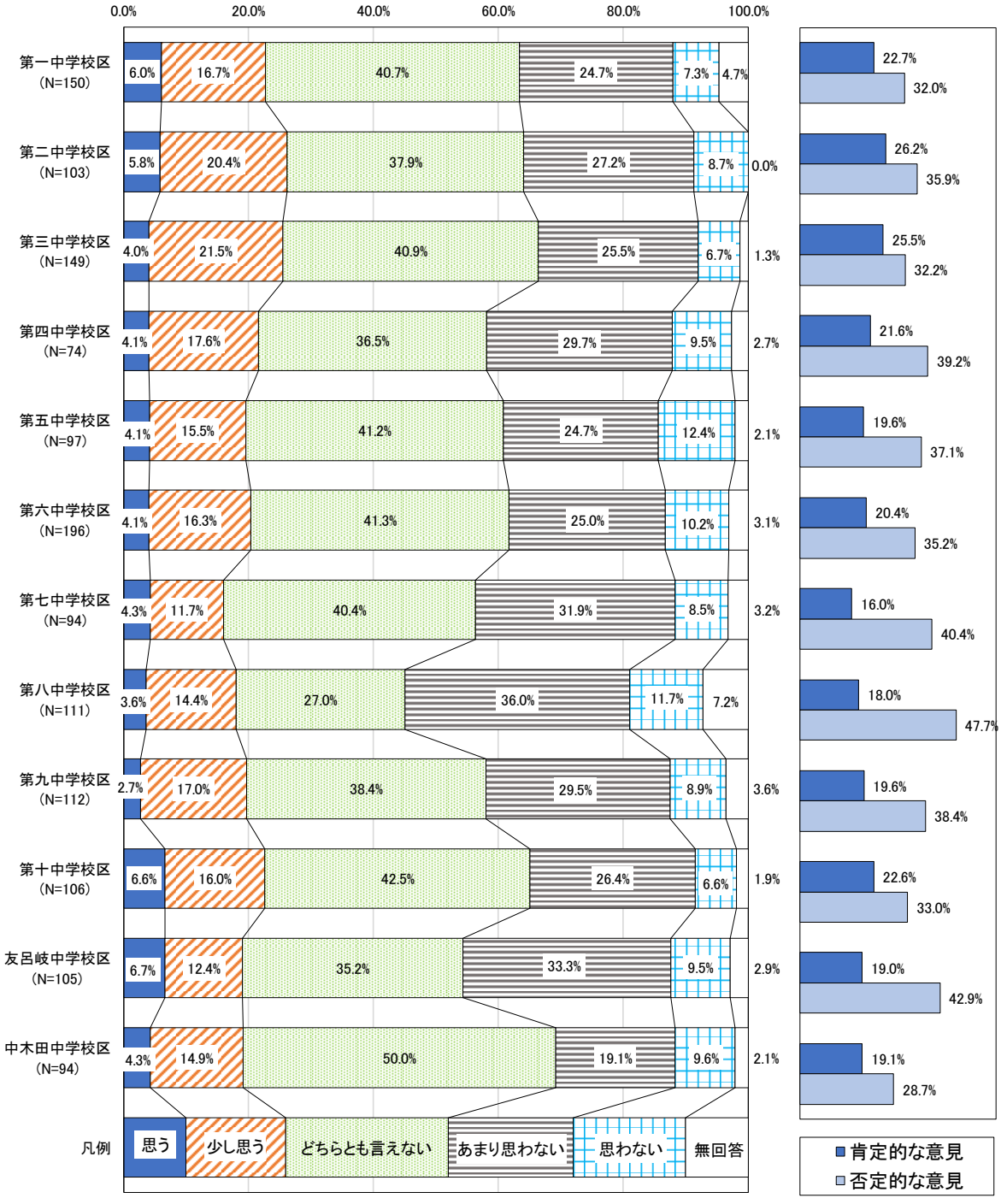

0.0%
20.0%
40.0%
60.0%
80.0%
100.0%
18～19歳
平成30年度 (N=24)
0.0% 20.8% 33.3% 29.2% 16.7% 0.0%
20.8% 45.8%
平成29年度 (N=29)
6.9% 27.6% 27.6% 34.5% 3.4% 0.0%
34.5% 37.9%
20～29歳
平成30年度 (N=88)
10.2% 14.8% 35.2% 28.4% 9.1% 2.3%
25.0% 37.5%
平成29年度 (N=110)
5.5% 16.4% 36.4% 18.2% 21.8% 1.8%
21.9% 40.0%
30～39歳
平成30年度 (N=130)
3.8% 19.2% 36.9% 27.7% 11.5% 0.8%
23.1% 39.2%
平成29年度 (N=186)
3.8% 17.2% 36.0% 28.0% 15.1% 0.0%
21.0% 43.1%
40～49歳
平成30年度 (N=222)
4.5% 17.6% 32.4% 29.7% 14.0% 1.8%
22.1% 43.7%
平成29年度 (N=318)
2.2% 18.9% 42.5% 21.1% 13.8% 1.6%
21.1% 34.9%
50～59歳
平成30年度 (N=204)
3.9% 16.2% 37.3% 31.9% 9.8% 1.0%
20.1% 41.7%
平成29年度 (N=296)
5.1% 17.2% 46.6% 19.3% 11.5% 0.3%
22.3% 30.8%
60～69歳
平成30年度 (N=304)
1.6% 16.8% 43.8% 28.3% 8.6% 1.0%
18.4% 36.8%
平成29年度 (N=398)
6.0% 14.3% 48.2% 21.1% 9.3% 1.0%
20.3% 30.4%
70～79歳
平成30年度 (N=338)
6.8% 13.6% 42.9% 23.4% 8.0% 5.3%
20.4% 31.4%
平成29年度 (N=396)
5.1% 16.9% 45.7% 20.7% 8.6% 3.0%
22.0% 29.3%
80歳以上
平成30年度 (N=118)
5.9% 15.3% 45.8% 21.2% 2.5% 9.3%
21.2% 23.7%
平成29年度 (N=143)
8.4% 15.4% 43.4% 22.4% 4.9% 5.6%
23.8% 27.3%
凡例
思う
少し思う
どちらとも言えない
あまり思わない
思わない
無回答
肯定的意見
否定的意見

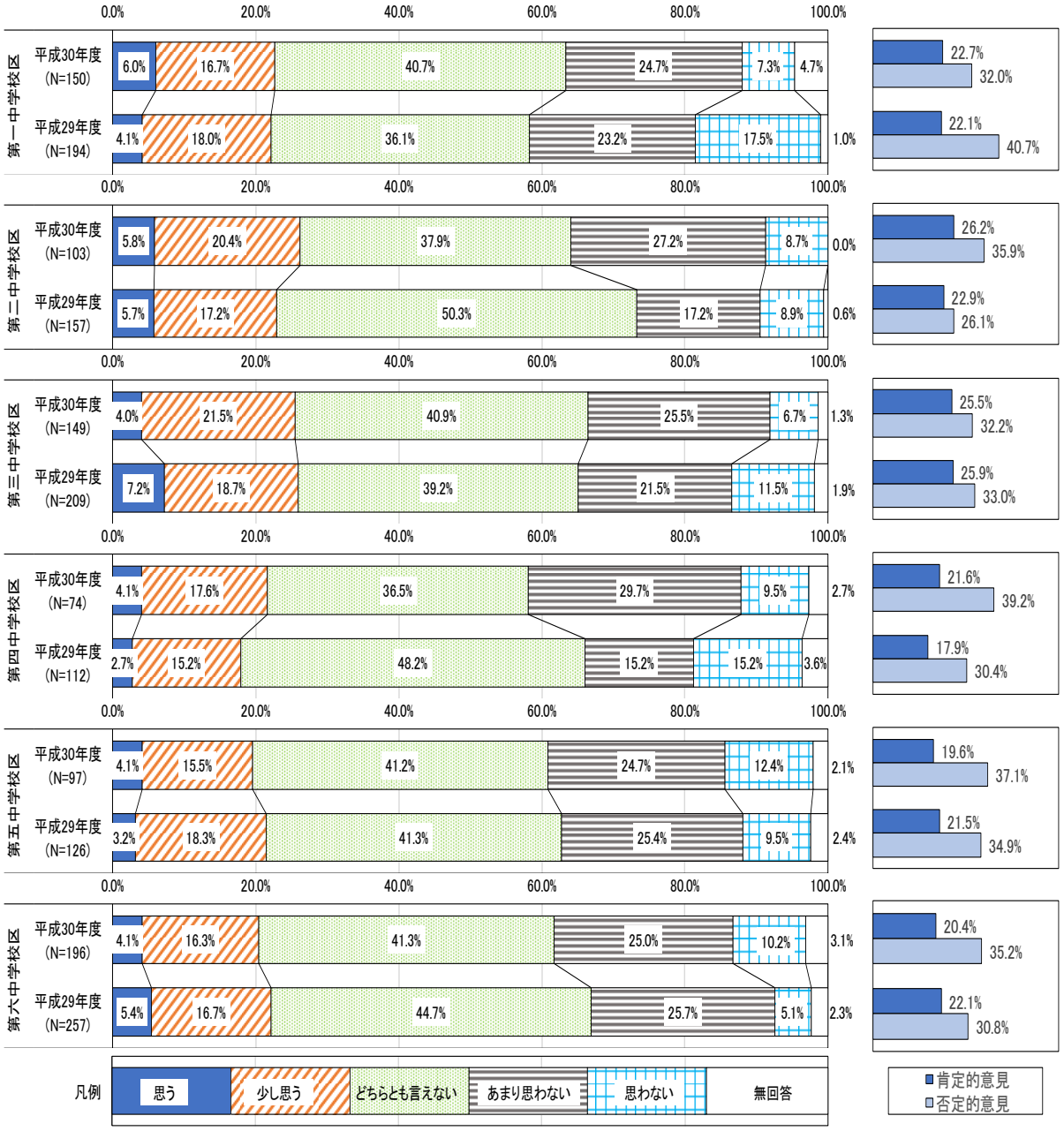
④　中学校区別

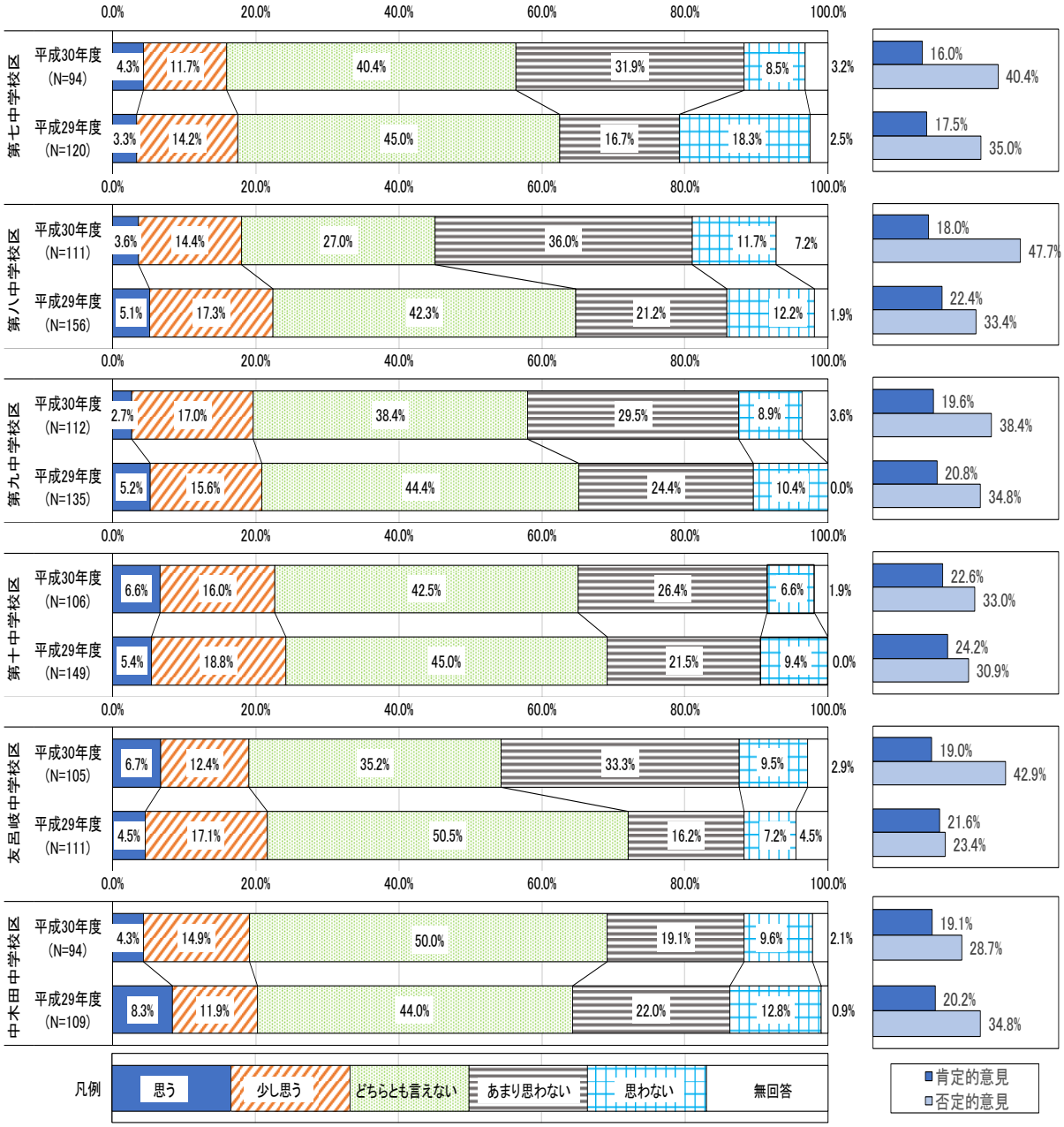
全ての中学校区において『肯定的な意見』が『否定的な意見』を下回っており、『肯定的な意見』の割合が最も高いのは第二中学校区で、次いで第三、第一中学校区の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、第八、友呂岐、第七中学校区の順で高くなっている。

平成 29 年度の調査と比較すると、第二、第四中学校区において「肯定的な意見」の割合が増加している。



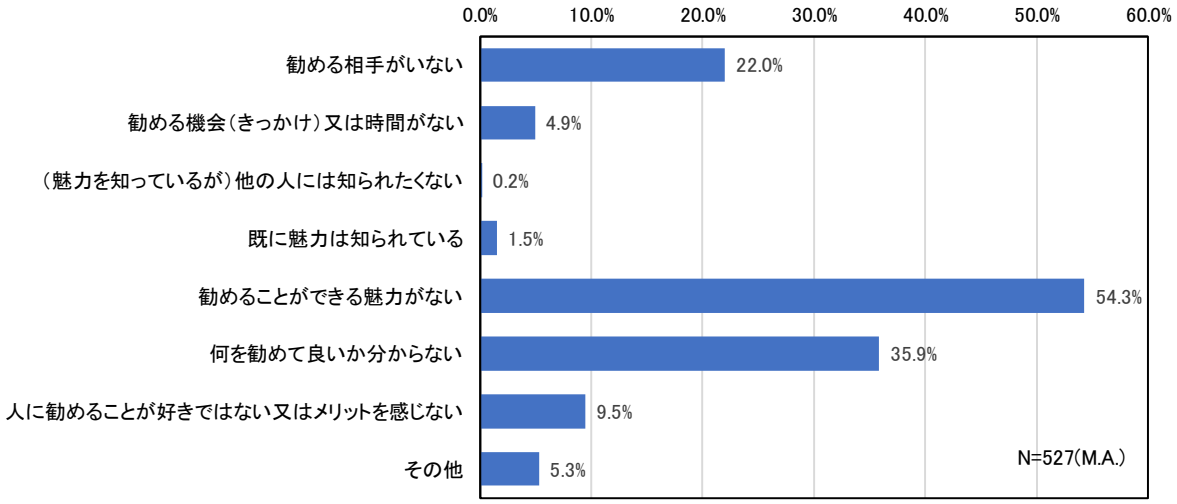

0.0%
20.0%
40.0%
60.0%
80.0%
100.0%
第一中学校区
平成30年度 (N=150)
6.0% 16.7% 40.7% 24.7% 7.3% 4.7%
平成29年度 (N=194)
4.1% 18.0% 36.1% 23.2% 17.5% 1.0%
22.7% 32.0%
22.1% 40.7%
第二中学校区
平成30年度 (N=103)
5.8% 20.4% 37.9% 27.2% 8.7% 0.0%
平成29年度 (N=157)
5.7% 17.2% 50.3% 17.2% 8.9% 0.6%
26.2% 35.9%
22.9% 26.1%
第三中学校区
平成30年度 (N=149)
4.0% 21.5% 40.9% 25.5% 6.7% 1.3%
平成29年度 (N=209)
7.2% 18.7% 39.2% 21.5% 11.5% 1.9%
25.5% 32.2%
25.9% 33.0%
第四中学校区
平成30年度 (N=74)
4.1% 17.6% 36.5% 29.7% 9.5% 2.7%
平成29年度 (N=112)
2.7% 15.2% 48.2% 15.2% 15.2% 3.6%
21.6% 39.2%
17.9% 30.4%
第五中学校区
平成30年度 (N=97)
4.1% 15.5% 41.2% 24.7% 12.4% 2.1%
平成29年度 (N=126)
3.2% 18.3% 41.3% 25.4% 9.5% 2.4%
19.6% 37.1%
21.5% 34.9%
第六中学校区
平成30年度 (N=196)
4.1% 16.3% 41.3% 25.0% 10.2% 3.1%
平成29年度 (N=257)
5.4% 16.7% 44.7% 25.7% 5.1% 2.3%
20.4% 35.2%
22.1% 30.8%
凡例
思う
少し思う
どちらとも言えない
あまり思わない
思わない
無回答
肯定的意見
否定的意見


0.0%
20.0%
40.0%
60.0%
80.0%
100.0%
第七中学校区
平成30年度 (N=94)
4.3% 11.7% 40.4% 31.9% 8.5% 3.2%
16.0% 40.4%
平成29年度 (N=120)
3.3% 14.2% 45.0% 16.7% 18.3% 2.5%
17.5% 35.0%
第八中学校区
平成30年度 (N=111)
3.6% 14.4% 27.0% 36.0% 11.7% 7.2%
18.0% 47.7%
平成29年度 (N=156)
5.1% 17.3% 42.3% 21.2% 12.2% 1.9%
22.4% 33.4%
第九中学校区
平成30年度 (N=112)
2.7% 17.0% 38.4% 29.5% 8.9% 3.6%
19.6% 38.4%
平成29年度 (N=135)
5.2% 15.6% 44.4% 24.4% 10.4% 0.0%
20.8% 34.8%
第十中学校区
平成30年度 (N=106)
6.6% 16.0% 42.5% 26.4% 6.6% 1.9%
22.6% 33.0%
平成29年度 (N=149)
5.4% 18.8% 45.0% 21.5% 9.4% 0.0%
24.2% 30.9%
友呂岐中学校区
平成30年度 (N=105)
6.7% 12.4% 35.2% 33.3% 9.5% 2.9%
19.0% 42.9%
平成29年度 (N=111)
4.5% 17.1% 50.5% 16.2% 7.2% 4.5%
21.6% 23.4%
中木田中学校区
平成30年度 (N=94)
4.3% 14.9% 50.0% 19.1% 9.6% 2.1%
19.1% 28.7%
平成29年度 (N=109)
8.3% 11.9% 44.0% 22.0% 12.8% 0.9%
20.2% 34.8%
凡例
思う
少し思う
どちらとも言えない
あまり思わない
思わない
無回答
肯定的意見
否定的意見

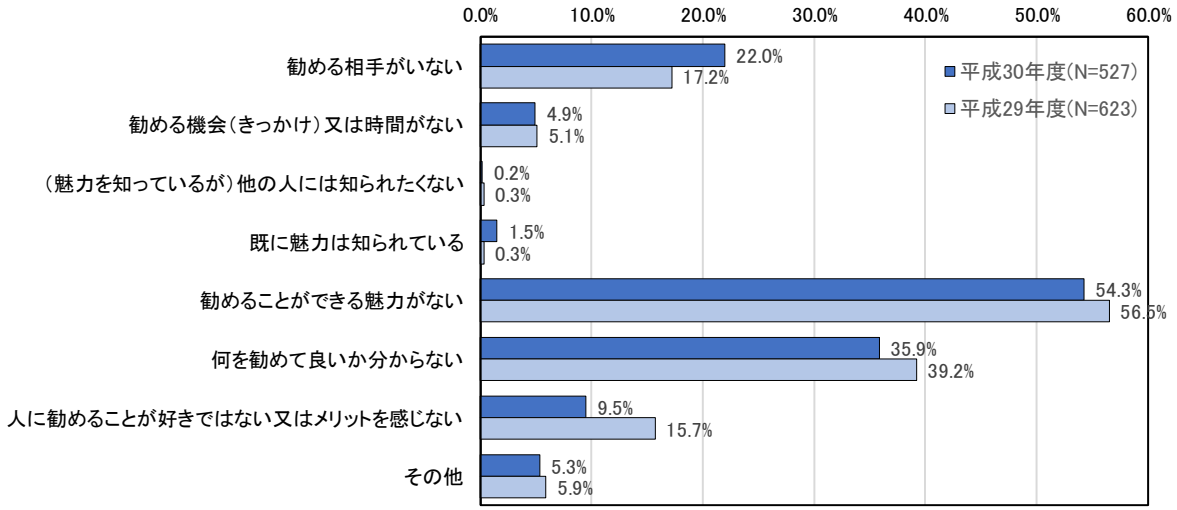
問 97　問 96 で「あまり思わない」「思わない」と答えた方にお聞きします。
それはどのような理由からですか。（○は 2 つまで）

①　全体

「勧めることができる魅力がない」が 54.3%と最も高く、次いで「何を勧めて良いか分からない」が 35.9%、「勧める相手がいない」の順となっている。



②　年度別



③　年代別

80 歳以上を除く年代において「勧めることができる魅力がない」が最も高くなっている。

	18～19歳(N=11)	20～29歳(N=33)	30～39歳(N=51)	40～49歳(N=97)	50～59歳(N=85)	60～69歳(N=112)	70～79歳(N=106)	80歳以上(N=28)
勧める相手がいない	18.2%	6.1%	7.8%	14.4%	10.6%	26.8%	36.8%	53.6%
勧める機会（きっかけ）又は時間がない	9.1%	6.1%	3.9%	0.0%	7.1%	4.5%	5.7%	14.3%
（魅力を知っているが）他の人には知られたくない	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
既に魅力は知られている	0.0%	0.0%	2.0%	1.0%	2.4%	1.8%	1.9%	0.0%
勧めることができる魅力がない	63.6%	63.6%	56.9%	60.8%	63.5%	55.4%	43.4%	21.4%
何を勧めて良いか分からない	45.5%	45.5%	33.3%	42.3%	37.6%	30.4%	33.0%	32.1%
人に勧めることが好きではない又はメリットを感じない	9.1%	9.1%	17.6%	10.3%	5.9%	8.9%	8.5%	10.7%
その他	0.0%	12.1%	11.8%	4.1%	5.9%	4.5%	3.8%	0.0%

④　中学校区別

全ての中学校区において「勧めることができる魅力がない」が最も高くなっている。

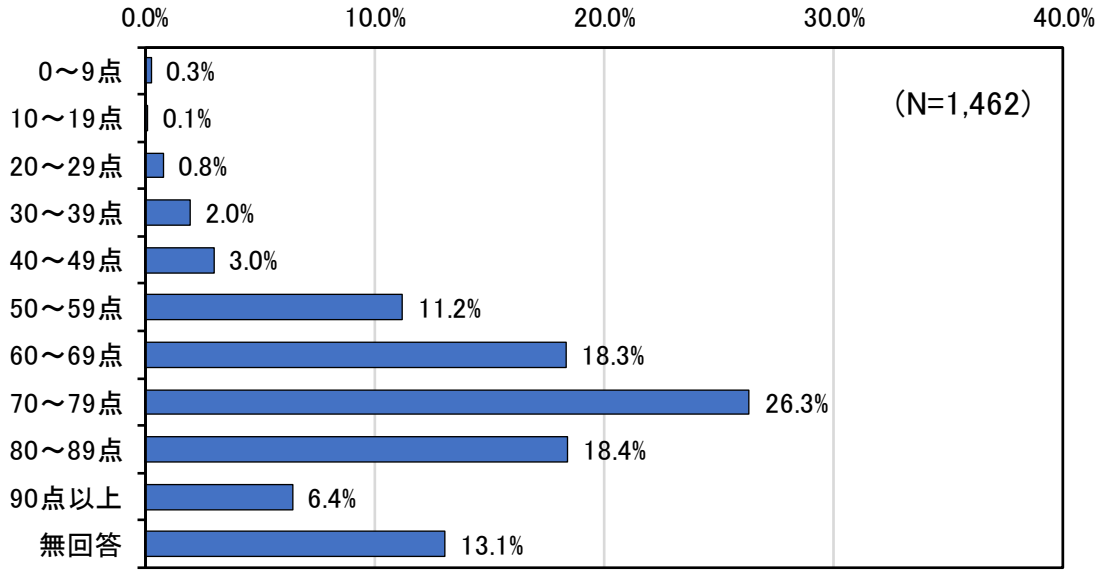
	第一中学校区(N=48)	第二中学校区(N=37)	第三中学校区(N=48)	第四中学校区(N=29)	第五中学校区(N=36)	第六中学校区(N=69)
勧める相手がいない	16.7%	32.4%	22.9%	20.7%	22.2%	21.7%
勧める機会（きっかけ）又は時間がない	4.2%	0.0%	2.1%	6.9%	2.8%	4.3%
（魅力を知っているが）他の人には知られたくない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
既に魅力は知られている	2.1%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%
勧めることができる魅力がない	54.2%	62.2%	54.2%	44.8%	66.7%	52.2%
何を勧めて良いか分からない	31.3%	32.4%	50.0%	34.5%	33.3%	39.1%
人に勧めることが好きではない又はメリットを感じない	10.4%	10.8%	10.4%	6.9%	0.0%	10.1%
その他	6.3%	0.0%	6.3%	6.9%	5.6%	10.1%

	第七中学校区(N=38)	第八中学校区(N=53)	第九中学校区(N=43)	第十中学校区(N=35)	友呂岐中学校区(N=45)	中木田中学校区(N=27)
勧める相手がいない	15.8%	20.8%	30.2%	20.0%	17.8%	25.9%
勧める機会（きっかけ）又は時間がない	5.3%	1.9%	7.0%	14.3%	2.2%	11.1%
（魅力を知っているが）他の人には知られたくない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%
既に魅力は知られている	2.6%	3.8%	2.3%	0.0%	2.2%	0.0%
勧めることができる魅力がない	52.6%	56.6%	44.2%	51.4%	57.8%	59.3%
何を勧めて良いか分からない	42.1%	30.2%	32.6%	40.0%	31.1%	29.6%
人に勧めることが好きではない又はメリットを感じない	7.9%	11.3%	7.0%	11.4%	17.8%	7.4%
その他	5.3%	3.8%	7.0%	5.7%	0.0%	7.4%

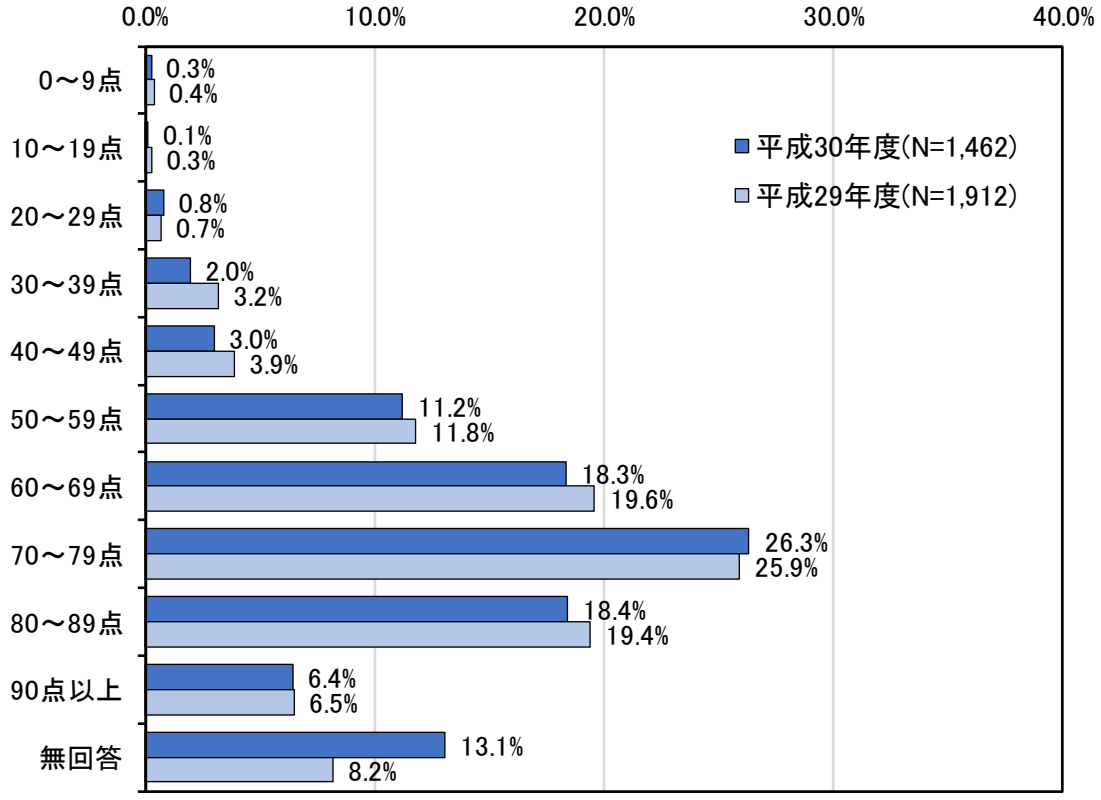
問 98　あなたは、寝屋川市に住んでみて、100 点満点で何点ですか。点数とその理由について御自由にお書きください。※点数は主観で構いません。

① 全体

「70～79 点」が 26.3%と最も高く、次いで「80～89 点」が 18.4%、「60～69 点」が 18.3%の順となっている。



② 年度別

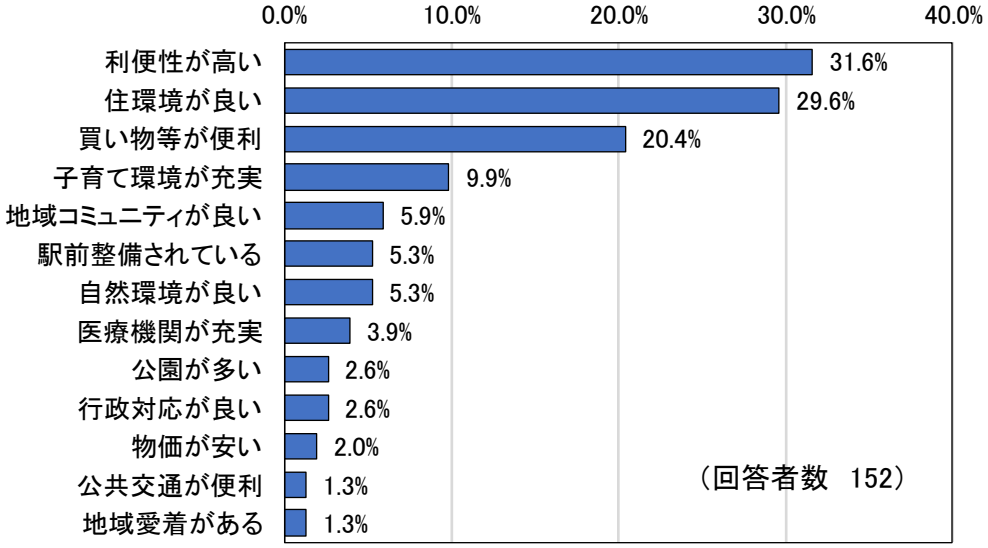


③　理由

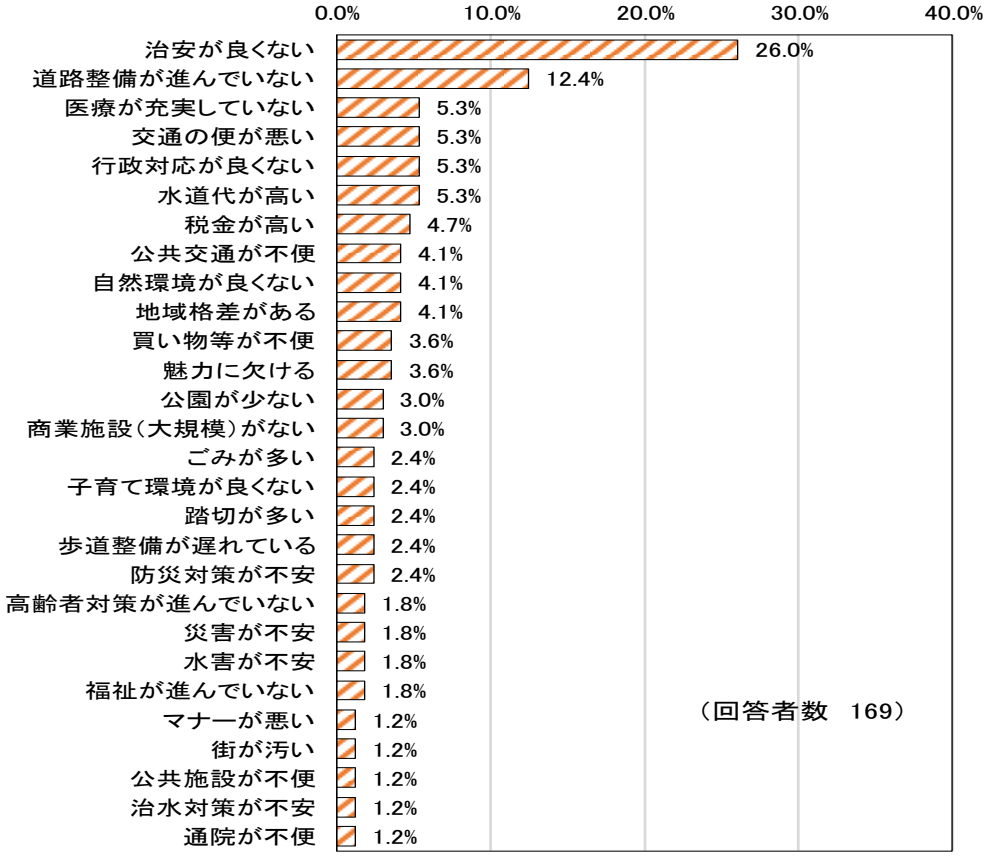
最も回答が多い「70～79 点」についてその理由を『肯定的な意見』と『否定的な意見』に分類してみると、『肯定的な意見』で割合が最も高いのは「利便性が高い」で、次いで「住環境が良い」、「買い物が便利」の順となっている。

『否定的な意見』の割合は、「治安が良くない」、「道路整備が進んでいない」、「医療が充実していない」の順で高くなっている。

「70～79 点」の理由（肯定的な意見）



「70～79 点」の理由（否定的な意見）



④　年代別

10 歳代を除く年代において「70～79 点」が、10 歳代では「60～69 点」が最も高くなっている。

	18～19歳 (N=24)	20～29歳 (N=88)	30～39歳 (N=130)	40～49歳 (N=222)	50～59歳 (N=204)	60～69歳 (N=304)	70～79歳 (N=338)	80歳以上 (N=118)
10点未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.3%	0.3%	0.0%
10点～20点未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.3%	0.0%
20点～30点未満	4.2%	2.3%	0.8%	1.8%	1.0%	0.7%	0.0%	0.0%
30点～40点未満	0.0%	4.5%	4.6%	4.1%	1.5%	1.6%	0.6%	0.0%
40点～50点未満	4.2%	1.1%	5.4%	4.5%	5.4%	2.3%	1.8%	0.8%
50点～60点未満	12.5%	11.4%	12.3%	14.0%	13.7%	7.9%	11.8%	7.6%
60点～70点未満	25.0%	22.7%	23.1%	15.3%	19.1%	18.8%	18.3%	14.4%
70点～80点未満	20.8%	27.3%	25.4%	25.2%	28.4%	29.3%	24.6%	29.7%
80点～90点未満	16.7%	14.8%	18.5%	18.9%	15.7%	20.7%	19.2%	20.3%
90点以上	4.2%	11.4%	4.6%	6.3%	5.9%	4.6%	7.1%	10.2%
無回答	12.5%	4.5%	5.4%	9.5%	8.8%	13.8%	16.0%	16.9%

⑤　中学校区別

第四、第七中学校区において「60～69 点」が、第五中学校区において「80～89 点」が最も高くなっており、それらを除く中学校区において「70～79 点」が最も高くなっている。

	第一中学校区 (N=150)	第二中学校区 (N=103)	第三中学校区 (N=149)	第四中学校区 (N=74)	第五中学校区 (N=97)	第六中学校区 (N=196)
10点未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.5%
10点～20点未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20点～30点未満	0.7%	1.9%	0.7%	2.7%	0.0%	0.0%
30点～40点未満	2.7%	1.9%	1.3%	1.4%	3.1%	1.5%
40点～50点未満	2.7%	3.9%	2.0%	2.7%	3.1%	4.1%
50点～60点未満	12.7%	7.8%	10.7%	6.8%	15.5%	8.7%
60点～70点未満	15.3%	15.5%	22.1%	32.4%	12.4%	19.9%
70点～80点未満	30.0%	32.0%	31.5%	17.6%	22.7%	27.6%
80点～90点未満	19.3%	18.4%	16.8%	17.6%	26.8%	21.9%
90点以上	6.7%	8.7%	4.0%	6.8%	7.2%	7.1%
無回答	10.0%	9.7%	10.7%	12.2%	8.2%	8.7%

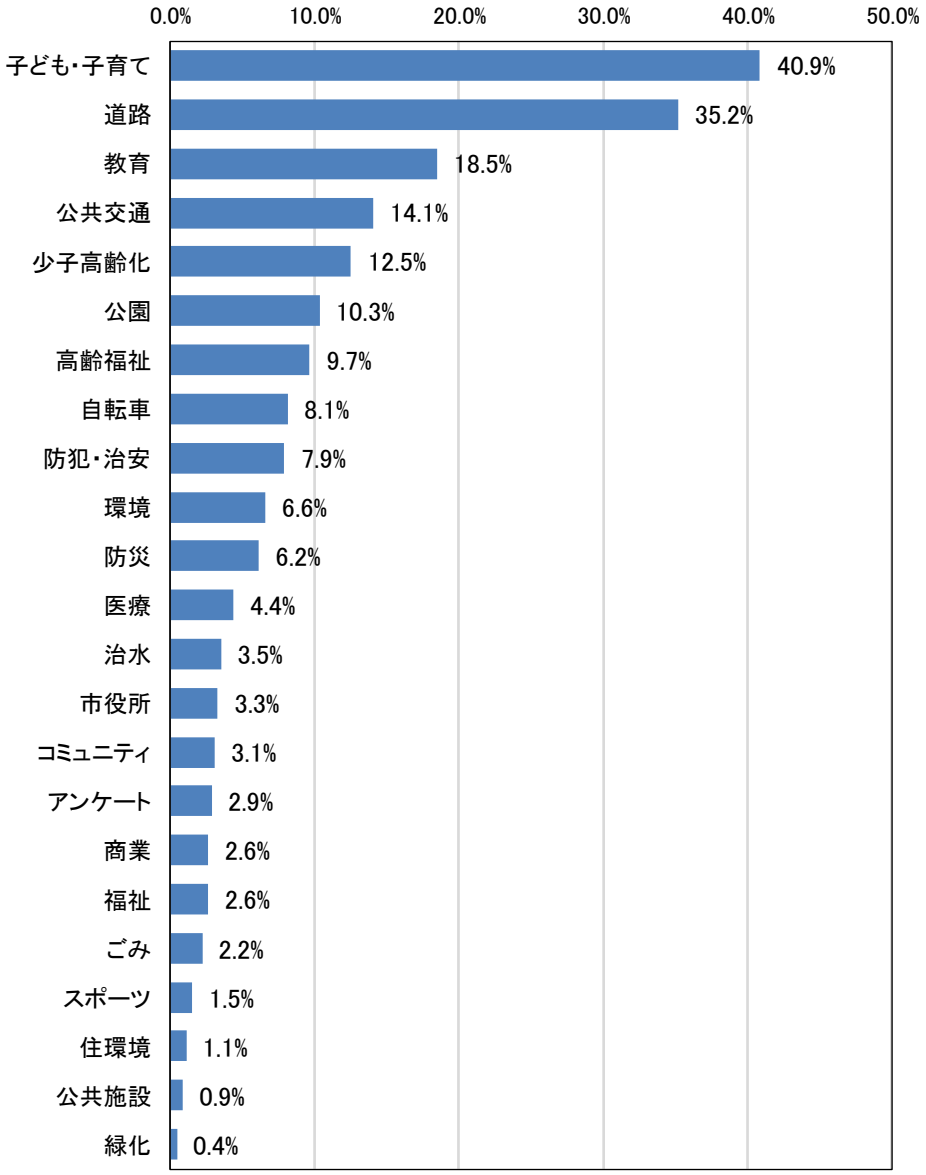
	第七中学校区 (N=94)	第八中学校区 (N=111)	第九中学校区 (N=112)	第十中学校区 (N=106)	友呂岐中学校区 (N=105)	中木田中学校区 (N=94)
10点未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%
10点～20点未満	1.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20点～30点未満	3.2%	0.9%	0.0%	0.9%	1.0%	0.0%
30点～40点未満	1.1%	2.7%	1.8%	2.8%	1.0%	2.1%
40点～50点未満	7.4%	4.5%	3.6%	0.9%	1.0%	1.1%
50点～60点未満	14.9%	18.9%	11.6%	5.7%	13.3%	10.6%
60点～70点未満	18.1%	13.5%	22.3%	18.9%	13.3%	20.2%
70点～80点未満	16.0%	19.8%	23.2%	34.9%	26.7%	33.0%
80点～90点未満	17.0%	17.1%	15.2%	19.8%	18.1%	17.0%
90点以上	7.4%	8.1%	5.4%	7.5%	6.7%	3.2%
無回答	13.8%	13.5%	17.0%	8.5%	18.1%	12.8%

１２．　『寝屋川市のまちづくり』についての自由意見

自由意見の分類

寝屋川市のまちづくりについて、自由記述で意見を頂いたところ、455 人からの回答があり、その内容を分類すると以下のとおりとなった。

「子ども・子育て」に関する意見が 40.9％と最も高く、次いで「道路」が 35.2％、「教育」が 18.5％、「公共交通」が 14.1％、「少子高齢化」が 12.5％、「公園」が 10.3％の順となっている。



III. 調査結果の分析

1. 市民意識の指標の推移

第五次総合計画に基づく施策の進捗管理を行うため、平成 23 年度からの前期基本計画では 38 項目、平成 28 年度からの後期基本計画では 41 項目の「市民意識の指標」を設定し、前期・後期の策定時から定期的に市民意識調査を実施してきたところである。

第五次総合計画策定時（平成 22 年度）と今回（平成 30 年度）で同様の 36 項目の「市民意識の指標」を比較すると、31 項目において市民意識が向上している。

特に、「地域の福祉活動が活発に行われている」「高齢者が生きがいを持ち、健康で心豊かに暮らせる環境づくりが進んでいる」「安心して子どもを産み育てることができるサービスや環境が整っている」「自治会や小学校区での地域活動が盛んである」「健全な財政運営が行われている」と思う市民の割合は、10 ポイント以上高くなっている。

他方、「雨の時に浸水の不安がある」「一人一人の人権意識が高くなってきた」「駅周辺が魅力ある空間である」「市内で生産した農作物を購入したい」「消費生活センターからの情報が役に立っている」の各項目においては市民意識が低くなっている。

【市民意識の指標の推移】

番号	施策	市民意識の指標	H22調査	H24調査	H26調査	H27調査	H29調査	H30調査
1	災害に強いまちをつくる	「災害に備えるまちづくりが行われている」と思う市民の割合	28.1%	18.2%	30.2%	28.0%	36.9%	37.3%
2	治水対策を促進する	「雨の時に浸水の不安がある」と思う市民の割合	40.9%	58.7%	50.2%	50.3%	53.3%	48.0%
3	危機管理体制を充実する	「地域の消防防災体制が充実している」と思う市民の割合	26.0%	23.1%	32.6%	27.2%	32.2%	34.6%
4	犯罪のないまちづくりを推進する	「犯罪が少なく、安全なまちである」と思う市民の割合	9.7%	13.4%	21.7%	8.6%	17.3%	17.6%
5	平和を希求し人権が尊重されるまちをつくる	「一人一人の人権意識が高くなってきた」と思う市民の割合	25.1%	19.6%	26.4%	20.6%	25.1%	24.8%
6	男女がともにいきいきと暮らせるまちをつくる	「男は仕事、女は家庭」というように性別によって役割を分担する考え方に共感しない市民の割合	61.0%	55.6%	61.2%	65.5%	66.9%	64.8%
7	健康づくりを推進する	「健康づくりプログラムを活用している」市民の割合	12.6%	12.6%	14.0%	12.2%	16.9%	17.6%
8	地域でともに支えあうしくみを充実する	「地域の福祉活動が活発に行われている」と思う市民の割合	25.5%	28.8%	38.8%	37.0%	38.0%	35.5%
9	高齢者の社会参加と自立支援を推進する	「高齢者が生きがいを持ち、健康で心豊かに暮らせる環境づくりが進んでいる」と思う市民の割合	16.4%	19.1%	23.4%	23.1%	27.4%	27.6%
10	障害のある人が自立した生活を営む環境を整備する	「障害のある人に対するサービスや支援体制が整っている」と思う市民の割合	18.0%	18.8%	24.6%	21.9%	26.1%	25.5%
11	子育てしやすい環境を整備する	「安心して子どもを産み育てることができるサービスや環境が整っている」と思う市民の割合	14.7%	17.8%	21.0%	21.0%	25.3%	28.9%
12	安心できる環境衛生を確保する	「感染症対策が充実している」と思う市民の割合	－	－	－	10.1%	10.7%	12.0%
13	就学前教育を充実する	「幼稚園教育が充実している」と思う市民の割合	－	－	－	17.4%	20.6%	22.8%
14	学ぶ力を育成する	「小中学校の教育内容が充実している」と思う市民の割合	13.9%	12.6%	20.1%	17.9%	21.7%	22.6%
15	教育環境の整備・充実を図る	「教育環境が充実している」と思う市民の割合	－	－	－	18.1%	20.1%	21.8%
16	青少年の健全育成を推進する	「学校・家庭・地域が連携して青少年の育成を見守っている」と思う市民の割合	24.3%	20.1%	30.5%	27.2%	33.6%	32.8%
17	生涯学習を充実する	「生涯学習の機会や情報の提供が充実している」と思う市民の割合	19.0%	17.8%	19.6%	18.4%	20.8%	21.8%
18	文化の振興を図る	「展示会・コンサート等、文化・芸術活動が活発に行われている」と思う市民の割合	23.8%	26.6%	26.5%	31.7%	31.8%	32.1%
19	スポーツ活動を推進する	「スポーツ活動の環境が整っている」と思う市民の割合	17.8%	18.7%	17.7%	21.7%	19.6%	17.9%
20	国内外の交流を推進する	「国際交流が盛んである」と思う市民の割合	8.7%	7.9%	8.3%	7.2%	9.3%	9.2%
21	計画的なまちづくりを推進する	「地域の特性をいかした計画的なまちづくりが行われている」と思う市民の割合	18.1%	19.0%	23.2%	19.0%	22.1%	21.6%
22	良好な住宅・住環境を創出する	「快適な生活環境や美しいまちなみが確保されている」と思う市民の割合	21.5%	26.2%	26.2%	27.1%	24.4%	26.8%
23	四駅周辺のまちづくりを推進する	「駅周辺が魅力ある空間である」と思う市民の割合	30.7%	32.4%	33.6%	29.3%	27.6%	29.0%
24	安全で安定した上下水道サービスを提供する	「水道水は、安全でおいしい」と思う市民の割合	36.5%	34.8%	40.6%	42.9%	42.4%	46.3%
25	利便性の高い快適なまちをつくる	「歩行者にやさしい道路整備が進んでいる」と思う市民の割合	13.1%	12.7%	13.2%	16.2%	16.6%	17.0%
26	水とみどり豊かなまちをつくる	「身近に公園・緑地がある」と思う市民の割合	51.1%	56.5%	53.4%	58.8%	54.3%	53.1%
27	環境に配慮したまちづくりを推進する	「地球温暖化防止に向けた取組の啓発活動など、温暖化対策が適切に行われている」と思う市民の割合	9.3%	10.5%	21.8%	9.3%	13.8%	15.9%
28	ごみの減量・資源化を推進する	「ごみの減量と資源リサイクルの取組が進んでいる」と思う市民の割合	44.7%	49.5%	52.2%	49.4%	49.5%	49.3%
29	廃棄物を適正に処理する	「ごみ収集及び処理が効率的かつ適正に行われている」と思う市民の割合	50.3%	60.5%	58.0%	56.2%	57.4%	57.8%
30	地域産業の活性化を推進する	「寝屋川市の商・工・農は近隣市と比べて活気がある」と感じる市民の割合	－	－	－	10.8%	9.3%	9.8%
31	商業の振興を図る	「市内で買い物がしやすい」と思う市民の割合	57.4%	52.3%	65.5%	62.1%	55.1%	66.5%
32	工業の振興を図る	「産業振興センター（にぎわい創造館）を知っている」市民の割合	22.8%	23.9%	26.1%	26.1%	24.7%	23.9%
33	農業の振興を図る	「市内で生産した農作物を購入したい」と思う市民の割合	62.4%	51.1%	57.9%	57.3%	56.1%	58.8%
34	消費者保護を推進する	「消費生活センターからの情報が役に立っている」と思う市民の割合	25.3%	17.7%	14.2%	13.2%	13.2%	12.4%
35	市域の労働力の活用を推進する	「きめ細やかな就労支援サービスが提供されている」と思う市民の割合	－	－	－	7.4%	9.7%	11.4%
36	コミュニティの活性化と協働を推進する	「自治会や小学校区での地域活動が盛んである」と思う市民の割合	33.1%	33.7%	45.7%	45.1%	46.3%	47.8%
37	情報発信を充実する	「広報紙を毎号読んでいる」市民の割合	47.2%	44.9%	50.1%	48.6%	46.2%	48.4%
38	市民ニーズを把握する	「市政に市民の声が届いている」と思う市民の割合	9.4%	11.6%	13.3%	11.2%	15.2%	14.7%
39	健全な財政運営を行う	「健全な財政運営が行われている」と思う市民の割合	11.8%	14.7%	22.2%	19.6%	24.4%	24.6%
40	効率的な行政運営を行う	「行財政改革が進んでいる」と思う市民の割合	11.2%	14.0%	19.0%	14.9%	19.2%	19.3%
41	市民サービスを充実する	「市役所やシティ・ステーションでの窓口対応に満足した」市民の割合	39.9%	41.2%	47.0%	47.8%	47.6%	46.6%

２．施策の重要度・満足度の相対分析

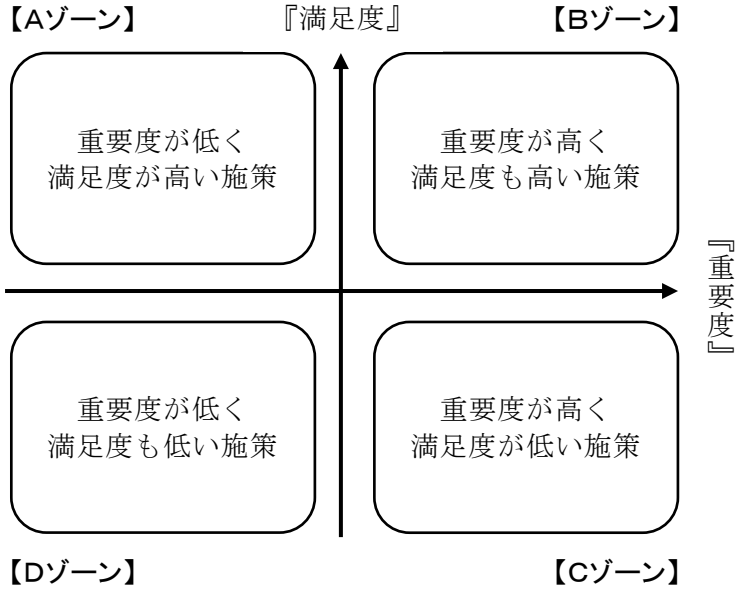
市の施策に対する『重要度』と『満足度』の設問（問 12～問 15、問 24～問 31、問 41～問 48、問 55～問 60、問 64～問 66、問 73～問 78、問 82～問 84、問 89～問 91）を設定し、その結果に対して以下のような得点化を行い、各施策間の相対的関係を示した。

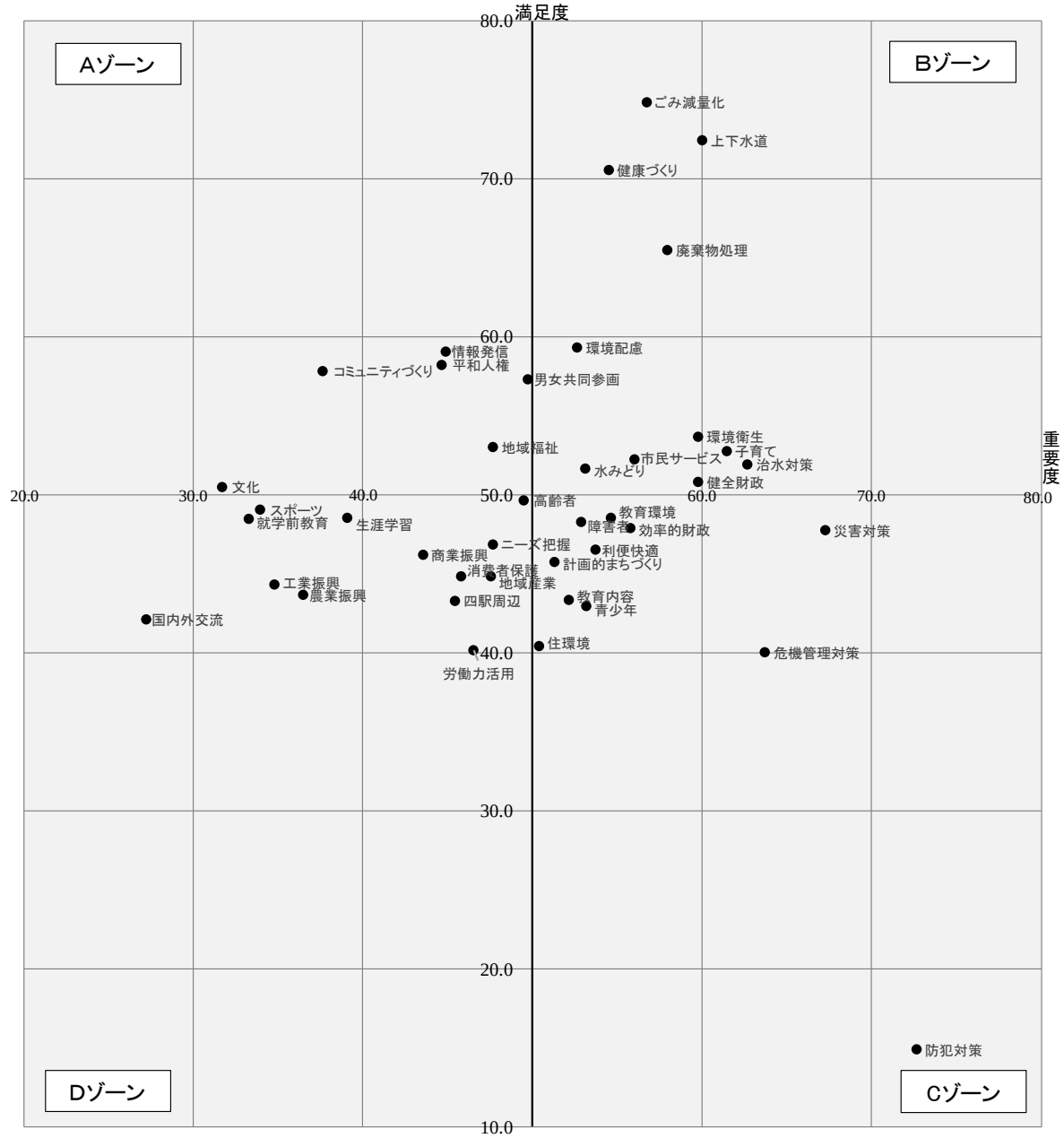
『重要度』		『満足度』	
重要である	100 点	満足	100 点
やや重要である	75 点	やや満足	75 点
どちらでもない	50 点	普通	50 点
あまり重要でない	25 点	やや不満	25 点
重要でない	0 点	不満	0 点

各施策間の相対的関係は、得られた得点を基に、施策ごとの『重要度』と『満足度』の偏差値を算出し、散布図を作成して表現した。

『重要度』と『満足度』の偏差値が 50 で交差する座標（下図）の４つの象限をそれぞれ「Ａゾーン」「Ｂゾーン」「Ｃゾーン」「Ｄゾーン」とする。

いずれのゾーンに含まれる施策についても、この結果を基に検討が必要であるが、特に、『重要度』が高いにもかかわらず、『満足度』が低い「Ｃゾーン」に位置する施策は、市民ニーズが高いが満足度が低いと考えられ、施策の方向性や内容に対する検討が必要である。また、『重要度』が低い「Ａゾーン」「Ｄゾーン」については、市行政や制度面等において重要と考えられることから、市民への広報・周知の手法等の検討が必要と考えられる。ただし、これはあくまで一つの指標であるため、最終的には各種条件と合わせて総合的に判断する必要がある。





災害対策	災害に強いまちをつくる取組	**住環境**	良好な住宅・住環境を創出する取組
治水対策	治水対策を促進する取組	**四駅周辺**	四駅周辺のまちづくりを推進する取組
危機管理対策	危機管理体制を充実する取組	**上下水道**	安全で安定した上下水道サービスを提供する取組
防犯対策	犯罪のないまちづくりを推進する取組	**利便快適**	利便性の高い快適なまちをつくる取組
平和人権	平和を希求し人権が尊重されるまちをつくる取組	**水みどり**	水とみどり豊かなまちをつくる取組
男女共同参画	男女がともにいきいきと暮らせるまちをつくる取組	**環境配慮**	環境に配慮したまちづくりを推進する取組
健康づくり	健康づくりを推進する取組	**ごみ減量化**	ごみの減量・資源化を推進する取組
地域福祉	地域でともに支えあうしくみを充実する取組	**廃棄物処理**	廃棄物を適正に処理する取組
高齢者	高齢者の社会参加と自立支援を推進する取組	**地域産業**	地域産業の活性化を推進する取組
障害者	障害のある人が自立した生活を営む環境を整備する取組	**商業振興**	商業の振興を図る取組
子育て	子育てしやすい環境を整備する取組	**工業振興**	工業の振興を図る取組
環境衛生	安心できる環境衛生を確保する取組	**農業振興**	農業の振興を図る取組
就学前教育	就学前教育を充実する取組	**消費者保護**	消費者保護を推進する取組
教育内容	学ぶ力を育成する取組	**労働力活用**	市域の労働力の活用を推進する取組
教育環境	教育環境の整備・充実を図る取組	**コミュニティづくり**	コミュニティの活性化と協働を推進する取組
青少年	青少年の健全育成を推進する取組	**情報発信**	情報発信を充実する取組
生涯学習	生涯学習を充実する取組	**ニーズ把握**	市民ニーズを把握する取組
文化	文化の振興を図る取組	**健全財政**	健全な財政運営を行う取組
スポーツ	スポーツ活動を推進する取組	**効率的財政**	効率的な行政運営を行う取組
国内外交流	国内外の交流を推進する取組	**市民サービス**	市民サービスを充実する取組
計画的まちづくり	計画的なまちづくりを推進する取組		

まちづくりの大綱	施策	得点		偏差値	
		重要度	満足度	重要度	満足度
安全で安心できるまちづくり	災害に強いまちをつくる取組	90.0	48.3	67.3	47.7
	治水対策を促進する取組	87.6	49.5	62.7	51.9
	危機管理体制を充実する取組	88.1	46.0	63.7	40.0
	犯罪のないまちづくりを推進する取組	92.8	38.8	72.7	14.9
健康でいきいき暮らせるまちづくり	平和を希求し人権が尊重されるまちをつくる取組	78.1	51.3	44.7	58.2
	男女がともにいきいきと暮らせるまちをつくる取組	80.8	51.0	49.7	57.3
	健康づくりを推進する取組	83.3	54.8	54.5	70.5
	地域でともに支えあうしくみを充実する取組	79.7	49.8	47.7	53.0
	高齢者の社会参加と自立支援を推進する取組	80.7	48.8	49.5	49.6
	障害のある人が自立した生活を営む環境を整備する取組	82.4	48.4	52.9	48.3
	子育てしやすい環境を整備する取組	87.0	49.7	61.5	52.8
	安心できる環境衛生を確保する取組	86.1	50.0	59.8	53.7
夢を育む学びのまちづくりまちづくり	就学前教育を充実する取組	72.2	48.5	33.3	48.5
	学ぶ力を育成する取組	82.1	47.0	52.1	43.3
	教育環境の整備・充実を図る取組	83.4	48.5	54.6	48.6
	青少年の健全育成を推進する取組	82.6	46.9	53.2	43.0
	生涯学習を充実する取組	75.2	48.5	39.1	48.5
	文化の振興を図る取組	71.3	49.1	31.7	50.5
	スポーツ活動を推進する取組	72.5	48.6	34.0	49.0
	国内外の交流を推進する取組	69.0	46.7	27.2	42.1
快適でうるおいのあるまちづくり	計画的なまちづくりを推進する取組	81.6	47.7	51.3	45.7
	良好な住宅・住環境を創出する取組	81.1	46.2	50.4	40.4
	四駅周辺のまちづくりを推進する取組	78.6	47.0	45.5	43.3
	安全で安定した上下水道サービスを提供する取組	86.2	55.4	60.0	72.4
	利便性の高い快適なまちをつくる取組	82.9	47.9	53.7	46.5
	水とみどり豊かなまちをつくる取組	82.6	49.4	53.1	51.7
環境を守り育てるまちづくり	環境に配慮したまちづくりを推進する取組	82.3	51.6	52.7	59.3
	ごみの減量・資源化を推進する取組	84.5	56.1	56.8	74.8
	廃棄物を適正に処理する取組	85.1	53.4	58.0	65.5
活力あふれるにぎわいのまちづくり	地域産業の活性化を推進する取組	79.6	47.4	47.6	44.8
	商業の振興を図る取組	77.6	47.8	43.6	46.2
	工業の振興を図る取組	73.0	47.3	34.8	44.3
	農業の振興を図る取組	73.8	47.1	36.5	43.7
	消費者保護を推進する取組	78.7	47.4	45.8	44.8
	市域の労働力の活用を推進する取組	79.1	46.1	46.5	40.1
市民が主役のまちづくり	コミュニティの活性化と協働を推進する取組	74.5	51.2	37.7	57.8
	情報発信を充実する取組	78.2	51.5	44.9	59.1
	市民ニーズを把握する取組	79.7	48.0	47.7	46.9
将来を見据えた自治経営	健全な財政運営を行う取組	86.1	49.2	59.8	50.8
	効率的な行政運営を行う取組	84.0	48.3	55.8	47.9
	市民サービスを充実する取組	84.1	49.6	56.0	52.2

参　考　資　料

平成 30 年度市民意識調査に御協力をお願いします

調査のお願い

市民の皆様には、日頃より本市のまちづくりに御協力いただき、誠にありがとうございます。

このたび、第五次寝屋川市総合計画後期基本計画に基づく施策について、市民の皆様から御意見を伺い、施策の進捗状況を把握するとともに、次期総合計画の策定及び今後の市政運営の参考とするため、市民意識調査を実施します。

この調査は、寝屋川市に在住の 18 歳以上の人を対象に無作為に 3,500 人を抽出し、御協力をお願いしています。

お手数ですがこの調査票に回答いただき、同封の返信用封筒（切手は必要ありません。）に入れ、

8月13日（月）までに

返信くださいますようお願いします。

この調査は、無記名で回答いただき、その結果は統計上の資料に限り利用します。また、市政運営以外の目的で使用することはありません。

お忙しいところ恐れ入りますが、本調査の趣旨に御理解・御協力をよろしくお願します。

平成 30 年8月

寝屋川市長　北 川 法 夫

○記入に当たってのお願い○

1. 回答は、宛名の御本人にお願いします。
   なお、病気などやむを得ない事情によって、御本人が回答できない場合は、18 歳以上で同居されている家族の方が回答いただきますようお願いします。
2. 回答は、当てはまる選択肢の番号に「○」を付けてください。設問によっては、回答する「○」の数が、「1つだけ」「3つまで」などと限定されている場合があります。
   また、「その他」を選択された場合は、（　）内にその内容を具体的にお書きください。
3. 返信用封筒に、住所・氏名を記入いただく必要はありません。

※　この調査について、不明な点がありましたら、下記まで問合せてください。

○問合せ先○

寝屋川市　経営企画部　広報広聴課　（広聴担当）

TEL：072-824-1181（内線 2276）　FAX：072-825-2637

E-mail：koho@city.neyagawa.osaka.jp

調　査　票

1 寝屋川市の印象などについて

①　寝屋川市についてお聞きします。

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	非常に住みよい	住みよい	どちらとも言えない	住みにくい	非常に住みにくい
問1 あなたは、寝屋川市を住みよいまちだと思いますか。	1	2	3	4	5

	1つ選び○をして、下の問に進んでください。			
	現在の場所に住み続けたい	市内の他の地域に引っ越したい	市外へ引っ越したい	わからない
問2 あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思いますか。	1	2	3	4
	問3へ	問4へ	問4へ	問5へ

問3 問2で「現在の場所に住み続けたい」と答えた方にお聞きします。
それはどのような理由からですか。（○は3つまで）

1. 生まれ育ったところである	2. 長年住んでいて、なじみがある
3. 買い物など日常生活が便利である	4. 勤務先・通学先に近く便利である
5. 公共交通機関（鉄道）が整っている	6. 公共交通機関（バス）が整っている
7. 物価が安い	8. 近所づきあいがうまくいっている
9. 今の住宅条件（広さ・家賃など）が良い	10. 教育文化施設が多く、内容が充実している
11. 福祉の取組が行き届いている	12. 病院などの保健・医療体制が整っている
13. 子育て環境が良い	14. 教育環境が良い
15. 治安が良い	16. 公園、道路などの都市基盤の整備がされている
17. 防災対策が充実している	18. 緑や水辺などの自然環境が良い
19. まちのイメージが良い	
20. その他（　　）	

問4 問2で「市内の他の地域に引っ越したい」又は「市外へ引っ越したい」と答えた方にお聞きします。
それはどのような理由からですか。（○は3つまで）

1. 建物が密集していて、住み心地が良くない
2. 買い物など日常生活が不便である
3. 勤務先・通学先に遠く不便である
4. 公共交通機関（鉄道）が整っていない
5. 公共交通機関（バス）が整っていない
6. 物価が高い
7. 近所づきあいがうまくいっていない
8. 今の住宅条件（広さ・家賃など）が良くない
9. 教育文化施設が少なく、利用しにくい
10. 福祉の取組が行き届いていない
11. 病院などの保健・医療体制が整っていない
12. 子育て環境が良くない
13. 教育環境が良くない
14. 治安が良くない
15. 公園、道路などの都市基盤の整備が遅れている
16. 防災対策が遅れている
17. 緑や水辺などの自然環境が良くない
18. まちのイメージが良くない
19. その他（　　）

問5 あなたは、寝屋川市をずっと住み続けたいと思うまちにするためには、今後どのような分野に力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

1. 安全で安心できるまちづくり（防災、防犯、治水対策など）
2. 健康でいきいき暮らせるまちづくり（平和の希求、人権尊重、社会福祉、子育て支援など）
3. 夢を育む学びのまちづくり（学校教育の充実、生涯学習支援、スポーツ・文化振興など）
4. 快適でうるおいのあるまちづくり（公園整備、道路整備、住環境整備、上下水道整備、水辺空間の創出など）
5. 環境を守り育てるまちづくり（自然環境の保全、ごみ減量・リサイクル推進など）
6. 活力あふれるにぎわいのまちづくり（商業・工業・農業の振興など）
7. 市民が主役のまちづくり（コミュニティづくり、情報発信など）
8. 将来を見据えた自治経営（健全な財政運営、効率的な行政運営など）
9. その他（　　）

問6 寝屋川市では、下記の8つの項目を柱として、まちづくりを進めています。まちづくりを進める上で、市民としてすべきこと又は市民の役割は何だと思いますか。

1. 安全で安心できるまちづくり（防災、防犯、治水対策など）
2. 健康でいきいき暮らせるまちづくり（平和の希求、人権尊重、社会福祉、子育て支援など）
3. 夢を育む学びのまちづくり（学校教育の充実、生涯学習支援、スポーツ・文化振興など）
4. 快適でうるおいのあるまちづくり（公園整備、道路整備、住環境整備、上下水道整備、水辺空間の創出など）
5. 環境を守り育てるまちづくり（自然環境の保全、ごみ減量・リサイクル推進など）
6. 活力あふれるにぎわいのまちづくり（商業・工業・農業の振興など）
7. 市民が主役のまちづくり（コミュニティづくり、情報発信など）
8. 将来を見据えた自治経営（健全な財政運営、効率的な行政運営など）

※自由にお書きください。

問7 あなたは、他の市と比較して、寝屋川市の大きな魅力は何だと思いますか。
あてはまる番号に○をしてください。（○は3つまで）

1. 通勤・通学の利便性	2. 買い物など日常生活の利便性
3. 手頃な住宅価格や家賃	4. 良好な住環境
5. 市内公共交通の利便性	6. 道路事情の良さ
7. 充実した子育て環境（保育施設、保育への支援等）	
8. 充実した教育環境（学校施設、学力向上の取組等）	
9. 充実した医療・福祉サービス	10. 充実した文化・スポーツ施設
11. 治安の良さ	12. 自然環境の良さ
13. 地域コミュニティの活気	14. 中心市街地（商店街など）の活気
15. 人を呼び込める観光資源	16. 祭りなどのイベント・行事
17. その他（　　）	

2 『安全で安心できるまちづくり』について

①　「防災・防犯・治水対策」についてお聞きします。

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問8 寝屋川市は、災害に備えるまちづくりが行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問9 地域の消防防災体制が充実していると思いますか。	1	2	3	4	5
問10 寝屋川市は、犯罪が少なく、安全なまちであると思いますか。	1	2	3	4	5

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	不安がない	あまり不安がない	どちらとも言えない	少し不安がある	不安がある
問11 雨の時に浸水の不安がありますか。	1	2	3	4	5

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「防災・防犯・治水」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

	重要度（1つ選び、番号に○をしてください。）					現状の満足度（1つ選び、番号に○をしてください。）				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
問12 災害に強いまちをつくる取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問13 治水対策を促進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問14 危機管理体制を充実する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問15 犯罪のないまちづくりを推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

3 『健康でいきいき暮らせるまちづくり』について

① 「人権」についてお聞きします。

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問16 市民一人一人の人権意識は高くなってきたと思いますか。	1	2	3	4	5

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	共感しない	あまり共感しない	どちらとも言えない	少し共感する	共感する
問17 「男は仕事、女は家庭」というように性別によって役割を分担する考え方に共感しますか。	1	2	3	4	5

② 「保健福祉」についてお聞きします。

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	活用している	活用していない	プログラムを知らない		
問18 寝屋川市が配布している「健康づくりプログラム」を活用していますか。	1	2	3		

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問19 地域の福祉活動が活発に行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問20 寝屋川市は、高齢者が生きがいを持ち、健康で心豊かに暮らせる環境づくりが進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
問21 寝屋川市は、障害のある人に対するサービスや支援体制が整っていると思いますか。	1	2	3	4	5
問22 寝屋川市は、安心して子どもを産み育てることができるサービスや環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4	5
問23 寝屋川市は、感染症対策が充実していると思いますか。	1	2	3	4	5

③ 現在、寝屋川市が取り組んでいる「人権」「保健福祉」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

	重　要　度					現状の満足度				
	1つ選び、番号に○をしてください。					1つ選び、番号に○をしてください。				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
問24 平和を希求し人権が尊重されるまちをつくる取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問25 男女がともにいきいきと暮らせるまちをつくる取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問26 健康づくりを推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問27 地域でともに支えあうしくみを充実する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問28 高齢者の社会参加と自立支援を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問29 障害のある人が自立した生活を営む環境を整備する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問30 子育てしやすい環境を整備する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問31 安心できる環境衛生を確保する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

4 『夢を育む学びのまちづくり』について

① 「教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流」についてお聞きします。

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問32 寝屋川市の幼稚園は、教育内容が充実していると思いますか。	1	2	3	4	5
問33 寝屋川市の小中学校は、教育内容が充実していると思いますか。	1	2	3	4	5
問34 寝屋川市の小中学校・幼稚園は、教育環境（施設等）が充実していると思いますか。	1	2	3	4	5
問35 寝屋川市は、子どもの安全・安心に対する取組が充実していると思いますか。	1	2	3	4	5

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問36 寝屋川市は、学校・家庭・地域が連携して青少年の育成を見守っていると思いますか。	1	2	3	4	5
問37 寝屋川市は、生涯学習の機会や情報の提供が充実していると思いますか。	1	2	3	4	5
問38 寝屋川市では、展示会・コンサートなど、文化・芸術活動が活発に行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問39 寝屋川市は、国際交流が盛んであると思いますか。	1	2	3	4	5
問40 寝屋川市は、スポーツ活動の環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4	5

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

	重要度					現状の満足度				
	1つ選び、番号に○をしてください。					1つ選び、番号に○をしてください。				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
問41 就学前教育を充実する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問42 学ぶ力を育成する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	重要度					現状の満足度				
	1つ選び、番号に○をしてください。					1つ選び、番号に○をしてください。				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
問43 教育環境の整備･充実を図る取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問44 青少年の健全育成を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問45 生涯学習を充実する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問46 文化の振興を図る取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問47 スポーツ活動を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問48 国内外の交流を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

5 『快適でうるおいのあるまちづくり』について

① 「都市整備･都市環境」についてお聞きします。

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問49 寝屋川市は、地域の特性をいかした計画的なまちづくりが行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問50 寝屋川市は、快適な生活環境や美しいまちなみが確保されていると思いますか。	1	2	3	4	5
問51 寝屋川市は、駅周辺が魅力ある空間であると思いますか。	1	2	3	4	5
問52 寝屋川市では、歩行者にやさしい道路整備が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
問53 あなたの身近に公園･緑地があると思いますか。	1	2	3	4	5
問54 寝屋川市の水道水は、安全でおいしいと思いますか。	1	2	3	4	5

② **現在、寝屋川市が取り組んでいる「都市整備・都市環境」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。**

	重要度（1つ選び、番号に○をしてください。）					現状の満足度（1つ選び、番号に○をしてください。）				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
問55 計画的なまちづくりを推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問56 良好な住宅･住環境を創出する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問57 四駅周辺のまちづくりを推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問58 安全で安定した上下水道サービスを提供する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問59 利便性の高い快適なまちをつくる取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問60 水とみどり豊かなまちをつくる取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

6 『環境を守り育てるまちづくり』について

① **「環境」についてお聞きします。**

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問61 寝屋川市は、地球温暖化防止に向けた取組の啓発活動など、温暖化対策が適切に行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問62 寝屋川市は、ごみの減量と資源リサイクルの取組が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
問63 寝屋川市は、ごみ収集及び処理が効率的かつ適正に行われていると思いますか。	1	2	3	4	5

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「環境」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

	重要度（1つ選び、番号に○をしてください。）					現状の満足度（1つ選び、番号に○をしてください。）				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
問64 環境に配慮したまちづくりを推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問65 ごみの減量･資源化を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問66 廃棄物を適正に処理する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

7『活力あふれるにぎわいのまちづくり』について

① 「産業」についてお聞きします。

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	感じる	少し感じる	どちらとも言えない	あまり感じない	感じない
問67 寝屋川市の商･工･農は、近隣市と比べて活気があると感じますか。	1	2	3	4	5

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	知っている	知らない			
問68 産業振興センター（にぎわい創造館）を知っていますか。	1	2			

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	役に立っている	どちらとも言えない	役に立っていない		
問69 消費生活センターからの情報が役に立っていると思いますか。	1	2	3		

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問70 寝屋川市内で買い物がしやすいと思いますか。	1	2	3	4	5
問71 寝屋川市内で生産した農作物を購入したいと思いますか。	1	2	3	4	5
問72 寝屋川市は、きめ細やかな就労支援サービスが提供されていると思いますか。	1	2	3	4	5

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「産業」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

	重要度					現状の満足度				
	1つ選び、番号に○をしてください。					1つ選び、番号に○をしてください。				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
問73 地域産業の活性化を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問74 商業の振興を図る取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問75 工業の振興を図る取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問76 農業の振興を図る取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問77 消費者保護を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問78 市域の労働力の活用を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

8 『市民が主役のまちづくり』について

① 「地域・市民ニーズの把握・情報発信」についてお聞きします。

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問79 自治会や小学校区での地域活動が盛んであると思いますか。	1	2	3	4	5
問80 寝屋川市政に、市民の声が届いていると思いますか。	1	2	3	4	5

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	毎号読んでいる	時々読んでいる	読んでいない		
問81 「広報ねやがわ」を読んでいますか。	1	2	3		

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「地域・市民ニーズの把握・情報発信」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

	重要度					現状の満足度				
	1つ選び、番号に○をしてください。					1つ選び、番号に○をしてください。				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
問82 コミュニティの活性化と協働を推進する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問83 情報発信を充実する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問84 市民ニーズを把握する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

9 『将来を見据えた自治経営』について

① 「自治経営」についてお聞きします。

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問85 寝屋川市は、健全な財政運営が行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問86 寝屋川市は、行財政改革が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
問87 寝屋川市のICT（情報通信技術）を活用したまちづくりは進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5

	1つ選び、番号に○をしてください。				
	満足した	少し満足した	どちらとも言えない	あまり満足しなかった	満足しなかった
問88 市役所やシティ・ステーションの窓口対応に満足しましたか。	1	2	3	4	5

② 現在寝屋川市が取り組んでいる「自治経営」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

	重要度（1つ選び、番号に○をしてください。）					現状の満足度（1つ選び、番号に○をしてください。）				
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
問89 健全な財政運営を行う取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問90 効率的な行政運営を行う取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
問91 市民サービスを充実する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

③ 寝屋川市は、平成 31 年4月に中核市に移行します。中核市になると、大阪府寝屋川保健所が市に移管されます。

	1つ選び、番号に○をしてください。			
	より安心すると思う	より便利になると思う	変わらないと思う	特に関心はないわからない
問92 寝屋川市が保健所を設置運営することになりますが、あなたはこのことをどう思いますか。	1	2	3	4

10 人口減少対策について

① 「人口減少対策」についてお聞きします。

問93 今後、日本全体で人口減少が進行していくものと推測されている中で、寝屋川市の人口も減少していくと推測されています。市の人口が減少することに対して、あなたはどのような問題意識をお持ちですか。あてはまる番号に○をしてください。（○は1つ）

1. 市の収入の減少に伴う行政サービスの低下
2. 地域活動の担い手不足等に伴う地域コミュニティの弱体化
3. まちの魅力の低下
4. まちのにぎわいや地域産業の活力の低下
5. 防災・防犯に係る環境整備の衰退
6. やむを得ないものである
7. その他（　　）

問94 人口減少に歯止めをかけるために、今後、どのような取組が重要であると思いますか。（○は1つ）

1. 市外から転入を促進する取組 ➡問 95 へ
2. 市外への転出を食い止める取組 ➡問 95 へ
3. 関係人口★を増やす取組
4. 子どもを増やす取組
5. 何もしなくて良い
6. その他（　　）

★関係人口とは、市内に居住しているかどうかは問わず、市や市民に対して思い（関心・共感）を寄せ、多様な形で市と関係している（又は関係を求めている）人口のこと。

問95 問94で「1. 市外から転入を促進する取組」「2. 市外への転出を食い止める取組」と答えた方にお聞きします。具体的にどのような取組が重要であると思いますか。（○は1つ）

1. 市の魅力・地域資源の情報発信
2. 子育て世代とその親世代の隣居・近居・同居への支援
3. 新婚世帯への経済的支援
4. 市外からも参加できるイベント等の実施
5. 子育て支援の充実
6. 学校教育の充実
7. 良好な住宅・住環境の創出
8. 安全・安心なまちの実現への取組
9. その他（　　）

11 シティプロモーションについて

① 「シティプロモーション」についてお聞きします。

	1つ選び○をして、下の問に進んでください。				
	思う	少し思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない
問96 あなたは、寝屋川市に住むことや来訪することを友人、知人に勧めたいと思いますか。	1	2	3	4	5
	問98へ	問98へ	問98へ	問97へ	問97へ

問97 問96で「あまり思わない」「思わない」と答えた方にお聞きします。
それはどのような理由からですか。（○は 2 つまで）

1. 勧める相手がいない
2. 勧める機会（きっかけ）又は時間がない
3. （魅力を知っているが）他の人には知られたくない
4. 既に魅力は知られている
5. 勧めることができる魅力がない
6. 何を勧めて良いか分からない
7. 人に勧めることが好きではない又はメリットを感じない
8. その他（　　）

問98 あなたは、寝屋川市に住んでみて、100 点満点で何点ですか。点数とその理由について御自由にお書きください。　※点数は主観で構いません。

□ 点

【この点数を付けた理由】

12 『寝屋川市のまちづくり』について御自由に意見をお書きください。

13 あなた御自身のことについて

あなたの性別は	1. 男性　2. 女性
あなたの年齢は	1. 18～19 歳　2. 20～29 歳　3. 30～39 歳　4. 40～49 歳 5. 50～59 歳　6. 60～69 歳　7. 70～79 歳　8. 80 歳以上
あなたのお住まいの小学校区は	1. 東小学校区　2. 西小学校区　3. 南小学校区 4. 北小学校区　5. 第五小学校区　6. 成美小学校区 7. 明和小学校区　8. 池田小学校区　9. 中央小学校区 10. 啓明小学校区　11. 三井小学校区　12. 木屋小学校区 13. 木田小学校区　14. 神田小学校区　15. 堀溝小学校区 16. 田井小学校区　17. 桜小学校区　18. 点野小学校区 19. 和光小学校区　20. 国松緑丘小学校区　21. 楠根小学校区 22. 梅が丘小学校区　23. 宇谷小学校区　24. 石津小学校区 25. 分からない(　　)⇦ お住いの町名をお書きください。
あなたの世帯の構成は	1. 単身世帯(ひとり暮らし)　2. 1世代世帯(夫婦だけ) 3. 2世代世帯(親と子)　4. 3世代世帯(親と子と孫) 5. その他(　　)
あなたの世帯に乳幼児や学生などは何人いますか	1. 乳児(0歳から1歳未満)がいる……(　　)人 2. 幼児(1歳から小学校入学前まで)がいる……(　　)人 3. 小学生がいる……(　　)人 4. 中学生がいる……(　　)人 5. 高校生(専門学校生を含む)がいる……(　　)人 6. 65 歳以上の高齢者がいる……(　　)人 7. 上記の人はいない

あなたの お仕事は	1. 会社員・公務員　2. 自営業(商業・工業・サービス業) 3. 農業　4. 自由業(弁護士・芸術家など) 5. 学生　6. 家事専業 7. パート・アルバイト・契約社員・派遣社員　8. 無職(学生、家事専業を除く) 9. その他(　　)
あなたが お住まいの 住居は	1. 持家(一戸建て)　2. 持家(マンションなど) 3. 民間の借家(一戸建て)　4. 民間の借家(マンション・アパートなど) 5. 公営賃貸住宅(府営・市営・公団・公社)　6. 社宅・官舎・寮 7. 高齢者施設　8. その他(　　)
あなたは いつ頃から 寝屋川市に住んでいますか	1. 昭和 40 年以前　2. 昭和 41 年～50 年 3. 昭和 51 年～55 年　4. 昭和 56 年～60 年 5. 昭和 61 年～平成 2 年　6. 平成 3 年～7 年 7. 平成 8 年～12 年　8. 平成 13 年～17 年 9. 平成 18 年～22 年　10. 平成 23 年以降
あなたが 寝屋川市に住むことになったきっかけは何ですか	1. 生まれてからずっと市内に居住　2. 親の都合(住宅購入、転勤など) 3. 仕事・学業の都合(就職・転職・転勤、進学など) 4. 結婚　5. 親の高齢化・介護 6. 家業・家を継ぐ　7. 定年・早期退職 8. 健康上の理由(通院、病気療養など) 9. 上記内容以外で、住みたい家があった 10. その他(　　)
あなたの 職場、通学先はどこですか	1. 自宅又はその周辺(徒歩圏)　2. 自宅周辺以外の寝屋川市内 3. 大阪市内　4. 大阪府内(寝屋川市、大阪市を除く) 5. 働いていない、又は通学していない　6. その他(　　)
あなたは、地域をより良くするために、あなたができる活動(地域協働、自治会の活動、ボランティア活動など)をしたいと思いますか。	1. 思う 2. 少し思う 3. どちらとも言えない 4. あまり思わない 5. 思わない

御協力ありがとうございました。
記入漏れがないか御確認の上、
返信用の封筒に入れて、8月　13 日(月)までに
切手を貼らずにポストへ投函してください。

資料２．単純集計結果

１．寝屋川市の印象などについて

① 寝屋川市についてお聞きします。

問１　あなたは、寝屋川市を住みよいまちだと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
非常に住みよい	62	4.2%
住みよい	770	52.7%
どちらとも言えない	510	34.9%
住みにくい	85	5.8%
非常に住みにくい	21	1.4%
無回答	14	1.0%
合計	1,462	100.0%

問２　あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
現在の場所に住み続けたい	915	62.6%
市内の他の地域に引っ越したい	76	5.2%
市外へ引っ越したい	164	11.2%
わからない	295	20.2%
無回答	12	0.8%
合計	1,462	100.0%

問３　問２で「現在の場所に住み続けたい」と答えた方にお聞きします。それはどのような理由からですか。（○は３つまで）

選択肢	回答数	構成比
生まれ育ったところである	144	15.7%
長年住んでいて、なじみがある	512	56.0%
買い物など日常生活が便利である	478	52.2%
勤務先・通学先に近く便利である	80	8.7%
公共交通機関（鉄道）が整っている	187	20.4%
公共交通機関（バス）が整っている	69	7.5%
物価が安い	73	8.0%
近所づきあいがうまくいっている	161	17.6%
今の住宅条件（広さ・家賃など）が良い	163	17.8%
教育文化施設が多く、内容が充実している	8	0.9%
福祉の取組が行き届いている	19	2.1%
病院などの保健・医療体制が整っている	109	11.9%
子育て環境が良い	25	2.7%
教育環境が良い	9	1.0%
治安が良い	57	6.2%
公園、道路などの都市基盤の整備がされている	34	3.7%
防災対策が充実している	8	0.9%
緑や水辺などの自然環境が良い	87	9.5%
まちのイメージが良い	27	3.0%
その他	30	3.3%
有効回答数	915	100.0%

問４　問２で「市内の他の地域に引っ越したい」又は「市外へ引っ越したい」と答えた方にお聞きします。それはどのような理由からですか。（○は３つまで）

選択肢	回答数	構成比
建物が密集していて、住み心地が良くない	45	18.8%
買い物など日常生活が不便である	39	16.3%
勤務先・通学先に遠く不便である	27	11.3%
公共交通機関（鉄道）が整っていない	21	8.8%
公共交通機関（バス）が整っていない	35	14.6%
物価が高い	9	3.8%
近所づきあいがうまくいっていない	21	8.8%
今の住宅条件（広さ・家賃など）が良くない	40	16.7%
教育文化施設が少なく、利用しにくい	20	8.3%
福祉の取組が行き届いていない	16	6.7%
病院などの保健・医療体制が整っていない	23	9.6%
子育て環境が良くない	13	5.4%
教育環境が良くない	12	5.0%
治安が良くない	70	29.2%
公園、道路などの都市基盤の整備が遅れている	32	13.3%
防災対策が遅れている	20	8.3%
緑や水辺などの自然環境が良くない	18	7.5%
まちのイメージが良くない	43	17.9%
その他	44	18.3%
有効回答数	240	100.0%

問５　あなたは、寝屋川市をずっと住み続けたいと思うまちにするためには、今後どのような分野に力を入れるべきだと思いますか。（○は３つまで）

選択肢	回答数	構成比
1.　安全で安心できるまちづくり（防災、防犯、治水対策など）	826	56.5%
2.　健康でいきいき暮らせるまちづくり（平和の希求、人権尊重、社会福祉、子育て支援など）	432	29.5%
3.　夢を育む学びのまちづくり（学校教育の充実、生涯学習支援、スポーツ・文化振興など）	197	13.5%
4.　快適でうるおいのあるまちづくり（公園整備、道路整備、住環境整備、上下水道整備、水辺空間の創出など）	456	31.2%
5.　環境を守り育てるまちづくり（自然環境の保全、ごみ減量・リサイクル推進など）	226	15.5%
6.　活力あふれるにぎわいのまちづくり（商業・工業・農業の振興など）	198	13.5%
7.　市民が主役のまちづくり（コミュニティづくり、情報発信など）	86	5.9%
8.　将来を見据えた自治経営（健全な財政運営、効率的な行政運営など）	237	16.2%
9.　その他	55	3.8%
有効回答数	1,462	100.0%

問６　寝屋川市では、下記の８つの項目を柱として、まちづくりを進めています。まちづくりを進める上で、市民としてすべきこと又は市民の役割は何だと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1.　安全で安心できるまちづくり（防災、防犯、治水対策など）	562	38.4%
2.　健康でいきいき暮らせるまちづくり（平和の希求、人権尊重、社会福祉、子育て支援など）	256	17.5%
3.　夢を育む学びのまちづくり（学校教育の充実、生涯学習支援、スポーツ・文化振興など）	100	6.8%
4.　快適でうるおいのあるまちづくり（公園整備、道路整備、住環境整備、上下水道整備、水辺空間の創出など）	193	13.2%
5.　環境を守り育てるまちづくり（自然環境の保全、ごみ減量・リサイクル推進など）	244	16.7%
6.　活力あふれるにぎわいのまちづくり（商業・工業・農業の振興など）	91	6.2%
7.　市民が主役のまちづくり（コミュニティづくり、情報発信など）	104	7.1%
8.　将来を見据えた自治経営（健全な財政運営、効率的な行政運営など）	115	7.9%
有効回答数	1,462	100.0%

問７　あなたは、他の市と比較して、寝屋川市の大きな魅力は何だと思いますか。
あてはまる番号に○をしてください。（○は３つまで）

選択肢	回答数	構成比
1.　通勤・通学の利便性	337	23.1%
2.　買い物など日常生活の利便性	741	50.7%
3.　手頃な住宅価格や家賃	263	18.0%
4.　良好な住環境	141	9.6%
5.　市内公共交通の利便性	246	16.8%
6.　道路事情の良さ	64	4.4%
7.　充実した子育て環境（保育施設、保育への支援等）	87	6.0%
8.　充実した教育環境（学校施設、学力向上の取組等）	46	3.1%
9.　充実した医療・福祉サービス	176	12.0%
10. 充実した文化・スポーツ施設	24	1.6%
11. 治安の良さ	118	8.1%
12. 自然環境の良さ	146	10.0%
13. 地域コミュニティの活気	61	4.2%
14. 中心市街地（商店街など）の活気	36	2.5%
15. 人を呼び込める観光資源	3	0.2%
16. 祭りなどのイベント・行事	87	6.0%
17. その他	86	5.9%
有効回答数	1,462	100.0%

２．『安全で安心できるまちづくり』について

① 「防災・防犯・治水対策」についてお聞きします。

問８　寝屋川市は、災害に備えるまちづくりが行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	121	8.3%
少し思う	425	29.1%
どちらとも言えない	581	39.7%
あまり思わない	230	15.7%
思わない	80	5.5%
無回答	25	1.7%
合計	1,462	100.0%

問９　地域の消防防災体制が充実していると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	121	8.3%
少し思う	385	26.3%
どちらとも言えない	697	47.7%
あまり思わない	183	12.5%
思わない	48	3.3%
無回答	28	1.9%
合計	1,462	100.0%

問１０　寝屋川市は、犯罪が少なく、安全なまちであると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	60	4.1%
少し思う	198	13.5%
どちらとも言えない	453	31.0%
あまり思わない	434	29.7%
思わない	300	20.5%
無回答	17	1.2%
合計	1,462	100.0%

問１１　雨の時に浸水の不安がありますか。

選択肢	回答数	構成比
不安がない	278	19.0%
あまり不安がない	340	23.3%
どちらとも言えない	127	8.7%
少し不安がある	414	28.3%
不安がある	288	19.7%
無回答	15	1.0%
合計	1,462	100.0%

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「防災・防犯・治水」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

重要度	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答	合計
問12　災害に強いまちをつくる取組	998	320	95	13	6	30	1,462
問13　治水対策を促進する取組	885	387	127	10	8	45	1,462
問14　危機管理体制を充実する取組	912	344	140	8	5	53	1,462
問15　犯罪のないまちづくりを推進する取組	1,102	247	69	4	3	37	1,462

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	合計
問12　災害に強いまちをつくる取組	33	213	823	205	84	104	1,462
問13　治水対策を促進する取組	50	253	745	207	87	120	1,462
問14　危機管理体制を充実する取組	21	147	847	240	80	127	1,462
問15　犯罪のないまちづくりを推進する取組	25	119	638	363	205	112	1,462

３．『健康でいきいき暮らせるまちづくり』について

① 「人権」についてお聞きします。

問１６　市民一人一人の人権意識は高くなってきたと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	81	5.5%
少し思う	282	19.3%
どちらとも言えない	769	52.6%
あまり思わない	262	17.9%
思わない	55	3.8%
無回答	13	0.9%
合計	1,462	100.0%

問１７　「男は仕事、女は家庭」というように性別によって役割を分担する考え方に共感しますか。

選択肢	回答数	構成比
共感しない	533	36.5%
あまり共感しない	415	28.4%
どちらとも言えない	348	23.8%
少し共感する	117	8.0%
共感する	40	2.7%
無回答	9	0.6%
合計	1,462	100.0%

② 「保健福祉」についてお聞きします。

問１８　寝屋川市が配布している「健康づくりプログラム」を活用していますか。

選択肢	回答数	構成比
活用している	257	17.6%
活用していない	794	54.3%
プログラムを知らない	397	27.2%
無回答	14	1.0%
合計	1,462	100.0%

問１９　地域の福祉活動が活発に行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	105	7.2%
少し思う	414	28.3%
どちらとも言えない	593	40.6%
あまり思わない	258	17.6%
思わない	62	4.2%
無回答	30	2.1%
合計	1,462	100.0%

問２０　寝屋川市は、高齢者が生きがいを持ち、健康で心豊かに暮らせる環境づくりが進んでいると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	59	4.0%
少し思う	344	23.5%
どちらとも言えない	644	44.0%
あまり思わない	296	20.2%
思わない	93	6.4%
無回答	26	1.8%
合計	1,462	100.0%

問２１　寝屋川市は、障害のある人に対するサービスや支援体制が整っていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	48	3.3%
少し思う	325	22.2%
どちらとも言えない	726	49.7%
あまり思わない	253	17.3%
思わない	72	4.9%
無回答	38	2.6%
合計	1,462	100.0%

問２２　寝屋川市は、安心して子どもを産み育てることができるサービスや環境が整っていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	47	3.2%
少し思う	376	25.7%
どちらとも言えない	676	46.2%
あまり思わない	230	15.7%
思わない	92	6.3%
無回答	41	2.8%
合計	1,462	100.0%

問２３　寝屋川市は、感染症対策が充実していると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	28	1.9%
少し思う	148	10.1%
どちらとも言えない	876	59.9%
あまり思わない	264	18.1%
思わない	100	6.8%
無回答	46	3.1%
合計	1,462	100.0%

③ 現在、寝屋川市が取り組んでいる「人権」「保健福祉」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

重要度	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答	合計
問24　平和を希求し人権が尊重されるまちをつくる取組	616	426	328	31	16	45	1,462
問25　男女がともにいきいきと暮らせるまちをつくる取組	667	445	274	22	7	47	1,462
問26　健康づくりを推進する取組	734	448	216	16	5	43	1,462
問27　地域でともに支えあうしくみを充実する取組	617	486	277	23	9	50	1,462
問28　高齢者の社会参加と自立支援を推進する取組	638	511	243	20	11	39	1,462
問29　障害のある人が自立した生活を営む環境を整備する取組	684	493	217	11	8	49	1,462
問30　子育てしやすい環境を整備する取組	871	367	160	7	7	50	1,462
問31　安心できる環境衛生を確保する取組	820	421	166	7	4	44	1,462

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	合計
問24　平和を希求し人権が尊重されるまちをつくる取組	31	156	1,021	101	24	129	1,462
問25　男女がともにいきいきと暮らせるまちをつくる取組	34	158	1,003	101	35	131	1,462
問26　健康づくりを推進する取組	51	305	861	85	32	128	1,462
問27　地域でともに支えあうしくみを充実する取組	33	174	922	151	50	132	1,462
問28　高齢者の社会参加と自立支援を推進する取組	23	172	910	177	52	128	1,462
問29　障害のある人が自立した生活を営む環境を整備する取組	30	124	955	172	48	133	1,462
問30　子育てしやすい環境を整備する取組	36	220	834	165	71	136	1,462
問31　安心できる環境衛生を確保する取組	29	175	927	158	38	135	1,462

４．『夢を育む学びのまちづくり』について

①　「教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流」についてお聞きします。

問３２　寝屋川市の幼稚園は、教育内容が充実していると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	86	5.9%
少し思う	248	17.0%
どちらとも言えない	885	60.5%
あまり思わない	103	7.0%
思わない	39	2.7%
無回答	101	6.9%
合計	1,462	100.0%

問３３　寝屋川市の小中学校は、教育内容が充実していると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	69	4.7%
少し思う	262	17.9%
どちらとも言えない	787	53.8%
あまり思わない	178	12.2%
思わない	71	4.9%
無回答	95	6.5%
合計	1,462	100.0%

問３４　寝屋川市の小中学校・幼稚園は、教育環境（施設等）が充実していると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	50	3.4%
少し思う	269	18.4%
どちらとも言えない	777	53.1%
あまり思わない	203	13.9%
思わない	72	4.9%
無回答	91	6.2%
合計	1,462	100.0%

問３５　寝屋川市は、子どもの安全・安心に対する取組が充実していると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	80	5.5%
少し思う	355	24.3%
どちらとも言えない	648	44.3%
あまり思わない	198	13.5%
思わない	103	7.0%
無回答	78	5.3%
合計	1,462	100.0%

問３６　寝屋川市は、学校・家庭・地域が連携して青少年の育成を見守っていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	87	6.0%
少し思う	393	26.9%
どちらとも言えない	624	42.7%
あまり思わない	224	15.3%
思わない	72	4.9%
無回答	62	4.2%
合計	1,462	100.0%

問３７　寝屋川市は、生涯学習の機会や情報の提供が充実していると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	40	2.7%
少し思う	279	19.1%
どちらとも言えない	766	52.4%
あまり思わない	230	15.7%
思わない	76	5.2%
無回答	71	4.9%
合計	1,462	100.0%

問３８　寝屋川市では、展示会・コンサートなど、文化・芸術活動が活発に行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	75	5.1%
少し思う	394	26.9%
どちらとも言えない	580	39.7%
あまり思わない	264	18.1%
思わない	90	6.2%
無回答	59	4.0%
合計	1,462	100.0%

問３９　寝屋川市は、国際交流が盛んであると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	16	1.1%
少し思う	119	8.1%
どちらとも言えない	675	46.2%
あまり思わない	421	28.8%
思わない	172	11.8%
無回答	59	4.0%
合計	1,462	100.0%

問４０　寝屋川市は、スポーツ活動の環境が整っていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	31	2.1%
少し思う	231	15.8%
どちらとも言えない	630	43.1%
あまり思わない	379	25.9%
思わない	133	9.1%
無回答	58	4.0%
合計	1,462	100.0%

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「教育・生涯学習・文化・芸術・国際交流」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

重要度	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答	合計
問41　就学前教育を充実する取組	430	486	385	70	21	70	1,462
問42　学ぶ力を育成する取組	683	439	236	15	9	80	1,462
問43　教育環境の整備･充実を図る取組	708	431	217	9	5	92	1,462
問44　青少年の健全育成を推進する取組	685	437	236	7	6	91	1,462
問45　生涯学習を充実する取組	443	526	375	16	8	94	1,462
問46　文化の振興を図る取組	365	487	470	39	6	95	1,462
問47　スポーツ活動を推進する取組	387	527	404	49	7	88	1,462
問48　国内外の交流を推進する取組	348	452	485	70	18	89	1,462

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	合計
問41　就学前教育を充実する取組	16	114	1,046	132	48	106	1,462
問42　学ぶ力を育成する取組	17	111	984	173	67	110	1,462
問43　教育環境の整備・充実を図る取組	17	159	919	147	62	158	1,462
問44　青少年の健全育成を推進する取組	9	106	966	162	62	157	1,462
問45　生涯学習を充実する取組	13	109	1,022	118	48	152	1,462
問46　文化の振興を図る取組	16	111	1,024	118	37	156	1,462
問47　スポーツ活動を推進する取組	21	126	967	153	43	152	1,462
問48　国内外の交流を推進する取組	11	65	1,026	152	55	153	1,462

５．『快適でうるおいのあるまちづくり』について

①　「都市整備・都市環境」についてお聞きします。

問４９　寝屋川市は、地域の特性をいかした計画的なまちづくりが行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	45	3.1%
少し思う	271	18.5%
どちらとも言えない	609	41.7%
あまり思わない	392	26.8%
思わない	101	6.9%
無回答	44	3.0%
合計	1,462	100.0%

問５０　寝屋川市は、快適な生活環境や美しいまちなみが確保されていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	41	2.8%
少し思う	351	24.0%
どちらとも言えない	510	34.9%
あまり思わない	383	26.2%
思わない	136	9.3%
無回答	41	2.8%
合計	1,462	100.0%

問５１　寝屋川市は、駅周辺が魅力ある空間であると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	74	5.1%
少し思う	350	23.9%
どちらとも言えない	419	28.7%
あまり思わない	394	26.9%
思わない	187	12.8%
無回答	38	2.6%
合計	1,462	100.0%

問５２　寝屋川市では、歩行者にやさしい道路整備が進んでいると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	34	2.3%
少し思う	214	14.6%
どちらとも言えない	406	27.8%
あまり思わない	483	33.0%
思わない	282	19.3%
無回答	43	2.9%
合計	1,462	100.0%

問５３　あなたの身近に公園・緑地があると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	336	23.0%
少し思う	441	30.2%
どちらとも言えない	236	16.1%
あまり思わない	246	16.8%
思わない	168	11.5%
無回答	35	2.4%
合計	1,462	100.0%

問５４　寝屋川市の水道水は、安全でおいしいと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	244	16.7%
少し思う	433	29.6%
どちらとも言えない	498	34.1%
あまり思わない	177	12.1%
思わない	78	5.3%
無回答	32	2.2%
合計	1,462	100.0%

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「都市整備・都市環境」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

重要度	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答	合計
問55　計画的なまちづくりを推進する取組	659	463	257	15	1	67	1,462
問56　良好な住宅･住環境を創出する取組	619	512	246	11	3	71	1,462
問57　四駅周辺のまちづくりを推進する取組	548	516	292	25	3	78	1,462
問58　安全で安定した上下水道サービスを提供する取組	829	384	179	8	2	60	1,462
問59　利便性の高い快適なまちをつくる取組	688	480	210	13	4	67	1,462
問60　水とみどり豊かなまちをつくる取組	683	473	224	15	2	65	1,462

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	合計
問55　計画的なまちづくりを推進する取組	25	166	901	208	67	95	1,462
問56　良好な住宅・住環境を創出する取組	19	142	884	250	70	97	1,462
問57　四駅周辺のまちづくりを推進する取組	26	194	819	238	86	99	1,462
問58　安全で安定した上下水道サービスを提供する取組	94	325	783	122	48	90	1,462
問59　利便性の高い快適なまちをつくる取組	32	199	836	223	77	95	1,462
問60　水とみどり豊かなまちをつくる取組	50	223	819	200	78	92	1,462

６．『環境を守り育てるまちづくり』について

①　「環境」についてお聞きします。

問６１　寝屋川市は、地球温暖化防止に向けた取組の啓発活動など、温暖化対策が適切に行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	37	2.5%
少し思う	196	13.4%
どちらとも言えない	693	47.4%
あまり思わない	366	25.0%
思わない	118	8.1%
無回答	52	3.6%
合計	1,462	100.0%

問６２　寝屋川市は、ごみの減量と資源リサイクルの取組が進んでいると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	177	12.1%
少し思う	544	37.2%
どちらとも言えない	437	29.9%
あまり思わない	205	14.0%
思わない	61	4.2%
無回答	38	2.6%
合計	1,462	100.0%

問６３　寝屋川市は、ごみ収集及び処理が効率的かつ適正に行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	282	19.3%
少し思う	563	38.5%
どちらとも言えない	404	27.6%
あまり思わない	124	8.5%
思わない	49	3.4%
無回答	40	2.7%
合計	1,462	100.0%

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「環境」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

重要度	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答	合計
問64 環境に配慮したまちづくりを推進する取組	681	471	239	9	4	58	1,462
問65 ごみの減量･資源化を推進する取組	740	476	182	6	4	54	1,462
問66 廃棄物を適正に処理する取組	780	433	184	4	6	55	1,462

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	合計
問64 環境に配慮したまちづくりを推進する取組	35	231	930	137	38	91	1,462
問65 ごみの減量･資源化を推進する取組	83	363	766	131	32	87	1,462
問66 廃棄物を適正に処理する取組	65	302	811	146	50	88	1,462

7．『活力あふれるにぎわいのまちづくり』について

① 「産業」についてお聞きします。

問６７ 寝屋川市の商・工・農は、近隣市と比べて活気があると感じますか。

選択肢	回答数	構成比
感じる	9	0.6%
少し感じる	134	9.2%
どちらとも言えない	638	43.6%
あまり感じない	502	34.3%
感じない	138	9.4%
無回答	41	2.8%
合計	1,462	100.0%

問６８ 産業振興センター（にぎわい創造館）を知っていますか。

選択肢	回答数	構成比
知っている	349	23.9%
知らない	1,079	73.8%
無回答	34	2.3%
合計	1,462	100.0%

問６９ 消費生活センターからの情報が役に立っていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
役に立っている	182	12.4%
どちらとも言えない	852	58.3%
役に立っていない	386	26.4%
無回答	42	2.9%
合計	1,462	100.0%

問７０　寝屋川市内で買い物がしやすいと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	440	30.1%
少し思う	532	36.4%
どちらとも言えない	249	17.0%
あまり思わない	138	9.4%
思わない	74	5.1%
無回答	29	2.0%
合計	1,462	100.0%

問７１　寝屋川市内で生産した農作物を購入したいと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	417	28.5%
少し思う	442	30.2%
どちらとも言えない	367	25.1%
あまり思わない	147	10.1%
思わない	51	3.5%
無回答	38	2.6%
合計	1,462	100.0%

問７２　寝屋川市は、きめ細やかな就労支援サービスが提供されていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	21	1.4%
少し思う	145	9.9%
どちらとも言えない	804	55.0%
あまり思わない	339	23.2%
思わない	105	7.2%
無回答	48	3.3%
合計	1,462	100.0%

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「産業」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

重要度	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答	合計
問73　地域産業の活性化を推進する取組	605	444	300	16	6	91	1,462
問74　商業の振興を図る取組	540	461	347	19	5	90	1,462
問75　工業の振興を図る取組	434	440	442	35	11	100	1,462
問76　農業の振興を図る取組	484	400	429	41	12	96	1,462
問77　消費者保護を推進する取組	583	434	332	16	5	92	1,462
問78　市域の労働力の活用を推進する取組	589	438	328	13	3	91	1,462

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	合計
問73　地域産業の活性化を推進する取組	12	93	1,011	161	46	139	1,462
問74　商業の振興を図る取組	15	119	972	174	45	137	1,462
問75　工業の振興を図る取組	12	70	1,039	153	42	146	1,462
問76　農業の振興を図る取組	13	84	1,001	173	45	146	1,462
問77　消費者保護を推進する取組	17	88	1,008	166	46	137	1,462
問78　市域の労働力の活用を推進する取組	10	79	984	190	58	141	1,462

８．『市民が主役のまちづくり』について

①　「地域・市民ニーズの把握・情報発信」についてお聞きします。

問７９　自治会や小学校区での地域活動が盛んであると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	171	11.7%
少し思う	528	36.1%
どちらとも言えない	462	31.6%
あまり思わない	194	13.3%
思わない	58	4.0%
無回答	49	3.4%
合計	1,462	100.0%

問８０　寝屋川市政に、市民の声が届いていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	25	1.7%
少し思う	190	13.0%
どちらとも言えない	641	43.8%
あまり思わない	387	26.5%
思わない	170	11.6%
無回答	49	3.4%
合計	1,462	100.0%

問８１　「広報ねやがわ」を読んでいますか。

選択肢	回答数	構成比
毎号読んでいる	708	48.4%
時々読んでいる	557	38.1%
読んでいない	160	10.9%
無回答	37	2.5%
合計	1,462	100.0%

② 現在、寝屋川市が取り組んでいる「地域・市民ニーズの把握・情報発信」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

重要度	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答	合計
問82 コミュニティの活性化と協働を推進する取組	464	489	393	34	11	71	1,462
問83 情報発信を充実する取組	559	494	314	20	8	67	1,462
問84 市民ニーズを把握する取組	623	440	304	22	4	69	1,462

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	合計
問82 コミュニティの活性化と協働を推進する取組	27	181	999	118	27	110	1,462
問83 情報発信を充実する取組	28	226	933	129	35	111	1,462
問84 市民ニーズを把握する取組	25	137	951	178	58	113	1,462

９．『将来を見据えた自治経営』について

① 「自治経営」についてお聞きします。

問８５ 寝屋川市は、健全な財政運営が行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	79	5.4%
少し思う	280	19.2%
どちらとも言えない	754	51.6%
あまり思わない	211	14.4%
思わない	75	5.1%
無回答	63	4.3%
合計	1,462	100.0%

問８６ 寝屋川市は、行財政改革が進んでいると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	52	3.6%
少し思う	230	15.7%
どちらとも言えない	753	51.5%
あまり思わない	267	18.3%
思わない	95	6.5%
無回答	65	4.4%
合計	1,462	100.0%

問８７　寝屋川市のＩＣＴ（情報通信技術）を活用したまちづくりは進んでいると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	34	2.3%
少し思う	157	10.7%
どちらとも言えない	769	52.6%
あまり思わない	334	22.8%
思わない	101	6.9%
無回答	67	4.6%
合計	1,462	100.0%

問８８　市役所やシティ・ステーションの窓口対応に満足しましたか。

選択肢	回答数	構成比
満足した	233	15.9%
少し満足した	449	30.7%
どちらとも言えない	527	36.0%
あまり満足しなかった	155	10.6%
満足しなかった	56	3.8%
無回答	42	2.9%
合計	1,462	100.0%

② 現在寝屋川市が取り組んでいる「自治経営」の施策について、重要度と現状の満足度をお聞きします。

重要度	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答	合計
問89　健全な財政運営を行う取組	846	328	220	2	1	65	1,462
問90　効率的な行政運営を行う取組	762	379	239	9	2	71	1,462
問91　市民サービスを充実する取組	759	399	227	5	5	67	1,462

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	合計
問89　健全な財政運営を行う取組	26	172	955	130	70	109	1,462
問90　効率的な行政運営を行う取組	20	149	962	160	60	111	1,462
問91　市民サービスを充実する取組	32	207	881	173	61	108	1,462

③ 寝屋川市は、平成 31 年４月に中核市に移行します。中核市になると、大阪府寝屋川保健所が市に移管されます。

問９２　寝屋川市が保健所を設置運営することになりますが、あなたはこのことをどう思いますか。

選択肢	回答数	構成比
より安心すると思う	197	13.5%
より便利になると思う	439	30.0%
変わらないと思う	488	33.4%
特に関心はない・わからない	286	19.6%
無回答	52	3.6%
合計	1,462	100.0%

１０．　人口減少対策について

①　「人口減少対策」についてお聞きします。

問９３　今後、日本全体で人口減少が進行していくものと推測されている中で、寝屋川市の人口も減少していくと推測されています。市の人口が減少することに対して、あなたはどのような問題意識をお持ちですか。あてはまる番号に○をしてください。（○は１つ）

選択肢	回答数	構成比
1.　市の収入の減少に伴う行政サービスの低下	496	33.9%
2.　地域活動の担い手不足等に伴う地域コミュニティの弱体化	212	14.5%
3.　まちの魅力の低下	132	9.0%
4.　まちのにぎわいや地域産業の活力の低下	209	14.3%
5.　防災・防犯に係る環境整備の衰退	95	6.5%
6.　やむを得ないものである	208	14.2%
7.　その他	32	2.2%
合計	78	5.3%

問９４　人口減少に歯止めをかけるために、今後、どのような取組が重要であると思いますか。（○は１つ）

選択肢	回答数	構成比
1.　市外から転入を促進する取組	342	23.4%
2.　市外への転出を食い止める取組	267	18.3%
3.　関係人口★を増やす取組	227	15.5%
4.　子どもを増やす取組	377	25.8%
5.　何もしなくて良い	72	4.9%
6.　その他	65	4.4%
合計	112	7.7%

問９５　問９４で「1. 市外から転入を促進する取組」「2.　市外への転出を食い止める取組」と答えた方にお聞きします。具体的にどのような取組が重要であると思いますか。（○は１つ）

選択肢	回答数	構成比
1.　市の魅力・地域資源の情報発信	91	14.9%
2.　子育て世代とその親世代の隣居・近居・同居への支援	89	14.6%
3.　新婚世帯への経済的支援	36	5.9%
4.　市外からも参加できるイベント等の実施	8	1.3%
5.　子育て支援の充実	128	21.0%
6.　学校教育の充実	29	4.8%
7.　良好な住宅・住環境の創出	91	14.9%
8.　安全・安心なまちの実現への取組	101	16.6%
9.　その他	21	3.4%
合計	15	2.5%

１１．　シティプロモーションについて

①　「シティプロモーション」についてお聞きします。

問９６　あなたは、寝屋川市に住むことや来訪することを友人、知人に勧めたいと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	69	4.7%
少し思う	232	15.9%
どちらとも言えない	574	39.3%
あまり思わない	391	26.7%
思わない	136	9.3%
無回答	60	4.1%
合計	1,462	100.0%

問９７　問９６で「あまり思わない」「思わない」と答えた方にお聞きします。それはどのような理由からですか。（○は２つまで）

選択肢	回答数	構成比
1.　勧める相手がいない	116	22.0%
2.　勧める機会（きっかけ）又は時間がない	26	4.9%
3.　（魅力を知っているが）他の人には知られたくない	1	0.2%
4.　既に魅力は知られている	8	1.5%
5.　勧めることができる魅力がない	286	54.3%
6.　何を勧めて良いか分からない	189	35.9%
7.　人に勧めることが好きではない又はメリットを感じない	50	9.5%
8.　その他	28	5.3%
有効回答数	527	100.0%

問９８　あなたは、寝屋川市に住んでみて、100 点満点で何点ですか。

選択肢	回答数	構成比
0～9点	4	0.3%
10～19 点	2	0.1%
20～29 点	12	0.8%
30～39 点	29	2.0%
40～49 点	44	3.0%
50～59 点	164	11.2%
60～69 点	268	18.3%
70～79 点	385	26.3%
80～89 点	269	18.4%
90 点以上	94	6.4%
無回答	191	13.1%
合計	1,462	100.0%

１２．　あなた御自身のことについて

あなたの性別は

選択肢	回答数	構成比
男性	543	37.1%
女性	817	55.9%
無回答	102	7.0%
合計	1,462	100.0%

あなたの年齢は

選択肢	回答数	構成比
18～19 歳	24	1.6%
20～29 歳	88	6.0%
30～39 歳	130	8.9%
40～49 歳	222	15.2%
50～59 歳	204	14.0%
60～69 歳	304	20.8%
70～79 歳	338	23.1%
80 歳以上	118	8.1%
無回答	34	2.3%
合計	1,462	100.0%

あなたのお住まいの小学校区は

選択肢	回答数	構成比
東小学校区	75	5.1%
西小学校区	53	3.6%
南小学校区	60	4.1%
北小学校区	90	6.2%
第五小学校区	142	9.7%
成美小学校区	63	4.3%
明和小学校区	36	2.5%
池田小学校区	69	4.7%
中央小学校区	75	5.1%
啓明小学校区	49	3.4%
三井小学校区	53	3.6%
木屋小学校区	68	4.7%
木田小学校区	65	4.4%
神田小学校区	45	3.1%
堀溝小学校区	34	2.3%
田井小学校区	59	4.0%
桜小学校区	34	2.3%
点野小学校区	58	4.0%
和光小学校区	52	3.6%
国松緑丘小学校区	54	3.7%
楠根小学校区	29	2.0%
梅が丘小学校区	38	2.6%
宇谷小学校区	53	3.6%
石津小学校区	37	2.5%
分からない	17	1.2%
無回答	54	3.7%
合計	1,462	100.0%

同居されている家族の構成は

選択肢	回答数	構成比
単身世帯(ひとり暮らし)	181	12.4%
1世代世帯(夫婦だけ)	455	31.1%
2世代世帯(親と子)	689	47.1%
3世代世帯(親と子と孫)	70	4.8%
その他	24	1.6%
無回答	43	2.9%
合計	1,462	100.0%

世帯にいる乳幼児、学生、高齢者の家族

選択肢	回答数	構成比
乳児(0歳から1歳未満)がいる	29	2.0%
幼児(1歳から小学校入学前まで)がいる	97	6.6%
小学生がいる	110	7.5%
中学生がいる	81	5.5%
高校生(専門学校生を含む)がいる	111	7.6%
65 歳以上の高齢者がいる	497	34.0%
上記の人はいない	523	35.8%
有効回答数	1,462	100.0%

あなたのお仕事は

選択肢	回答数	構成比
会社員・公務員	329	22.5%
自営業(商業・工業・サービス業)	86	5.9%
農業	6	0.4%
自由業(弁護士・芸術家など)	8	0.5%
学生	40	2.7%
家事専業	316	21.6%
パート・アルバイト・契約社員・派遣社員	216	14.8%
無職(学生、家事専業を除く)	320	21.9%
その他	32	2.2%
無回答	109	7.5%
合計	1,462	100.0%

あなたのお住まいの住居は

選択肢	回答数	構成比
持家(一戸建て)	847	57.9%
持家(マンションなど)	250	17.1%
民間の借家(一戸建て)	30	2.1%
民間の借家(マンション・アパートなど)	144	9.8%
公営賃貸住宅(府営・市営・公団・公社)	86	5.9%
社宅・官舎・寮	6	0.4%
高齢者施設	3	0.2%
その他	11	0.8%
無回答	85	5.8%
合計	1,462	100.0%

あなたはいつ頃から寝屋川市に住んでいますか

選択肢	回答数	構成比
昭和 40 年以前	173	11.8%
昭和 41 年～50 年	320	21.9%
昭和 51 年～55 年	173	11.8%
昭和 56 年～60 年	102	7.0%
昭和 61 年～平成2年	130	8.9%
平成3年～7年	95	6.5%
平成8年～12 年	115	7.9%
平成 13 年～17 年	69	4.7%
平成 18 年～22 年	69	4.7%
平成 23 年以降	113	7.7%
無回答	103	7.0%
合計	1,462	100.0%

あなたが寝屋川市に住むことになったきっかけは何ですか

選択肢	回答数	構成比
生まれてからずっと市内に居住	260	17.8%
親の都合（住宅購入、転勤など）	187	12.8%
仕事・学業の都合（就職・転職・転勤、進学など）	249	17.0%
結婚	365	25.0%
親の高齢化・介護	25	1.7%
家業・家を継ぐ	6	0.4%
定年・早期退職	15	1.0%
健康上の理由（通院、病気療養など）	10	0.7%
上記内容以外で、住みたい家があった	128	8.8%
その他	114	7.8%
無回答	103	7.0%
合計	1,462	100.0%

あなたの職場、通学先はどこですか

選択肢	回答数	構成比
自宅又はその周辺（徒歩圏）	117	8.0%
自宅周辺以外の寝屋川市内	135	9.2%
大阪市内	195	13.3%
大阪府内（寝屋川市、大阪市を除く）	231	15.8%
働いていない、又は通学していない	512	35.0%
その他	74	5.1%
無回答	198	13.5%
合計	1,462	100.0%

あなたは、地域をより良くするために、あなたができる活動（地域協働、自治会の活動、ボランティア活動など）をしたいと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
思う	208	14.2%
少し思う	397	27.2%
どちらとも言えない	394	26.9%
あまり思わない	192	13.1%
思わない	155	10.6%
無回答	116	7.9%
合計	1,462	100.0%

平成 30 年度 市民意識調査報告書

平成 31 年 1 月

寝屋川市　経営企画部　広報広聴課